

RISOGRAPH

SE

938/938F

638/638F/628

取扱説明書





当社は国際エネルギー・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・プログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。



安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、大型液晶ディスプレイを装備したデジタル孔版印刷機です。
操作が簡単な「タッチパネル方式」を採用し、各画面では操作に必要なボタンのみが表示されるので、わかりやすく作業がスムーズに進みます。また、ガイダンスに従って操作を進める「対話方式」により、高度なプリント設定も簡単に行うことができます。

取扱説明書について

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

- **RISOGRAPH SE938F/938/638F/638/628 取扱説明書(本書)**
本機の基本的な操作方法をはじめとして、便利な機能の操作方法、高度なプリント機能の設定方法、オプションの連携機 Prioα(別売)を[RLP モード]でお使いになるときの操作方法について説明しています。
また、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法についても記載しています。
- **リソープリンタドライバ取扱説明書(CD-ROM)**
パソコンから本機でプリントするときの操作手順を説明しています。
- **リソユーティリティソフトウェア取扱説明書(CD-ROM)**
「理想集計アプリケーション」と「理想 USB メモリマネージャー」の2つのソフトウェアの使用方法を説明しています。

ご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中不明な点があるときや、必要なときに本書をお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。

 は理想科学工業株式会社の登録商標です。

RISO iQualitySystem™ は理想科学工業株式会社の商標です。

 は理想科学工業株式会社の商標です。

Adobe® Reader® および Adobe® Acrobat® Reader® は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。



カラーユニバーサルデザイン認証を取得

RISOGRAPH SE938F/938/638F/638/628(本体、プリンタドライバ※)は、
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)により、カラーユニバーサルデザインが
実現できていると認定されました。

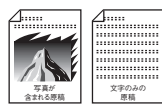
※ Windows 版

機能一覧

製版、印刷の通常のプリント動作の他に、設定できる機能の一覧です。

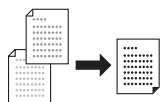
製版時に設定する機能

原稿モード(☞ P.56)



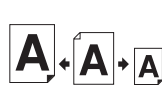
原稿の種類に適したモードを選択できます。

読取濃度(☞ P.57)



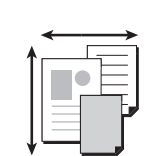
原稿を読み取る濃度を選択できます。

変倍設定(☞ P.58)



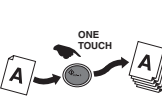
原稿を拡大／縮小してプリントします。

用紙トレイ、用紙サイズ(☞ P.62、63)



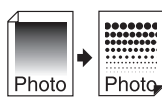
用紙トレイを選択できます。不定形の用紙サイズを選択できます。

連続(☞ P.65)



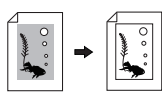
製版から印刷までの動作を自動的に連続で行います。

網点(☞ P.66)



写真原稿に網点をかけて鮮明にプリントします。

コントラスト強調(☞ P.67)



写真の明暗を調節します。

トーンカーブ選択(☞ P.68)



写真の階調を調節します。

省インク(☞ P.69)



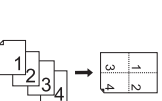
インクを節約してプリントします。

かんたん連写、連写(☞ P.70)



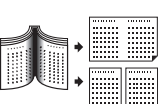
1枚の用紙に多面取りしてプリントします。

Nアップ(☞ P.79)



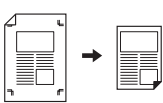
複数の原稿を、順番や向きを指定して1枚の用紙に多面取りします。

ブックモード(☞ P.82)



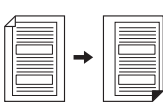
雑誌や本のとじ部分の影を消去してプリントしたり、分割印刷ができます。

レイアウト原稿(☞ P.85)



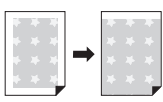
トンボ付きの原稿のトンボをカットしてプリントします。

とじしろ(☞ P.87)



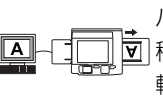
印刷物にとじしろを付けます。

フルサイズ製版(☞ P.89)



用紙サイズに関わらず、最大印刷範囲で製版を行います。

180度回転(☞ P.90)



パソコンで作った原稿データを180度回転プリントします。

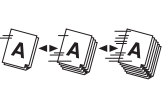
プレビュー表示(☞ P.91)



製版する前に画像を確認できます。

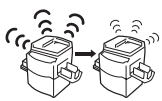
印刷時に設定する機能

印刷速度、ハイスピード(☞ P.94、95)



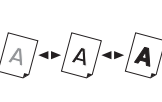
印刷速度を調節できます。

静音(☞ P.96)



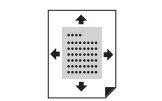
印刷音を静かにしてプリントします。

印刷濃度(☞ P.97)



印刷濃度を調節できます。

印刷位置(☞ P.98)



印刷位置を調整できます。

試し刷り(☞ P.100)



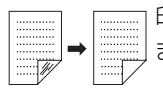
印刷の仕上がりを確認します。

重送検知(☞ P.101)



印刷用紙の重ね送りを監視します。

インターバル印刷(☞ P.102)



印刷の裏移りを防ぎます。

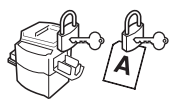
排紙ウイング特殊(☞ P.104)



特殊な用紙を使用する場合、設定します。

本機のいろいろな機能

認証設定(☞ P.116)



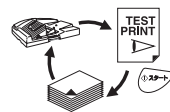
認証ユーザーの登録や認証方式などの設定をし、ユーザー認証を有効にします。

占有延長(☞ P.144)



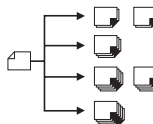
パソコンからのデータ出力指示による割り込みプリントを防止します。

AF オート製版(☞ P.151)



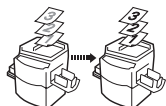
自動原稿送り装置にセットされた原稿を、自動的に製版し、試し刷りします。

プログラム(☞ P.129)



指定した枚数にグループ分けしてプリントします。

アイドリング(☞ P.145)



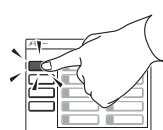
長時間使用していなかったときに、刷り始めのかすれを防止します。

環境設定(☞ P.160)



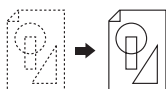
使用状況に合わせて、各種設定の初期値を変更します。

メモリー(☞ P.137)



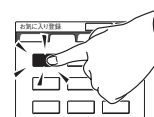
プリント時に行った各種の設定を登録します。

再製版、オート再製版(☞ P.146)



最後に製版したマスターのデータを利用して製版なおします。

POP / お気に入り(☞ P.171)



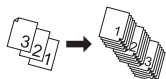
よく使う機能をPOP やお気に入りに登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。

機密(☞ P.143)



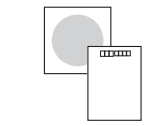
機密書類の複製を防止します。

逆順印刷(☞ P.149)



原稿を、読み込んだ順番と逆に(最後→最初の順に)印刷します。

用紙サイズ登録(☞ P.175)



定形外サイズの用紙を使用してプリントできるように登録します。

メモリーカード(オプション)や USB メモリを装着すると、次の機能が設定できます。

スキャンモード(☞ P.186)

紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、画像データを保存できます。

ホールド/USB メモリ(☞ P.191)

メモリーカード、または USB メモリに保存した原稿データを読み出してプリントします。

オーバーレイ(☞ P.195)

本機で読み取った原稿とホールドしている画像データを合成してプリントします。

連携機 PrioA(別売)を接続すると、次の機能が設定できます。

連携機情報の設定(☞ P.201)

連携機 PrioA(別売)や装着しているオプション機能を使用できるように設定を変更します。

連携機のオプション機能(☞ P.207)

連携機 PrioA(別売)や装着しているオプション機能を使用するときの各種設定を行います。

目次

機能一覧	2
製版時に設定する機能	2
印刷時に設定する機能	2
本機のいろいろな機能	3
文中の表記について	10
安全上のご注意	11
設置場所について	11
電源の接続について	11
アースの接続について	11
取り扱いについて	12
インクについて	12
注意ラベルの位置について	12
ご使用の前に	13
設置上の注意	13
接続上の注意	14
ご使用上の注意	15
印刷範囲について	16
印刷用紙に関する注意	17
原稿に関する注意	18
印刷に関する注意	19
各部の名称とはたらき	20
給紙側	20
排紙側	21
オプション	22
操作パネル	24
ディスプレイ	26
画面の移り変わり	26
基本画面の見かた	28
紙原稿をプリントする場合	28
ディスプレイ上のボタンについて	28
パソコンの原稿データをプリントする場合	29
プリントの流れ	30

基本操作

プリント前の準備	34
給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）	34
排紙台のセット	36
オートフェンス排紙台（オプション）のセット	38
原稿をセットする	40
原稿台ガラスにセットする	40
自動原稿送り装置（オプション）にセットする	40
紙原稿をプリントする	42
パソコンデータをプリントする【ダイレクトプリント】【USB メモリ】	46
パソコンから指示をしてプリントする（ダイレクトプリント）	47
USB メモリからプリントする（USB メモリ）	50
出力指示の変更	52
本機での停止タイミングの変更	54

製版するときに設定する機能

原稿に適したモードを選択する [原稿モード]	56
原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]	57
原稿を拡大／縮小する	
[固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]	58
固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍] [周囲余白]	59
縦横比を変えた拡大／縮小 [独立変倍]	60
ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍]	60
マニュアルで用紙トレイを選択する [用紙トレイ]	62
不定形用紙に印刷する [用紙サイズ]	63
続けてプリントする [連続]	65
写真に網点をかける [網点]	66
写真の明暗を調節する [コントラスト強調]	67
写真の階調を調節する [トーンカーブ選択]	68
インクを節約する [省インク]	69
1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]	70
連写を使用するときの注意	71
かんたん連写の操作のしかた	74
「1 原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた	75
チケット連写の操作のしかた	77
1 枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [N アップ]	79
雑誌や本をプリントする [ブックモード]	82
影になる部分进行处理してプリントする	83
見開き原稿を分割してプリントする [分割]	84
原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿]	85
製版の左右位置を調整する [とじしろ]	87
フルサイズで製版する [フルサイズ製版]	89
原稿を 180 度回転して製版する [180 度回転]	90
製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]	91
プレビュー表示を確認してプリントする	92

印刷するときに設定する機能

印刷速度を変える [印刷速度調節]	94
高速で印刷する [ハイスピード]	95
印刷音を静かにする [静音]	96
印刷濃度を変える [印刷濃度調節]	97
印刷位置を調整する [印刷位置調整]	98
試し刷りをする [試し刷り]	100
特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知]	101
裏移りを少なくする [インターバル印刷]	102
色紙をはさんで印刷物を仕分けする [仕分けモード]	103
特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う	
[排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]	104
排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊]	105
給紙に関しての設定をする [特殊給紙調整]	105
オートフェンス排紙台を調整する [排紙フェンス調整]	
(オプションのオートフェンス排紙台を装備の場合)	106
排紙に関しての設定をする [特殊排紙調整]	108
調整値リストへの登録と名称入力	108
調整値リストから呼び出す	110

特殊用紙設定の設定内容の変更	111
特殊用紙設定の消去	112

本機のいろいろな機能

認証設定をする【認証設定】	116
認証項目について	116
設定項目について	118
認証設定の流れ	119
認証方式の選択	120
認証有無（認証の範囲）の設定	121
管理者／ユーザーの登録	122
管理者／ユーザー登録の変更	125
ユーザー登録の消去	126
グループの名称入力	127
全ユーザーの利用枚数のクリア	128
グループ（クラス）分けしてプリントする【プログラム】	129
プログラムの設定	131
プログラムの登録	133
プログラムの名称入力	134
プログラムを呼び出してプリントする	135
プログラムの消去	136
プログラムの設定内容の変更	136
メモリー機能を使う【メモリー】	137
メモリーの登録	138
メモリーの名称入力	139
メモリーを呼び出してプリントする	140
メモリーの消去	142
機密書類の複製を防止する【機密】	143
割り込み印刷を防止する【占有延長】	144
アイドリングをする【アイドリング】	145
再製版する【再製版】【オート再製版】	146
再製版を実行する	147
オート再製版を使う	148
最後のページからプリントする【逆順印刷】	149
試し刷りを確認しながらプリントする【AF オート製版】	151
自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する【AF 読取面指定】	153
読み取り面の指定	154
各ユーザーの利用枚数を確認する【利用枚数集計】	156
利用枚数を出力する	156
お知らせ日を設定する	157
ユーザーごとに POP 登録する【認証 POP 登録】	158
初期設定を変更する【環境設定】	160
設定可能な項目一覧	160
初期設定の変更	167
POP／お気に入りの設定【POP】【お気に入り】	171
不定形用の紙を登録する【用紙サイズ登録】	175
用紙サイズの登録と名称変更	175
登録した用紙サイズの消去	178
印刷済みのマスターを安全に管理する【プロテクト】	179
製版・排版されたマスターの流出を防ぐ【プロテクト】	180

原稿データを保存して活用する (メモリーカード (オプション) および USB メモリ装着時の機能)

原稿データの保存と活用方法について	184
紙原稿を保存データにする [スキャンモード]	186
紙原稿をスキャンする	187
保存データの情報設定をする	188
用紙サイズを指定する	190
保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USB メモリ]	191
保存データの呼び出ししかた	191
データの並び順を変える	193
[ホールドデータ呼出] 画面 / [USB データ呼出] 画面の使いかた	194
保存データを合成する [オーバーレイ]	195
保存データをコピー / 移動する	197

連携機 Prioα (別売) を接続して使う

連携機を使用したプリント機能について	200
自動振分	200
RLP モード	200
連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]	201
連携機情報を設定する	201
設定項目一覧	202
紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]	205
連携機のオプション機能を使う	207
設定可能な項目一覧	208
両面印刷のしかた [両面]	211
RISO オートフィーダー DX-1 を装備している場合	213

消耗品を交換する

消耗品の残量を確認する	218
用紙の補充のしかた	219
マスター交換のしかた	221
インクボトル交換のしかた	224
排版ボックスのマスターの処理	226
ドラムのセット	228
ドラムの取り出ししかた	228
ドラムのセットのしかた	229
使用済み消耗品の回収・廃棄について	231

お手入れについて

クリーナーについて	234
お手入れのしかた	235

こんなときには

メッセージが表示されたときは	240
エラーメッセージの見かた	240
ワーニングメッセージの見かた	250
消耗品情報入力画面が表示されたら	260
「故障？」と思ったとき	263

付録

消耗品について	274
オプションについて	275
仕様	276
索引	278

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

■ 注意事項等の表記について

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。



気をつけていただきたいことや禁止事項などを記載しています。
よく読んで指示に従ってください。



参照ページを示しています。



原稿を表しています。



本機をご利用いただく上で、知っておくことになる情報や便利な情報を記載しています。



ディスプレイ上のボタンにタッチすることを表しています。

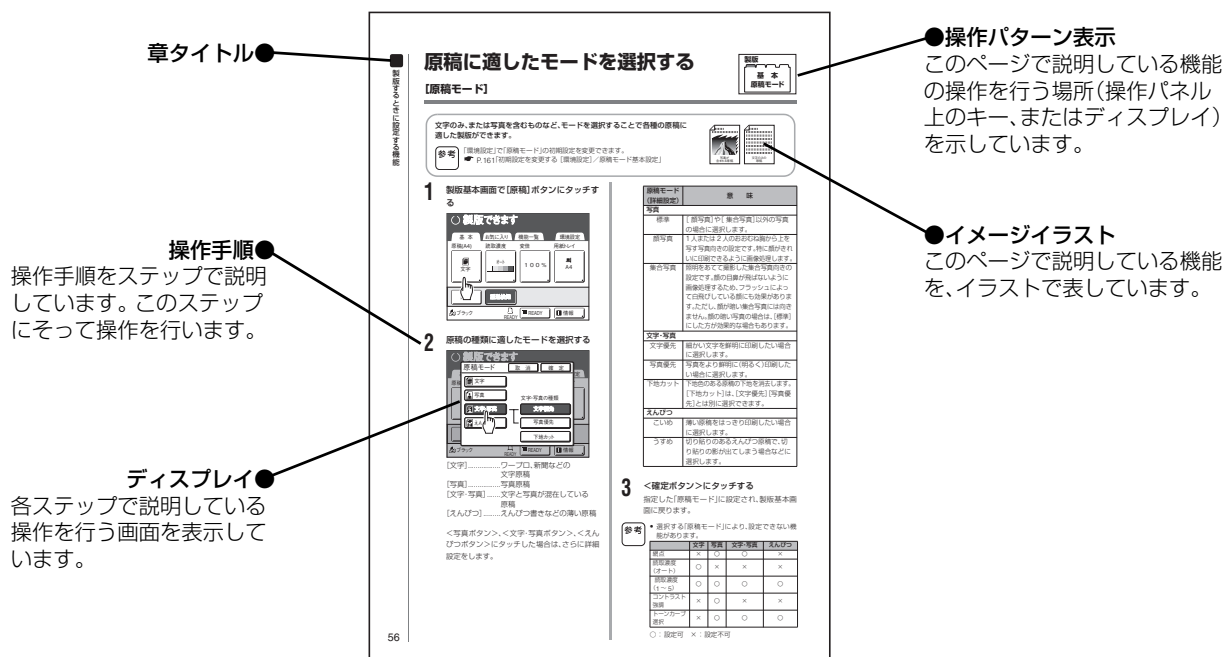


印刷物を表しています。

「警告」および「注意」については P.11 をご覧ください。

■ 操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。



■ 本書で使用している用語について

製版 …………… 原稿を読み取ってマスターを作成する動作

印刷 …………… 製版されたマスターを使用して用紙に印刷する動作

プリント …… 製版から印刷までの動作

自動原稿送り装置 … オプションの自動原稿送り装置 AF-VI と RISO オートフィーダーDX-1 の両方を指す場合の表記

押す …………… 操作パネルのキーを押すとき

タッチする … ディスプレイ(液晶タッチパネル)のボタンを押すとき

ジョブ …………… 出力可能な状態となった原稿データ

初期設定 …… 電源を「ON」にしたときの設定値(各画面に表示される値)

■ 本書の記載内容・使用しているイラストについて

- 本書に記載しているイラスト・ディスプレイには、基本的に SE938F を使用しています。
- ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。
- 本書では、オプションの自動原稿送り装置 AF-VI と RISO オートフィーダーDX-1 をあわせて「自動原稿送り装置」と記載しています。
- 本書では、オプションのメモリーカード DM128CF または、メモリーカード DM512CF を総称して、「メモリーカード」と記載しています。

⚠安全上のご注意

本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、次のような警告表示を使用しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

設置場所について

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

⚠警告

- 本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。
定格電圧値および定格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 同梱の電源コードは本機専用です。他の電気製品では使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください(必ずプラグを持って抜いてください)。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

⚠警告

- アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ガス管
 - 電話専用アース線
 - 避雷針
 - 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを、75cm 以上地中に埋めたもの
 - 接地工事(第 A 種～第 D 種)が行われている接地端子
 - 水道局がアースの対象物として承認した水道管

取り扱いについて

⚠ 警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機の近くで、可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。
スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- 給紙台や排紙台回りのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- 本機の動作している部分には、触らないでください。けがの原因となることがあります。
- 用紙を取り除く際など本体内部に手を入れる場合は、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようにご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

- 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。分離爪や排版爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因となることがあります。
- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。
- クリーニングに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。
- 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。無理に移動させると、機械が転倒して、けがの原因となることがあります。

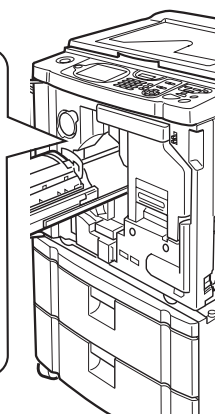
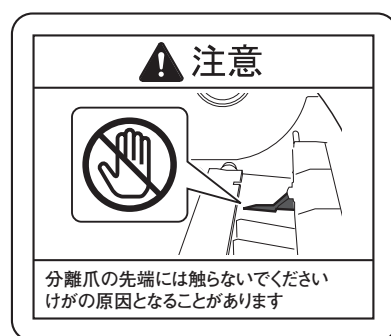
インクについて

⚠ 注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水（または牛乳）を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 印刷中は十分な換気を行ってください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

⚠ 注意ラベルの位置について

本機には、安全にお使いいただくために ⚠ 注意ラベルを貼っています。表示にしたがって安全にお使いください。



ご使用の前に

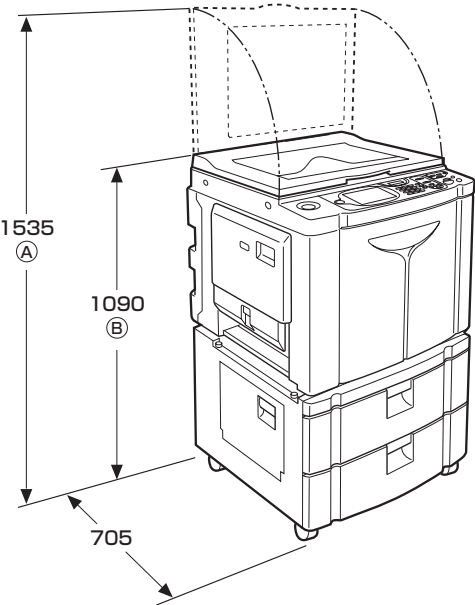
本機をご使用になる際に気をつけていただきたいことや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上の注意

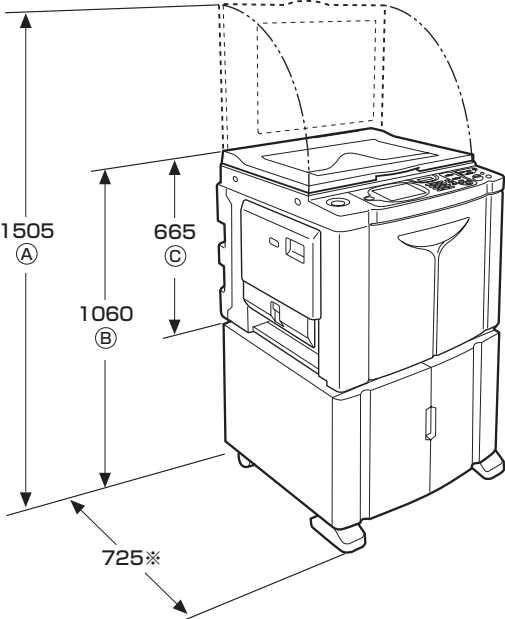
専有面積について

本機は給紙台、排紙台を広げたり、ドラムを引き出す場所を必要とするため、以下のスペースが必要です。

SE938F/638F

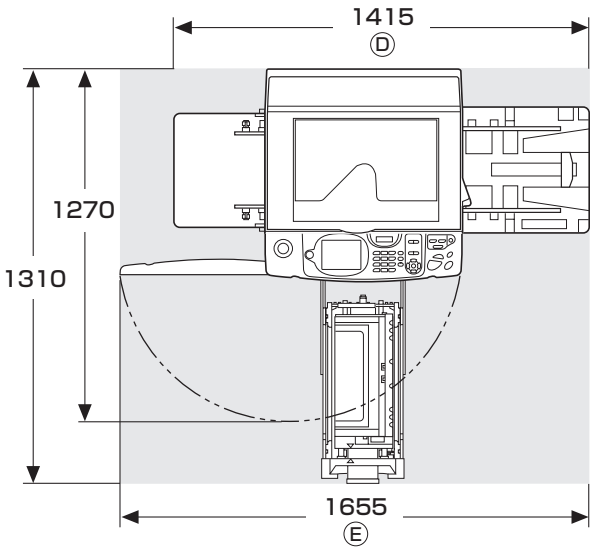


SE938/638/628



※ 本体奥行きサイズには架台、フロントの補助足を含んでいます。

上から見た図



単位:mm
オプション装着時は、さらに以下のスペースが必要です。

	装着オプション		
	自動原稿送り装置AF-VI	RISOオートフィーダーDX-1	オートフェンス排紙台
①	+25mm	+20mm	—
②	+95mm	+115mm	—
③	+95mm	+115mm	—
④	—	—	+10mm
⑤	—	—	+10mm

設置場所について

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
 - 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所(やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください)
 - 温度が急激に変化する場所
 - 高温多湿、低温少湿の場所
 - 火気・熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストーブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
 - 通気性、換気性の悪い場所



使用環境について

- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。(設置の水平度:前後 10mm 以下、左右 10mm 以下)



- 適正環境は次のとおりです。

温度範囲: 15℃～30℃



- 湿度範囲: 40%～70%
(結露しないこと)



接続上の注意

電源の接続について

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 
- 本機はコンセントの近くに設置してください。
 - 本機には、電源を「ON」にしたまま、一定時間使用しないときに、自動的に消費電力を下げる、または電源を「OFF」にして電力を節約する「省エネモード」機能および、決まった時間に本機の電源を「OFF」にする「シャット OFF」機能が搭載されています。
 - ☛ P.164「初期設定を変更する [環境設定] / 省エネモード」
 - ☛ P.164「初期設定を変更する [環境設定] / シャット OFF 時刻」

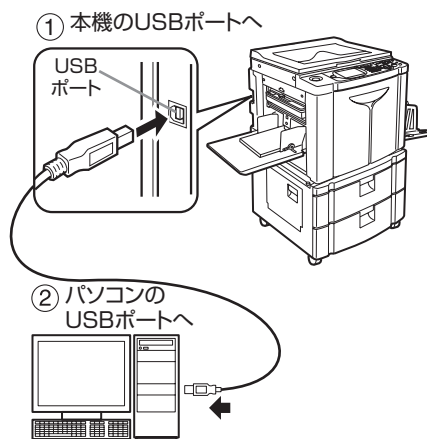
パソコンとの接続について

本機をパソコン※と接続して、パソコンで作成した原稿データを直接本機でプリントできます。

※ 対応 OS:

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1

市販のUSBケーブル(3m以内、Hi-Speed USB規格準拠品)で、本機とパソコンを接続してください。



重要

接続する前にパソコンと本機の電源を入れ、本機の初期画面が表示された状態で行ってください。

参考

パソコンとネットワーク接続する場合は、オプションのネットワークインターフェース(RISO Network Card)と市販のイーサネットケーブル(10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したシールドケーブル)が必要です。詳細については、「RISO Network Card 取扱説明書」を参照してください。

ソフトウェアについて

同梱のCD-ROMには次のソフトウェアを収録しています。初めてプリントを行うときにはインストールが必要です。

RISO Printer Driver

パソコンから原稿データを送信してプリントするための当社製プリンタ専用のプリンタドライバです。セットアップおよびご使用方法については、同梱のCD-ROMにPDF※ファイルで収録されています。

※PDFファイルを表示するには、Adobe社のAdobe Reader、またはAcrobat Readerが必要です。

Adobe Reader、Acrobat Readerは、Adobe社のホームページ(<http://www.adobe.com/jp/>)より無償でダウンロードできます。

リソースユーティリティソフトウェア

「理想 USB メモリマネージャー」と「理想集計アプリケーション」の2つのソフトウェアが収録されています。

- 理想 USB メモリマネージャー
原稿データの情報を、パソコン上で管理するアプリケーションです。
- 理想集計アプリケーション
USBメモリに出力した利用枚数データを、パソコン上で管理するアプリケーションです。

ご使用方法については、「リソースユーティリティソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

参考

RISO Network Card(オプション)

本機をネットワークプリンタとしてWindowsまたはMacintoshパソコンから使用するためには、ネットワークインターフェース(RISO Network Card)が必要です。

RISO Network Cardをインストールすると、パソコンから本機の状態を確認できるモニタリング機能を利用できます。

USB メモリについて

- マスストレージクラスに対応したUSBメモリをご使用ください。ご使用のUSBメモリの種類によって、正常に動作しない場合があります。
- USBメモリを接続または取り外しする際は、正しい手順で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USBメモリデータが損傷した場合、USBメモリ内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

ご使用上の注意

操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 機械の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。

取り扱いについて

- 機械内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 機械を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

消耗品などの保管について

用紙、マスター、インクなどの消耗品やドラムは正しく保管してください。

次のような場所での保管は、おやめください。

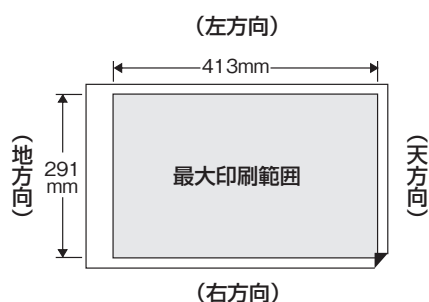
- 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所(やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください)
- 温度が急激に変化する場所
- 高温多湿、低温少湿の場所

印刷範囲について

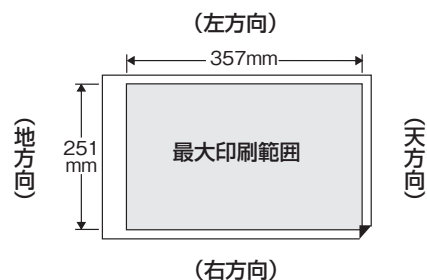
最大印刷範囲

本機で印刷可能な範囲(最大印刷範囲)は次のとおりです。

SE938F/938/638F/638:291mm × 413mm



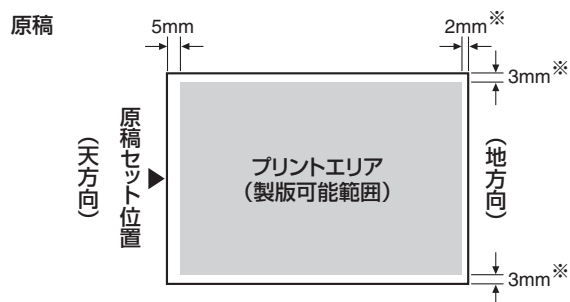
SE628:251mm × 357mm



重要 最大サイズ(320mm × 432mm)の用紙、あるいは長尺用紙(天地方向 555mm まで)を使用したときでも、上記の最大印刷範囲内に印刷されます。

プリントエリア(製版可能範囲)について

原稿のサイズにかかわらず、使用する用紙サイズで、プリントエリア(製版可能範囲)が決まります。プリントエリアは、印刷用紙サイズに対して、下図の余白を除いた範囲です。原稿は、あらかじめこの余白を考慮して作成してください。



※ この数字は、A3 サイズ以下(SE628 は B4 サイズ以下)の用紙をセットした場合の余白です。

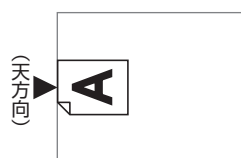
例えば、A4(297mm × 210mm)サイズの印刷用紙(縦方向セット)の場合、プリントエリアのサイズは290mm × 204mm になります。

パソコンから原稿データを送信して印刷する場合もプリントエリアは同様です。

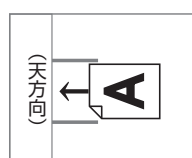
参考

- 周囲に余白のない原稿をプリントするときは、「周囲余白(縮小)」を利用すると便利です。
 - ☛ P.59「固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍] [周囲余白]」
- 印刷用紙のサイズに関係なく、最大印刷範囲で製版することができます。
 - ☛ P.89「フルサイズで製版する [フルサイズ製版]」
- 本書では、原稿のセット位置(自動原稿送り装置の場合は原稿の給紙方向)の側を「天方向」と呼んでいます。

原稿台ガラス



自動原稿送り装置



印刷用紙に関する注意

印刷に使用できる用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめします。詳細については、本体お買い上げの販売会社（または保守・サービス会社）にお問い合わせください。本機仕様で定められている範囲を超える用紙をご利用いただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷に関しては製品保証対象外となります。

サイズ



給紙台使用時:

100mm × 148mm ~ 320mm × 432mm ※

用紙トレイ使用時(SE938F/638F のみ):

182mm × 257mm ~ 297mm × 420mm

※「用紙サイズ登録」を設定することにより、天地 555mm までの長尺用紙を使用（通紙）できます。

- ☛ P.177「奉書（長尺の用紙）」にプリントするときは」
- ☛ P.175「不定形の用紙を登録する [用紙サイズ登録]」

重さ

以下の範囲内の上質紙、中質紙、白更紙、上更紙、更紙、画用紙、再生紙（古紙パルプ配合率 100% など）などが使用できます。

給紙台使用時:

46g/m² ~ 210g/m²
(40kg 連量: 四六判 ~ 180kg 連量: 四六判)

用紙トレイ使用時(SE938F/638F のみ):

52g/m² ~ 105g/m²
(45kg 連量: 四六判 ~ 90kg 連量: 四六判)

重要

- 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙重量」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社（または保守・サービス会社）にご相談ください。
- 不適切な印刷用紙の使用は、紙詰まりや、故障、印刷品質の低下の原因となることがあります。
- 給紙フェンスや排紙フェンス、ストッパーは、必ず印刷用紙のサイズに合わせてセットしてください。

☛ P.34「プリント前の準備」

- 画用紙などの厚紙や表面が滑りやすい用紙を使用するときは、給紙台を使用し、給紙圧調節レバーや排紙台の紙揃えプレートを調節してください。
- ☛ P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」
- 裁断が悪い紙や表面が粗い紙（画用紙など）は、よくさばいてから使用してください。
- 横目の用紙は紙詰まりの原因になる場合がありますので、縦目のものを使用してください。
- すでに裏面に印刷されている用紙を使用する場合は、給紙台にセットしてください。
- 使用する用紙によっては機械の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を充分に行うように心がけてください。

用紙の保管について

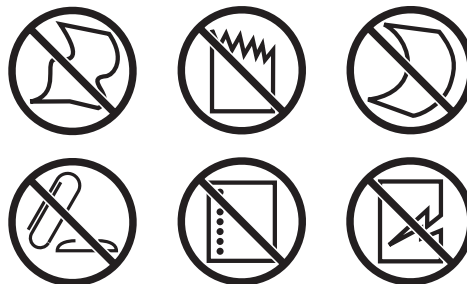
用紙は湿気の少ない場所に保管してください。湿気を含んだ用紙は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になります。



印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙詰まりなどの原因となりますので使用しないでください。

- 紙厚の薄い用紙 (46g/m² (40kg 連量: 四六判) 未満) (用紙トレイ使用時 52g/m² (45kg 連量: 四六判) 未満)
- 紙厚の厚い用紙 (210g/m² (180kg 連量: 四六判) (用紙トレイ使用時 105g/m² (90kg 連量: 四六判)) を超えるもの)
- 感熱紙、表カーボン紙等、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損（破れ）などの激しい用紙
- 表または裏がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴あけがある用紙



原稿に関する注意

重要

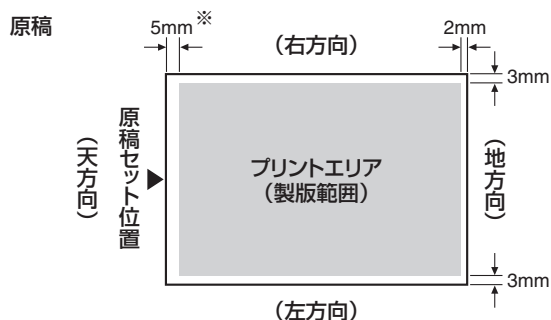
不適切な原稿の使用は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になることがありますので注意してください。

原稿の余白について

原稿の天方向には、必ず 5mm 以上の余白を取ってください。

原稿と同じサイズの内紙に等倍で印刷するときには、原稿の天地左右すべてに余白が必要です。

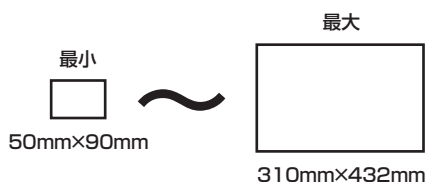
■ 等倍でのプリントの際に必要な余白



※等倍／縮小／拡大に関係なく、天方向には 5mm 以上の余白が必要です。

原稿台ガラスへセットする場合

- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにセットします。
- 10kg 以上の重さの原稿は、使用できません。
- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ばして原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。浮いている部分が黒くプリントされることがあります。
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

参考

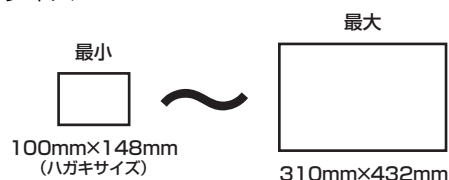
不定形サイズの内紙を定形サイズとして読み取るように、環境設定で指定できます。

☞ P.162「初期設定を変更する [環境設定]」／不定形原稿サイズ固定」

自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合

■ 自動原稿送り装置 AF-VI の場合

- 原稿サイズ



- 原稿 (用紙) の重さ
50g/m² ~ 128g/m²
(43kg 連量: 四六判 ~ 110kg 連量: 四六判)
- 原稿面を下向きにセットします。

■ RISO オートフィーダーDX-1 の場合

- 原稿サイズ



- 原稿 (用紙) の重さ
「AF 読取面指定」の設定により異なります。
☞ P.153
＜オモテ面→片面の場合＞
40g/m² ~ 128g/m²
(35kg 連量: 四六判 ~ 110kg 連量: 四六判)
＜ウラ面→片面、両面→片面の場合＞
52g/m² ~ 105g/m²
(45kg 連量: 四六判 ~ 90kg 連量: 四六判)
- 原稿の読み取り面は、設定により異なります。
☞ P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法」を選択する [AF 読取面指定]

以下は、各自動原稿送り装置に共通の注意事項

- サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。
- 一度にセットできる原稿は約 50 枚までです。
(80g/m²(69kg 連量:四六判)以下の原稿使用時)
- 次の原稿は自動原稿送り装置では使用できません。
原稿台ガラスにセットしてください。
 - 切り張りされたもの
 - しわ、カール、折れ曲がりがあるもの
 - 糊付け、穴あけがあるもの
 - 破れていたり、先端がギザギザなもの
 - 感熱紙、カーボン紙等化学処理されたもの
 - OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透過度が高いもの
 - 修正液、糊などを使用しているもの
 - 紙厚の薄い原稿
 - AF-VI: 50g/m² 未満
 - DX-1 片面: 40g/m² 未満
 - DX-1 両面: 52g/m² 未満
 - 紙厚の厚い原稿
 - AF-VI: 128g/m² を越えるもの
 - DX-1 片面: 128g/m² を越えるもの
 - DX-1 両面: 105g/m² を越えるもの
 - アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
 - 2 枚以上重ねたもの、またはクリップやステーブルでとじてあるもの

印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。

特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券(たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

参考

関係法律

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

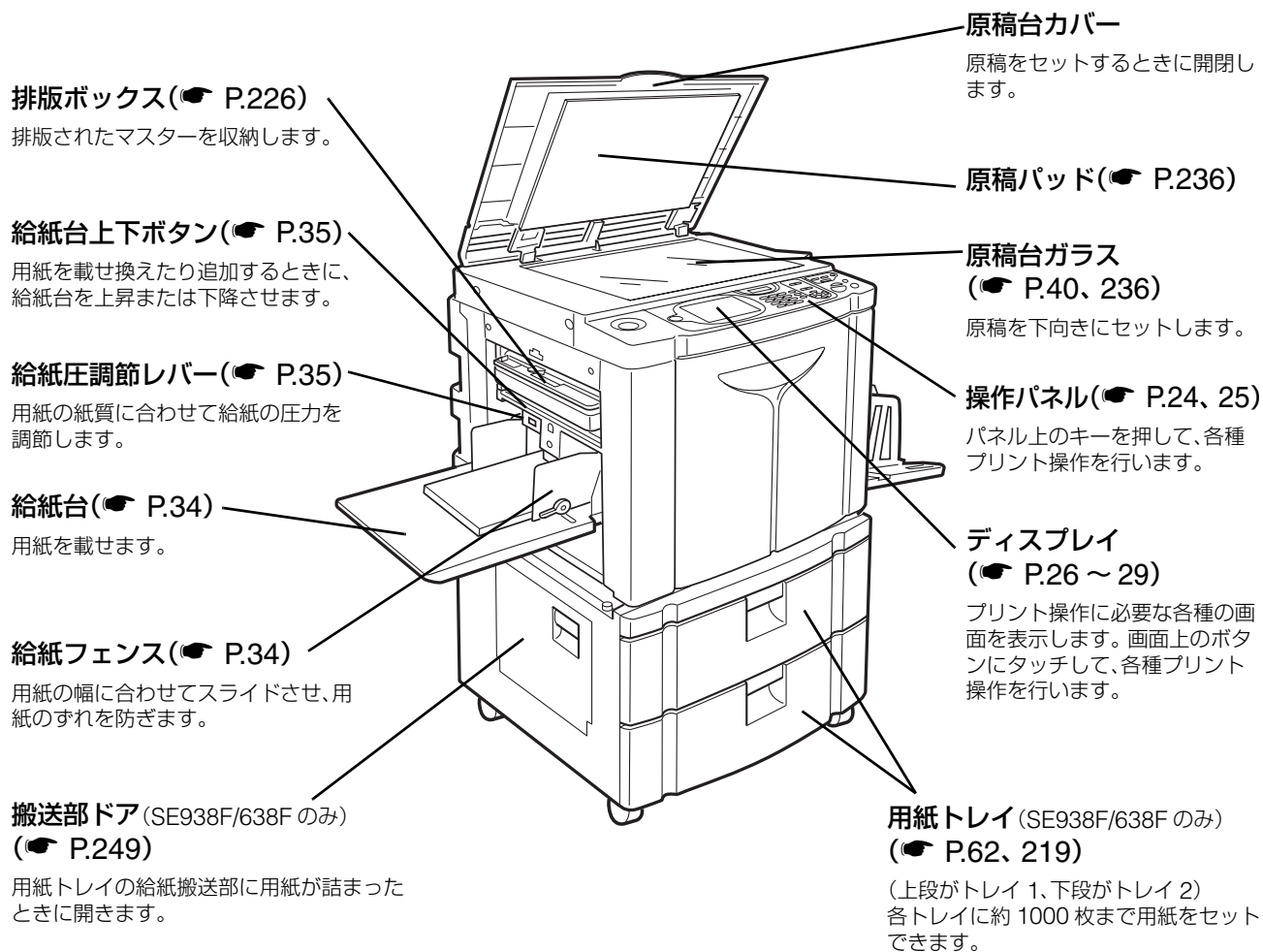
営利目的での印刷を禁止されているもの

次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。)

各部の名称とはたらき

給紙側



● ここでは、SE938F のイラストを使用しています。

排紙側

インクキャップ留め(☛ P.225)

インクボトルのキャップを留めておくことができます。

前カバー

ドラム (☛ P.228)

インクボトル (☛ P.224)

ドラムレバー (☛ P.228)

レバーを握ってドラムを引き出します。

ドラム OK ボタン(☛ P.228)

ボタン点灯時にドラムを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

カウンター

印刷枚数をカウントするトータルカウンターと、製版回数をカウントするマスターカウンターがあります。

製版ユニットレバー(☛ P.221)

レバーを握って製版ユニットを引き出します。

製版ユニット OK ボタン(☛ P.221)

ボタン点灯時に製版ユニットを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

製版ユニット(☛ P.221)

下欄参照

USB スロット(☛ P.45)

認証用またはデータ保存用の USB メモリを挿入します。

排紙ウイング(☛ P.104)

印刷された用紙の紙揃えがよくなるように自動的に調整されます。

紙揃えプレートノブ(☛ P.39)

ノブを押すと紙揃えプレートが出ます。印刷された用紙の紙揃えをよくします。

排紙フェンス (☛ P.36)

フェンスをスライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

ストッパー (☛ P.36)

スライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

排紙台(☛ P.36)

印刷された用紙が排出されます。

電源スイッチ(☛ P.34)

電源の ON/OFF を切り替えます。

製版ユニット引き出し時

製版ユニットカバー (☛ P.222)

マスターをセットするときに開閉します。

マスターガイド (☛ P.223)

マスター(☛ P.222)

サーマルヘッド(☛ P.235)

マスターを製版します。

マスターロールストッパー (☛ P.222)

セットしたマスターを固定します。

オプション

■ 自動原稿送り装置 AF-VI

最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができます。

原稿は、読み取り面を下向きにセットします。

原稿排出トレイ

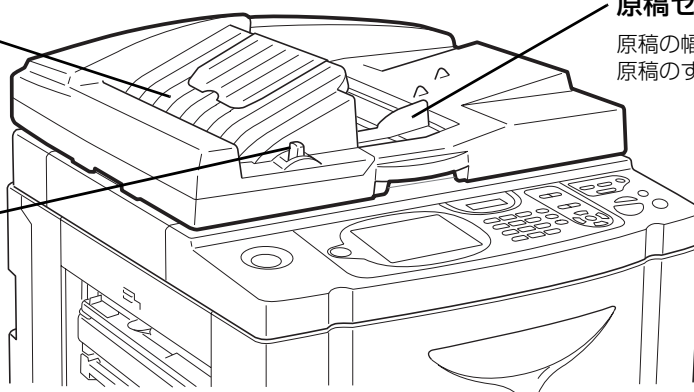
読み取った原稿が
排出されます。

原稿セットフェンス

原稿の幅に合わせてスライドさせ、
原稿のずれを防ぎます。

原稿解除レバー

原稿がつまったときなど、自動
原稿送り装置に引き込まれた原
稿を取り出すときに倒します。



■ RISO オートフィーダーDX-1

最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができ、両面原稿の読み取りが可能です。

また、原稿の読み取り面(オモテ面／ウラ面)を指定することができます。

☛ P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」

原稿セットフェンス

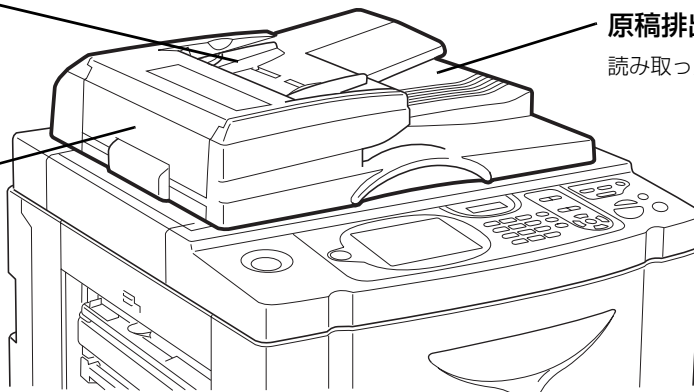
原稿の幅に合わせてスライド
させ、原稿のずれを防ぎます。

原稿排出トレイ

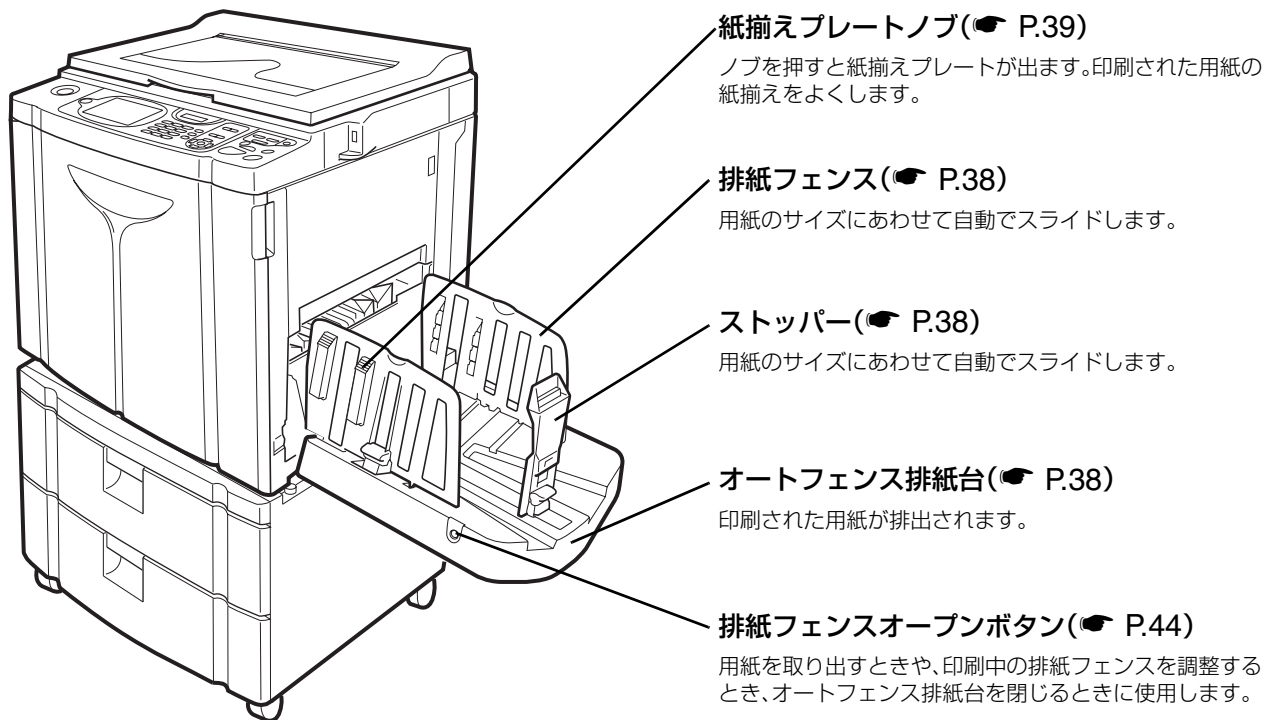
読み取った原稿が排出されます。

AF 給紙カバー

原稿がつまったときなど、自動
原稿送り装置に引き込まれた原
稿を取り出すときに開きます。

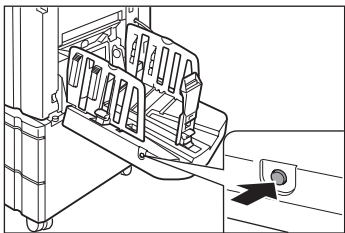


■ オートフェンス排紙台



オートフェンス排紙台の排紙フェンスについて

オートフェンス排紙台の[排紙フェンスオープンボタン]は、本機の状態によって以下のように動作します。



■ 排紙フェンスオープンボタンの機能

- 待機中／排紙台に用紙がある場合
用紙を取り出せるように、排紙フェンス・ストッパーが開きます。
- 待機中／排紙台に用紙がない場合
オートフェンス排紙台が閉じられるように、排紙フェンス・ストッパーが収納位置まで広がります。
- 印刷中
1 回押すごとに、排紙フェンスが約 1mm 外側に移動します。排紙台に用紙がきれいに揃わないときなどに押してください。

参考

「排紙フェンス取出位置」の初期設定を変更できます。
工場出荷時は、「サイド」に設定されています。

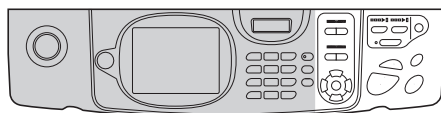
☞ P.165「初期設定を変更する [環境設定] / 排紙フェンス取出位置※」

操作パネル

操作パネルは<スタート>キーや<ストップ>キーなどの実装キーおよび、各種のメッセージや機能ボタンなどを表示する大型ディスプレイで構成されています。

ここでは各実装キーの名称とはたらき、ディスプレイ各部の名称について説明しています。

■ 操作パネル左側部分



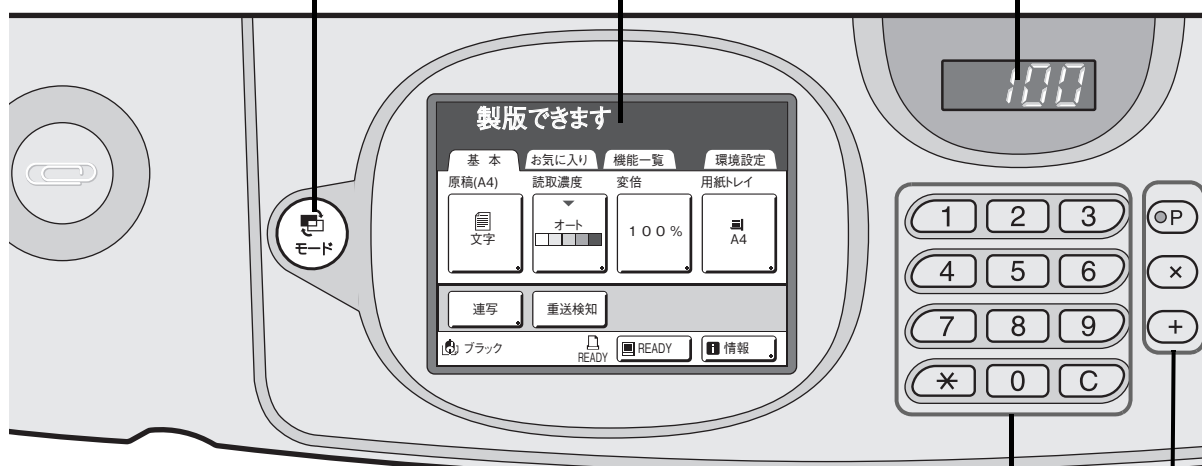
モードキー

モードを切り替えるときに押します。
画面の切り替わり方は設定によって異なります。(P.160)

ディスプレイ(P.26 ~ 29)

枚数カウンター

印刷枚数や各種設定で入力した数値を表示します。



1 ~ 9 0

テンキー

印刷枚数や、各種設定で数値を入力するときに、使用します。

*

*キー(P.131、138)

設定画面での項目間の移動や、メモリーの呼び出しなどに使用します。

C

Cキー

入力した数値を取り消したり、枚数カウンターを0に戻すときに使用します。

Ⓚ

プログラムキー(P.131)

プログラムを呼び出すときに使用します。
設定時には、キー上のランプが点灯します。

×

×キー(P.131)

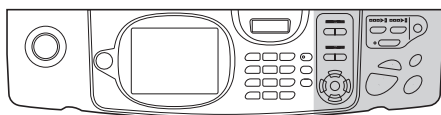
設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。

+

+キー(P.132)

設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。

■ 操作パネル右側部分

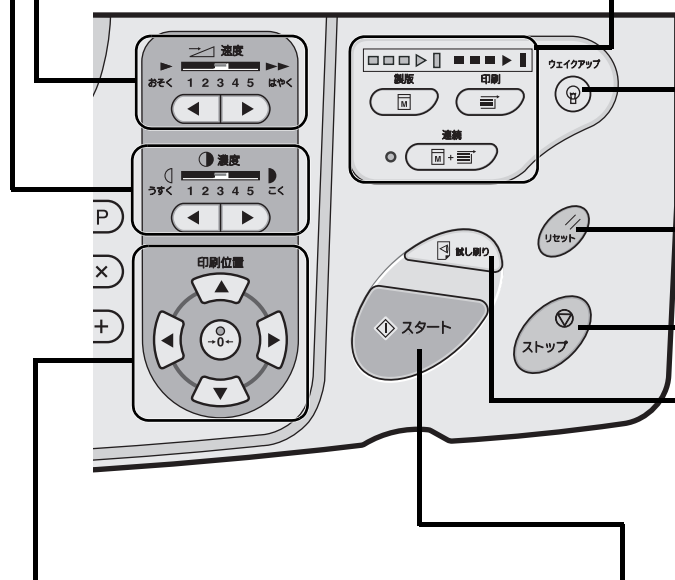


印刷濃度調節キー／ランプ(☞ P.97)

印刷濃度を 5 段階で調節できます。キー上部のランプでその時の濃度を表示しています。

印刷速度調節キー／ランプ(☞ P.94)

印刷速度を 5 段階で調節できます。キー上部のランプでその時の速度を表示しています。



印刷位置調整キー／ランプ(☞ P.98)

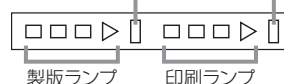
製版後に印刷位置を天地方向に± 15mm、左右方向に± 10mm の範囲で調整できます。＜センター＞キー(☞ P.98)を押すと、調整前の位置に戻ります。

スタートキー

製版や印刷の開始、各種動作の実行に使用します。動作が可能なときは点灯、動作が不可のときは消灯します。

プログレスバー

製版ストップバー 印刷ストップバー



点灯／点滅位置により、現在のモードとプリントの進捗状況がわかります。(下欄参照)

製版キー(☞ P.26)

製版ができる状態にします。

連続キー(☞ P.65)

製版、印刷を連続して行います。設定時には、キー左部のランプが点灯します。

印刷キー(☞ P.26)

印刷ができる状態にします。

ウェイクアップキー(☞ P.42)

節電状態から起動させます。本機が認証状態にある場合はログアウトします。

リセットキー

すべての設定を初期値に戻すときや、トラブル処理後にディスプレイのトラブル表示を解除するときなどに使用します。

ストップキー

実行中の動作を中止します。ただし、製版動作中は製版終了後に停止します。

試し刷りキー(☞ P.100)

試し刷りをするときに使用します。

プログレスバーの表示と本機の状態(□ 点灯 ◻ 点滅 ■ 消灯)

製版中
(製版ランプの点灯が 1 目盛ずつ増える)

印刷中
(印刷ランプの点灯が 1 目盛ずつ増える)

製版可能

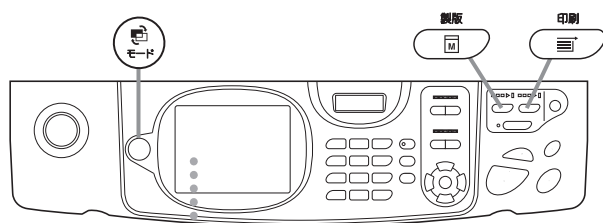
製版可能(連続ON)

印刷可能

製版／印刷処理が途中で止まると、プログレスバーの点灯状態も途中で止まり、同じ位置で点灯し続けます。(復帰指示待ち)

ディスプレイ

画面の移り変わり



起動画面

原稿はまだセットしないでください

SE

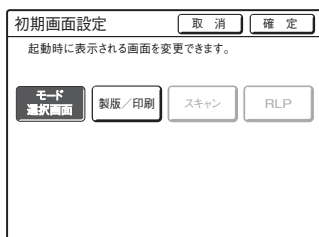
起動中

電源を入ると起動画面の表示後、初期画面が表示されます。

参考

初期画面の設定

[環境設定]画面で<初期画面設定>を選択してください。



モード選択画面

モードを選択してください

RISOGRAFH SE308F



製版
印刷

連携機PrioA(別売)を接続しているとき

モードを選択してください

RISOGRAFH SE308F

PrioA



製版
印刷

RLP出力

メモリーカード(オプション)またはUSBメモリーを装着しているとき

モードを選択してください

RISOGRAFH SE308F



製版
印刷

スキャン

初期画面を
[モード選択画面]
に設定して
いるとき

初期画面を[製版/印刷]に設定しているとき

初期画面を[RLP]に設定しているとき

●連携機PrioA(別売)と接続しているときに設定できます。

初期画面を[スキャン]に設定しているとき

●メモリーカード(オプション)またはUSBメモリーを装着しているときに設定できます。

参考

<モード>キーについて

モードを切り替えたいときに押します。<モード>キーを押すと、現在の画面から「モード選択画面」または「他のモードの基本画面」に切り替えることができます。他のモードの基本画面が表示された場合は、変更したいモードの画面が表示されるまで<モード>キーを押してください。

<モード>キーのはたらきは、「環境設定」で設定します。(工場出荷時の設定は「モード選択画面」)(P.160)

基本画面

製版基本画面

○製版できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿(A4)	読取濃度	変倍	用紙トレイ
文字	オート	100%	オート A4
書き	書き検知		
ブラック	READY	情報	

印刷基本画面

○印刷できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿(A4)	読取濃度	変倍	用紙トレイ
文字	オート	100%	オート A4
書き	書き検知		
ブラック	READY	情報	

RLP基本画面

○Prioへ出力できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿(A4)	読取濃度	変倍	用紙トレイ
文字	オート	100%	オート
書き	書き検知		
ブラック	READY	情報	

スキャン基本画面

○スキャンできます

基本	機能一覧	環境設定
原稿(A4)	読取濃度	変倍
文字	オート	100%
書き	書き検知	
ブラック	READY	情報

その他のタブ画面

お気に入り画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
仕分けモード	インターバル印刷		
機密	コントラスト強調		
ブックモード	メモリー		

ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出すことができます。

機能一覧画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
プログラム	カーブ選択		
メモリー	連写		
網点	かんたん連写		
コントラスト強調	ブックモード		

P. 1/4

各種機能の設定を行います。

環境設定画面

環境設定

① 製版できます

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

環境設定に入ると、現在設定中の各種プリント機能設定はリセットされます

リセット

環境設定

すべて	POP登録
表示設定	お気に入り登録
基本設定	初期画面設定 = モード選択画面
システム	モード選択方式 = 選択画面式
RLP	起動アニメ選択 = SEロゴ
デジタイザ	

P. 1/11

各種機能の初期値を変更します。

参考

使用環境により「環境設定」が設定できない(「環境設定」が表示されていない)場合があります。

詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

基本画面の見かた

基本画面の各エリアの名称と、はたらきを説明します。基本画面は本機に原稿をセットしてプリントする場合とパソコンからの原稿データを受信してプリントする場合で表示が異なります。

紙原稿をプリントする場合



ステータスエリア

本機および連携機 PrioA (別売) の現在の状態を表示しています。



： セットしているドラムの色を示しています。



： 連携機の現在の状態を示しています。
(連携機が、環境設定で登録されているときのみ表示されます。)



ERROR … ネットワークなどのエラーが発生しています



… 連携機情報を取得できません



READY … 出力できます



： パソコンから送信された原稿データの状態を示しています。タッチすると、受信中の原稿データリストを確認できます。
● P.49「受信ジョブ画面について」

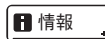
READY ……受信待ち

展開中 ……プリントするための処理を行っています

出力待ち ……出力待ち

通信 ER ……受信中にエラーが発生しています

受信不可 ……受信できません



： タッチすると **情報** (消耗品情報、ドラム情報、日付・時刻) が確認できます。

● P.218「**情報**」<**情報** ボタン>について」

ディスプレイ上のボタンについて

ディスプレイ上のボタンは、軽く指で触れる(タッチすること)により選択されます。再度触れると選択が解除されます。ボタンは決して強く押さないでください。



文字 ……選択されていない状態。



変更を上書 ……ボタンがグレー表示されているときは、選択できません。



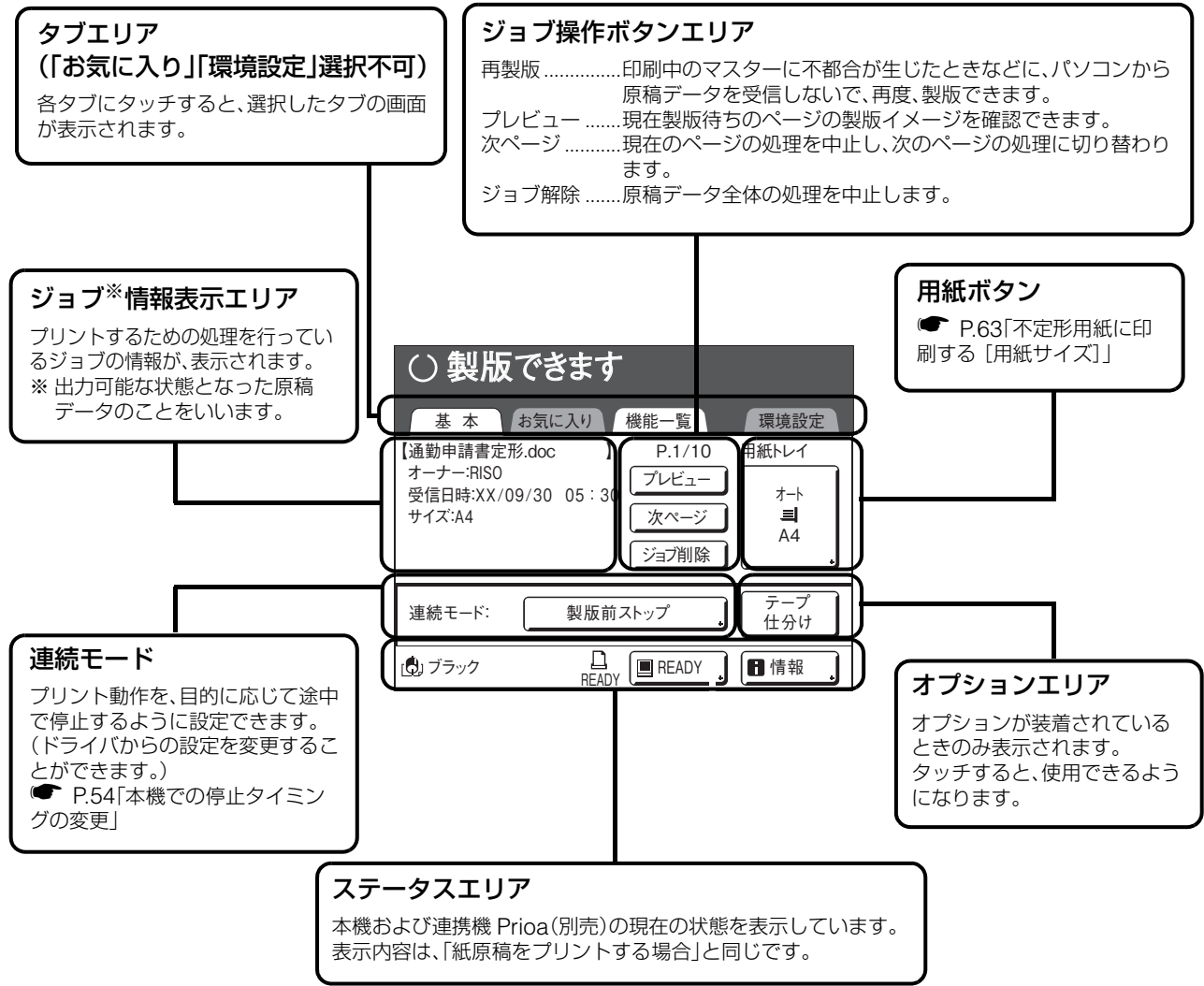
文字 ……選択されている状態。



登録／呼出 ……右側に + 表示があるボタンは、選択すると展開したり、各種設定画面を表示します。

その他の画面については該当する機能や設定項目のページを参照してください。

パソコンの原稿データをプリントする場合



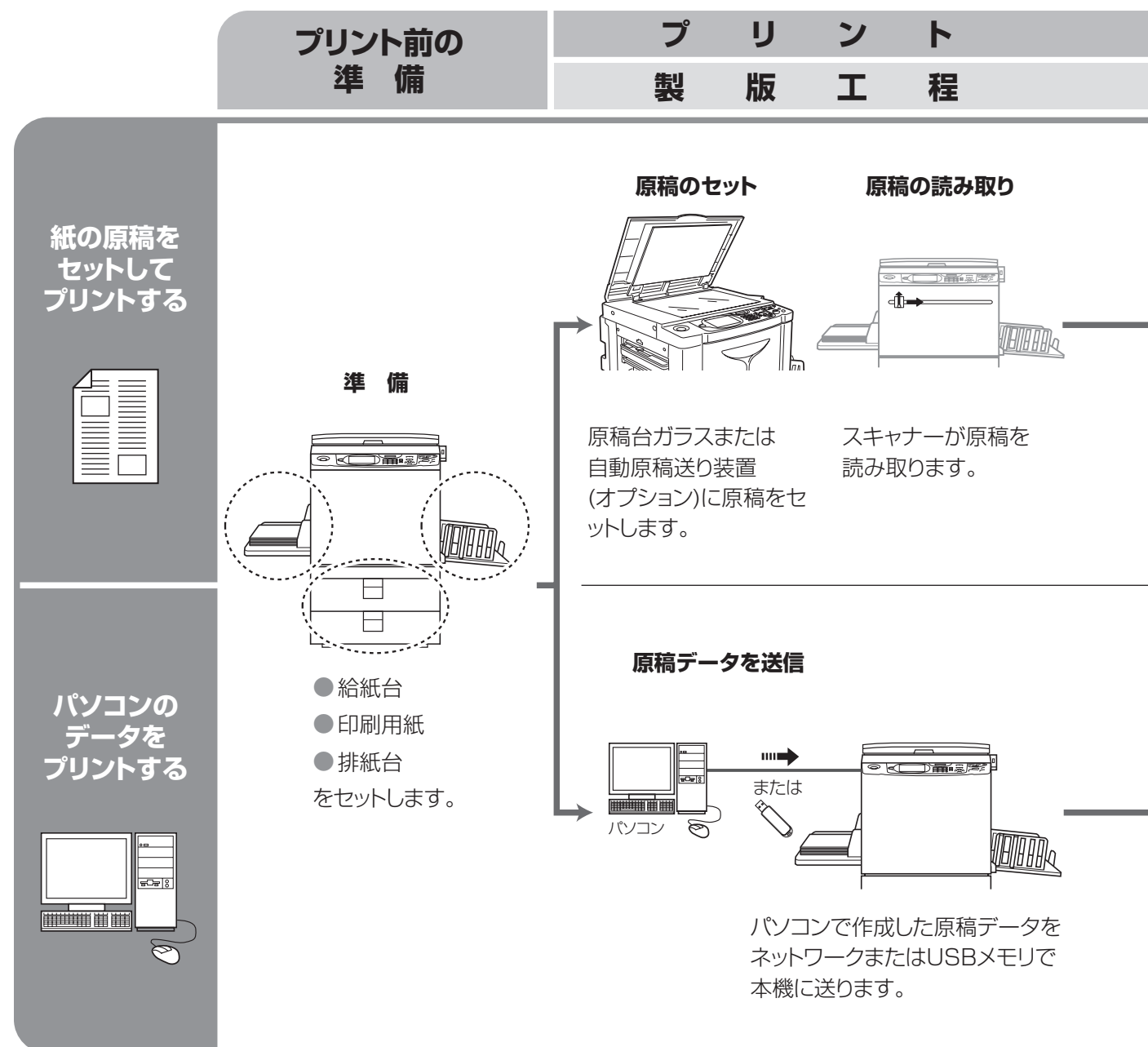
よく使うボタン

- | | | | | |
|------------|-----------|-------------------|-----|---|
| 確定 | 実行 | 各種設定を実行します。 | ◀ ▶ | ページを切り替えます。 |
| 取消 | | 各種設定を取り消します。 | | |
| 閉じる | | 各種表示中のウィンドウを閉じます。 | ▲ ▼ | • 設定値(数字、位置など)を増減します。
• 画面をスクロールします。 |

プリントの流れ

以下の2つの方法でプリントすることができます。

- 書類や本など紙の原稿をプリントする
- パソコンで作成したデータをプリントする

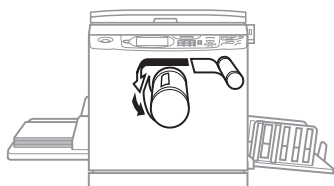


プリントには以下の2つの工程があります。

- 製版工程:印刷のもととなるマスターを「製版」する(製版モード)
 - 印刷工程:マスターを使って実際に「印刷」する(印刷モード)
- 「製版」と「印刷」の2つの工程を合わせて「プリント」と呼びます。

印刷工程

製 版



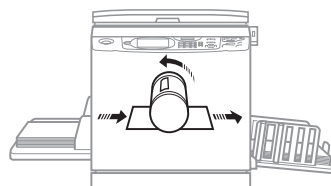
印刷のもととなるマスター(版)が作成され、ドラムに巻き付けられます。

試し刷り



自動的に試し刷り印刷が行われます。
印刷の仕上がりを確認します。

印 刷



指定した枚数分の印刷が行われます。

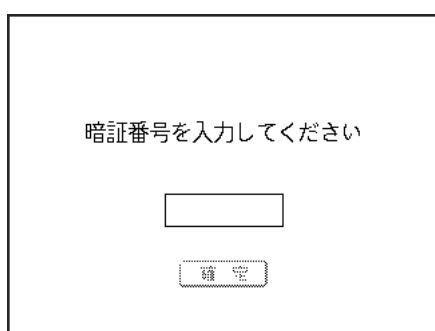


認証画面について

本機では、認証機能を設定することができます。
(● P.164「初期設定を変更する[環境設定]/認証設定」)認証が設定されている場合は、下の画面が表示されます。この画面が表示されたら、暗証番号を入力するか、認証用のUSBメモリを挿入してください。

暗証番号および認証用USBメモリについては、管理者に確認してください。

暗証番号入力



認証用 USB メモリ挿入



スキャンモード

原稿台にセットした原稿を読み取り、ホールドデータとして(本機またはUSBメモリに)保存する機能です。

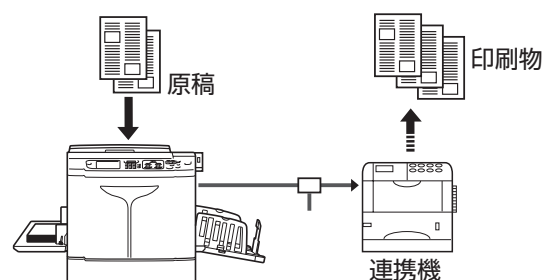
このモードは、メモリーカード(オプション)を取り付けるか、USBメモリを挿入すると、選ぶことができます。

ホールドしたデータは、デジタイザ機能(オプション)を利用して編集することもできます。

スキャンモードの詳細は、P.186「紙原稿を保存データにする [スキャンモード]」をご覧ください。

RLP モード

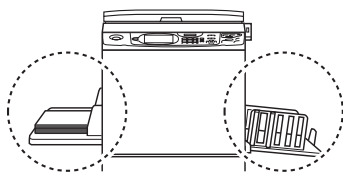
原稿台にセットした原稿を読み取り、本機に接続した連携機 Prioa(別売)で出力します。この工程を「RLP(RISO Local Print)出力」といいます。少部数のプリントを行うときは、本機で製版・印刷するよりも RLP 出力の方が経済的です。RLP モードの詳細は、P.199「連携機 Prioa(別売)を接続して使う」をご覧ください。



基本操作

- 34 プリント前の準備
- 40 原稿をセットする
- 42 紙原稿をプリントする
- 46 パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ]

プリント前の準備



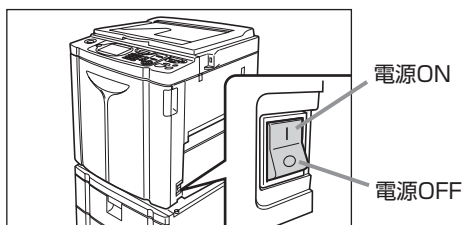
プリントを行う前に、給紙台、排紙台などをセットして、本機を使用可能な状態にします。

参考

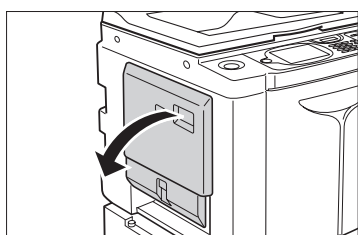
用紙トレイを使用する場合、給紙台をセットする必要はありません。
(SE938F/638F のみ)
用紙のセット方法については、P.219 を参照してください。

給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)

1 本機の電源を「ON」にする



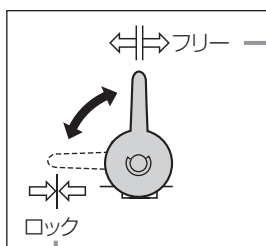
2 給紙台を開く



給紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

3 用紙をセットする

- ① 印刷する方向に用紙を置く
- ② 給紙フェンスをスライドさせて用紙にぴったりと合わせ、ロックレバーを回して固定する。



フェンスを固定するとき

参考

不定形 (A、B 系列以外) の用紙を使う場合は、あらかじめ登録が必要です。

● P.175「不定形の用紙を登録する [用紙サイズ登録]」登録しないで使用すると、原稿が全面製版できないことがあります。

重要

給紙フェンスは必ず、用紙にぴったりとあててください。

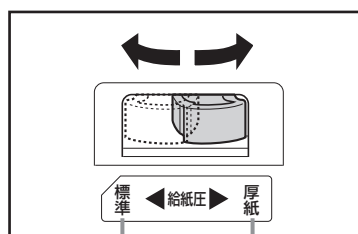
給紙フェンスの位置が合っていないと、正常に動作しないことがあります。



不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。
紙詰まりや故障の原因になります。

☛ P.17「印刷用紙に関する注意」

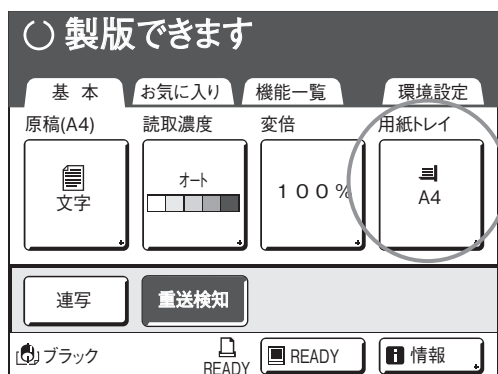
4 給紙圧を調節する



理想用紙や更紙、
上質紙などを使用
するとき
(標準／薄紙)

画用紙などの厚紙や
滑りやすい用紙を
使用するとき
(厚紙／特殊)

5 基本画面を確認する



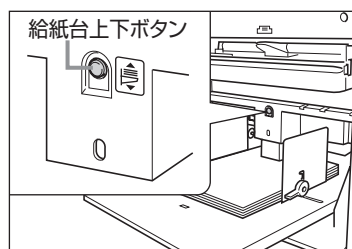
参考

給紙フェンスは、用紙にぴったりと合わせてください。不定形用紙を使用する場合は、[用紙] ボタンにタッチして、使用する不定形用紙を選んでください。

☛ P.63「不定形用紙に印刷する [用紙サイズ]」

用紙の補給と載せ換え

印刷の途中で用紙を補給したり、別のサイズの用紙に載せ換えるときは、給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げてから行います。



ボタンを押し続けると、指を離れた位置で給紙台が止まります。

用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動的に最下部まで下がります。

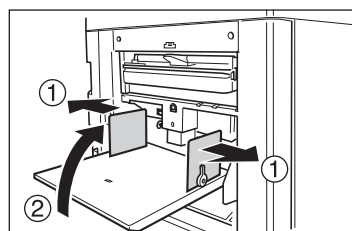


- 別のサイズの用紙に載せ換えるときは、用紙サイズに合わせて排紙フェンスやストッパーもセットしなおしてください。
- 紙質の異なる用紙に載せ換えるときは、給紙圧調節レバーを切り替えてください。

給紙台の閉じかた

給紙台を閉じるときは、用紙を取り除いてください。

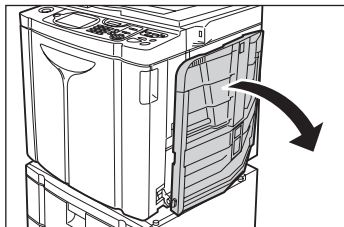
- 給紙フェンスを左右いっぱい広げる
- 給紙台を閉じる



プリント前の準備

排紙台のセット

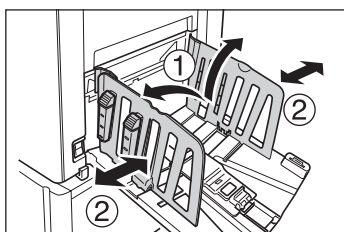
1 排紙台を開く



排紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

2 排紙フェンスをセットする

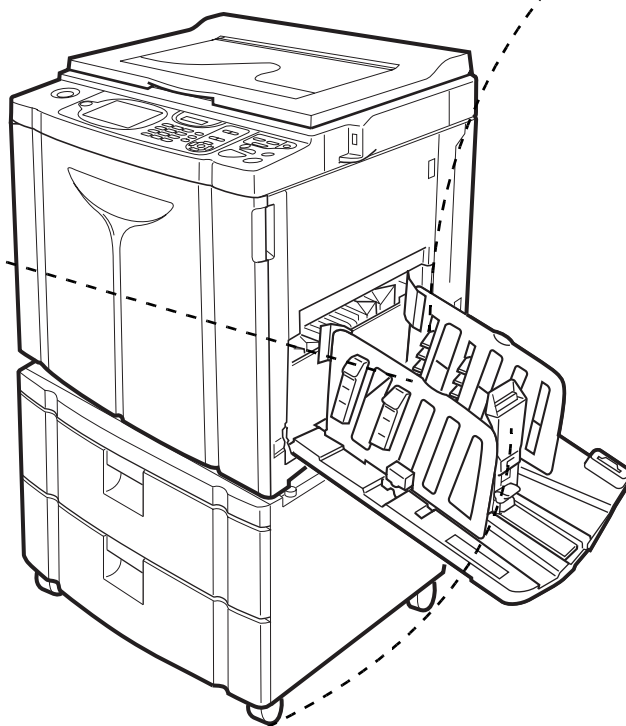
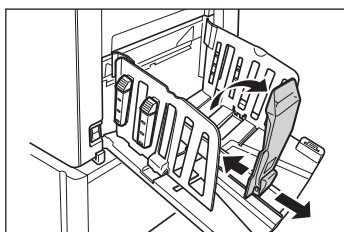
- ① 排紙フェンスを立てる
- ② 排紙フェンスの下部を持って、用紙の幅に合わせて、排紙フェンスをスライドさせる



画用紙などの厚紙を使用するときは、排紙フェンスを実際用紙の幅より少し広めにセットしてください。

3 ストッパーをセットする

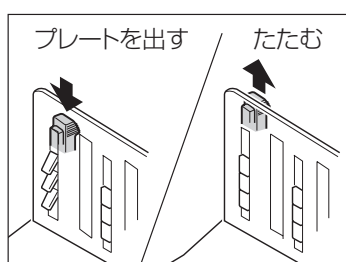
- ① ストッパーを立てる
- ② 用紙の長さに合わせてスライドさせる



4 紙揃えプレートを調節する

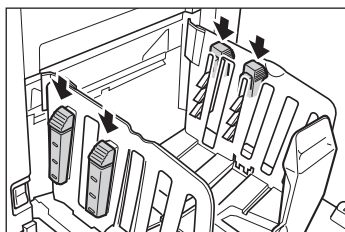
用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う状態が異なるので、プリントされた用紙が揃うように、紙揃えプレートを調節します。

紙揃えプレートを出すときは、紙揃えプレートノブを押し、たたむときは上に引きます。



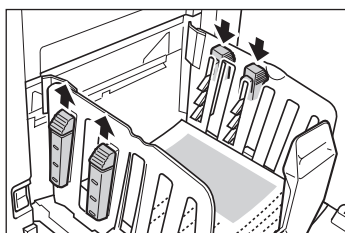
通常の印刷の場合:

紙揃えプレートノブを押し、4 つの紙揃えプレートをすべて出します。



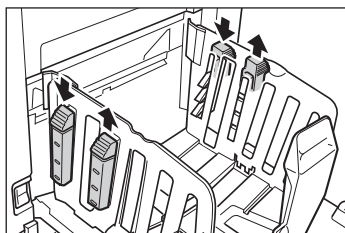
印刷部分が片寄っている場合:

塗りつぶし面の多い側の紙揃えプレートノブを押し、紙揃えプレートを出します。



厚い用紙に印刷する場合:

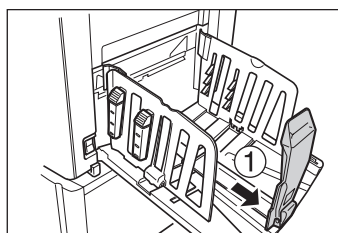
本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出します。



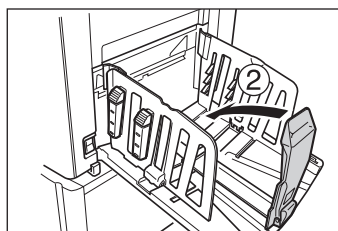
排紙台の閉じかた

排紙台を閉じるときは、印刷物を取り除き、以下の手順で閉じてください。

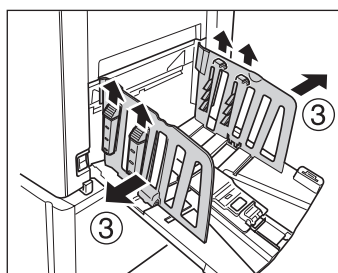
① ストッパーを排紙台の端まで広げる



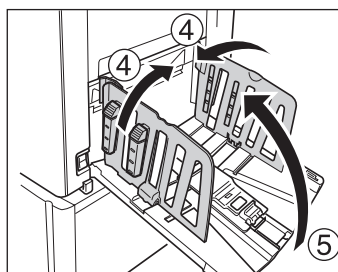
② 内側に倒す



③ 紙揃えプレートをたたみ、排紙フェンスを左右いっぱいに広げる



④ 内側に倒す

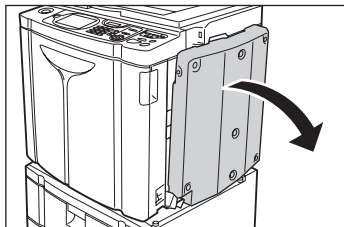


⑤ 排紙台を閉じる

プリント前の準備

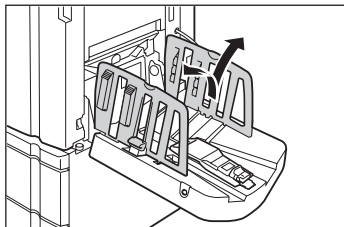
オートフェンス排紙台(オプション)のセット

1 排紙台を開く



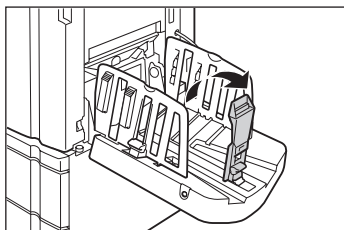
排紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

2 排紙フェンスを立てる



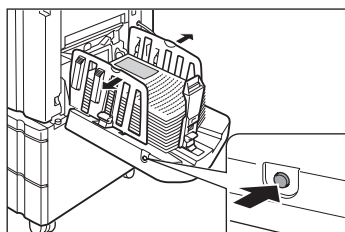
3 ストッパーを立てる

排紙フェンス・ストッパーの位置は、使用する用紙のサイズに合わせて自動で調整されます。



参考

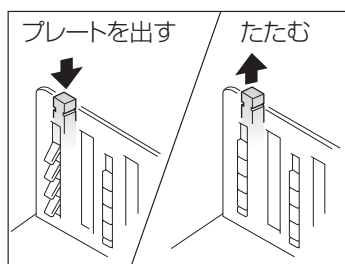
- 排紙フェンス・ストッパーの位置は、ディスプレイの操作で調整できます。
 ● P.104「特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う」[排紙ウイング特殊][特殊用紙設定]
- 印刷中に[排紙フェンスオープンボタン]を1回押すごとに、排紙フェンスが約 1mm ずつ外側に移動します。



4 紙揃えプレートを調節する

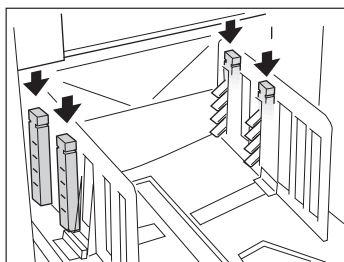
用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う状態が異なるので、プリントされた用紙が揃うように、紙揃えプレートを調節します。

紙揃えプレートを出すときは、紙揃えプレートノブを押し、たたむときは上に引きます。



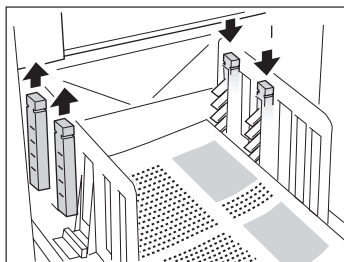
通常の印刷の場合:

紙揃えプレートノブを押し、4つの紙揃えプレートをすべて出します。



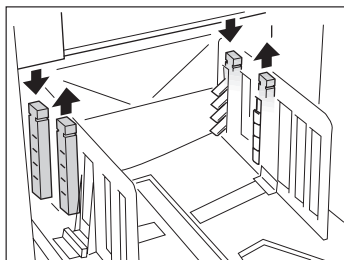
印刷部分が片寄っている場合:

塗りつぶし面の多い側の紙揃えプレートノブを押し、紙揃えプレートを出します。



厚い用紙に印刷する場合:

本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出します。



オートフェンス排紙台の閉じかた

オートフェンス排紙台を閉じるときは、以下の手順で閉じてください。

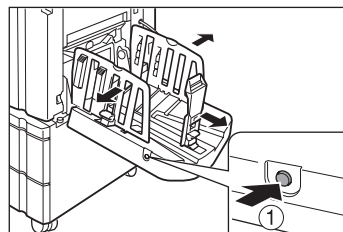
重要

印刷物が排紙台に残っている場合は、[排紙フェンスオープンボタン]を押して印刷物を取り出してから、下記の操作を行ってください。

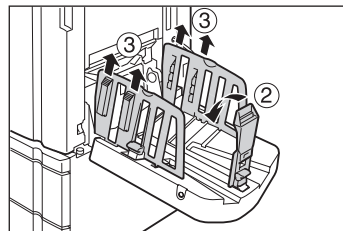
- 1 オートフェンス排紙台に印刷物がないことを確認し、[排紙フェンスオープンボタン]を押す。

「環境設定」の「排紙フェンス取出位置」で指定されているフェンス(初期設定ではサイドフェンス)が広がり、印刷物を取り出せます。

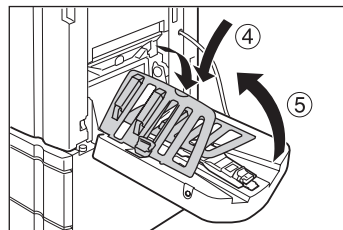
取り出し位置は、「初期設定を変更する [環境設定] / 排紙フェンス取出位置※」(P.165)で変更できます。



- 2 ストッパーを内側に倒す
- 3 紙揃えプレートをたたむ



- 4 排紙フェンスを内側に倒す

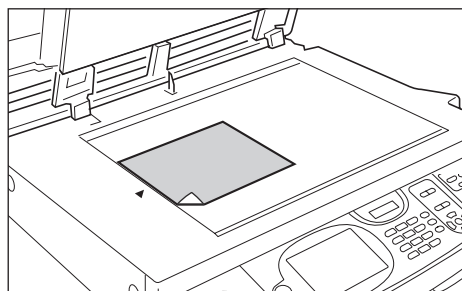


- 5 排紙台を閉じる

原稿をセットする

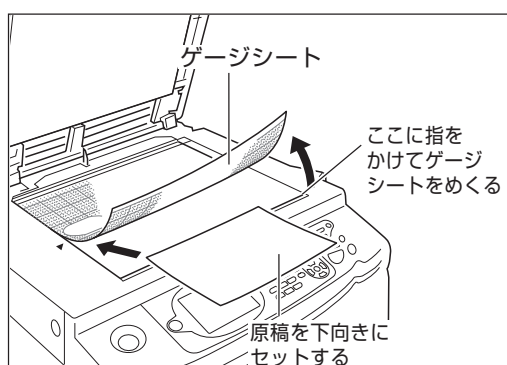
原稿台ガラスにセットする

原稿台ガラスに、原稿をセンター合わせで下向きにセットし、原稿台カバーを閉めてください。
雑誌や本、切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセットしてください。



参考

ゲージシートが装着されている場合は、その下に原稿をセットしてください。



自動原稿送り装置(オプション)にセットする

複数枚の原稿を連続してプリントするときは、自動原稿送り装置を使用します。

原稿をセットするときは、原稿セットフェンスを原稿の幅に合わせ、先端を自動原稿送り装置の奥に当たるまで差し込みます。

重要

- 原稿サイズが自動原稿送り装置にセットできる原稿サイズより小さいサイズのときは、原稿台ガラスにセットしてください。

- 自動原稿送り装置には不適切な原稿を使用したり、サイズの異なる原稿を混ぜてセットしたりしないでください。

紙詰まりや故障の原因になります。

☛ P.18「自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合」

- 自動原稿送り装置に原稿をセットすると「連続」※が「ON」になります。「連続」を「OFF」にする場合は<連続>キーを押してランプを消してください。

※ 「環境設定」で自動原稿送り装置装備時の「連続」の設定を変更することができます。

☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / OP 連続自動設定※」

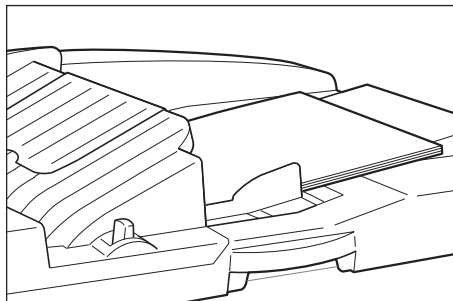
参考

- 自動原稿送り装置には、一度に約 50 枚までの原稿をセットできます(80g/m²(69kg 連量:四六判)の原稿使用時)。

- 「AF オート製版」を設定すると試し刷りで製版状態を確認できます。

☛ P.151「試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]」

■ 自動原稿送り装置 AF-VI にセットする場合

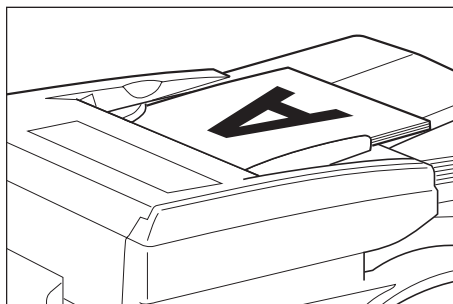


原稿を下向きにセットします。



セットできる原稿サイズは 100mm × 148mm 以上です。

■ RISO オートフィーダーDX-1 にセットする場合



原稿を上向きにセットします。原稿を読み取る面を指定できます。設定の詳細については、P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]」を参照してください。

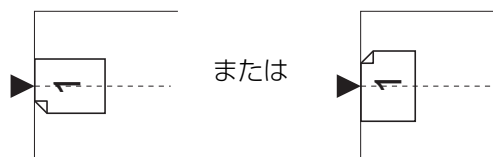


セットできる原稿サイズは 105mm × 128mm 以上です。

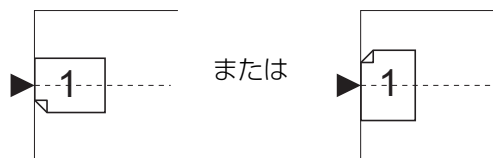
原稿セット方向(記載の向き)

原稿のセット方向は、連写や N アップ機能を使うときに設定した面数によりきまっています。この方向に原稿をセットしたときに、原稿の記載がタッチパネル側から見てどの向きになるかで設定します。

左向き



読める向き



紙原稿をプリントする

ここでは、原稿を読み取って、本機でプリントする操作手順を説明します。

参考

連携機 Prioα(別売)を接続して「自動振分」機能をお使いになる場合は、P.44 をご覧ください。

1 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

参考

- ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
☞ P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」
- <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押してスリープを解除してください。

2 排紙台を確認する

使用する用紙サイズに合わせて、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☞ P.36「排紙台のセット」

オートフェンス排紙台(オプション)を装備の場合は、この手順は不要です。

3 ディスプレイを確認する

■ 認証画面が表示されている場合

表示されている画面に従って、認証操作を行ってください。認証操作の詳細については、☞ P.45「認証画面での操作について」を参照してください。

認証されると、初期画面が表示されます。

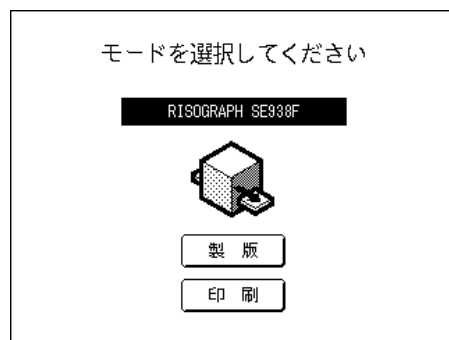
■ 初期画面が表示されている場合

手順 4 へ進みます。

初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。

■ モード選択画面が表示されている場合

<製版ボタン>にタッチして製版基本画面に切り替えてください。



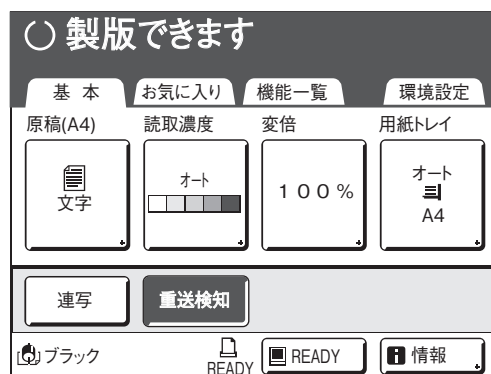
参考

- SE938F/638Fの場合、[用紙トレイ]ボタンにタッチして、トレイを選択することができます。
- ステータスエリアに「展開中」と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP基本画面が表示されているときは、<製版>キーを押して製版基本画面に切り替えてください。

4 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。原稿のセットについては、☞ P.40「原稿をセットする」をご覧ください。

5 各種プリント機能の設定を行う



必要に応じて各種機能を設定してください。製版基本画面が表示されていないときは<製版>キーを押してください。

参考

ここでは以下の設定が可能です。

- 連続 (P.65)
- 原稿モード (P.56)
- 読取濃度 (P.57)
- 変倍 (P.58)
- 用紙トレイ、用紙サイズ (P.62、63)
- プログラム (P.129)
- メモリー (P.137)
- 網点 (P.66)
- コントラスト強調 (P.67)
- トーンカーブ選択 (P.68)
- 省インク (P.69)
- かんたん連写、連写 (P.70)
- N アップ (P.79)
- ブックモード (P.82)
- レイアウト原稿 (P.85)
- とじしろ (P.87)
- プレビュー表示 (P.91)
- 仕分けモード (P.103)
(SE938F/638F のみ)
- 重送検知 (P.101)
- インターバル印刷 (P.102)
- 排紙ウィング特殊 (P.104)
- 排紙フェイス調整※¹ (P.106)
- 特殊用紙設定 (P.108)
- AF 読取面付指定※² (P.153)
- フルサイズ製版 (P.89)
- AF オート製版※³ (P.151)
- アイドリング (P.145)
- 再製版、オート再製版 (P.146)
- オーバーレイ※⁶ (P.195)
- テープ仕分け※⁴
- 自動振り分け※⁵
- 逆順印刷 (P.149)
- ホールド※⁶ (P.191)

※¹ オート排紙台(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

※² RISO オートフィーダー-DX-1(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

※³ 自動原稿送り装置(オプション)をご使用の場合、設定できます。

※⁴ ST ソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

※⁵ 連携機 PrioA(別売)を接続してご使用の場合、設定できます。

※⁶ メモリーカード(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

参考

連携機 PrioA(別売)を接続してお使いの場合は、印刷枚数に応じて出力先を切り替えることができます。● P.44「連携機 PrioA(別売)を接続してお使いの場合」

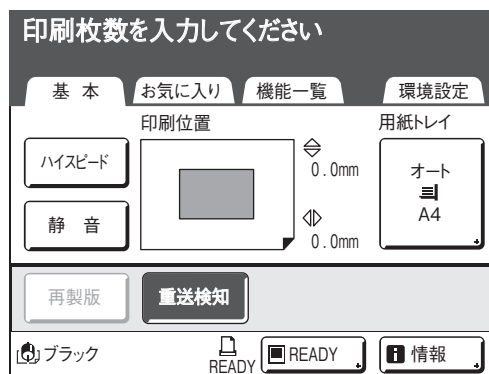
6 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると製版が行われ、試し刷りが1枚出てきます。

参考

「連続」を設定している場合、手順が異なります。
● P.65「続けてプリントする[連続]」

7 試し刷りを確認する



試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画面が表示されます。

仕上がりの印刷位置や濃度などを確認してください。

印刷位置や濃度は変更できます。

- 印刷位置 (● P.98)
- 印刷濃度 (● P.97)
- インターバル印刷 (● P.102)
- 排紙ウィング特殊 (● P.104)

調節(調整)後は<試し刷り>キーを押して、試し刷りを確認してください。

重要

長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。

<試し刷り>キーを押して、何枚か試し刷りをしてください。

参考

印刷位置や濃度、速度は、印刷中にも調節(調整)できます。

8 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

紙原稿をプリントする

9 <スタート>キーを押す

入力した枚数が印刷されます。

参考

- 印刷を途中で停止させたいときは、<ストップ>キーを押してください。
- オートフェンス排紙台(オプション)を装着している場合は、印刷中でも排紙フェンスの位置を調整できます。[排紙フェンスオープンボタン]を1回押すごとに、排紙フェンスが約1mm外側に移動します。
- パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。
 ● P.144「割り込み印刷を防止する [占有延長]」
- 現在の設定をメモリーに登録しておく、<リセット>キーを押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。
 ● P.137「メモリー機能を使う [メモリー]」

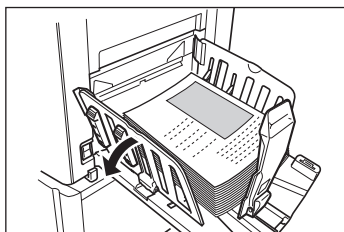
10 印刷終了後<リセット>キーを押す

設定を初期値に戻します。

参考

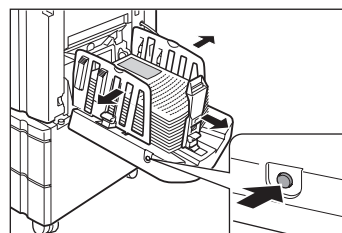
- 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを破棄することができます。
 ● P.143「機密書類の複製を防止する [機密]」

11 用紙を取り出す



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

オートフェンス排紙台(オプション)から用紙を取り出すときは、[排紙フェンスオープンボタン]を押します。



オートアイドリングについて

「オートアイドリング」を「有効」に設定していると、製版する前にアイドリング動作を行う場合があります。

工場出荷時には、前回の使用から12時間以上経過すると、次の製版時に自動でアイドリングを行うように設定してあります(オートアイドリング)。

「環境設定」で「オートアイドリング」の「有効/無効」や、実行までの時間などを変更できます。

● P.165「初期設定を変更する [環境設定] / オートアイドリング」

製版前、任意のタイミングでアイドリングを行うことも可能です。

● P.145「アイドリングをする [アイドリング]」

連携機 Prioα(別売)を接続してお使いの場合

印刷枚数に応じて出力先を切り替える「自動振り分け」機能が働きます。

(出荷時は20枚以上は本機から、19枚以下は連携機 Prioα(別売)から出力されるよう設定されています。)

ただし、以下の機能を設定した場合は、印刷枚数に関係なく、本機でプリントされます。

- かんたん連写
- 省インク
- N アップ
- 連写
- プログラム
- AF 読取面指定 (ウラ面→片面)

重要

必ず印刷枚数を入力してから、<スタート>キーを押してください。

枚数により出力先を切り替えて、プリントを行います。

印刷枚数が0の状態でも<スタート>キーを押したときは、本機での製版スタートとなります。

参考

出力先を切り替える「自動振分枚数」は、「環境設定」で変更できます。

● P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 自動振分枚数」

認証画面での操作について

管理者によって認証機能が設定されていると、本機の操作時に認証を求められる場合があります。認証画面では、設定されている認証方式(暗証番号または USB メモリ)に従って、認証操作を行ってください。認証されると、初期画面が表示されます。

重要

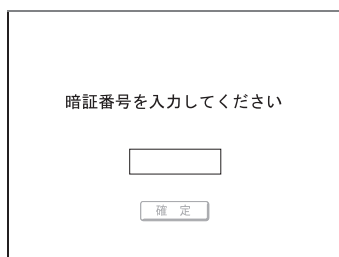
操作を終了したら<ウェイクアップ>キーを押して、認証を解除(ログアウト)してください。(解除を忘れた場合は、オートクリアと同時に認証も解除されます。☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / オートクリア設定」) 認証されていない第三者による使用を防ぐために、使用後は認証状態を解除しておくことをおすすめします。

参考

認証用の「暗証番号」や「USB メモリ」については、管理者に確認してください。

■ 暗証番号入力画面が表示された場合

テンキーで暗証番号を入力し、<確定ボタン>にタッチします。

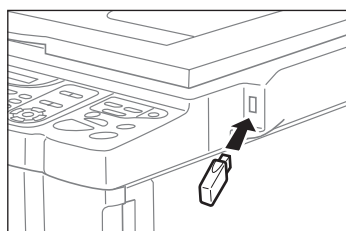
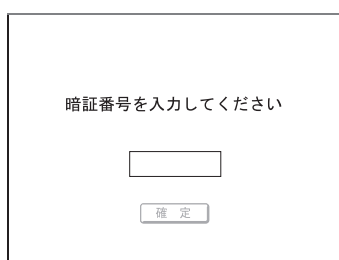


参考

誤った暗証番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。正しい暗証番号を入力しなおしてください。

■ USB メモリ挿入画面が表示された場合

USB スロットに、認証用として登録されている USB メモリを挿入します。



参考

「USB メモリ」での認証画面で、認証用として登録されていない USB メモリや、本機で使用できない USB メモリを挿入すると、エラーメッセージが表示されます。登録済みの認証用 USB メモリを挿入してください。

パソコンデータをプリントする

[ダイレクトプリント][USB メモリ]

パソコンで作成した原稿データを、本機に直接送信してプリントすることができます。
原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。

パソコンと本機がケーブルで接続されていない場合でも、「USB メモリ」を使用することで、本機に直接データを持っていくことができます。

参考

- プリントする前に、パソコンに専用のプリンタドライバをインストールしてください。
- パソコン画面での印刷の設定については、ここでは基本的な設定のみ説明しています。
- インストール方法、原稿データの送信方法および各種設定については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

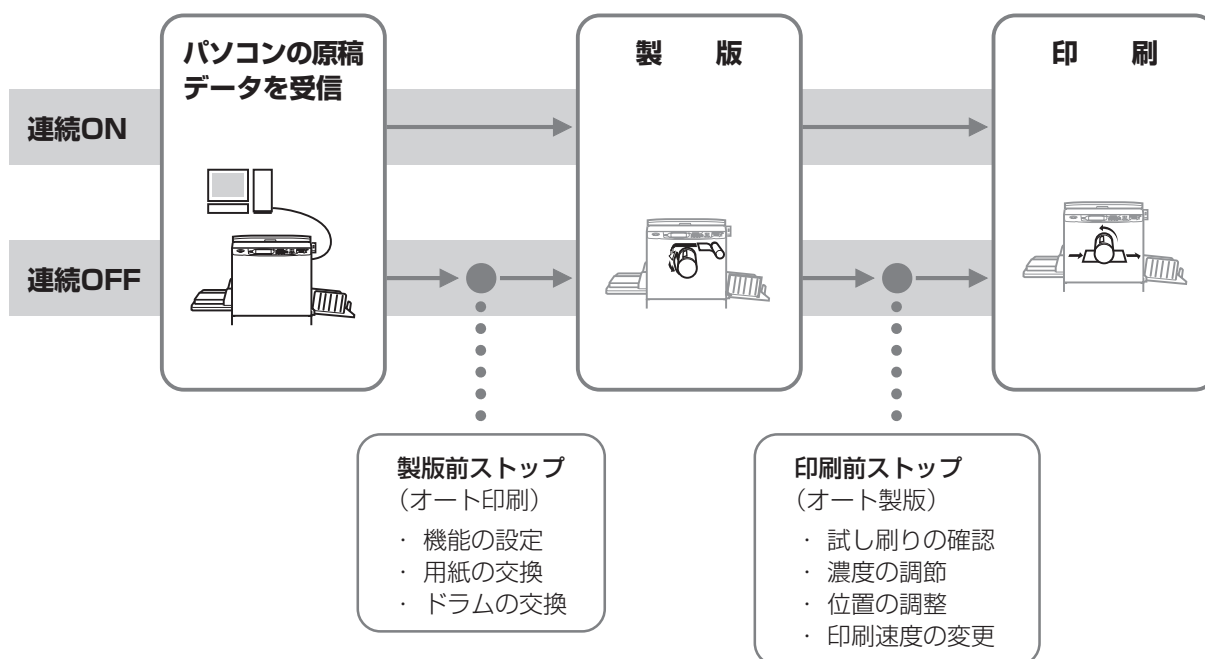
連続と停止について

パソコンデータの受信から製版、印刷までの工程を連続で行うことを、「連続」といいます。

プリンタドライバのメイン画面で「連続モード」を「ON」に設定すると、「連続モード」でプリントを行います。（試し刷りの確認はできません。）

製版／印刷の工程で機能の設定や用紙の交換などが必要なときに、一度作業を停止させたいときは、「連続モード」を「OFF」（停止）にしてください。
停止タイミングは3種から選択できます。

連続モード	ON
	OFF-製版前ストップ(オート印刷)
	OFF-印刷前ストップ(オート製版)
	OFF-製版前、印刷前ストップ



参考

- プリントの停止タイミングは本機のディスプレイなどからも設定を変更できます。
☞ P.54「本機での停止タイミングの変更」

パソコンから指示をしてプリントする (ダイレクトプリント)

パソコンと印刷機が、ケーブルで接続されている環境が必要です。

参考 管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.45「認証画面での操作について」を参照してください。

1 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

- 参考**
- ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
● P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」
 - <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。本機がスリープ状態でもパソコンから原稿データが送信されると、本機は自動的にウェイクアップし、原稿データが処理されます。

2 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

- 参考**
- 給紙台を使用する場合は、使用する用紙がセットされていることを確認します。
用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。
● P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」
用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。
● P.36「排紙台のセット」
 - RISO Network Card(オプション)をご使用の場合、本機の間所まで行かなくても、パソコンから本機の状態(電源 ON/OFF、用紙の設定など)をモニタで確認することができます。

3 パソコンの画面で印刷条件を設定する

通常のプリンタドライバを使用します。

■ 印刷ダイアログボックスの例

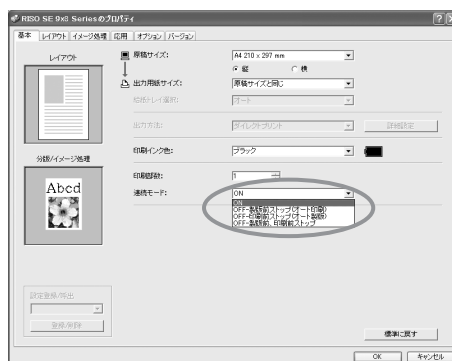


印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。



重要 印刷ダイアログボックスの「☐部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



連続モードなどの印刷条件を変更する場合は、「プロパティ」をクリックします。詳しくは、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

4 印刷ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックする



パソコンから原稿データが送信されます。
本機がデータを受信するとプリンタドライバ
の設定内容で、自動的にプリントを開始しま
す。

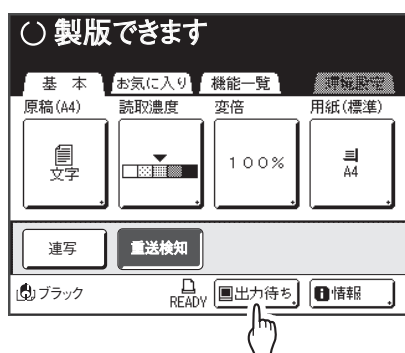
連続モード [ON] でプリントする時は、手順 6
に進んでください。

5 操作パネルでプリント指示をする

手順 4 でプリンタドライバの「連続モード」を「ON」に設定後、送信した場合は、ディスプレイに表示されている画面や操作手順が異なります。

■「製版前ストップ」で指示

① <出力待ちボタン>にタッチする



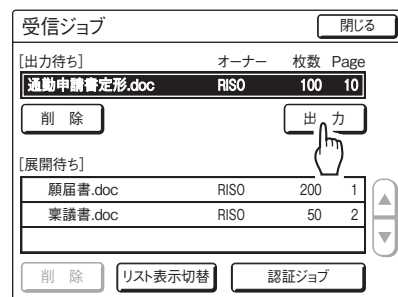
「受信ジョブ」画面が表示されます。

参考

ご使用方法や環境設定の内容によっては、手順2の受信ジョブ画面で本機が停止していることがあります。その場合は、＜スタート＞キーを押してください。

👉 P.49「受信ジョブ画面について」

② <出力ボタン>にタッチする



認証プリントを行う場合は、＜認証ジョブボタン＞にタッチしてください。

☞ P.49「認証プリントについて」

③<スタート>キーを押す

製版後、引き続き印刷を開始します。

■「印刷前ストップ」で指示

データを受信して製版し、試し刷りを出して停止しています。

① 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する

② <スタート>キーを押す

印刷を開始します。

■「製版前・印刷前ストップ」で指示

①「製版前ストップでのプリント」の手順 1 ～ 3 を行う

製版して試し刷りを出して停止します。

② 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する

③ <スタート>キーを押す

印刷を開始します。

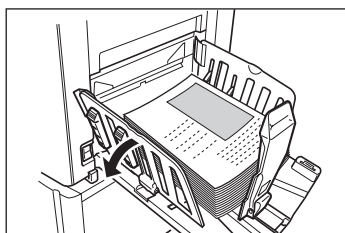
参考

- 原稿データが複数ページあるときは、ページごとに同じ手順をくりかえしてください。
- テンキーで印刷枚数を入力すると、プリンタドライバで設定した印刷枚数は無効になります。
- 認証プリントの場合は、認証後、指定された連続モードでプリントを開始します。
- 製版／印刷動作中に手動でプリントを停止させたいときは、**<ストップ>**キーを押してください。製版処理中では製版終了後に、印刷処理中では印刷を中止し、動作を停止します。
再開するときは**<スタート>**キーを押してください。
- 印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際

に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合は、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

☛ P.144「割り込み印刷を防止する[占有延長]」

6 用紙を取り出す



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

参考

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを破棄することができます。

☛ P.143「機密書類の複製を防止する[機密]」

受信ジョブ画面について

受信ジョブ				閉じる
[出力待ち]		オーナー	枚数	Page
通勤申請書定形.doc		RISO	100	10
削除		出力		
[展開待ち]				
願届書.doc		RISO	200	1
稟議書.doc		RISO	50	2
削除		リスト表示切替	認証ジョブ	

データ受信後、基本画面で「出力待ちボタン」にタッチすると[受信ジョブ]画面が開き、現在受信しているジョブが確認できます。[受信ジョブ]画面では、出力待ちジョブの出力や、[出力待ち/展開中/展開待ち]のジョブの削除をすることができます。

認証プリントについて

プリンタドライバから「認証プリント」として送られたデータは、[認証ジョブ]画面から呼び出してプリントします。＜認証ジョブボタン＞にタッチすると認証画面が表示されるので、画面の指示に従って認証操作を行ってください。

認証画面の表示タイミングは、管理者が設定した認証設定により異なります。

☛ P.117「■ 認証方式」

認証ジョブ				閉じる
[出力待ち]		オーナー	枚数	Page
削除		出力		
[展開待ち]				
⌘	稟議書.doc	RISO	200	1
⌘	契約書.doc	RISO	50	2
削除		リスト表示切替		

参考

プリンタドライバで「認証プリント」を設定するには、「ユーザー登録番号(認証登録番号)」(1桁または2桁)が必要です。暗証番号または認証用として登録済みの USB メモリ、ユーザー登録番号は、管理者に確認してください。

パソコンデータをプリントする【ダイレクトプリント】[USB メモリ]

USB メモリからプリントする(USB メモリ)

パソコンと印刷機がケーブルで接続されていない環境でも、USBメモリを通して原稿データのプリントができます。

パソコンと印刷機が違う部屋に設置されている環境や、外出先の SE シリーズで印刷したい場合などに便利です。

参考

管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.49「受信ジョブ画面について」を参照してください。

1 USB メモリをパソコンに接続する

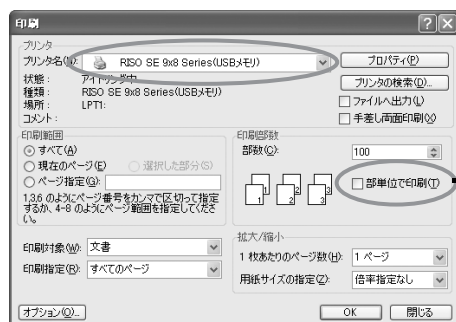
参考

認証方式で、「USBメモリ」を設定している場合は、データ出力時にも、認証用に使っている USB メモリを使用すると便利です。

2 パソコンの画面で印刷条件を設定する

USBメモリ用のプリンタドライバを使用します。印刷条件を変更する場合は、[プロパティ]をクリックします。詳しくは、「リソースプリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

■ 印刷ダイアログボックスの例

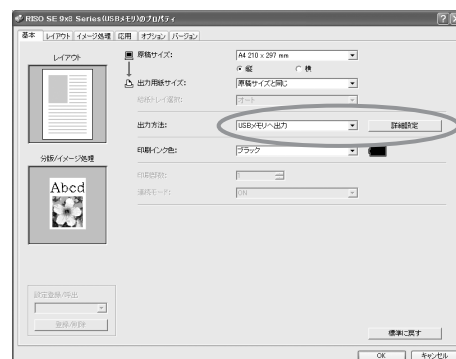


印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。

重要

印刷ダイアログボックスの「☐部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



出力方法を選択します。

3 印刷ダイアログボックスの[OK]をクリックする

パソコンで作成したデータがUSBメモリに保存されます。

4 本機の電源が「ON」であることを確認する

操作パネルを見て確認します。

参考

- ディスプレイも<ウェイクアップ>キーも消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
- <ウェイクアップ>キーが点灯しているときは、本機がスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押してスリープを解除してください。

5 印刷用紙を確認する

使用する用紙がセットされていることを確認します。

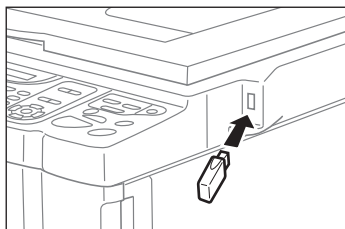
用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

☞ P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☞ P.36「排紙台のセット」

6 プリントする原稿データが保存されている USB メモリを USB スロットに挿入する



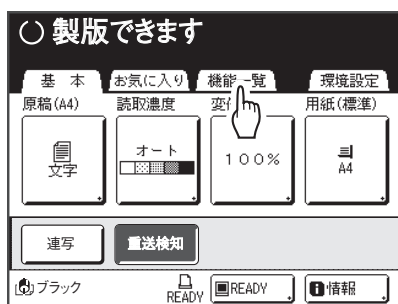
データを処理している間は、USB メモリを取り出さないでください。データの消失や USB メモリの故障の原因になります。

参考

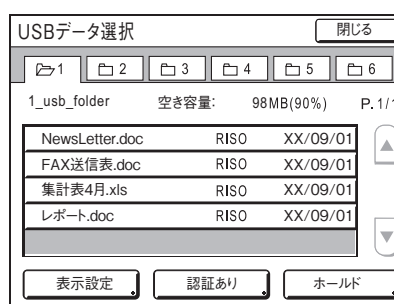
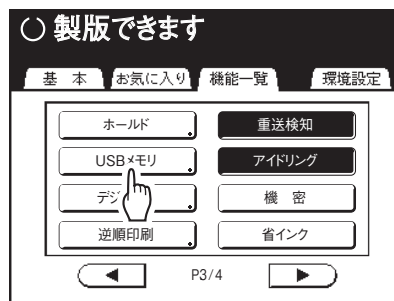
プリンタドライバの出力方法(メインタブ)で「USB メモリ出力(自動製版)」に設定した場合は、USB メモリを挿入すると、連続モードの設定内容で製版・印刷を開始します。

設定方法については、「リソースプリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

7 製版基本画面で[機能一覧]タブにタッチする



8 < USB メモリボタン > にタッチする



[USBデータ選択] 画面(認証なし)が表示されます。

9 プリントする USB メモリデータにタッチする

[USB データ呼出] 画面が表示されます。

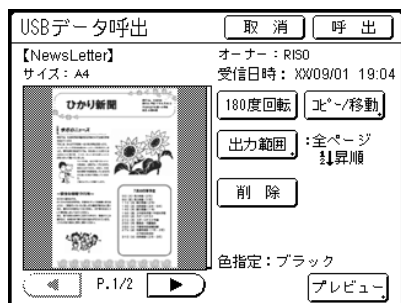
別のフォルダに保存されているデータを選ぶ場合は、<取消ボタン>にタッチしてからフォルダのタブにタッチします。

参考

- 認証設定されているデータを呼び出す場合は、<認証ありボタン>にタッチします。
- 認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、<認証ありボタン>は表示されません。
- USBメモリデータが画面に表示しきれない場合は、<▲ボタン> <▼ボタン>にタッチして表示させてください。

パソコンデータをプリントする【ダイレクトプリント】[USB メモリ]

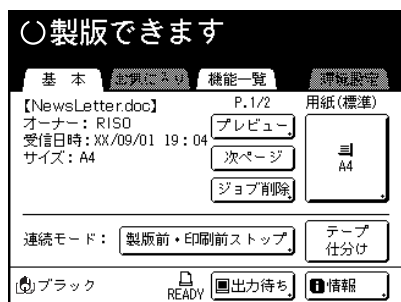
- 10** 呼び出す USB メモリデータを確認する
サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



[USB データ呼出] 画面では、USB メモリデータの確認や出力設定を行うことができます。操作については、P.194「[ホールドデータ呼出] 画面/[USBデータ呼出] 画面の使いかた」を参照してください。

- 11** <呼出ボタン>にタッチする

USBメモリデータが呼び出され、保存データ用の製版基本画面が表示されます。



参考 製版基本画面で、出力指示を変更したり、停止タイミングの変更ができます。詳しくは、P.52「出力指示の変更」、P.54「本機での停止タイミングの変更」を参照してください。

- 12** テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

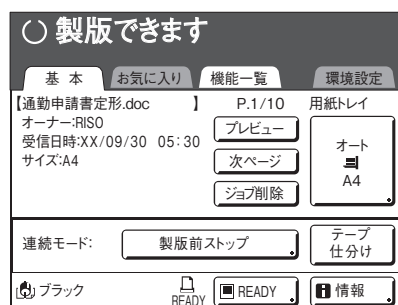
- 13** <スタート>キーを押す

データがプリントされます。

以降は、通常の製版・印刷工程と同様の操作を行ってください。

出力指示の変更

製版／印刷基本画面で出力指示を変更することができます。



[プレビュー] 現在製版待ちのページの製版イメージを確認できます。

参考 「プレビュー表示」では、受信した原稿全体を製版イメージとして表示しますが、実際の印刷では、プリントエリア以外の部分は印刷できません。

[次ページ] 現在指示待ちのページの処理をキャンセルし、次のページの処理を開始します。受信した原稿データに不要なページがあり、そのページの処理をキャンセルするときに使用します。

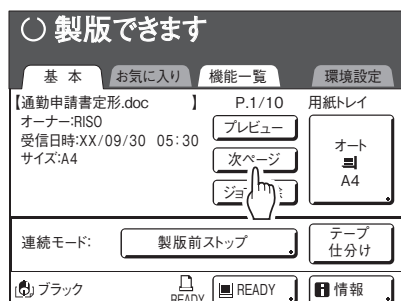
[ジョブ削除] 現在指示待ちの原稿データを全体を削除します。まちがって送信した原稿データや、指示待ちで止まってしまっている原稿データを削除するときに使用します。

重要

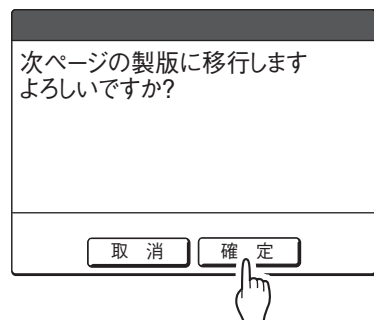
- ・製版／印刷動作中には、<次ページボタン>や<ジョブ削除ボタン>は選択できません。製版／印刷動作中に指示を変更するときは、<ストップ>キーを押してください。
(製版処理中は製版終了後に動作を停止します。印刷処理中は印刷を中止し、動作を停止します。)
- ・指示待ち(製版できます／印刷できます)画面の状態、<リセット>キーまたは<モード>キーを押すと、そのジョブは削除されます。

＜次ページボタン＞の指示

1 ＜次ページボタン＞にタッチする



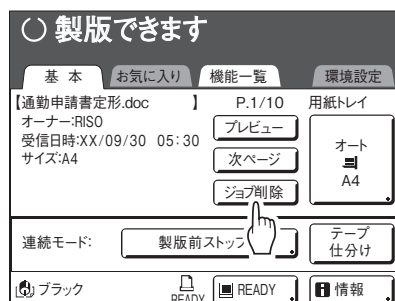
2 ＜確定ボタン＞にタッチする



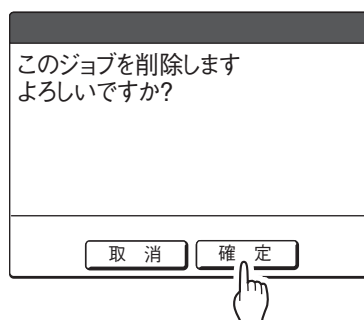
現在のページの処理を中止し、次のページの処理を行います。

＜ジョブ削除ボタン＞の指示

1 ＜ジョブ削除ボタン＞にタッチする



2 ＜確定ボタン＞にタッチする



現在の原稿データを削除します。
処理待ちの原稿データがあるときは、処理を開始します。

パソコンデータをプリントする【ダイレクトプリント】[USB メモリ]

本機での停止タイミングの変更

プリントの停止タイミングは、プリンタドライバでの設定が常に優先されます。

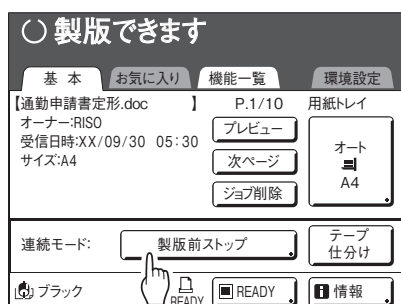
ただし、各停止中には本機で設定を変更できます。

参考

プリンタドライバで「連続モード」を「ON」に設定しているときは、<ストップ>キーを押して動作を停止させてから設定してください。

1

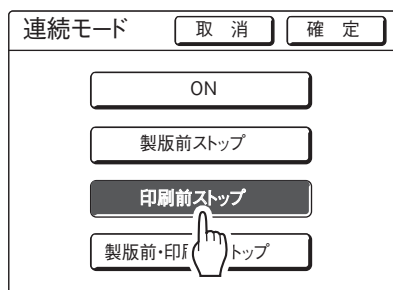
【連続モード】ボタンにタッチする



【連続モード】画面が表示されます。

2

設定する項目にタッチする



【ON】 製版から印刷まで連続して行います。

【製版前ストップ】

..... データ受信後、製版する前に停止します。

【印刷前ストップ】

..... 製版後、試し刷りを1枚印刷した状態で停止します。

【製版前・印刷前ストップ】

..... 製版前、印刷前両方とも停止します。

参考

各停止タイミング後の操作については、P.48 を参照してください。

3

<確定ボタン>にタッチする

基本画面に戻り、指定した「連続モード」に設定されます。

製版するときに設定する機能

- 56 原稿に適したモードを選択する [原稿モード]
- 57 原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]
- 58 原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]
- 62 マニュアルで用紙トレイを選択する [用紙トレイ]
- 63 不定形用紙に印刷する [用紙サイズ]
- 65 続けてプリントする [連続]
- 66 写真に網点をかける [網点]
- 67 写真の明暗を調節する [コントラスト強調]
- 68 写真の階調を調節する [トーンカーブ選択]
- 69 インクを節約する [省インク]
- 70 1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]
- 79 1 枚の用紙に連続した原稿を割り付ける [N アップ]
- 82 雑誌や本をプリントする [ブックモード]
- 85 原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿]
- 87 製版の左右位置を調整する [とじしろ]
- 89 フルサイズで製版する [フルサイズ製版]
- 90 原稿を 180 度回転して製版する [180 度回転]
- 91 製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]

原稿に適したモードを選択する

【原稿モード】

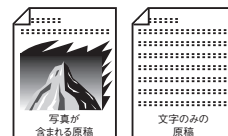
製版

基本
原稿モード

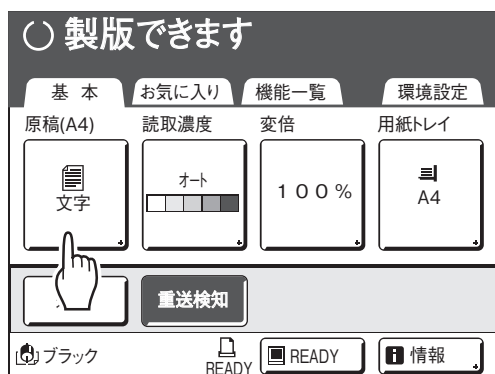
文字のみ、または写真を含むものなど、モードを選択することで各種の原稿に適した製版ができます。

参考

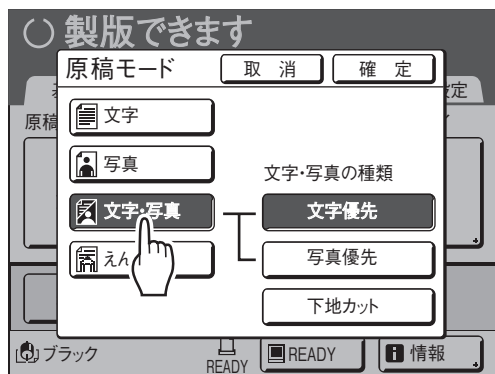
「環境設定」で「原稿モード」の初期設定を変更できます。
P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 原稿モード基本設定」



1 製版基本画面で【原稿】ボタンにタッチする



2 原稿の種類に適したモードを選択する



[文字] ワープロ、新聞などの文字原稿
[写真] 写真原稿
[文字・写真] 文字と写真が混在している原稿
[えんぴつ] えんぴつ書きなどの薄い原稿

<写真ボタン>、<文字・写真ボタン>、<えんぴつボタン>にタッチした場合は、さらに詳細設定をします。

原稿モード (詳細設定)	意 味
写真	
標準	[顔写真]や[集合写真]以外の写真の場合に選択します。
顔写真	1人または2人のおおむね胸から上を写す写真向きの設定です。特に顔がきれいに印刷できるように画像処理します。
集合写真	照明をあてて撮影した集合写真向きの設定です。顔の目鼻が飛ばないように画像処理するため、フラッシュによって白飛びしている顔にも効果があります。ただし、顔が暗い集合写真には向きません。顔の暗い写真の場合は、[標準]にした方が効果的な場合もあります。
文字・写真	
文字優先	細かい文字を鮮明に印刷したい場合に選択します。
写真優先	写真をより鮮明に(明るく)印刷したい場合に選択します。
下地カット	下地色のある原稿の下地を消去します。[下地カット]は、[文字優先] [写真優先]とは別に選択できます。
えんぴつ	
こいめ	薄い原稿をはっきり印刷したい場合に選択します。
うすめ	切り貼りのあるえんぴつ原稿で、切り貼りの影が出てしまう場合などに選択します。

3 <確定ボタン>にタッチする

指定した「原稿モード」に設定され、製版基本画面に戻ります。

参考

• 選択する「原稿モード」により、設定できない機能があります。

	文字	写真	文字・写真	えんぴつ
網点	×	○	○	×
読取濃度(オート)	○	×	×	×
読取濃度(1~5)	○	○	○	○
コントラスト強調	×	○	×	×
トーンカーブ選択	×	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可

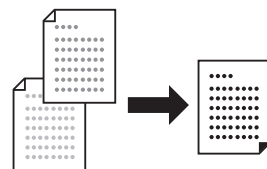
原稿の読取濃度を選択する

【読取濃度】

製版

基本
読取濃度

原稿の地色や文字の濃淡などに合わせて、原稿の読取濃度を調節できます。
オートまたは、濃度(5段階)を選択します。
オートでは、原稿の地色に合わせて、自動的に「読取濃度」を設定してプリントします。



重要

＜オートボタン＞は「原稿モード」で「文字」を選択しているときのみ設定できます。

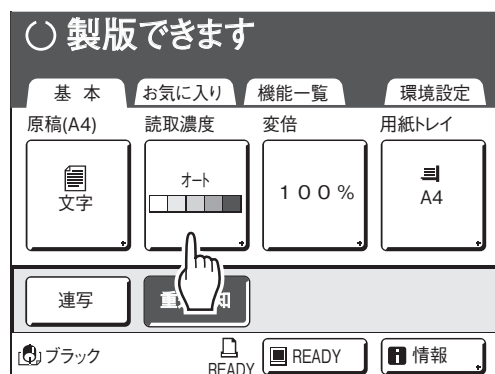
☛ P.56「原稿に適したモードを選択する【原稿モード】」

参考

「環境設定」で「読取濃度」の初期設定を変更できます。

☛ P.161「初期設定を変更する【環境設定】／読取濃度基本設定」

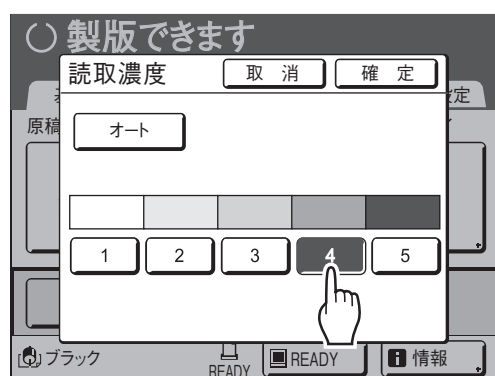
1 製版基本画面で【読取濃度】ボタンにタッチする



3 ＜確定ボタン＞にタッチする

指定した【読取濃度】に設定され、製版基本画面に戻ります。

2 設定する濃度のボタンまたは＜オートボタン＞にタッチする



番号と読取濃度の関係

- | | | |
|---|--|-----------|
| 1 | | 薄い |
| 2 | | やや薄い |
| 3 | | 標準 |
| 4 | | やや濃い |
| 5 | | 濃い |

原稿を拡大／縮小する

[固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]

製版

基本
変倍

原稿を拡大または縮小してプリントできます。
拡大／縮小の方法には、以下の種類があります。



■ 固定変倍

A4 や B5 などの定形サイズの前稿を、他の定形サイズの印刷用紙に拡大／縮小してプリントできます。

■ オート

セットされている用紙に合わせた倍率に自動的に設定します。

■ 周囲余白

原稿全体を少し縮小してプリントできます。印刷物にとじしろをつけたいときや、プリントエリアの外まで文字や図などがある原稿をプリントするとき使用します。

☛ P.16「プリントエリア(製版可能範囲)について」

「環境設定」で縮小率を 90%～ 99%の間で変更することができます。

☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 周囲余白縮小率」

■ 独立変倍

原稿の天地(上下)と左右を、任意の変倍率で別々に拡大または縮小してプリントします。
変倍率は、50%～ 200% までの間で、1% きざみで指定できます。

■ ズーム変倍

任意の変倍率で拡大／縮小してプリントできます。
変倍率は 50%～ 200%までの間で、1%きざみで指定できます。

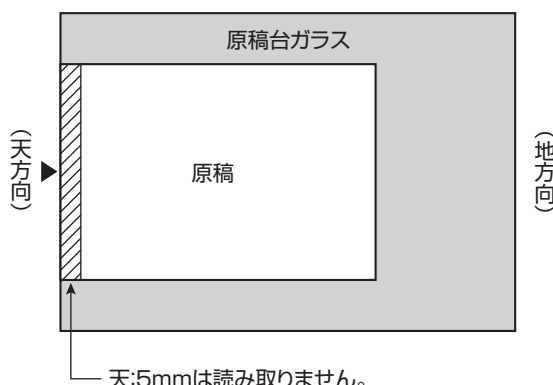
参考

- 本機では、印刷物の紙詰まり(舞い上がり)や、裏移りを未然に防ぐために、用紙サイズいっぱい印刷(縁なし印刷)できないしくみになっています。特に天方向は必ず 5mm の余白が必要です。

☛ P.16「プリントエリア(製版可能範囲)について」

原稿台ガラス(自動原稿送り装置も同様)の@@マーク側(天方向)5mm は、縮小・拡大にかかわらず読み取りません。

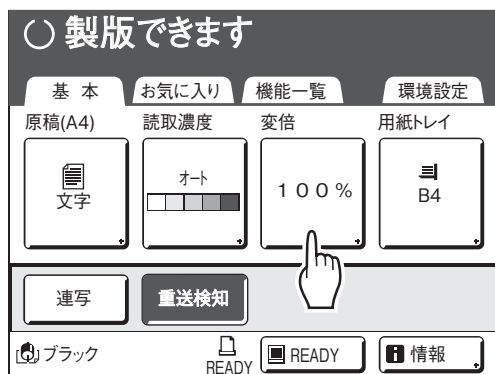
原稿セット位置



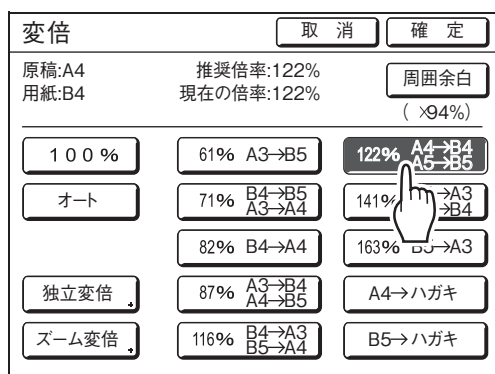
- 原稿の天方向 5mm に文字や画像がある場合、カットされた状態で印刷されますのでご注意ください。
この 5mm は「フルサイズ製版」機能を使用した場合も、余白として残ります。
☛ P.89「フルサイズで製版する [フルサイズ製版]」
- 天方向に余白のない原稿は、「周囲余白」を設定しても、天方向 5mm の部分の原稿はカットされてしまいます。
5mm 程度ずらしてセットしてから縮小してください。

固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍][周囲余白]

1 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



2 指定する倍率のボタンにタッチする



倍率を等倍に戻すときは「100%ボタン」にタッチしてください。

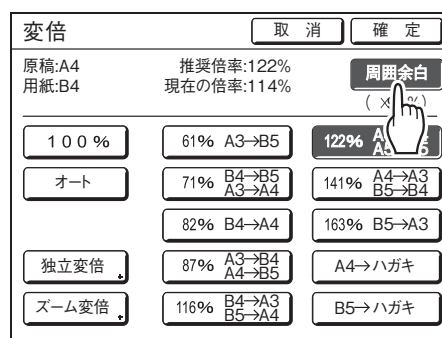
原稿に余白がない場合は、「周囲余白ボタン」にタッチしてください。

重要

- [A4 →ハガキ][B5 →ハガキ][オート][独立変倍][ズーム変倍]を選択しているときは、「周囲余白」は設定できません。
- 自動原稿送り装置(オプション)に、原稿をセットしているときは、「A4 →ハガキ」は選択できません。

参考

- 「固定変倍」と「周囲余白」は併用できます。その場合「現在の倍率」には固定変倍率×周囲余白縮小率が表示されます。
- 原稿サイズが検知できなかった場合は、「――」と表示されます。



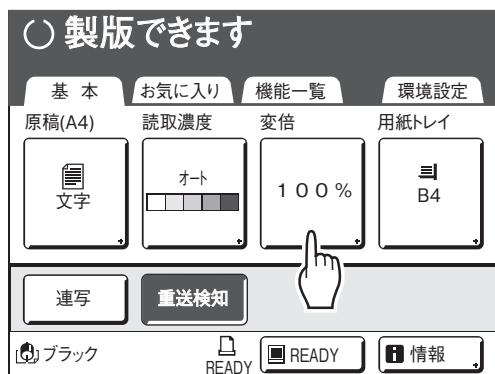
3 <確定ボタン>にタッチする

指定した倍率で設定され、製版基本画面に戻ります。

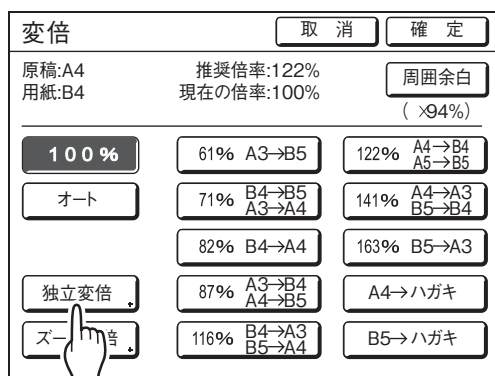
原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]

縦横比を変えた拡大／縮小 [独立変倍]

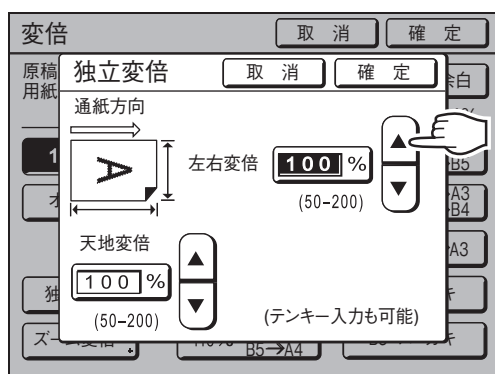
1 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



2 <独立変倍ボタン>にタッチする



3 <▲ボタン><▼ボタン>にタッチして天地または左右の倍率を指定する



倍率は、1% きざみで設定できます。

参考

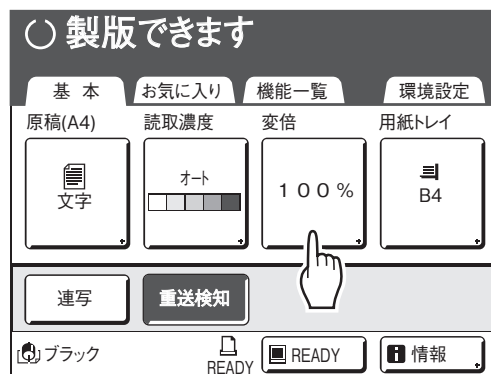
- テンキーでの入力もできます。
- < C > キーを押すと等倍(100%)に戻ります。

4 <確定ボタン>にタッチする

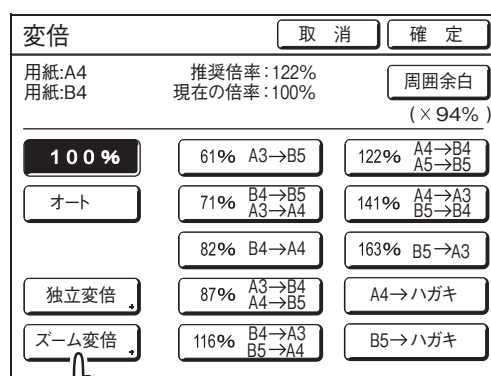
指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻ります。

ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍]

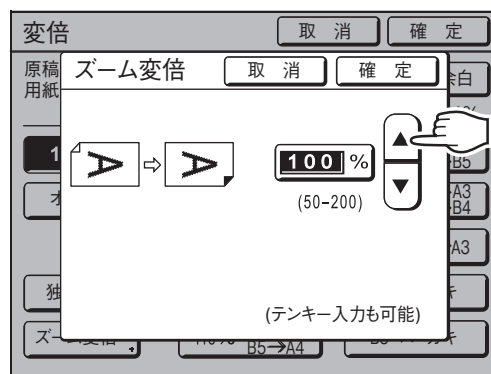
1 製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



2 <ズーム変倍ボタン>にタッチする



3 <▲ボタン><▼ボタン>にタッチして倍率を指定する



倍率が 1% きざみで増減します。

参考

- テンキーでの入力もできます。
- < C > キーを押すと等倍(100%)に戻ります。

4 <確定ボタン>にタッチする

指定した倍率に設定され、製版基本画面に戻ります。

マニュアルで用紙トレイを選択する

(SE938F/638F のみ)

[用紙トレイ]

製版

基本
用紙トレイ

給紙台またはトレイ 1・トレイ 2 にあらかじめ複数サイズの印刷用紙をセットしておくことで、印刷時に目的のサイズの印刷用紙を選択して使用できます。

オートまたは、給紙口(給紙台・トレイ 1・トレイ 2)を選択します。

■ オート

適合するサイズの用紙がセットされている給紙口を自動で検知して、選択します。

製版モードのときは、原稿のサイズと変倍率に適合するサイズの用紙がセットされている給紙口が選択されます。

印刷モードのときは、ドラムに装着されているマスターの製版サイズと等しいサイズの用紙がセットされている給紙口が選択されます。

■ マニュアル(給紙台／トレイ 1／トレイ 2)

使用する用紙がセットされている給紙口を任意で選択します。

重要

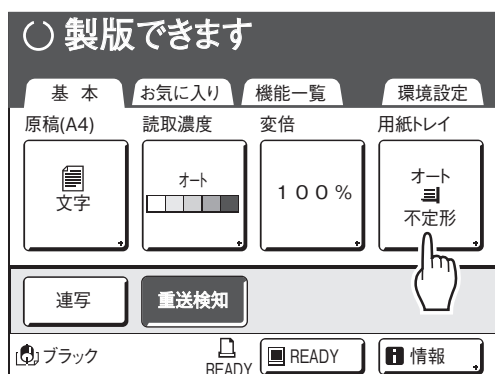
用紙トレイ選択を「オート」に設定した場合は、次の機能は使用できません。

- 連写
- オート変倍
- 「N アップ」および「とじしろ」の自動縮小設定

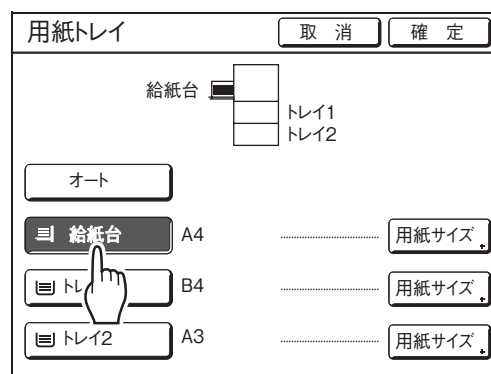
参考

- 「環境設定」の「給紙台オート選択」が「OFF」に設定されている場合、給紙台は「オート」の対象外となります。
- 不定形サイズの用紙がセットされている給紙口は、「オート」の対象外となります。
- 同じサイズの用紙が同じ向きでセットされている給紙口が複数ある場合、以下の順で選択されます。
- 給紙台 → トレイ 2 → トレイ 1

1 製版基本画面で[用紙トレイ]ボタンにタッチする



2 給紙台またはトレイ 1、トレイ 2 にタッチする



参考

起動直後や、<リセット>キーを押したときは、自動で「オート」が選択されます。

不定形用紙に印刷する

[用紙サイズ]

製版

基本
用紙サイズ

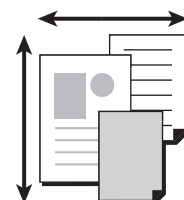
製版するときには設定する機能

給紙台や用紙トレイにセットした用紙が定形サイズの場合、自動でサイズを検知し、用紙に合わせた適正なサイズで製版を行います。不定形サイズの場合、自動でサイズ検知できないため、製版する前に印刷用紙のサイズを選択してください。



不定形サイズの用紙を使用するときは、あらかじめ「環境設定」で登録しておく必要があります。登録せずに不定形用紙を使用すると、製版が正しく行われず、原稿が欠けることがあります。

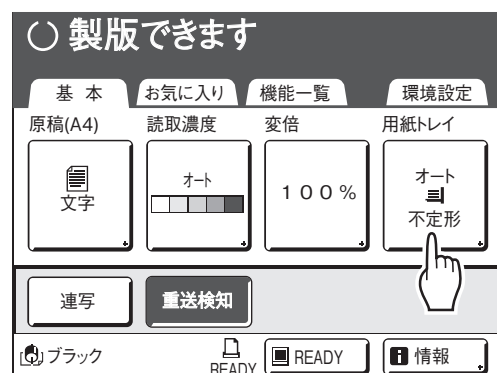
☞ P.175「不定形の用紙を登録する [用紙サイズ登録]」



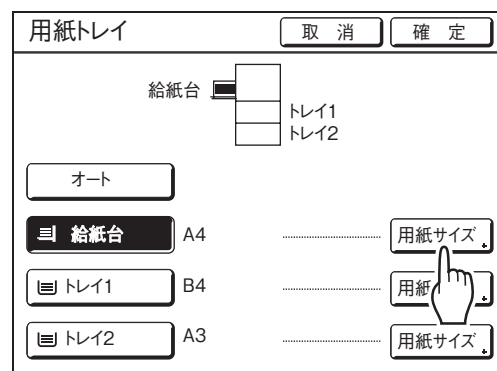
1 [用紙サイズ]画面を表示させる

■ SE938F/638F の場合

- 1 製版基本画面で[用紙トレイ]ボタンにタッチする

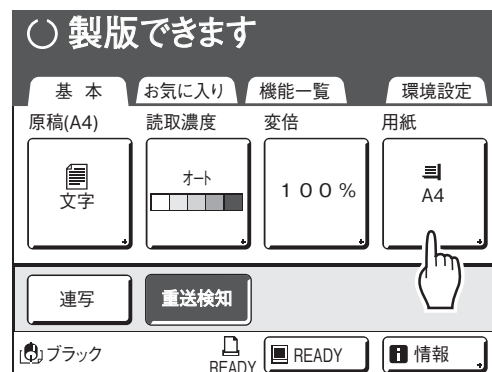


- 2 設定したい給紙口ボタンと、右にある<用紙サイズボタン>にタッチする

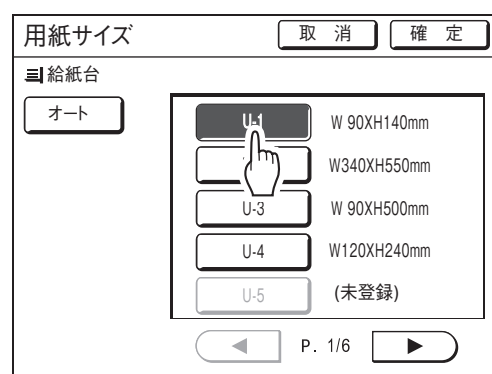


■ SE938/638/628 の場合

- 1 製版基本画面で[用紙]ボタンにタッチする



2 使用する用紙サイズのボタンにタッチする



参考

定形サイズの用紙を使用するときは、<オートボタン>にタッチしてください。

不定形用紙に印刷する【用紙サイズ】

3 <確定ボタン>にタッチする

用紙サイズ

給紙台

オート

U-1	W 90XH140mm
U-2	W340XH550mm
U-3	W 90XH500mm
U-4	W120XH240mm
U-5	(未登録)

P. 1/6

SE938F/638F の場合は、一つ前の画面に戻ります。手順 4 へ進んでください。

SE938/638/628 の場合は、用紙設定を終了し、製版基本画面に戻ります。

4 <確定ボタン>にタッチする

用紙設定を終了し、製版基本画面に戻ります。

続けてプリントする

【連続】



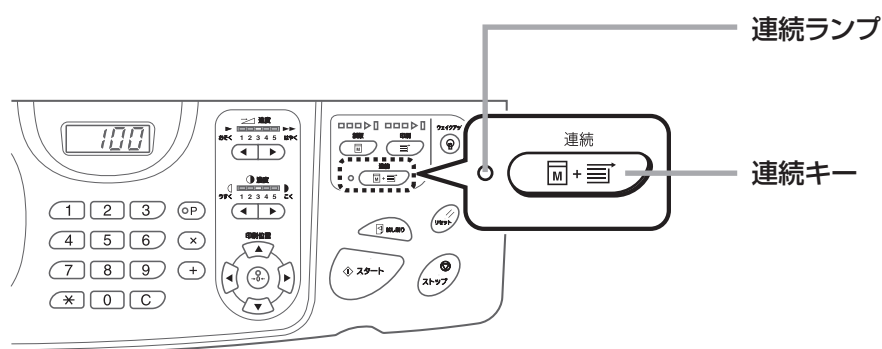
製版から印刷までのプリント動作を、自動的に連続して行うことができます。「連続」を設定しているときは、印刷枚数を入力した後に＜スタートキー＞を押してください。



参考

- プリント終了後、印刷枚数は入力した枚数に復帰します。
- 「環境設定」で本機の起動時やリセット時に「連続」が「ON」になるように設定できます。
- ☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 連続基本設定」

＜連続＞キーを押す



連続ランプが点灯します。

参考

- 「連続」を解除するときは、再度＜連続＞キーを押してください。ランプが消灯します。
- 「連続」が「ON」に設定されていなくても、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットすると、すべての原稿が「連続」でプリントされます。連続でプリントしたくない場合は、「OP 連続自動設定」を「OFF」に設定してください。
- ☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / OP 連続自動設定※」

写真に網点をかける

[網点]

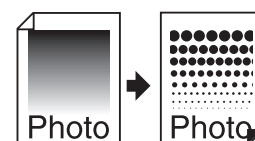
製版

機能一覧
網点

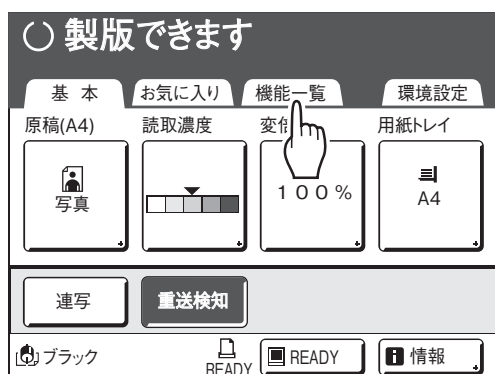
写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。
網パターンは 4 種類から選択できます。



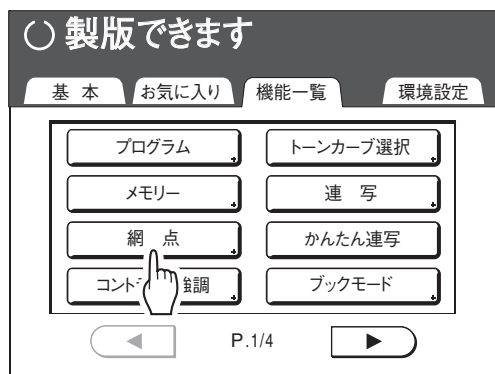
「原稿モード」が「文字」、「えんぴつ」に設定されているときは「網点」は設定できません。



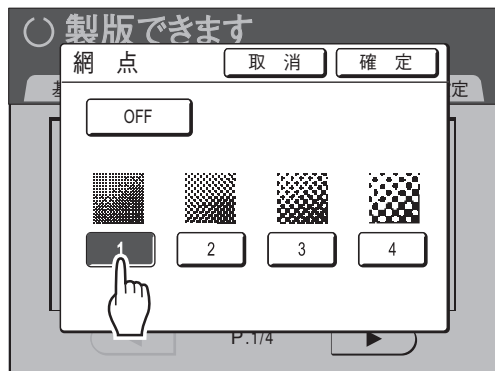
1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <網点ボタン>にタッチする



3 設定する網点のボタンにタッチする



表示				
番号	1	2	3	4
線数 (SE9 シリーズ)	212 線 相当	106 線 相当	71 線 相当	53 線 相当
(SE6 シリーズ)	106 線 相当	71 線 相当	53 線 相当	34 線 相当

参考

「網点」を設定しないときは、< OFF ボタン > にタッチしてください。

4 <確定ボタン>にタッチする

指定した「網点」に設定され、機能一覧画面に戻ります。

写真の明暗を調節する

[コントラスト強調]

製版

機能一覧
コントラスト強調

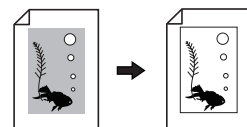
製版するときには設定する機能

明暗のはっきりしない写真原稿の場合、コントラストを強調することで、より鮮明にプリントできます。

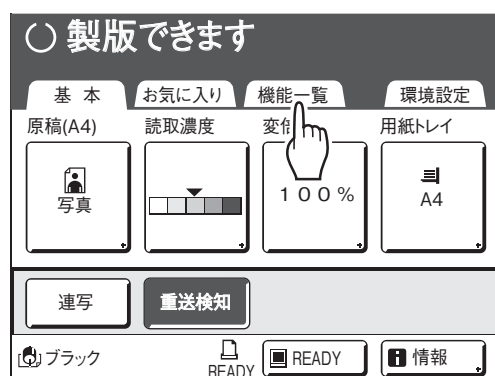
コントラストの強調は、2種類から選択できます。



「原稿モード」が「文字」、「文字・写真」、「えんぴつ」に設定されているときは「コントラスト強調」は設定できません。



1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



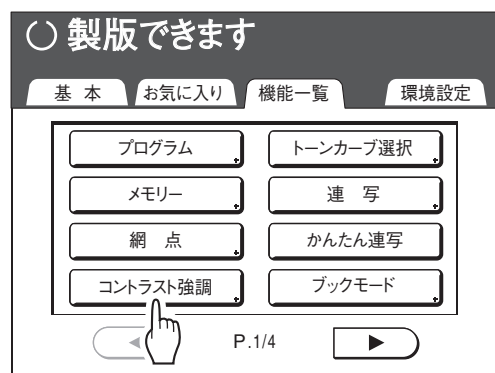
[うすめ]濃い部分をより鮮明にします。写真全体が暗く、暗い被写体のはっきりしない場合に設定します。

[こいめ]薄い部分をより鮮明にします。写真全体が明るく、明るい被写体のはっきりしない場合に設定します。

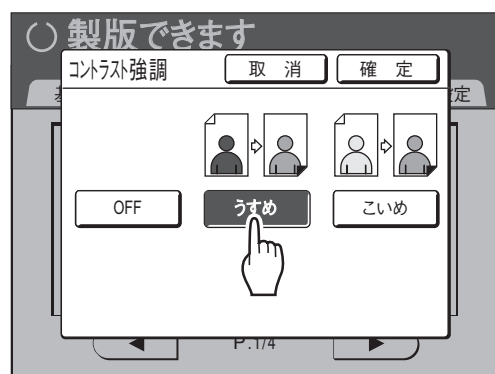
4 <確定ボタン>にタッチする

指定した「コントラスト強調」に設定され、機能一覧画面に戻ります。

2 <コントラスト強調ボタン>にタッチする



3 設定するコントラストのボタンにタッチする



写真の階調を調節する

【トーンカーブ選択】

製版

機能一覧
トーンカーブ選択

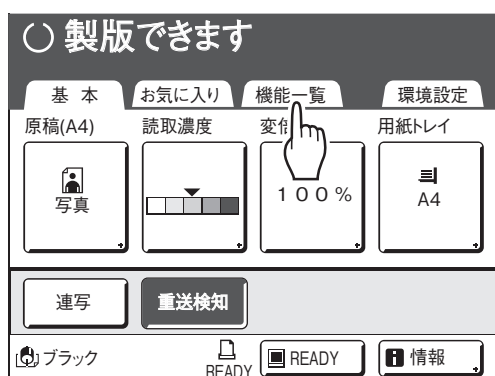
写真の明るい部分(ハイライト)の調子と暗い部分(シャドウ)の調子を、それぞれ3段階から選んで調節できます。



「原稿モード」が「文字」に設定されているときは「トーンカーブ選択」は設定できません。



1 機能一覧画製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



【ハイライト】... 写真の光線を強く受けている部分を調節します。

【シャドウ】..... 写真の光線の弱い部分を調節します。

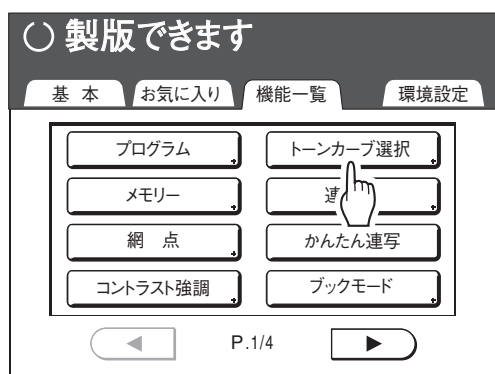
<+ 1 ボタン>を選ぶとそれぞれが強調され、

<- 1 ボタン>を選ぶとそれぞれが弱まります。

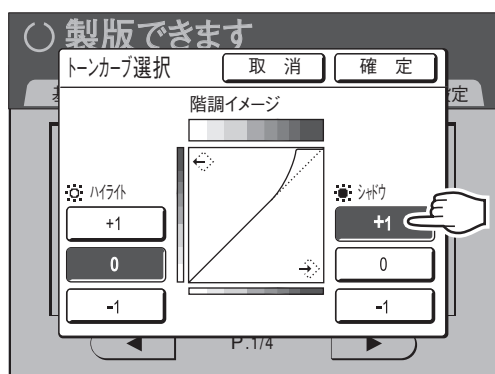
4 <確定ボタン>にタッチする

指定したトーンカーブに設定され、機能一覧画面に戻ります。

2 <トーンカーブ選択ボタン>にタッチする



3 「ハイライト」または「シャドウ」の調節ボタンにタッチして、調節する



インクを節約する

[省インク]

製版

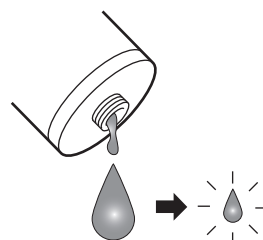
機能一覧
省インク

製版するときに設定する機能

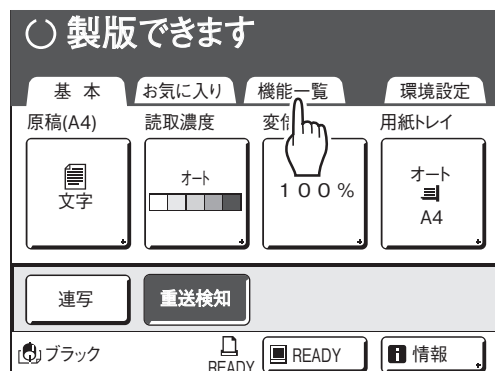
「省インク」を設定して製版すると、印刷するときに使用するインクの量が、通常よりも少なくなるため、インクを節約して印刷できます。
インクの消費量を抑える処理を行うので、印刷濃度は通常よりも薄くなります。

重要

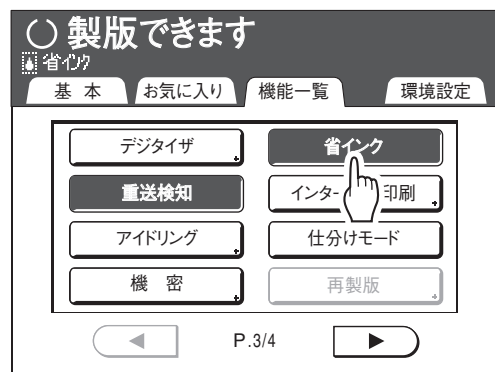
- 印刷時には設定できません。
- 「省インク」を設定しているときは、「読取濃度」および「印刷濃度」は設定できません。
 - P.57「原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]」
 - P.97「印刷濃度を変える [印刷濃度調節]」



1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <省インクボタン>にタッチする



「省インク」が設定され、メッセージエリアに「省インク」アイコンが表示されます。

参考

- 省インクは、製版時に有効な機能です。印刷時に設定(解除)を行っても、現在ドラムに巻きついているマスターには反映されません。次回の製版時に設定(解除)されます。
- 省インクアイコンは [エコモード] 設定時でも優先的にメッセージエリアに表示されます。

1 枚の用紙に多面取りする

[かんたん連写] [連写]

その他

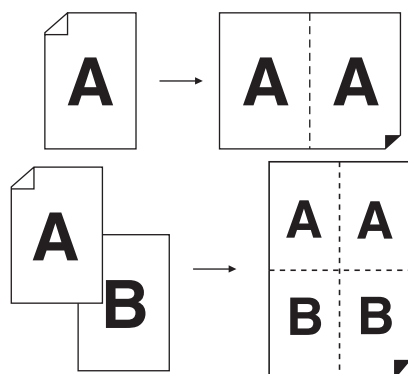
機能一覧
再製版

1 枚の印刷用紙に複数の原稿を割り付けてプリントすることを「連写」といいます。

1 枚の用紙に複数ページを割り付けて用紙を節約したい場合や、文集などの袋とじをするとき、伝言メモ用紙をプリントするときなどに便利な機能です。

連写には「かんたん連写」と、複数の原稿の多面取りが可能な「連写」があります。

2 面取りで連写する場合は、「かんたん連写」を使うと便利です。



重要 「連写」を行うときは定形用紙を使用してください。不定形用紙および「環境設定」でサイズ登録した用紙をセットしているときは、「連写」はできません。

■ かんたん連写

1 枚の用紙に、同じ原稿を 2 面取りでプリントできます。

参考

自動原稿送り装置(オプション)を使用すると、1 枚の用紙に、異なる 2 原稿を 2 面取りでプリントできます。

■ 連写

1 枚または複数(最大 4 原稿)の原稿を、1 枚の印刷用紙に多面取りします。

原稿と原稿の境界線に原稿の影(線)が出ずにきれいに印刷できます。

「連写」には、以下の 3 種類があります。

「1 原稿連写」..... 1 枚の原稿を多面取りします。

「多原稿連写」..... 複数の原稿を多面取りします。

「チケット連写」..... チケットのような細長い不定形の原稿を多面取りすることができます。

「1 原稿連写」と「多原稿連写」では、それぞれ 2 面取り、4 面取り、8 面取り、16 面取りでプリントすることができます。

参考

「かんたん連写」「連写」は、次の機能とは併用できません。

- 自動振分機能
- レイアウト原稿
- ブックモード
- N アップ
- とじしろ
- 変倍(「オート」[A4 → ハガキ] [B5 → ハガキ])
- スキャンモード時の原稿読み取りサイズ「オート」
- 省インク(「多原稿連写」で、原稿と原稿の間で「原稿モード」を変更する場合)

連写を使用するときの注意

「連写」をするときは、次の項目に注意してください。

■ 印刷用紙のセット方向

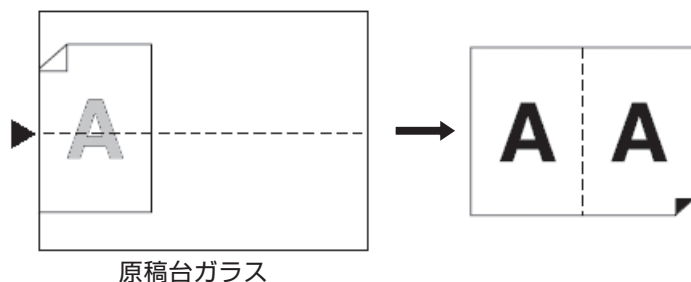
印刷用紙は、必ず右図の向きにセットしてください。
用紙トレイを使用する場合、A4□や B5□の用紙は使
用しないでください。



■ 原稿のセット方向

面取りの数により、原稿のセット方向が異なります。
各面取りでのセット方向とプリント結果は、以下のようになります。

かんたん連写(2 面のみ)

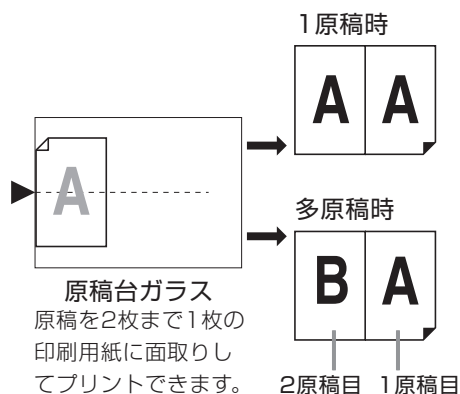


1 枚の原稿を、1 枚の印刷用紙に 2 面取りします。(1 原稿 2 面連写)

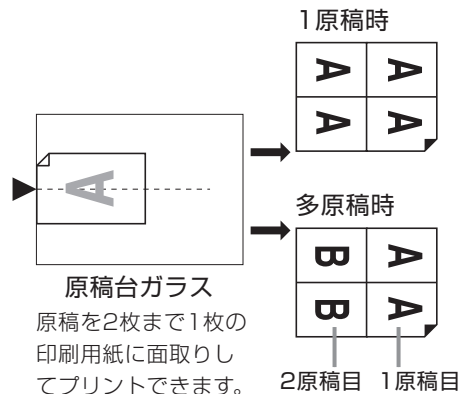
連写

「1 原稿連写」および「多原稿連写」の場合：

2 面取り

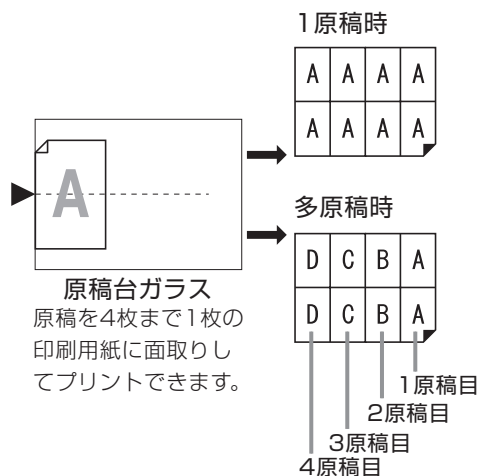


4 面取り

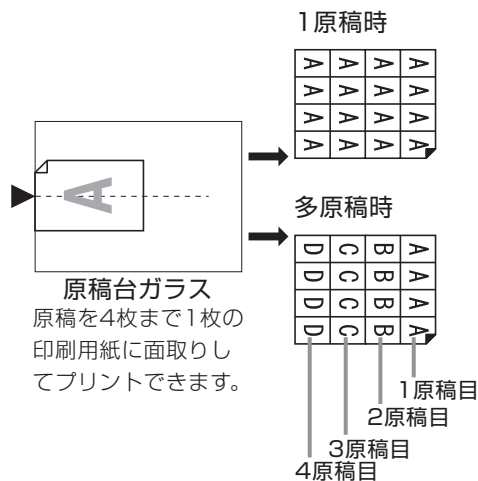


1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]

8 面取り



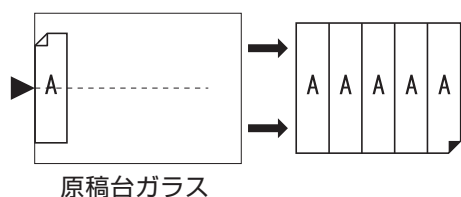
16 面取り



参考

「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足する原稿の枚数分だけ白紙原稿をセットしてください。

「チケット連写」の場合:

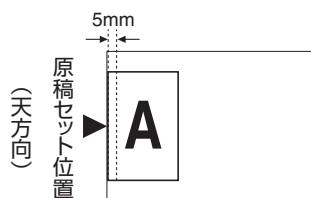


「チケット連写」は多原稿での面取りは行えません。面取り数は、チケット幅の指定により決定します。

■ 余白

原稿は必ず天方向 5mm の余白を取ってください。余白が十分でないと、きれいな面取りになりません。

☛ P.18 「原稿の余白について」



参考

天方向の余白は変倍されずにそのまま残ります。

■ 連写待ち時間

「連写」では、原稿を枚数分読み取ります。

1 回目の読み取りと、2 回目の読み取りの間の時間を「連写待ち時間」といいます。

「連写待ち時間」の間に原稿の入れ替えや、各種の機能の設定をします。

参考

「環境設定」で「連写待ち時間」の初期設定を変更できます。工場出荷時は 15 秒に設定されています。

☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 連写待ち時間」

■ 変倍率

原稿のサイズと印刷用紙のサイズの組み合わせにより、変倍率の設定が必要です。
次の表を参考に設定してください。

印刷用紙 \ 原稿	A4	B5	A5	B6
A3 ※	100%	116%	141%	163%
B4	87%	100%	123%	142%
A4	71%	82%	100%	116%
B5	61%	71%	87%	100%

※ SE628 不可

参考

- [変倍] ボタンは、製版基本画面に表示されています。
必要に応じて設定してください。
☛ P.58「原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]」
- 「チケット連写」については、P.77「チケット連写の操作のしかた」をご覧ください。

1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]

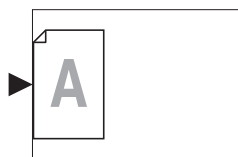
かんたん連写の操作のしかた

1 原稿と印刷用紙をセットする

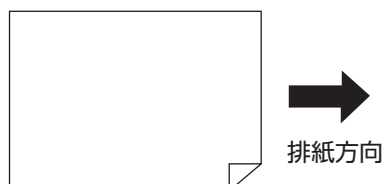
- ☛ P.34「プリント前の準備」
- ☛ P.40「原稿をセットする」

重要

- 原稿は必ず下図の方向にセットしてください。



- 印刷用紙は、必ず下図の向きの(搬送方向が長い)用紙を使用してください。



参考

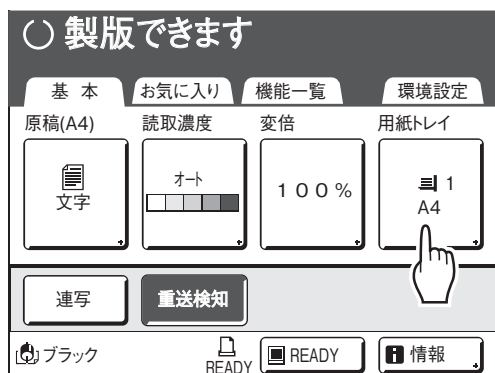
自動原稿送り装置(オプション)を使用すると、2原稿2面連写ができます。原稿を2枚重ねてセットしてください。
1原稿2面連写の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

2 用紙サイズを選択する

(SE938F/638F のみ)

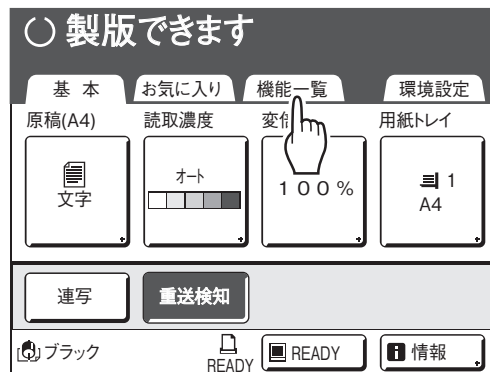
[用紙トレイ]ボタンにタッチし、[用紙トレイ]画面で給紙台またはトレイ 1、トレイ 2 を選択します。

用紙トレイを選択しておくと、選択した給紙口の用紙サイズに合わせて、変倍率が自動で設定されます。



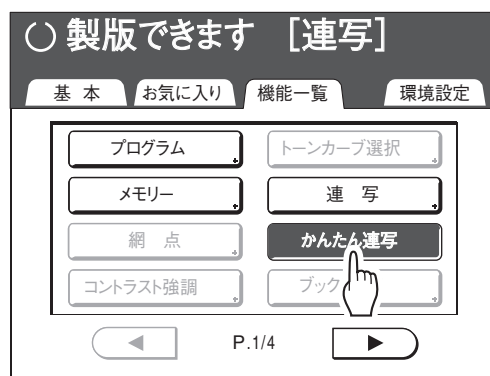
3

製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



4

<かんたん連写ボタン>にタッチする



5

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

原稿のサイズと印刷用紙のサイズの組み合わせにより、変倍率の設定が必要です。

- ☛ P.73「■ 変倍率」

6

<スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。

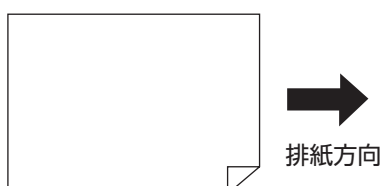
「1 原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた

1 原稿と印刷用紙をセットする

- ☛ P.34「プリント前の準備」
- ☛ P.40「原稿をセットする」

重要

- 原稿のセット方向に注意してください。
☛ P.71「■ 原稿のセット方向」
- 印刷用紙は、必ず下図の向きの(搬送方向が長い)用紙を使用してください。



参考

「多原稿連写」の場合、自動原稿送り装置(オプション)にすべての原稿をセットすると便利です。セット方法は、P.42「紙原稿をプリントする」をご覧ください。

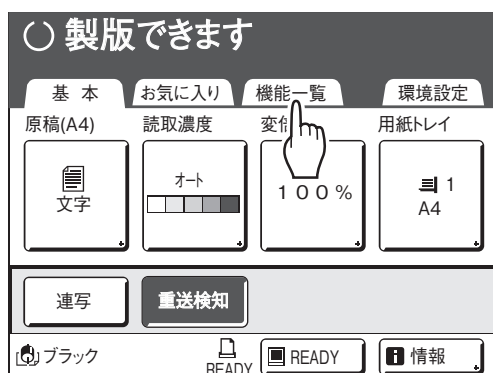
2 用紙サイズを選択する

(SE938F/638F のみ)

[用紙トレイ]ボタンにタッチし、[用紙トレイ]画面で給紙台またはトレイ 1、トレイ 2 を選択します。

用紙トレイを選択しておくで、選択した給紙口の用紙サイズに合わせて、変倍率が自動で設定されます。

3 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



4 <連写ボタン>にタッチする



5 使用する原稿サイズを選択する

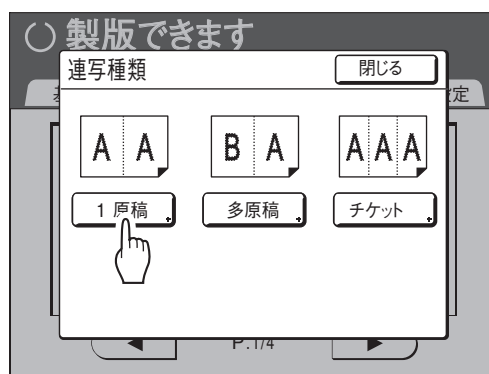
原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



自動的に変倍率が設定され、[連写種類]画面が表示されます。

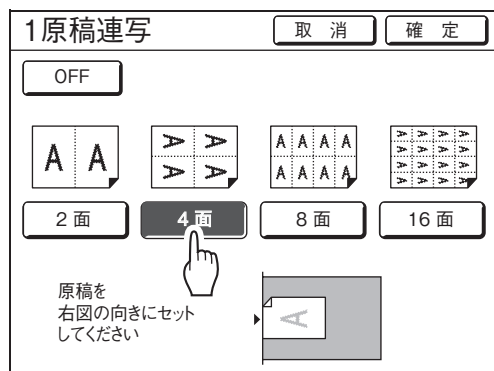
6 <1原稿ボタン>または<多原稿ボタン>にタッチする

[連写]が設定され、機能一覧画面に戻ります。使用する用紙サイズと原稿サイズから、選択した面数に合わせて、自動的に変倍率が設定されます。



1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]

7 設定する面数のボタンにタッチする



「連写」の設定を中止する場合や、1つ前の画面に戻る場合は＜取消ボタン＞を押します。

8 ＜確定ボタン＞にタッチする

「連写」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

参考

使用する用紙サイズと原稿サイズから、選択した面数に合わせて、自動的に変倍率が設定されます。

9 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

10 ＜スタート＞キーを押す

原稿の読み取りを開始します。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

重要

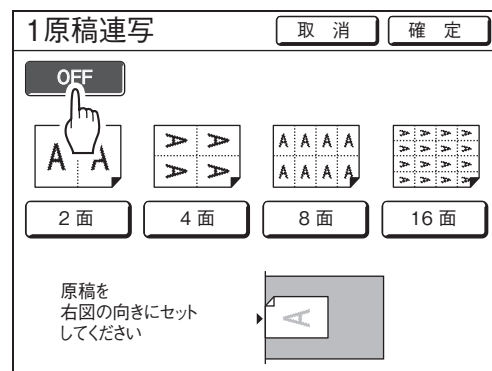
- 【次の原稿をセットし、スタートを押してください ストップキーで中止します】のメッセージが表示されたときは、次原稿待ちの状態です。次の原稿をセットして、＜スタート＞キーを押してください。連写を中止したい場合は、＜ストップ＞キーを押してください。
- 原稿台ガラスと自動原稿送り装置(オプション)の併用はできません。最初の原稿読み取りを原稿台ガラスで行ったときは、2枚目以降の原稿も原稿台ガラスにセットしてください。
- 原稿読み取りを自動原稿送り装置(オプション)で行い、「1 原稿連写」をする場合は、原稿を 2 回セットする必要があります。

参考

- 「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足分の白紙原稿を入れるか、次原稿待ちの状態で、＜ストップ＞キーを押してください。製版を開始します

● P.71「連写を使用するときの注意」

- 「連続」を設定しているときは、自動原稿送り装置に原稿があれば続けてプリントします。
- 一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順 3、4 を行って面数を選択する画面を表示させます。＜ OFF ボタン＞にタッチして、＜確定ボタン＞にタッチしてください。



チケット連写の操作のしかた

「チケット連写」は、原稿の短辺サイズ（幅）を指定するだけで、面取り可能な数を自動的に割り出して1枚の印刷用紙にプリントします。

原稿の幅は、50mm ～ 210mm の間で指定できます。

印刷用紙に面付けされる数は、「印刷用紙の長辺÷原稿の短辺」で計算できます。余りは余白になります。

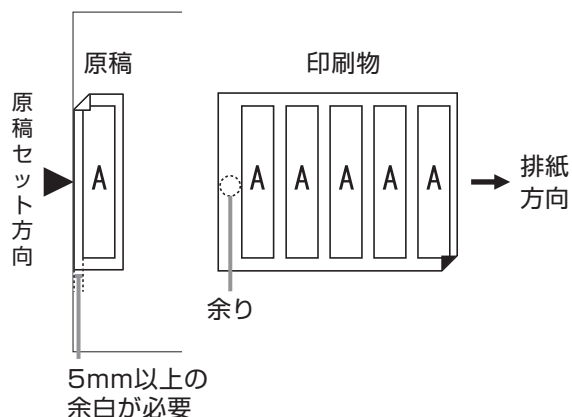
例

原稿の短辺 50mm

印刷用紙の長辺 297mm (A4 サイズ)

$297 \div 50 = 5 \text{ 余り } 47$

この場合、印刷用紙に5面取りでプリントされます。



1 原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに上記の向きで原稿をセットします。

☛ P.34「プリント前の準備」

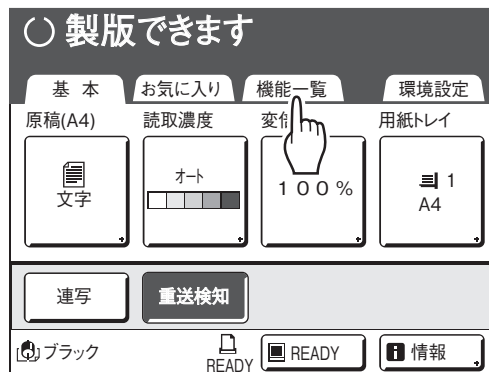
☛ P.40「原稿をセットする」

2 用紙サイズを選択する (SE938F/638F のみ)

[用紙トレイ] ボタンにタッチし、[用紙トレイ] 画面で印刷用紙を選択します。

給紙台を使用する場合は、使用するサイズの用紙を給紙台にセットしてください。

3 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



4 <連写ボタン>にタッチする



5 使用する原稿サイズを選択する

原稿のサイズにあわせていずれかのボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。

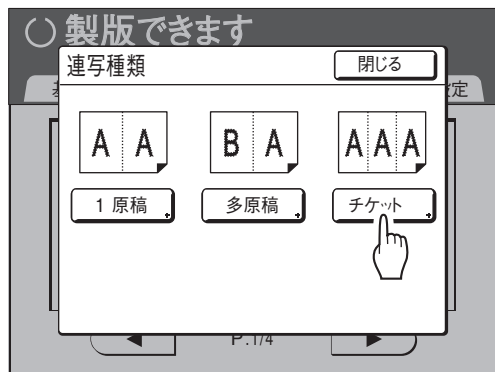


[連写種類] 画面が表示されます。

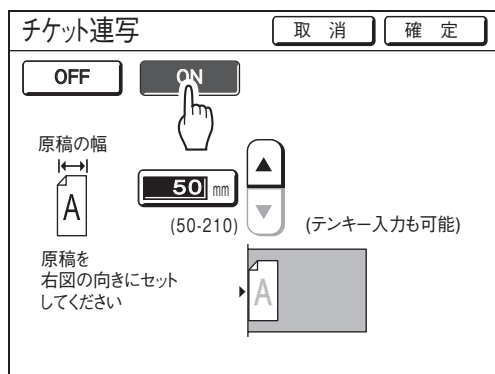
チケット連写の場合、どのサイズボタンを選択しても、後の操作に影響はありません。

1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]

6 <チケットボタン>にタッチする

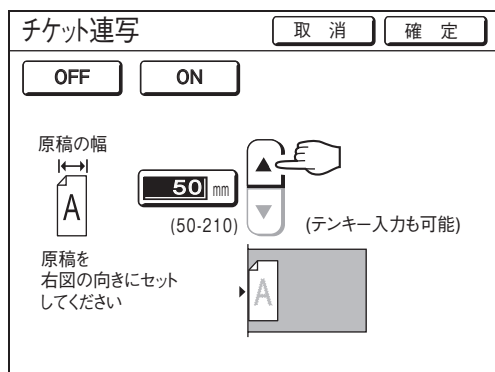


7 <ON ボタン>にタッチする



原稿の幅を入力できるようになります。

8 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、原稿の短辺(幅)を指定する



手順10(プリント機能の設定)で拡大／縮小を行う場合は、次の点に注意してください。

- 拡大／縮小後のチケット幅を指定してください。
- 拡大を行う場合は、拡大後のサイズが、指定した「幅」や印刷用紙の短辺からはみ出さないようにしてください。
- 拡大を行う場合は、あらかじめ拡大後のサイズに応じた印刷用紙を選択(セット)してください。

9 <確定ボタン>にタッチする

「チケット連写」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

10 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

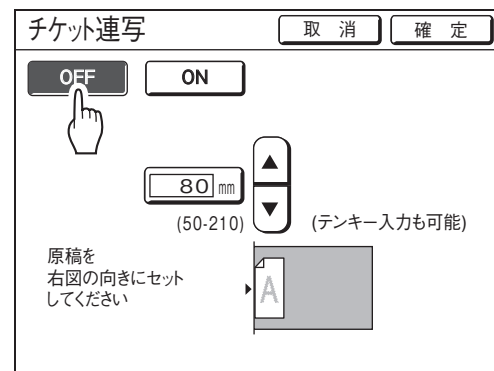
11 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りを開始します。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

参考

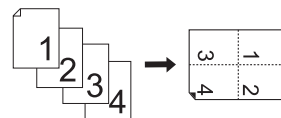
一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順3～5を行って面数を選択する画面を表示させます。<OFF ボタン>にタッチして、<確定ボタン>にタッチしてください。



1枚の用紙に連続した原稿を 割り付ける [Nアップ]

製版
機能一覧
Nアップ

1枚の用紙に連続する複数枚の原稿を割り付けることを「Nアップ」といいます。
用紙を節約したいときや、袋とじ文集を作成するときなどに便利です。



重要 Nアップは、「自動 90 度回転」とは併用できません。

設定項目について

■ 原稿サイズ設定

使用する原稿のサイズを設定します。

重要 原稿サイズと印刷用紙サイズにより、変倍率が決定します。変倍率が適切でないときはエラーメッセージが表示されます。サイズの異なる印刷用紙を使用するか、原稿のサイズを変えてください。

■ 面数

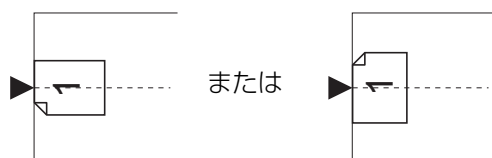
1枚の用紙に割り付ける原稿の枚数を設定します。

2面 4面 8面 16面

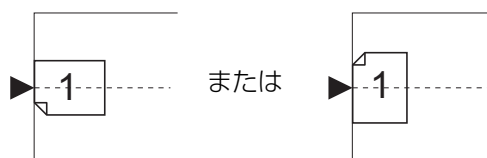
■ 原稿セット方向(記載の向き)

原稿のセット方向は、設定した面数により決まっています。原稿の記載がタッチパネル側から見てどの向きになるかを設定します。

左向き



読める向き

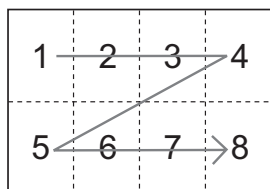


■ 面付け順序

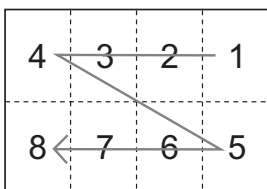
印刷された紙を、記載内容が読める向きにしたときに、どの順に面付けするかを設定します。

[例] 面数: 8面付け、原稿セット方向(記載の向き): 読める向き

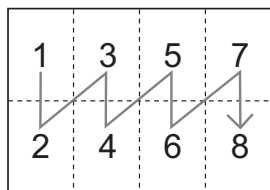
左上から横へ



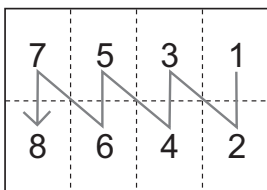
右上から横へ



左上から下へ



右上から下へ



参考

[面数]、[原稿セット方向]の設定により、[面付け順序]の設定内容は異なります。

1 枚の用紙に連続した原稿を 割り付ける [N アップ]

1 原稿と印刷用紙をセットする

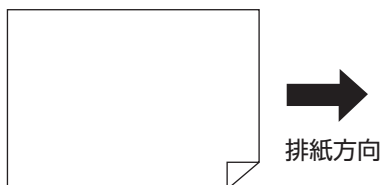
原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

● P.34「プリント前の準備」

● P.40「原稿をセットする」

重要

- 原稿のセット方向に注意してください。
- 印刷用紙は、必ず下図の向きの(搬送方向が長い)用紙を使用してください。



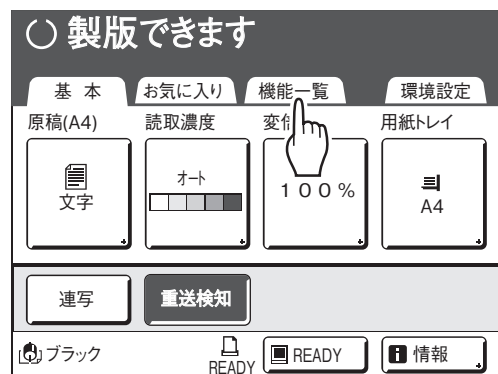
2 用紙サイズを選択する

(SE938F/638F のみ)

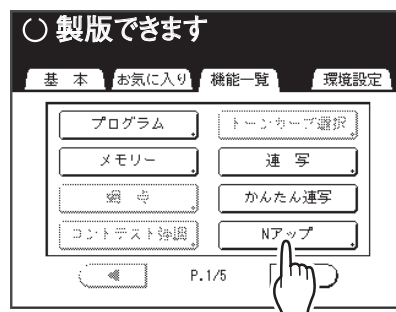
[用紙トレイ] ボタンにタッチし、[用紙トレイ] 画面で給紙台またはトレイ 1、トレイ 2 を選択します。

用紙トレイを選択しておくで、選択した給紙口の用紙サイズに合わせて、変倍率が自動で設定されます。

3 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする

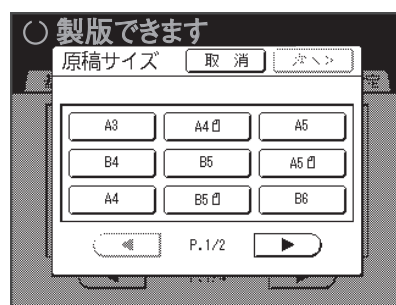


4 機能一覧画面で< N アップボタン > にタッチする



5 使用する原稿サイズを選択する

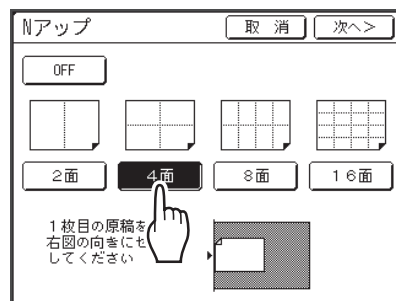
原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



自動的に変倍率が設定され、[N アップ]画面が表示されます。

6 設定する面数のボタンにタッチする

割り付ける面数のボタンにタッチして、<次へボタン>にタッチしてください。



重要

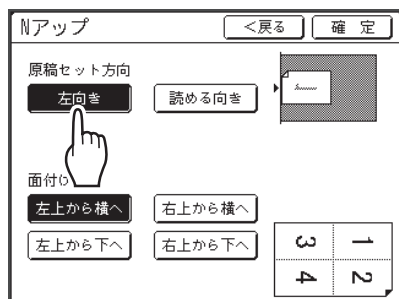
原稿のセット方向が、指定した面数ごとに決められた方向になっているか確認してください。

参考

[Nアップ]の設定を中止する場合は、<取消ボタン>にタッチしてください。

7 原稿の記載の向きを設定する

原稿の記載が、タッチパネル側から見てどの向きになっているかを[左向き][読める向き]から選択します。



8 設定する面付け順のボタンにタッチする

9 <確定ボタン>にタッチする

「Nアップ」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

10 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

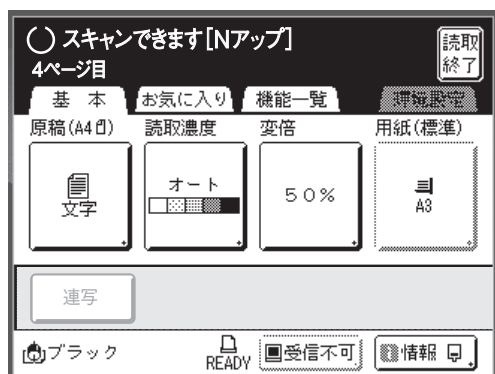
11 <スタート>キーを押す

1 ページ目の原稿の読み取りを開始します。

12 すべての原稿を読み取り、製版する

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿を入れ替えて、設定した面数まで、手順 10、11 を繰り返します。

原稿の枚数が設定した面数より少ない場合は、すべての原稿を読み取った後、<読取終了ボタン> → <はいボタン>の順にタッチします。読み取られなかった部分は余白になります。

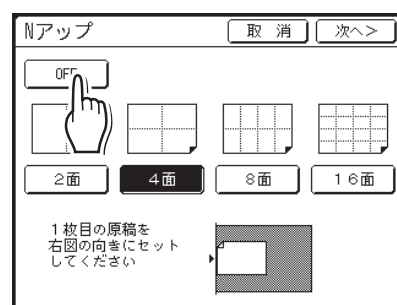


原稿読み取りが終わると、製版が行われ、印刷基本画面が表示されます。

以降は、通常の製版、印刷工程と同様の操作を行ってください。

参考

- 原稿は、読み取られた順に面付けされます。
- 面数が設定されている状態から N アップ設定を解除したい場合は、手順 4 を行って N アップ画面を表示させます。< OFF ボタン>にタッチして、< 確定ボタン>にタッチしてください。



雑誌や本をプリントする

[ブックモード]

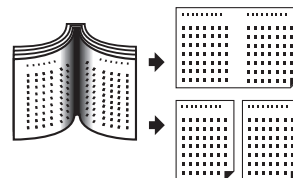
製版

機能一覧
ブックモード

雑誌や本など中央で閉じられた原稿をプリントするときに、とじ部分（センター）や原稿の周囲の影を消去または、写真処理で影を淡くしてプリントできます。

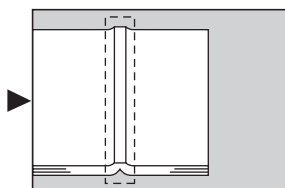
消去する領域（消去幅）は選択できます。

また、見開き状態の雑誌や本などを1ページずつに分割してプリントできます。



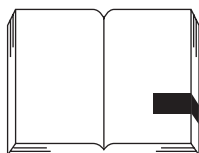
重要

- 原稿は、必ず原稿台ガラスのセンターにあわせて下図の向きでセットしてください。

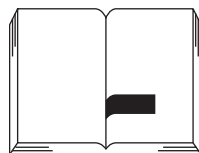


- 消去幅を「オート」に設定した場合、以下のような画像部分も消去（または写真処理）されます。

- 原稿の周囲から続いている（余白のない）黒い画像部分

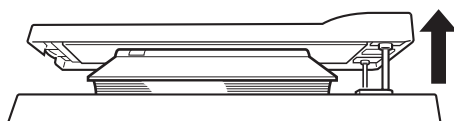


- とじ部分から続いている黒い画像部分



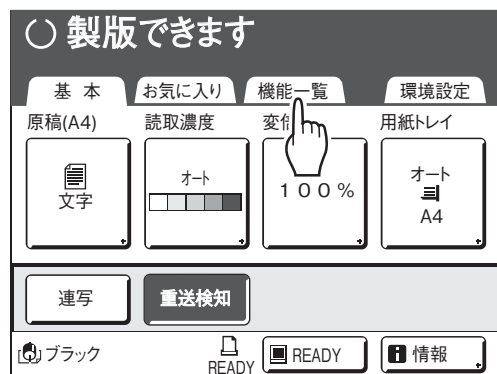
参考

- 「ブックモード」は、次の機能とは併用できません。
 - レイアウト原稿（[分割]を選択した場合）
 - とじしろ
 - 省インク
 - 読取濃度（[オート]）
 - AF 読取面指定
 - 連写
 - N アップ
- ゲージシートが装着されている場合は、ゲージシートを外してブックモードを使用してください。ゲージシートを装着したまま使用すると、周囲が黒く製版されてしまいます。
- 百科事典のようなページ数の多い本を読み取る場合は、原稿台カバーのヒンジを引き上げて本を押さえると便利です。

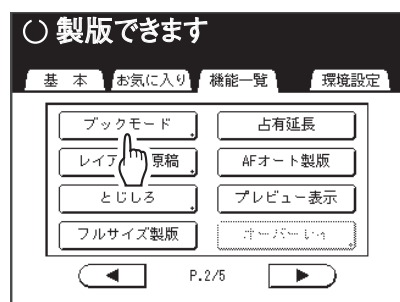


影になる部分を処理してプリントする

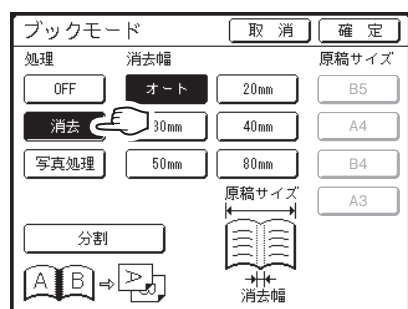
1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 機能一覧画面で<ブックモードボタン>にタッチする



3 [処理]の<消去ボタン>または<写真処理ボタン>をタッチする



[OFF]ブックモード処理を行いません
 [消去]原稿を読み込んだときにできるとじ部分と、原稿の周りにできる黒い影を消去します。
 とじ部分の消去幅は選択できます。
 「オート」以外を選択するときは、[原稿サイズ]で、見開き原稿のサイズも選択してください。

[写真処理] とじ部分の影を写真処理して自然な感じにし、原稿の周りにできる黒い影を消去します。

4 [消去幅]と[原稿サイズ]をタッチする

- [処理]を「写真処理」に設定した場合は、<オートボタン>のみ選択できます。
- [消去幅]を「オート」に設定した場合は、原稿検知が自動で行なわれ、検知したサイズから消去する幅が算出されます。
- 消去の幅を指定する場合は、原稿検知は自動で行なわれません。[消去幅]をタッチしたあと、セットした雑誌や本の[原稿サイズ]もタッチしてください。

参考

さらに[分割]を選択すると、見開き状態の原稿から、左右各ページを別々にプリントできます。(P.84「見開き原稿を分割してプリントする[分割]」)

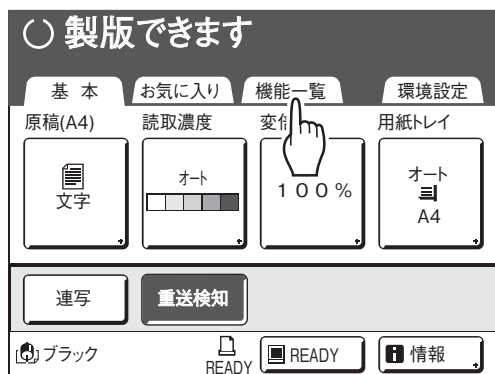
5 <確定ボタン>にタッチする。

[ブックモード]に設定され、機能一覧画面に戻ります。

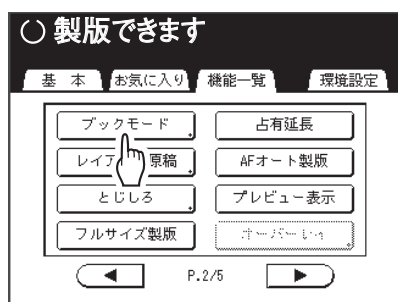
雑誌や本をプリントする【ブックモード】

見開き原稿を分割してプリントする【分割】

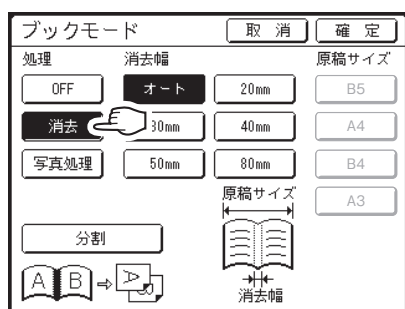
1 製版基本画面で【機能一覧】にタッチする



2 機能一覧画面で＜ブックモードボタン＞にタッチする

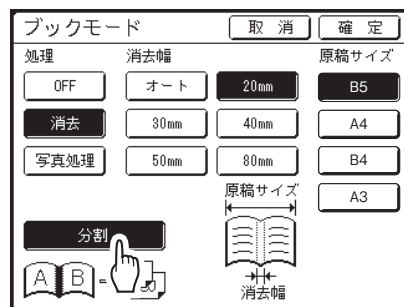


3 【処理】の＜消去ボタン＞または＜写真処理ボタン＞をタッチする



4 ＜分割ボタン＞をタッチする。

【処理】を「OFF」に設定した場合は、＜分割ボタン＞は選択できません。



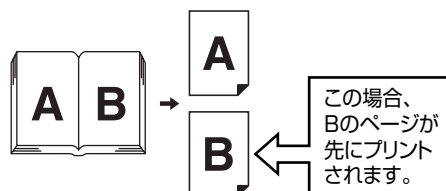
5 セットした雑誌や本の見開きの＜原稿サイズボタン＞をタッチする。

重要 見開き原稿のサイズを選択してください。

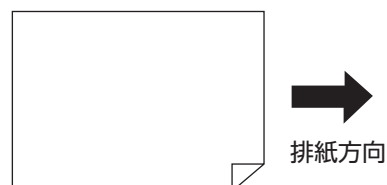
6 ＜確定ボタン＞にタッチする。

【ブックモード】に設定され、機能一覧画面に戻ります。

参考 「分割」を設定した場合は、原稿の読み込みが2回行なわれます。



- SE938/638/628 で、分割印刷をするときは、印刷用紙は A4 または B5 をお使いください。
SE938F/638F で、用紙トレイ選択が「オート」のときは、見開き原稿の半分のサイズにあたるトレイが選択されます。該当するトレイに用紙がセットされていない場合は、ワーニングメッセージ (F86) が表示されます。使用したいトレイを選択してください。
- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



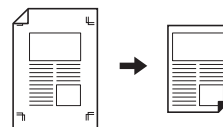
- 変倍するときは、「オート変倍」を使用することをおすすめします。

原稿のトンボをカットして プリントする [レイアウト原稿]

製版
機能一覧
レイアウト原稿

製版するときには設定する機能

原稿の先端(天)部分を0mm～99mmの間でカットして製版することができます。トンボのある原稿をプリントする場合、「レイアウト原稿」を設定し、原稿のトンボ内のサイズの印刷用紙を使用することで、トンボを省いた印刷物を作ることができます。



重要

- 「変倍」が設定されているときは、設定した数値を読み飛ばしたところを基準として、拡大／縮小します。
- 「オート変倍」は使用しないでください。
- 「レイアウト原稿」は、「かんたん連写」「連写」とは併用できません。

1 原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置、のセンターに原稿の天部分のセンタートンボを合わせ、原稿を下向き(RISO オートフィーダーDX-1では上向き)にセットします。

☞ P.34「プリント前の準備」

☞ P.40「原稿をセットする」

重要

自動原稿送り装置(オプション)は、「レイアウト原稿」には使用できません。

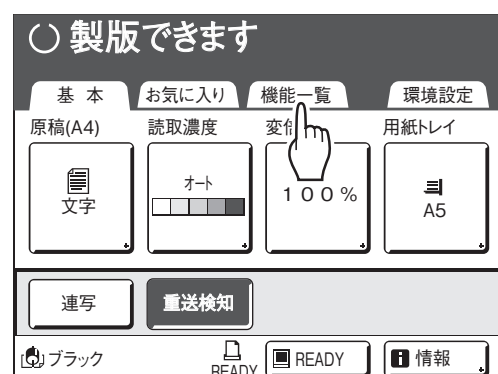
2 用紙サイズを選択する

(SE938F/638Fのみ)

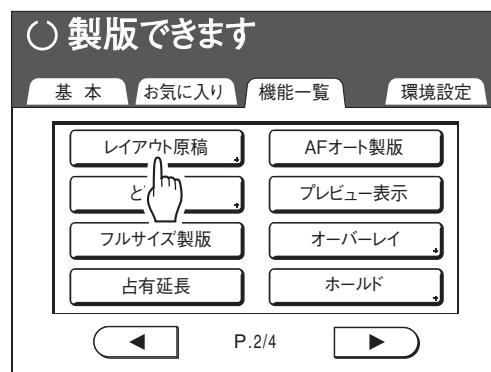
[用紙トレイ]ボタンにタッチし、[用紙トレイ]画面で印刷用紙を選択します。

給紙台を使用する場合は、使用するサイズの用紙を給紙台にセットしてください。

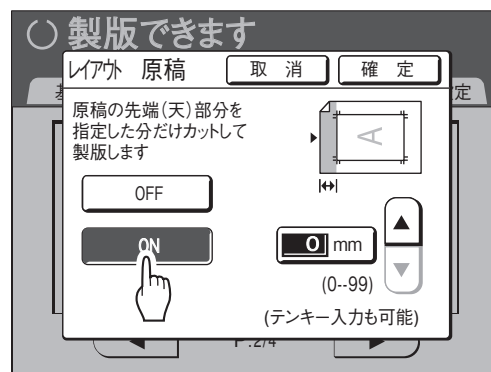
3 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



4 <レイアウト原稿ボタン>にタッチする

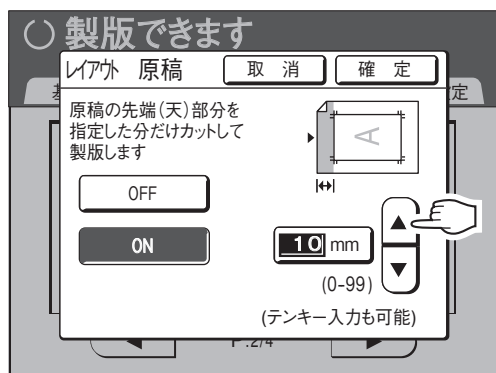


5 <ON ボタン>にタッチする



原稿のトンボをカットして プリントする [レイアウト原稿]

6 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、カットする幅を指定する



0mm ～ 99mm の間で設定できます。

参考

テンキーでの入力もできます。

7 <確定ボタン>にタッチする

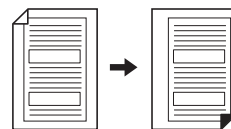
[レイアウト原稿] に設定され、機能一覧画面に戻ります。

製版の左右位置を調整する

【とじしろ】

製版
機能一覧
とじしろ

原稿の天地左右のいずれか一方に、とじしろ(余白)をつけて製版することができます。調整範囲は天地左右 0 ~ 50mm の間です。



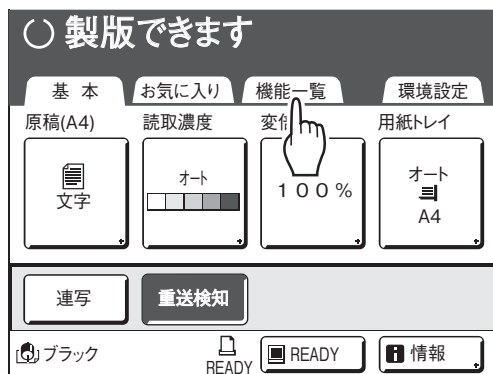
重要

- 「とじしろ」は、製版位置を調整する機能です。とじしろを追加する機能ではありません。
- 原稿の周囲に余白がないときは、画像が製版可能エリアを超える場合があります。製版可能エリアを越えた部分は製版されません。
- とじしろの位置は、排紙台に排出された印刷物を排紙台の真上から見たときの、用紙搬送方向となります。
- とじしろが設定できるのは、印刷物の天側、地側、右側、左側のいずれか一箇所のみです。
- 変倍が設定されている場合は、変倍した後の画像を移動します。
- 「90 度回転」および「180 度回転」と併用できます。

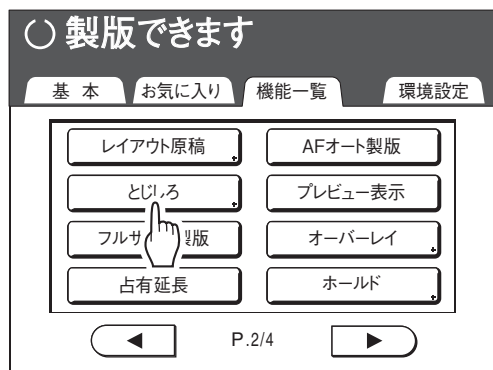
参考

- 操作パネルによる印刷位置調整を併用すると、もとの原稿に対して天地最大約 65mm、左右最大約 60mm まで、仕上がりの印刷位置を調整できます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットする場合にも、とじしろを付ける機能として使用できます。
- 「とじしろ」は、次の機能とは併用できません。
 - 連写
 - かんたん連写
 - N アップ
 - 変倍([A4 → ハガキ] [B5 → ハガキ])
 - オーバーレイ
 - AF 読取面指定

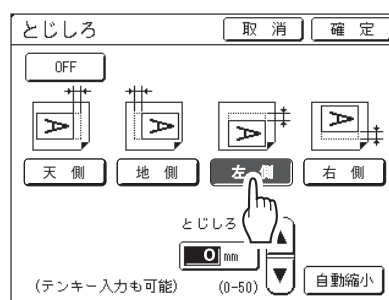
1 製版基本画面で【機能一覧】にタッチする



2 <とじしろボタン>にタッチする

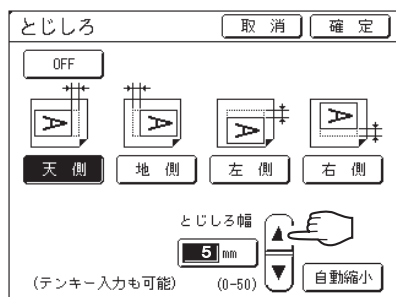


3 <天側ボタン>、<地側ボタン>、<左側ボタン>、<右側ボタン>の調整したい方のボタンにタッチする



製版の左右位置を調整する【とじしろ】

4 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして、移動量を設定する



0mm ～ 50mm の間で設定できます。

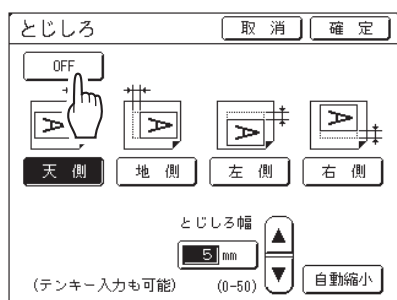
参考 テンキーでも入力できます。

5 <確定ボタン>にタッチする

とじしろの移動量が設定され、機能一覧画面に戻ります。

重要 「とじしろ」により、とじしろの反対側がプリントエリアからはみ出すと、はみ出した部分はプリントされません。設定の前に原稿の余白を確認してください。

参考 一度確定したとじしろを解除したい場合は、<リセット>キーを押すか、手順 3 で <OFF ボタン> にタッチしてから、<確定ボタン> にタッチしてください。



フルサイズで製版する

【フルサイズ製版】

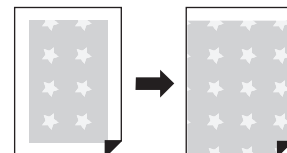
製版

機能一覧
フルサイズ製版

製版するときには設定する機能

通常の製版では、印刷用紙の周囲に余白ができるように用紙サイズを検知して、サイズ規制をかけています。これは紙詰まりや、内部のローラーがインクで汚れることを防ぐためです。

「フルサイズ製版」を設定すると、印刷用紙や原稿のサイズにかかわらず、最大印刷範囲のサイズで原稿を読み取って製版を行います。必ず、原稿と印刷用紙のサイズを確認してから実行してください。



最大印刷面積

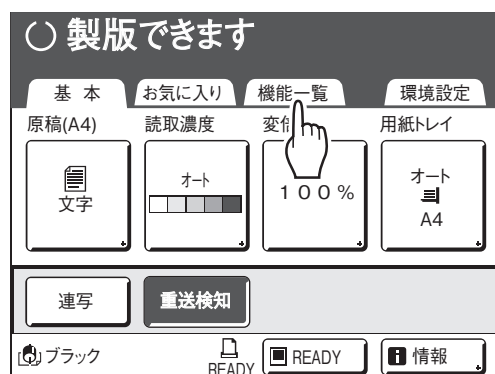
SE938F/938/638F/638: 291mm × 413mm

SE628: 251mm × 357mm

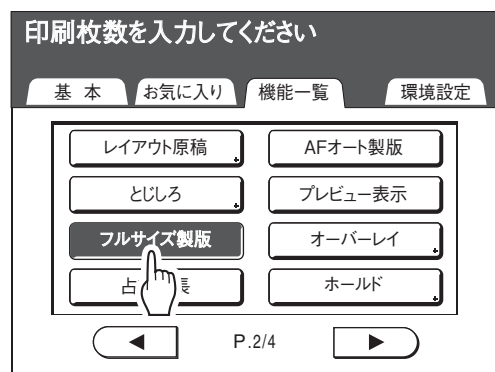
重要

- 天方向 5mm は製版できません。
- 製版された原稿よりも小さいサイズの印刷用紙を使用しないでください。本機内部のローラーなどにインクが付着する恐れがあります。
- 原稿台ガラス全体に汚れないか確認してください。
- 最大印刷範囲で読み取るため、原稿より外側にある汚れも製版され、内部のローラーを汚す原因となります。

1 製版基本画面で [機能一覧] にタッチする



2 <フルサイズ製版ボタン>にタッチする



「フルサイズ製版」が設定されます。

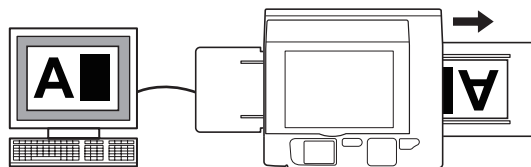
原稿を 180 度回転して製版する

[180 度回転]

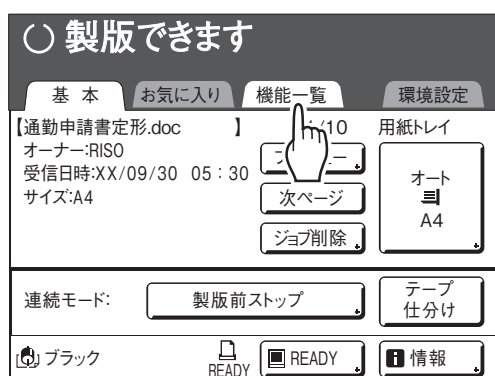
その他

機能一覧
180度回転

ダイレクトプリント時、パソコンからの原稿データを 180 度回転して製版することができます。天側に広範囲の塗りつぶしがある原稿データなどに使用すると、用紙が舞い上がるのを防ぐことができます。



- 1 本機が原稿データを受信後、製版基本画面で、[機能一覧] にタッチする



- 2 < 180 度回転ボタン > にタッチする



[180 度回転] が設定されます。

参考

パソコンから原稿データを送信するときは、「連続モード」を [OFF] または [製版前ストップ] に設定しておいてください。

製版前に印刷イメージを確認する

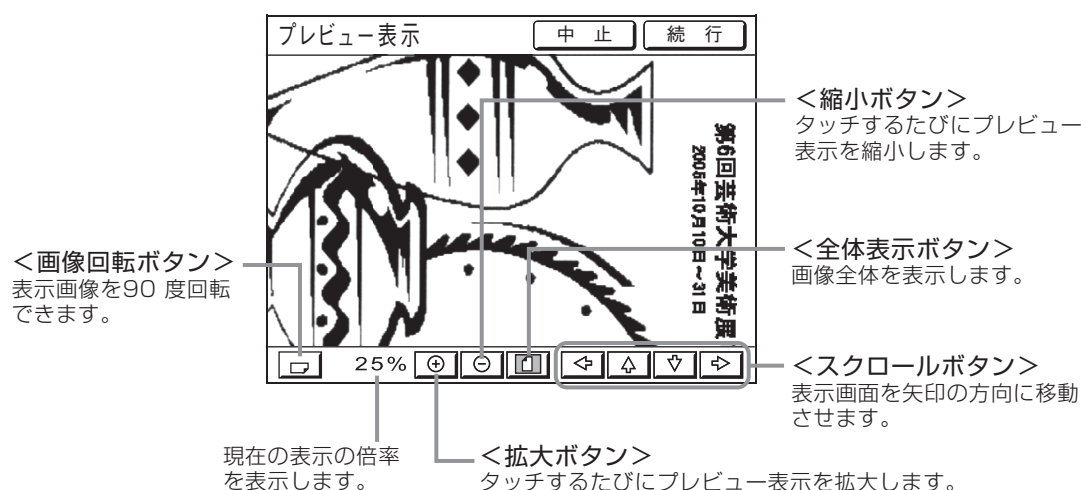
【プレビュー表示】

製版

機能一覧
プレビュー表示

製版するときには設定する機能

スキャナで読み取った原稿やパソコンから送信した原稿データを、実際に製版する前に確認できます。連写やレイアウトの仕上がりイメージを確認したりするのに便利な機能です。プレビュー画面では、以下の操作が行えます。



モードにより、操作や表示のタイミングが異なります。

原稿タイプ(モード名)	設定するタイミング	表示のタイミング	「連続」時の動作
紙原稿	製版に関わる機能を設定するとき(機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	原稿を読み取ったあと、いったん停止してプレビュー画面を表示します。
スキャンモード	読み取りに関わる機能(製版機能)を設定するとき(機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	スキャンモードには「連続」という動作はありません。自動原稿送り装置に複数枚の原稿をセットした場合、プレビュー表示のあと、<閉じるボタン>にタッチすると、次の原稿の読み取りを開始します。
パソコンからの原稿データ	本機が原稿データを受信したあと、製版前ストップで停止しているとき(データ受信画面で設定)	タッチ時にすぐ表示	プリンタドライバから「連続モード」[ON]で送信した場合、プレビューは表示できません。
ホールドデータ／USB メモリデータ	[ホールドデータ選択]画面でプリントするデータを選択したとき([ホールドデータ呼出]画面で設定)	<プレビューボタン>をタッチ後にすぐ表示	<呼出ボタン>にタッチすると、データが呼び出されて保存データ用の製版基本画面を表示します。
	[ホールドデータ呼出]画面／[USB データ呼出]画面の<呼出ボタン>にタッチして、保存データを呼び出したとき(保存データ用の製版基本画面で設定)	<プレビューボタン>をタッチ後にすぐ表示	呼び出した画面で<プレビューボタン>にタッチすると、すぐに表示されます。<閉じるボタン>にタッチすると、保存データ用の製版基本画面に戻ります。

参考

- 「プレビュー」は、印刷されたときの(排紙方向の)イメージを表示します。
- 読み取った原稿をそのまま表示します。実際のプリントには余白が必要です。余白が十分あるかどうか確認してください。また、実際にプリントされるのは、ドラムの最大印刷範囲内となりますので、画像が切れることがあります。
 - ☞ P.16「最大印刷範囲」
- パソコンから原稿データを送信した場合は、データ受信画面で確認できます。
 - ☞ P.46「パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ]」
- RLP モードの場合(連携機 PrioA(別売)接続時)は、原稿を読み取った後、連携機 PrioA(別売)から出力される前にプレビューが表示されます。

製版前に印刷イメージを確認する【プレビュー表示】

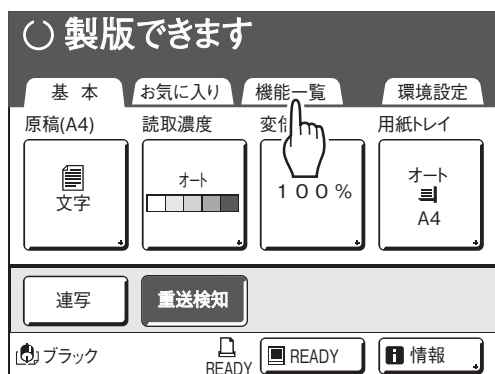
プレビュー表示を確認してプリントする

ここでは、紙原稿をプリントするときの操作方法を説明します。

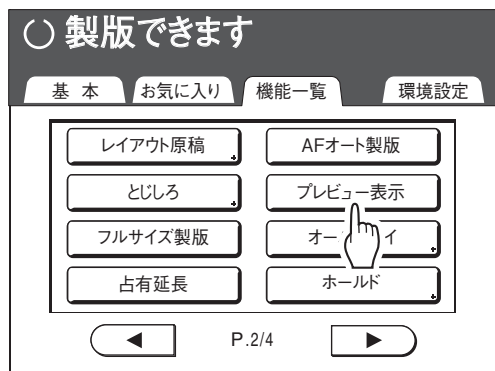
1 原稿をセットする

● P.42「紙原稿をプリントする」

2 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



3 <プレビュー表示ボタン>にタッチする



「プレビュー表示」が設定されます。

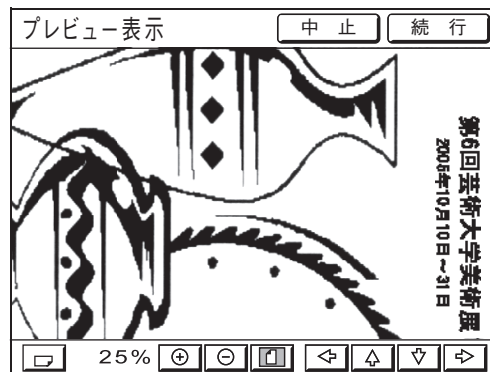
4 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

5 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが開始され、[プレビュー表示]画面にプレビュー画像が表示されます。

6 プレビューの画像を確認する



必要に応じて「スクロール」などで確認を行います。

7 <続行ボタン>にタッチする

製版が開始されます。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

参考

<中止ボタン>にタッチした場合は、製版基本画面に戻ります。もう一度手順4からやりなおしてください。

印刷するときに設定する機能

- 94 印刷速度を変える [印刷速度調節]
- 95 高速で印刷する [ハイスピード]
- 96 印刷音を静かにする [静音]
- 97 印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
- 98 印刷位置を調整する [印刷位置調整]
- 100 試し刷りをする [試し刷り]
- 101 特殊な用紙を使うときの紙づまりを防ぐ [重送検知]
- 102 裏移りを少なくする [インターバル印刷]
- 103 色紙をはさんで印刷物を仕分けする [仕分けモード]
- 104 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

印刷速度を変える

[印刷速度調節]



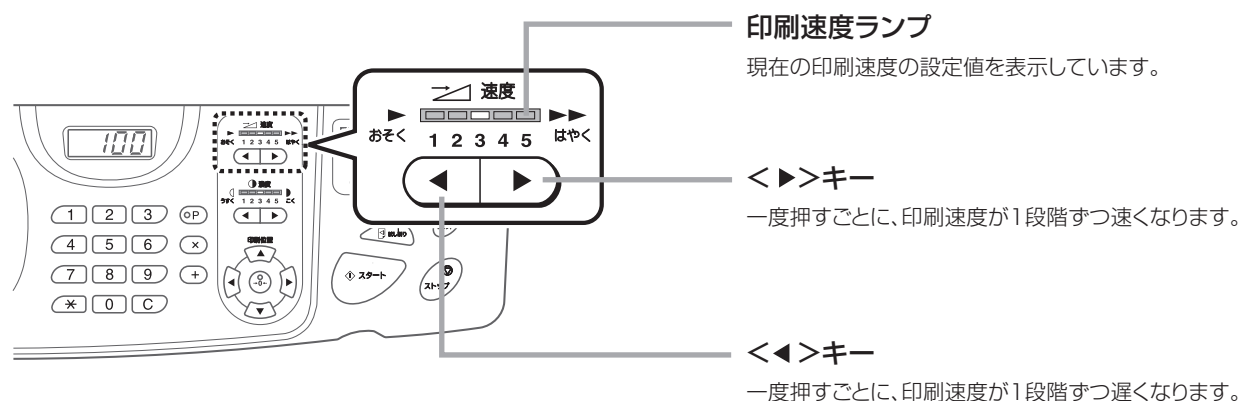
印刷速度を毎分 60 枚から 130 枚までの 5 段階で調節できます。
速度は、印刷中にも調節ができます。

参考

- 印刷時の音が気になる場合は、印刷速度を下げるか、「静音」機能のご使用をお勧めします。
☞ P.96「印刷音を静かにする [静音]」
- 「環境設定」で印刷速度の初期設定を変更できます。
工場出荷時は 3 (約 100 枚/分) に設定されています。
☞ P.161「印刷速度基本設定」
- 「エコモード」設定時は、印刷速度の初期設定は「3」に設定されます。速度はエコモード中でも調節できます。
☞ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 印刷速度基本設定」
☞ P.164「初期設定を変更する [環境設定] / エコモード」



<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷速度を調節する



ランプのレベルと印刷速度の関係

ランプのレベル	1	2	3	4	5
印刷速度(枚/分)	約 60	約 80	約 100	約 120	約 130

参考

- 印刷基本画面に、より速い印刷ができる「ハイスピード」機能があります。
☞ P.95「高速で印刷する [ハイスピード]」

高速で印刷する

[ハイスピード]

印刷
基本
ハイスピード

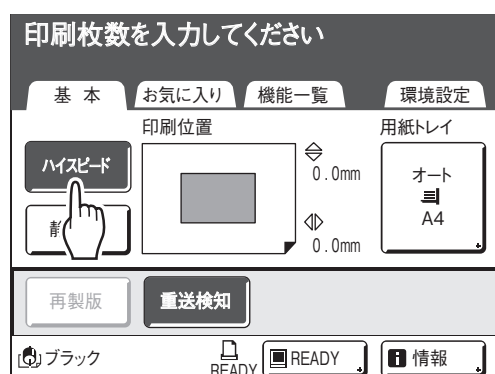
「ハイスピード」を使用すると、「印刷速度調整」での調節よりも、さらに高速で印刷することができます。以下の条件が満たされている場合には、約 185 枚／分の速さで印刷を行います。条件に合致しない場合は、約 180 枚／分の速さで印刷を行います。

- 印刷開始時のドラム内部温度が 20℃以上
- 印刷用紙サイズは、A4 サイズ以下の定形サイズ
- (トレイ 1、トレイ 2 ではなく) 給紙台の用紙を使用する
- 印刷位置の天地の移動量が ± 10mm 以内
- 「インターバル印刷」を設定しない

重要

- ドラム内部の温度が 15℃未満の場合、＜ハイスピードボタン＞はグレー表示され、使用できません。通常の印刷速度調節(1 ～ 5)で使用してください。内部温度が 15℃以上に上昇するまでの時間は、ご使用の環境により異なります。
- 「RISO マスターE タイプ HG」をお使いの場合に「ハイスピード」を使用すると、印刷濃度が薄くなります。
- SE938F/638F の場合、用紙トレイにセットされている用紙を使用するときは、「ハイスピード」は使用できません。(給紙台使用時のみ使用できます。)

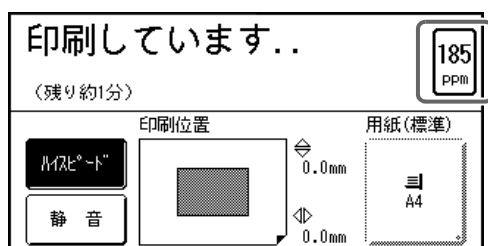
印刷基本画面で＜ハイスピードボタン＞にタッチする



「ハイスピード」が設定され、操作パネルの印刷速度ランプが消灯します。

参考

- 印刷中に「ハイスピード」をやめたい時は、再度＜ハイスピードボタン＞にタッチすると、「ハイスピード」設定前の速度に戻ります。
操作パネルの印刷速度調節キーで減速させることもできます。
- 用紙の種類によっては、紙がつまりやすくなる場合があります。その場合は、ハイスピードを使用せずに印刷してください。
- 185 枚／分の速さで印刷する条件に合致する場合は、「ハイスピード」印刷中に下図のアイコンが表示されます。



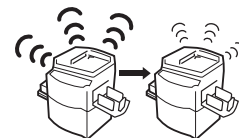
印刷音を静かにする

【静音】

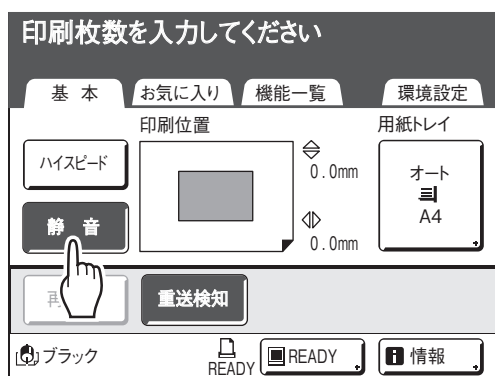
印刷

基本
静音

「静音」を使用すると、印刷時の音が小さくなるように印刷速度が自動で調節されます。



印刷基本画面で＜静音ボタン＞にタッチする



「静音」が設定されます。

「静音」設定中は印刷速度が遅くなります。(速度 1)

参考

印刷中に「静音」をやめたい時は、再度＜静音ボタン＞にタッチすると、「静音」設定前の速度に戻ります。また、操作パネルの印刷速度調節キーで速度を速めることもできます。

印刷濃度を変える

[印刷濃度調節]



印刷濃度を「うすく」から「こく」までの5段階で調節できます。
濃度は、印刷中にも調節ができます。



重要

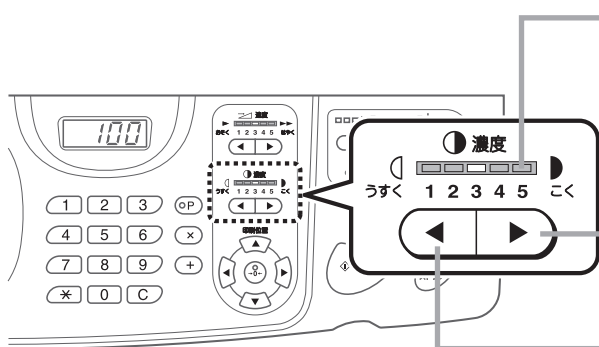
「省インク」を設定しているときは、印刷濃度の調節はできません。

☛ P.69「インクを節約する [省インク]」

参考

- 「環境設定」で印刷濃度の初期設定を変更できます。
工場出荷時は3(標準)に設定されています。
☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 印刷濃度基本設定」
- [エコモード] 設定時は、印刷濃度の初期設定は「1」に設定されます。
濃度はエコモード中でも調節できます。
☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 印刷濃度基本設定」
☛ P.164「初期設定を変更する [環境設定] / 省エネモード」

<◀>キーまたは<▶>キーを押して印刷濃度を調節する



印刷濃度ランプ

現在の印刷濃度の設定値を表示しています。

<▶>キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ濃くなります。

<◀>キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ薄くなります。

印刷位置を調整する

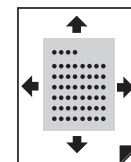
[印刷位置調整]



印刷位置調整キーで天地(上下)方向および左右方向に印刷の位置を調整できます。調整範囲は天地: ± 15mm、左右: ± 10mm です。印刷位置は印刷中でも調整できます。

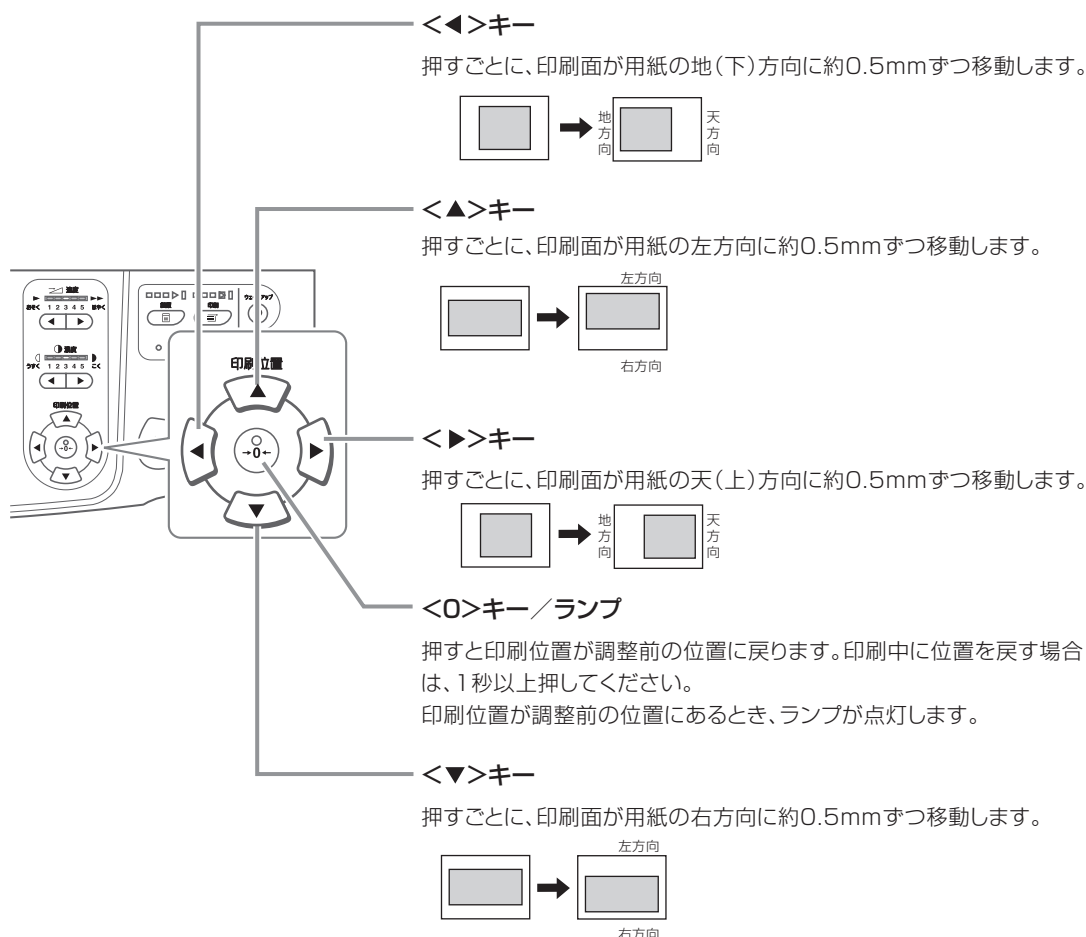


印刷位置を調整したときは、試し刷りをして印刷位置を確認してください。
● P.100「試し刷りをする [試し刷り]」

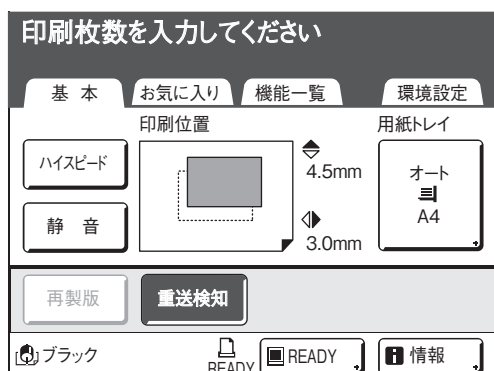


■ 天地(上下)位置を調整する

<▲><▼><◀><▶>キーを押して印刷位置(上下左右)を調整します。



調整結果は印刷基本画面に表示されます。



参考

- ディスプレイには、排紙時(印刷位置調整後)の用紙イメージが表示されます。
- 印刷位置調整]で調整した数値は目安です。実際の位置は、印刷物を見て確認しながら調整してください。
- 位置調整をした場合の移動量は、ドラムに記憶されます。ただし、電源の ON / OFF や<リセット>キーを押したときは、調整前の位置に戻ります。

印刷位置の微調整について

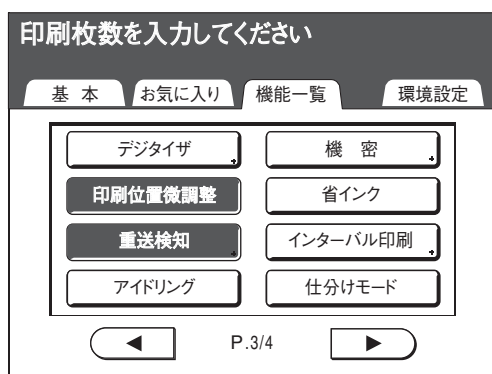
「印刷位置微調整」ができるように設定されている場合は、印刷位置を約0.1mm単位で微調整できます（通常は0.5mm単位）。

参考

「印刷位置微調整」を使えるように設定したい場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守サービス会社）にご連絡ください。

「印刷位置微調整」が使える場合は、機能一覧画面に＜印刷位置微調整ボタン＞が表示されます。

＜印刷位置微調整ボタン＞にタッチすると、「印刷位置微調整」が「ON」（白黒反転表示）になり、印刷位置調整が0.1mm単位になります。「OFF」にすると、0.5mm単位になります。



試し刷りをする

【試し刷り】



印刷の位置や濃度などの調整後、仕上がりを確認できます。
 試し刷りをしても、枚数カウンターに表示された印刷枚数は変化しません。



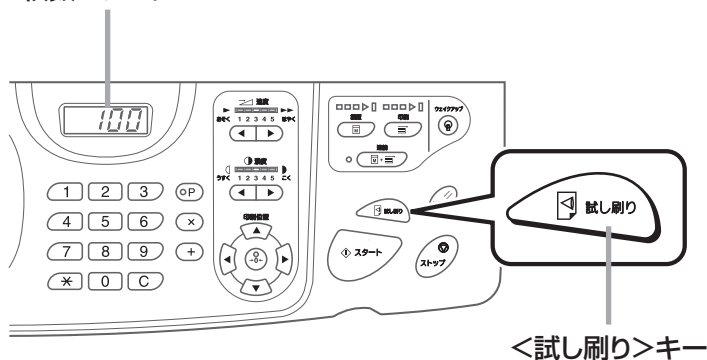
参考

- ・ <試し刷り>キーを押し続けると、連続して試し刷りができます。
- ・ 連携機 Prioα(別売)から試し刷りを出力することはできません。

<試し刷り>キーを押す

試し刷りが 1 枚印刷されます。

枚数カウンター



特殊な用紙を使うときの 紙づまりを防ぐ [重送検知]

印刷
機能一覧
重送検知

印刷するときに設定する機能

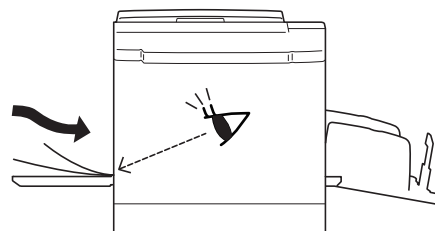
本機には、印刷用紙の給紙状態を監視し、用紙が重なったまま送られると印刷を自動的に停止する「重送検知」機能を搭載しています。

「重送検知」のセンサーは、一般的な印刷用紙に合わせて設定されているため、使用する用紙によっては正常に1枚給紙された場合も重送と検知し、エラーが表示されることがあります。以下の場合には、「重送検知」を「OFF」にしてください。

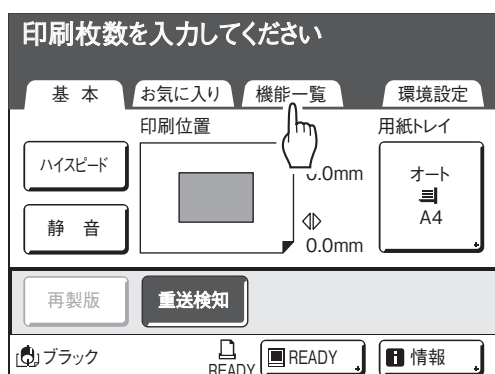
- 重送していないのに度々「重送検知」メッセージが表示される
- 地色が濃い用紙(黒・赤・紺など)を使用している
- 裏面にすでに印刷されている用紙を使用している

参考

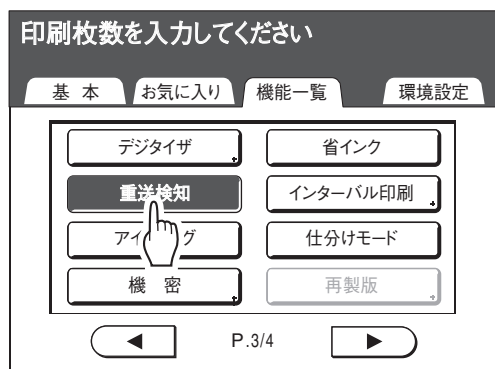
工場出荷時には、「重送検知」は「ON」に設定されています。
P.161「初期設定を変更する [環境設定] / 重送検知基本設定」



1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <重送検知ボタン>にタッチする



ボタンが白黒反転表示から通常の表示に変わり、「重送検知」が「OFF」になります。

裏移りを少なくする

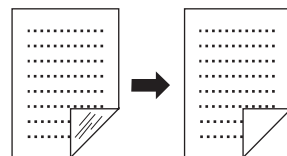
[インターバル印刷]

印刷

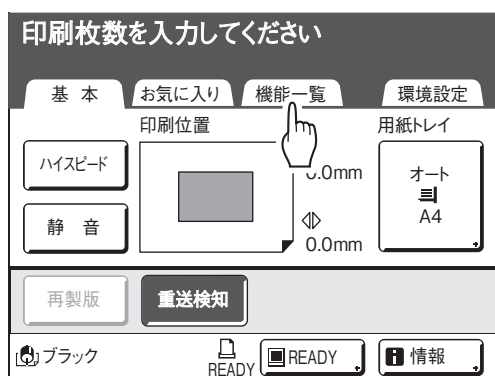
機能一覧
インターバル印刷

印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔をあけることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。

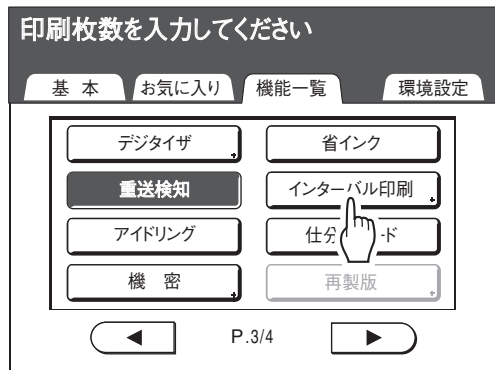
空転回数は、1 回～ 10 回の間で設定できます。



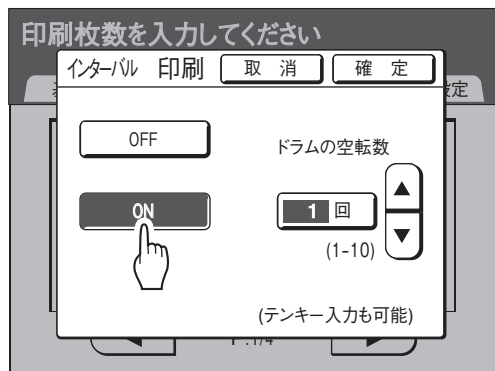
1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



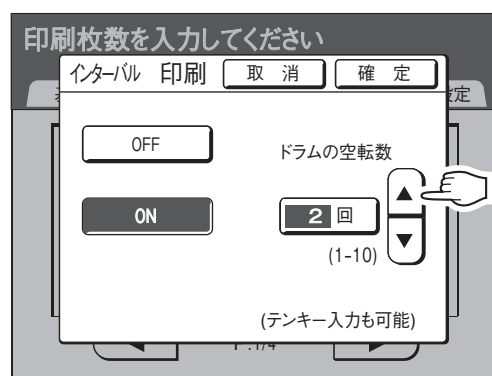
2 <インターバル印刷ボタン>にタッチする



3 <ON ボタン>にタッチする



4 <▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチしてドラムの空転数を指定する



参考

- テンキーでも入力できます。
- 長尺用紙を使用する場合にドラムの空転数を奇数回に設定すると、実際には「設定した回数 + 1 回」の空転を行います。
 ● P.177「奉書(長尺の用紙)」にプリントするときは」

5 <確定ボタン>にタッチする

指定した「インターバル印刷」に設定され、機能一覧画面に戻ります。

色紙をはさんで印刷物を仕分ける

(SE938F/638F のみ)

【仕分けモード】

印刷
機能一覧
仕分けモード

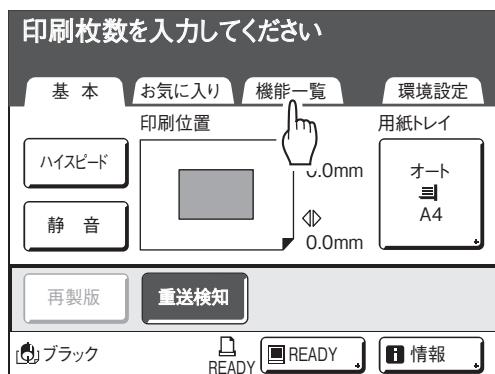
印刷するときに設定する機能

プログラムなどを使用してプリントする場合、「仕分けモード」を使うと、設定した組や原稿の印刷終了ごとに自動的に色紙などの仕分け用紙を挿入することができます。停止のタイミングごとに印刷物を取り除いたりする必要がありません。

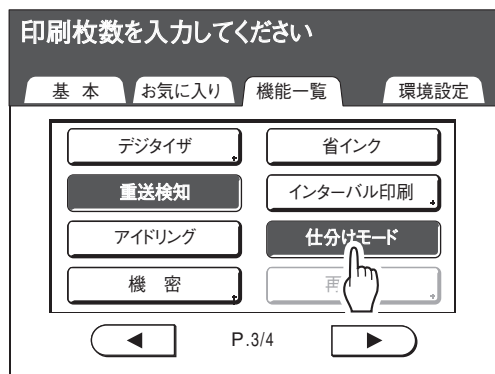
重要

- 「仕分けモード」を使用するには、あらかじめ「環境設定」で「仕分けモード設定」を「有効」にし、「仕分け用紙トレイ」(仕分け用紙をセットするトレイ)を指定しておく必要があります。
P.165「初期設定を変更する [環境設定] / 仕分けモード設定 (SE938F/638F のみ)」
- 仕分け用紙にもプリントしてから挿入します。通常の印刷用紙と仕分け用紙を区別するために、印刷用紙と同じサイズの色紙などをセットしてください。

1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <仕分けモードボタン>にタッチする



「仕分けモード」でプリントできます。

参考

- 「仕分けモード」を「ON」にすると、3 箇所の給紙口のうち1箇所が仕分け用紙専用となるため、残りの2箇所のどちらかに、使用したいサイズの印刷用紙をセットしてください。
- 「ハイスピード」が設定されている場合でも、用紙トレイからの印刷速度は最大約 130(枚/分)になります。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

[排紙ウイング特殊][特殊用紙設定]

特殊な用紙を使用して印刷を行う場合や、印刷画像にムラなどが発生した場合に、給紙・排紙設定を調整することができます。

■ 排紙ウイング特殊

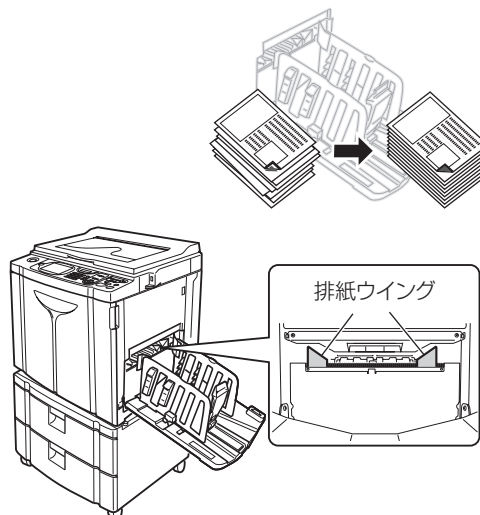
事前に登録してある排紙ウイングの特別な設定を呼び出します。通常、自動的に調節される排紙ウイングの位置では、適切に排紙できない用紙に印刷する場合に使用します。

重要

- 「排紙ウイング特殊」は、あらかじめ登録されている場合のみ、表示されます。
- あらかじめ登録できる設定は 1 種類です。
- 登録したい場合や、設定を変更したい場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守サービス会社)にご連絡ください。

参考

「排紙ウイング」は、印刷物を排紙台に飛ばすための装置です。通常は、給紙台にある「給紙圧調節レバー」の位置(標準/厚紙)によって、自動的に調節されています。



■ 特殊用紙設定

設定した内容を登録しておくと、次回から同じ設定を簡単に呼び出してプリントできます。「特殊用紙設定」では、以下の設定が可能です。

特殊用紙設定

使用する用紙の特性に合わせて、給紙台の位置や、用紙のたるみ量を調整できます。給紙に関しての調整方法については「給紙に関しての設定をする [特殊給紙調整]」(P.105)を参照してください。

排紙フェンス調整(オプションのオートフェンス排紙台を装備の場合)

オートフェンス排紙台の排紙フェンス/ストッパーの位置は、使用する用紙のサイズおよび変倍率に合わせて、自動的に調整されますが、必要に応じてディスプレイ上のボタン操作で、排紙フェンス/ストッパーの位置を微調整することができます。

排紙フェンス/ストッパーの調整方法については、「オートフェンス排紙台を調整する [排紙フェンス調整] (オプションのオートフェンス排紙台を装備の場合)」(P.106)を参照してください。

重要

排紙フェンス/ストッパーが倒れているときには、「排紙フェンス調整」を行えません。

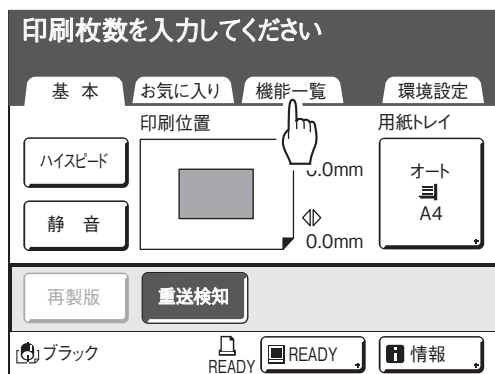
特殊排紙調整

原稿の画像種類や用紙の種類によっては、エアブロー、分離ファンなどの影響を受けて、印刷画像にムラやブレが発生する場合があります。そのような場合に、エアブロー、分離ファン、プレサクションファン(SE938F/938のみ)、サクションファンの加減を調整してプリントできます。

排紙に関しての調整方法については「排紙に関しての設定をする [特殊排紙調整]」(P.108)を参照してください。

排紙ウイング特殊を設定する[排紙ウイング特殊]

1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



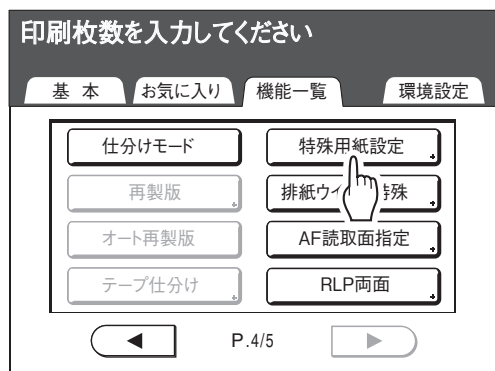
2 <排紙ウイング特殊ボタン>にタッチする



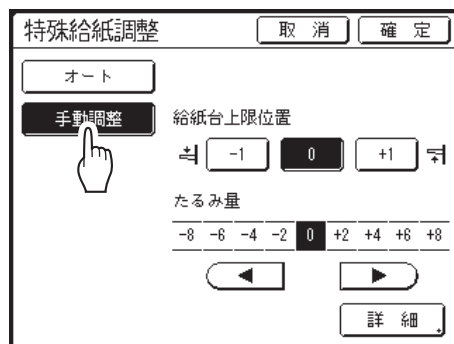
「排紙ウイング特殊」が指定されます。

給紙に関する設定をする[特殊給紙調整]

1 機能一覧画面で<特殊用紙設定ボタン>にタッチする

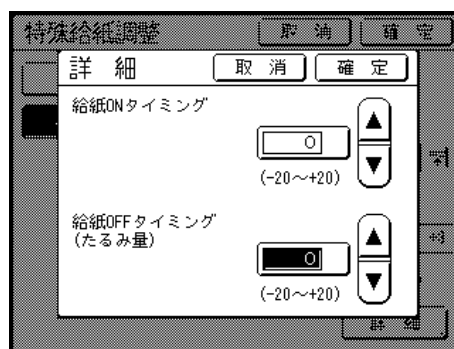
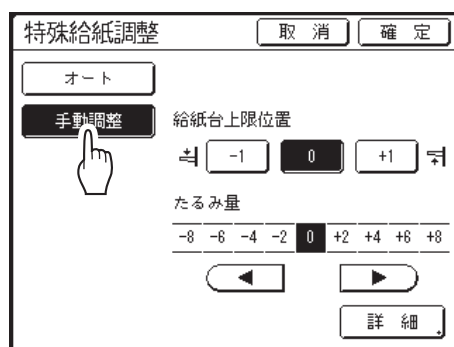


2 <特殊用紙設定ボタン>にタッチする



3 必要に応じて<手動調整ボタン>にタッチする

給紙台上限位置やたるみ量を調節します。詳細ボタンにタッチすると、さらに給紙 ON タイミングと給紙 OFF タイミングが調節できます。



4 <確定ボタン>にタッチする

特殊用紙設定画面に戻ります。

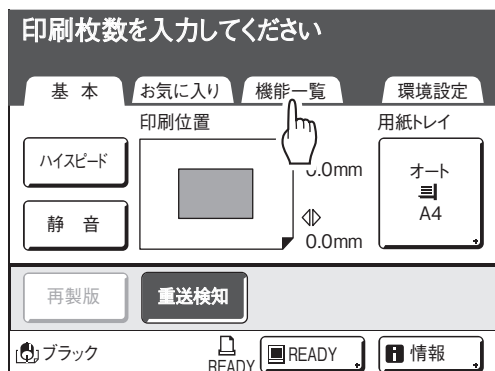
参考

ここで設定した内容は、登録できます。
 P.108「調整値リストへの登録と名称入力」

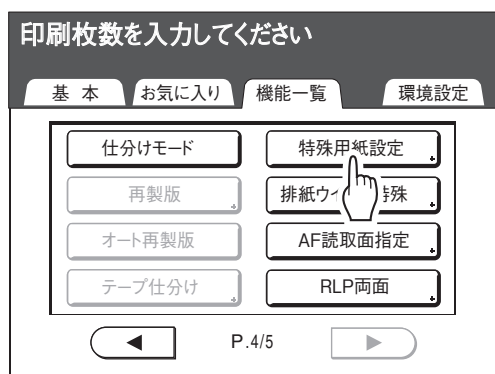
特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

オートフェンス排紙台を調整する [排紙フェンス調整] (オプションのオートフェンス排紙台を装備の場合)

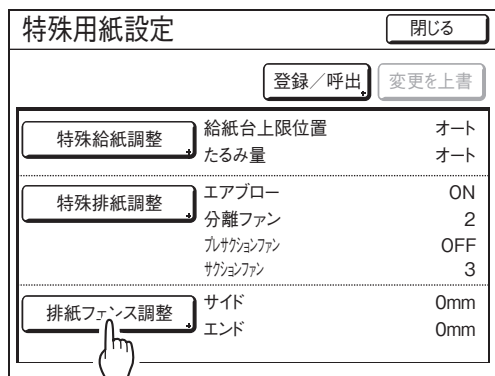
1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



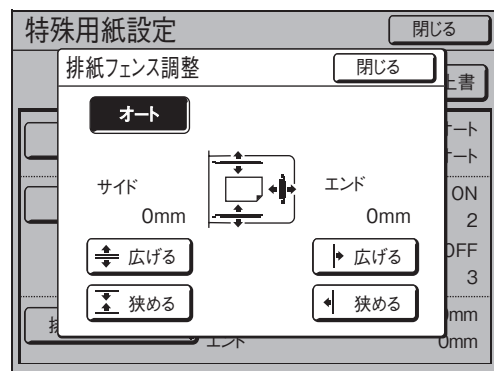
2 <特殊用紙設定ボタン>にタッチする



3 <排紙フェンス調整ボタン>にタッチする



4 各ボタンにタッチして、調整を行う



■ 排紙フェンス/ストッパーの自動調整

<オートボタン>にタッチすると、排紙フェンス/ストッパーの位置が、印刷用紙のサイズに合わせた標準の位置に、自動で調整されます。

■ 排紙フェンス/ストッパーの微調整

<狭めるボタン><広げるボタン><広げるボタン><狭めるボタン>の各ボタンにタッチすると、排紙フェンス/ストッパーが約1mmずつ移動します。

- 排紙フェンスの移動量は「サイド」、ストッパーの移動量は「エンド」に、それぞれ表示されます。
- 微調整による排紙フェンス/ストッパーの設定は、その後セットされる用紙サイズに合わせた調整に反映されます。
- <オートボタン>にタッチすると、自動調整に戻り、「サイド」、「エンド」の移動量は0mmになります。

参考

排紙フェンス(サイド)は、印刷中に[排紙フェンスオープンボタン]を押して広げることができます。(P.23)

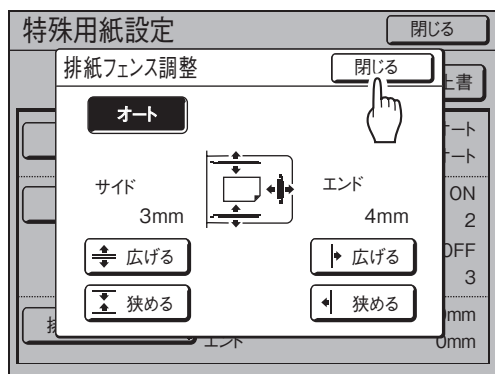
● ボタンと移動対象および移動方向との関係

ボタン	移動対象	移動方向
◀ 狭める	ストッパー	本機側
▶ 広げる		排紙台後方
⬆ 狭める	排紙フェンス	排紙台内側
⬇ 広げる		排紙台外側

参考

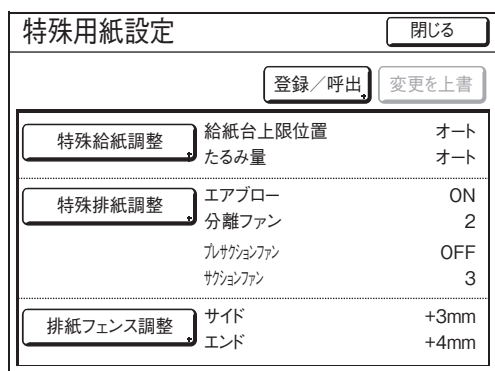
「特殊用紙設定」で設定した内容を登録しておく
と、次回から同じ設定を簡単に呼び出すことが
できます。

5 <閉じるボタン>にタッチする



「特殊用紙設定」画面に戻ります。

6 <閉じるボタン>にタッチする



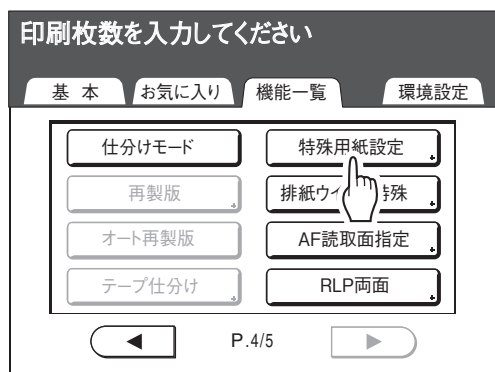
機能一覧画面に戻ります。

ひきつづき、通常の手順で印刷を行うことが
できます。

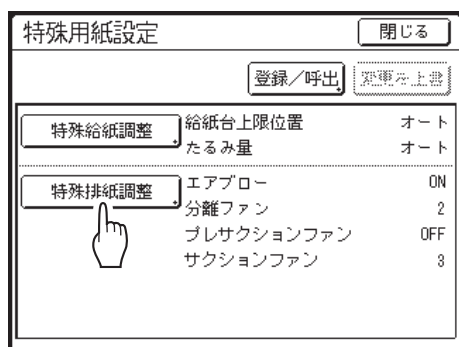
特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う【排紙ウイング特殊】【特殊用紙設定】

排紙に関する設定をする【特殊排紙調整】

- 機能一覧画面で＜特殊用紙設定ボタン＞にタッチする

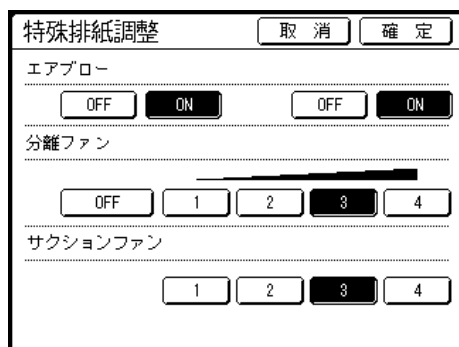


- ＜特殊排紙調整ボタン＞にタッチする



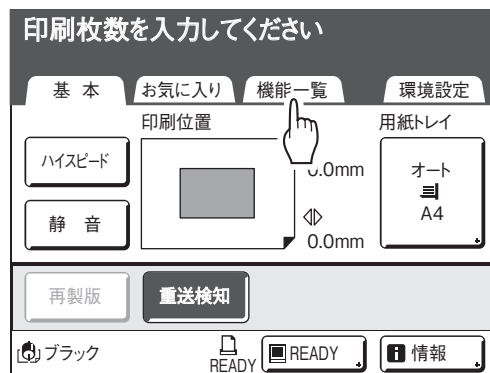
重要 環境設定の「特殊排紙調整基本」で設定した設定値が表示されます。

- 必要に応じて、「エアブロー」、「分離ファン」、「プレサクシオンファン」(SE938F/938のみ)、「サクシオンファン」を調整する

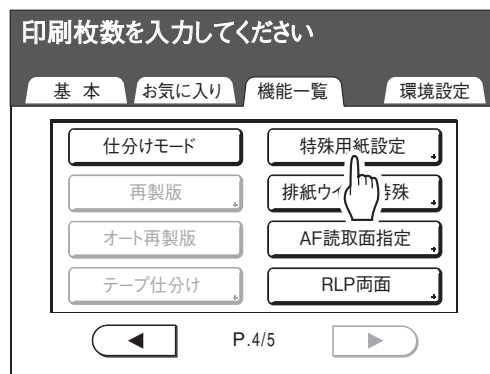


調整値リストへの登録と名称入力

- 印刷基本画面で【機能一覧】にタッチする



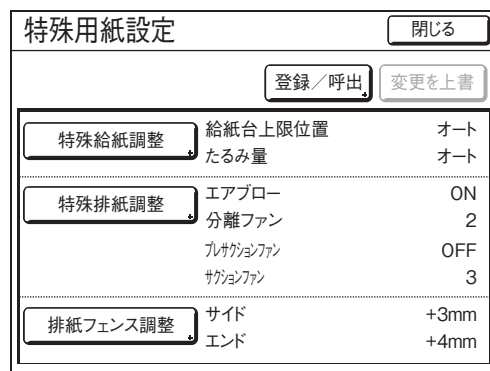
- ＜特殊用紙設定ボタン＞にタッチする



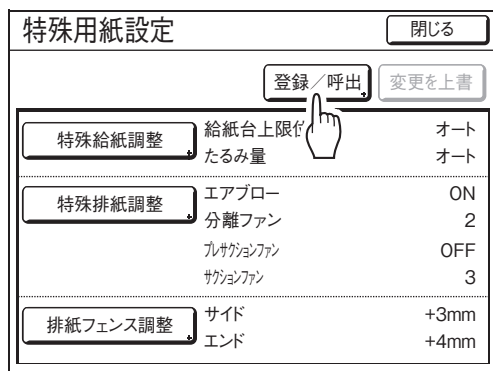
- 「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」、「排紙フェンス調整」(オートフェンス排紙台装備時のみ)を調整する。

参考 各調整項目については、P.98 を参照してください。

- 【特殊用紙設定】画面で、調整内容を確認する

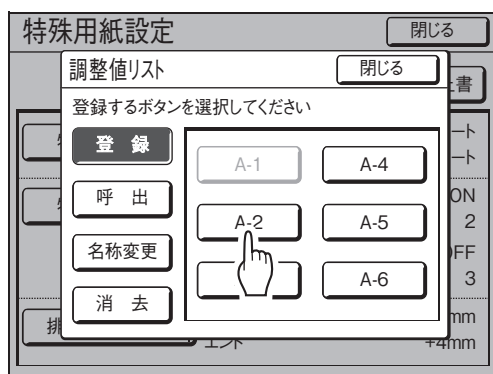


5 <登録／呼出ボタン>にタッチする



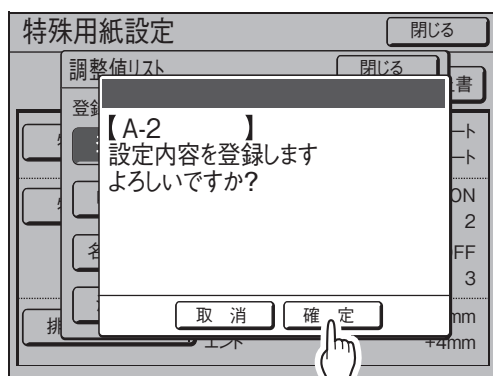
[調整値リスト]画面が表示されます。

6 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みの調整値はグレー表示されタッチできません。

7 <確定ボタン>にタッチする

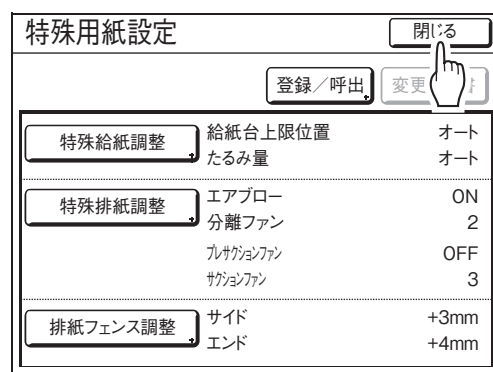


設定した調整値が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。

設定の名称を入力する場合は、次の手順に進んでください。

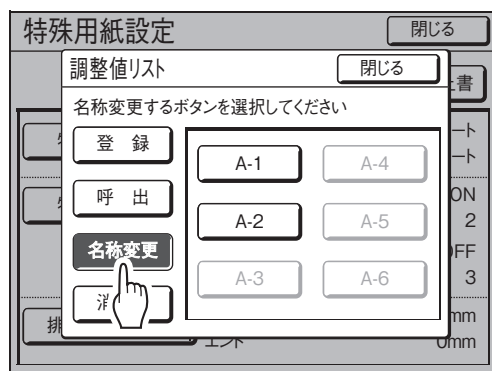
参考

- 登録後、[調整値リスト]画面の<閉じるボタン>にタッチすると、[特殊用紙設定]画面に戻ります。
- [特殊用紙設定]画面の<閉じるボタン>にタッチすると、機能一覧画面に戻り、登録した調整値でプリントできます。

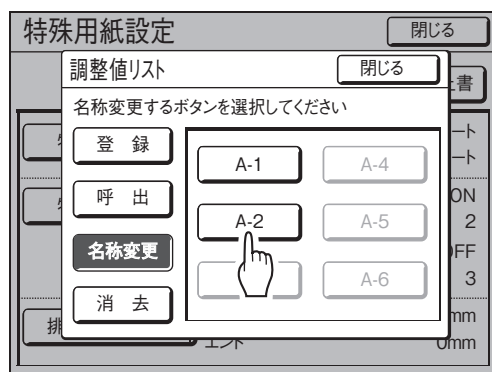


- 設定の登録のみで、調整値を反映させたプリントを行わないときは、操作パネルの<リセット>キーを押してください。

8 <名称変更ボタン>にタッチする



9 名称を入力したいボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]

10 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



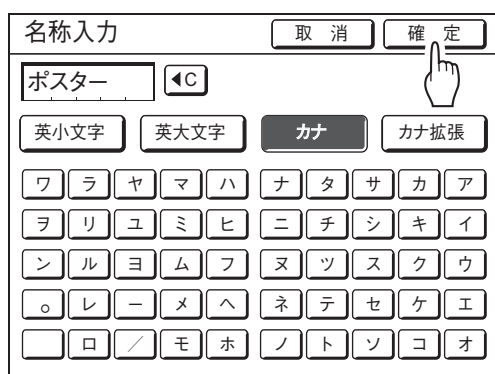
入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.135「名称入力画面について」

参考

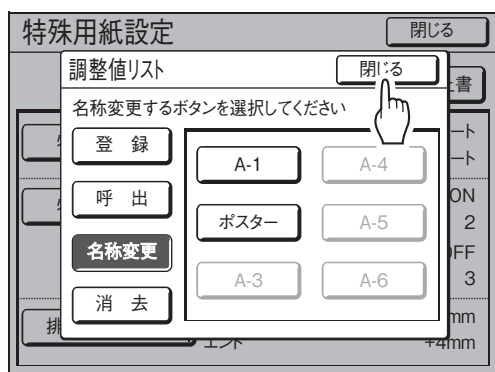
名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<@@ C ボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

11 すべての文字を入力後、<確定ボタン>にタッチする



入力した名称が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。

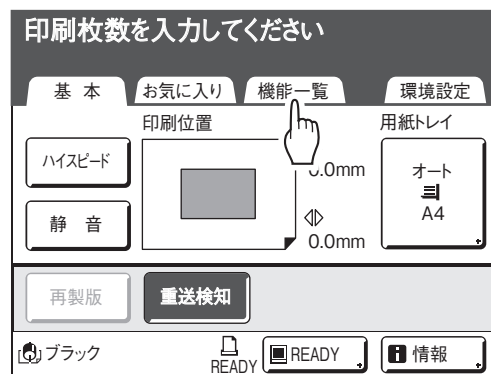
12 <閉じるボタン>にタッチする



[特殊用紙設定]画面に戻ります。

調整値リストから呼び出す

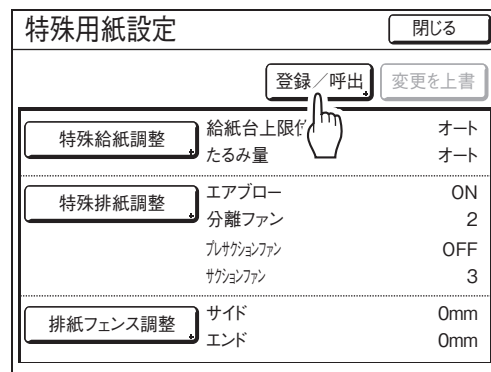
1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <特殊用紙設定ボタン>にタッチする

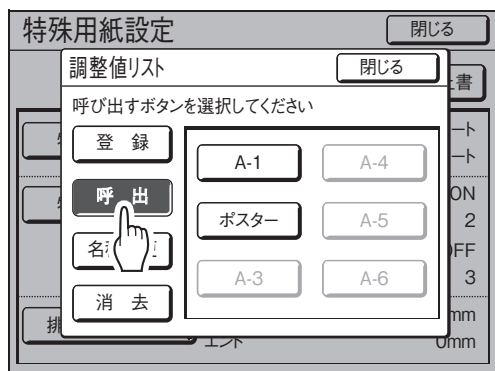


3 <登録／呼出ボタン>にタッチする

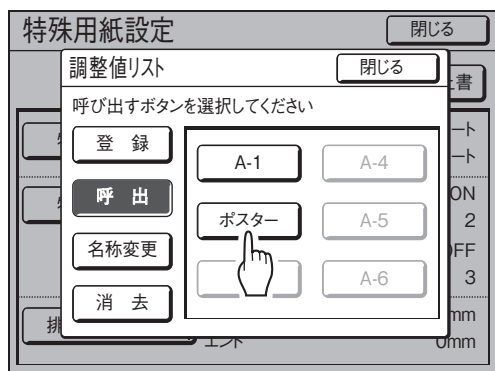


[調整値リスト]画面が表示されます。

4 <呼出ボタン>にタッチする



5 呼び出したいボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

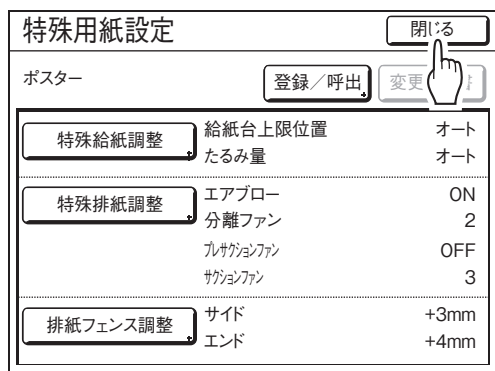
選択した調整値が呼び出され、[特殊用紙設定]画面に戻ります。

調整内容を確認してください。

参考

別の調整値を呼び出したい場合は、再度手順3～5を行います。

6 <閉じるボタン>にタッチする



呼び出した調整値が反映され、機能一覧画面に戻ります。

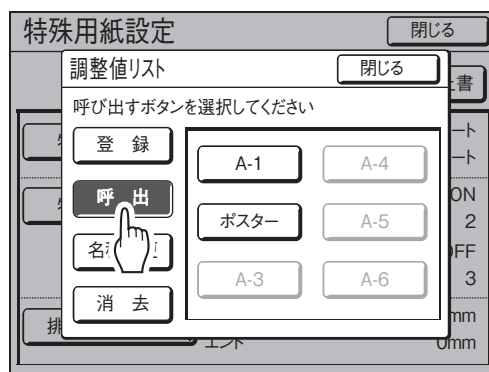
ひきつづき、通常の手順で印刷を行うことができます。

特殊用紙設定の設定内容の変更

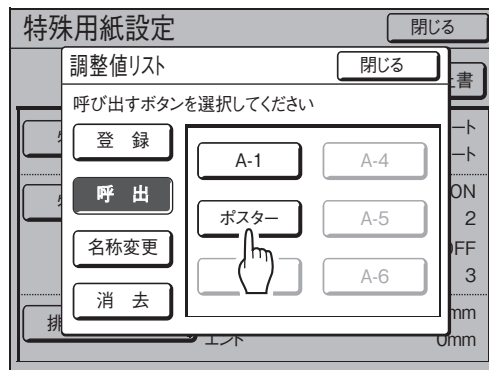
1 [調整値リスト]画面を表示させる

P.104 の手順 1～3 を行います。

2 <呼出ボタン>にタッチする



3 調整値を変更したいボタンにタッチする



4 調整値を変更する

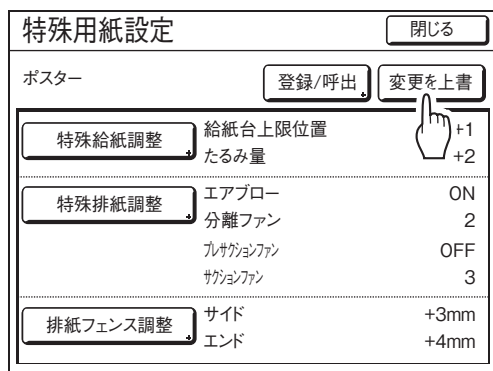
「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」、「排紙フェンス調整」(オートフェンス排紙台装備時のみ)の調整値を変更します。

参考

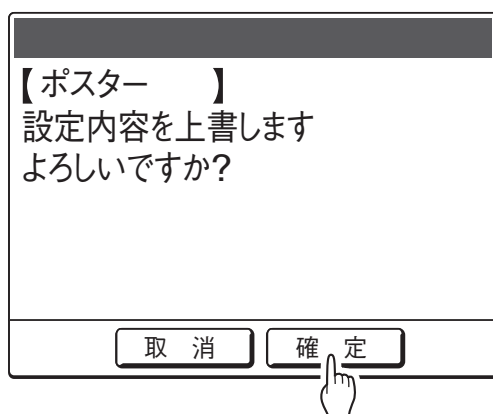
各調整項目については、P.104 を参照してください。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う【排紙ウイング特殊】【特殊用紙設定】

5 【特殊用紙設定】画面で＜変更を上書ボタン＞にタッチする



6 ＜確定ボタン＞にタッチする



7 ＜閉じるボタン＞にタッチする

【特殊用紙設定】画面に戻ります。

特殊用紙設定の消去

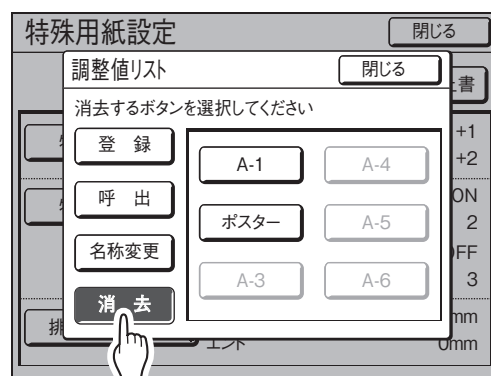
1 【調整値リスト】画面を表示させる

P.110 の手順 1 ～ 3 を行います。

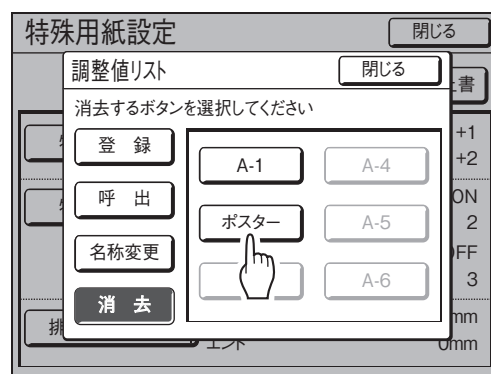


- 消去して良い内容かどうかを確認してください。(設定を呼び出して内容を確認後、手順2以降を行ってください。)
- 消去確定後は復帰させることはできません。

2 ＜消去ボタン＞にタッチする

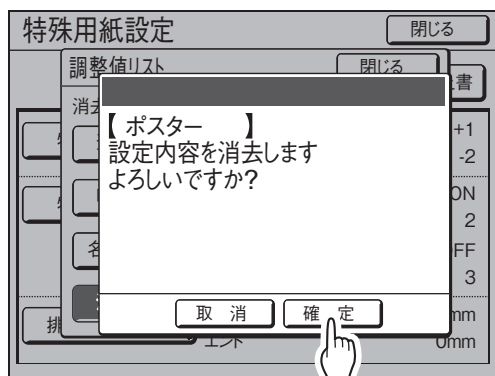


3 消去するボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

4 <確定ボタン>にタッチする



選択した調整値が消去され、[調整値リスト]画面に戻ります。

5 <閉じるボタン>にタッチする

[特殊用紙設定]画面に戻ります。



本機のいろいろな機能

- 116 認証設定をする [認証設定]
- 129 グループ（クラス）分けしてプリントする [プログラム]
- 137 メモリー機能を使う [メモリー]
- 143 機密書類の複製を防止する [機密]
- 144 割り込み印刷を防止する [占有延長]
- 145 アイドリングをする [アイドリング]
- 146 再製版する [再製版] [オート再製版]
- 149 最後のページからプリントする [逆順印刷]
- 151 試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]
- 153 自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する [AF 読取面指定]
- 156 各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]
- 158 ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]
- 160 初期設定を変更する [環境設定]
- 171 POP / お気に入りの設定 [POP] [お気に入り]
- 175 不定形用の紙を登録する [用紙サイズ登録]
- 179 印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]

認証設定をする

[認証設定]

その他

環境設定
認証設定

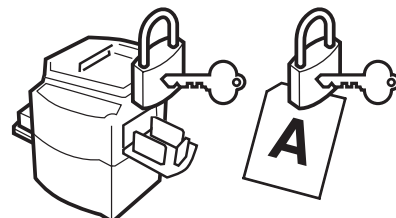
認証項目について

セキュリティの強化やユーザー管理を充実させるために、本機では認証機能を用意しています。

認証機能とは、暗証番号の入力や認証用のUSBメモリ挿入により、誰が使用しているかを本機に認識させる機能です。

認証機能を利用するには、あらかじめ管理者が認証の種類や認証方式の設定、ユーザーの登録を行う必要があります。

ここでは、管理者が認証設定を行う方法を説明します。



■ 認証の種類

認証の種類には、「本体認証」と「認証プリント」があります。

本体認証

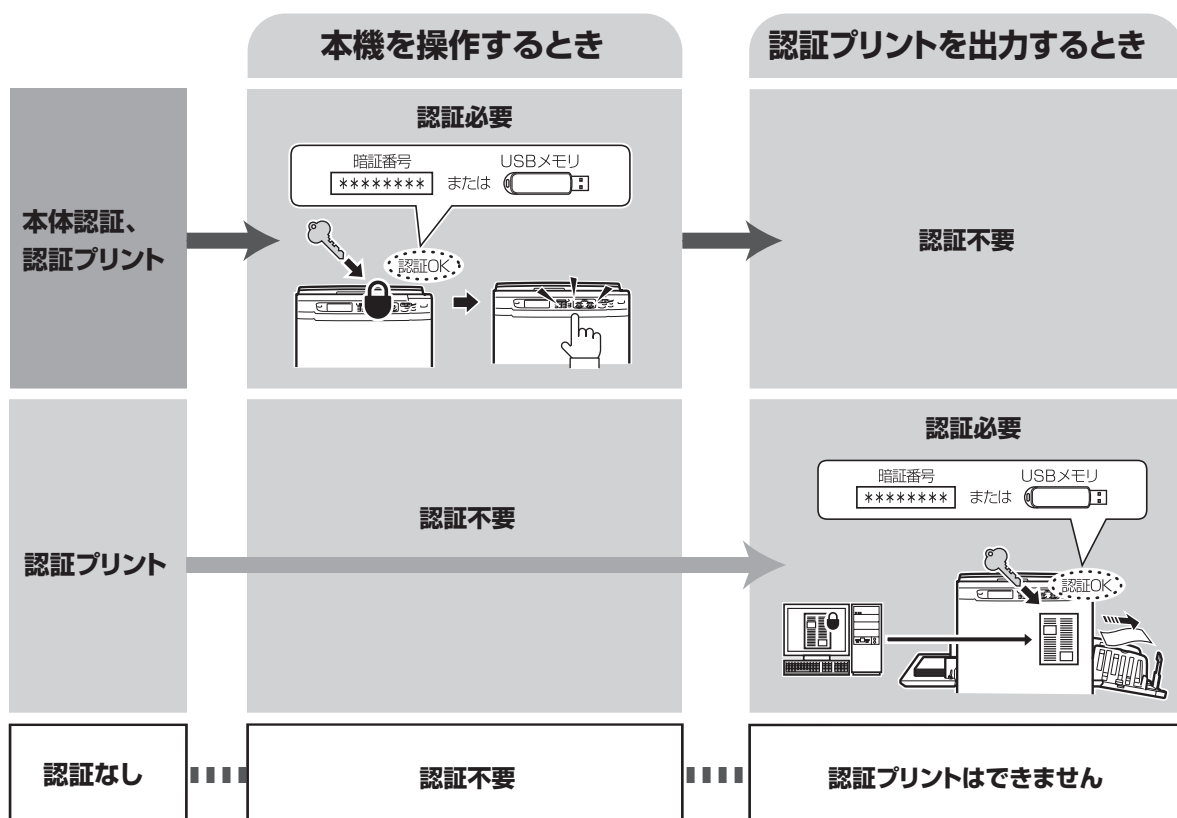
本機の操作をする際に、「認証」を必要とする設定です。本体認証を行うと、以下のメリットがあります。

- ユーザーごとの使用状況を把握できる (P.156「各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]」)
- 本機の利用者を制限したり、ユーザーごとに印刷枚数などを制限できる (P.122「管理者／ユーザーの登録」)
- ユーザーごとに、よく使う機能をPOPエリアに登録できる (P.158「ユーザーごとにPOP登録する [認証POP登録]」)

認証プリント

パソコンから送るデータに認証をかけて、送信します。データは認証待ちになり、暗証番号の入力(USBメモリの挿入)により出力されます。他人に見られたくない文書をプリントする場合などに有効です。

認証操作のタイミング



■ 認証方式

認証方式には、「暗証番号」を使用する方法と「USB メモリ」を使用する方法のどちらか一方が選択できます。ユーザーは「本体認証」や「認証プリント」を行う際に、管理者が設定した認証方式で、認証を求められます。

暗証番号を使用する方法

ユーザーごとに最大 8 桁までの暗証番号を設定します。

ユーザーとして登録する利用者のリストを用意し、ユーザー登録番号と、暗証番号を記録することをおすすめします。

各ユーザーに、設定した暗証番号とユーザー登録番号(認証登録番号)をお知らせください。

USB メモリを使用する方法

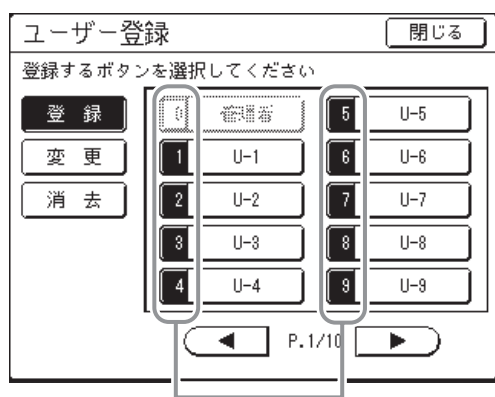
使用するユーザーの人数分 USB メモリを用意し、本機に登録します。

USB メモリは、誰にどの USB メモリを配布するのかが、分かるように準備することをおすすめします。

各ユーザーに、登録した USB メモリとユーザー登録番号(認証登録番号)を配布してください。

参考

ユーザー登録番号(認証登録番号)は、プリンタドライバで「認証プリント」を設定する際に必要です。



ユーザー登録番号(認証登録番号)



認証設定をする【認証設定】

認証機能を有効にするには、あらかじめ管理者により認証設定を行っておく必要があります。
ここでは、認証設定の設定項目とその詳細について説明します。

設定項目について

■ 認証方式(☞ P.120)

認証する方法を選択します。

- 暗証番号** : 認証画面で、ユーザー登録時に設定した暗証番号を入力します。
- USB メモリ** : 認証画面で、ユーザー登録時に認証用に設定したUSBメモリを、USBスロットに挿入します。
- 認証設定消去** : 認証設定で登録した情報(管理者/ユーザー登録含む)が消去され、工場出荷時の設定に戻ります。

参考 認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。はじめに認証方式を確定してから、他の設定を行ってください。

■ 認証有無(認証の範囲)(☞ P.121)

使用したい認証機能に応じて、認証の範囲を以下の3種類から選択します。

- 本体認証、認証プリント** : 本体認証と認証プリントの両方を使用します。
- 認証プリントのみ** : 認証プリントのみ使用します。
- 認証なし** : 本体認証と認証プリントのいずれも使用しません。

参考 認証有無の設定と、認証操作の要・不要との関係、および使用できる認証機能との関係は、以下のようになります。

認証 有無	認証操作		その他の認証機能		
	本体操作時	認証プリント時	利用枚数集計 (☞ P.156)	認証 POP (☞ P.158)	認証データの保存※ (☞ P.188)
本体認証、 認証プリント	必要	不要	使用可 (各ユーザーの使用状況を 正確に把握できる)	使用可	使用可
認証プリント のみ	不要	必要	使用可 (使用状況を正確には把握 できない)	使用不可	使用不可
認証なし	不要	認証プリント 使用不可	使用不可	使用不可	使用不可

※ スキャンモードで読み取った原稿を認証データとして保存する操作

■ 管理者／ユーザーの登録(☞ P.122)

認証する管理者／ユーザーを最大 100 件(管理者を含む)まで登録できます。
登録の際に、以下の項目を設定します。

- ユーザー名称
- 所属グループの設定
- 製版・印刷の上限枚数
- 利用の許可／不許可

登録した内容は、変更・消去が可能です。

ユーザー登録や、その他の認証設定を行うには、管理者の登録が必要です。管理者の登録をすると、認証機能が働きます。

■ グループの名称入力(☞ P.127)

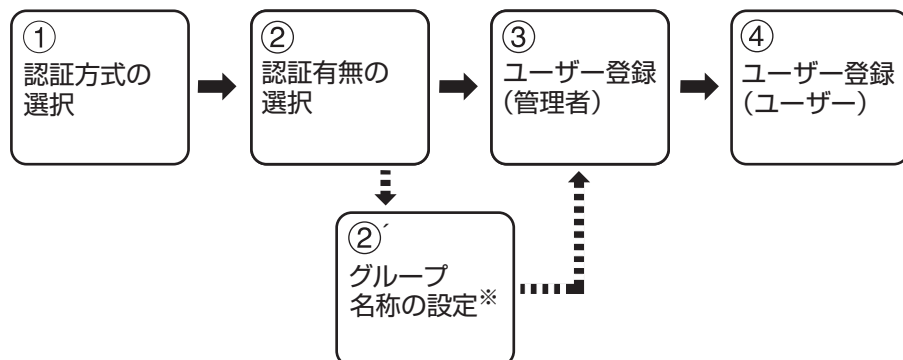
グループ管理をする場合に、グループの名称を設定します。
最大 32 グループまで登録できます。

■ 全ユーザーの利用枚数のクリア(☞ P.128)

すべてのユーザー、グループの利用枚数カウントをクリアします。

認証設定の流れ

認証設定は、以下の順に設定することをおすすめします。



※「利用枚数集計」(☞ P.156)で、グループごとの集計を行いたい場合に設定します。

認証設定をする【認証設定】

認証方式の選択

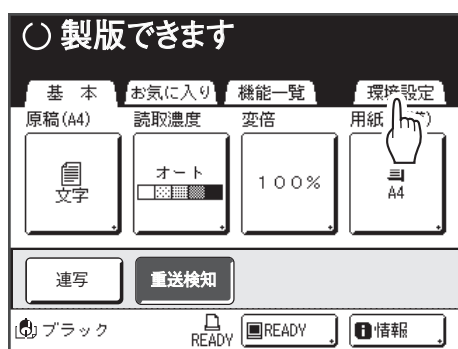
認証設定をするときは、はじめに認証方式の設定をしてください。



認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。

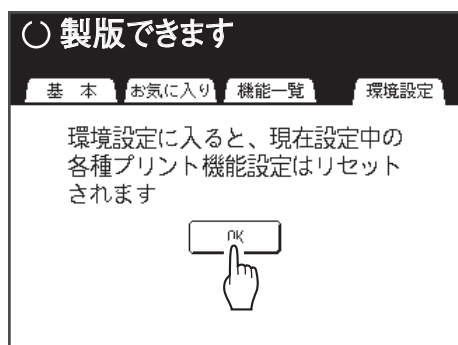
1

各モードの基本画面で[環境設定]タブにタッチする



2

< OK ボタン > にタッチする



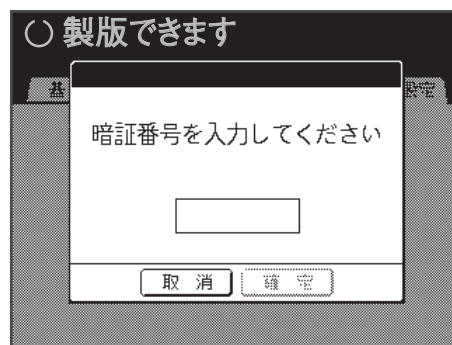
管理者が登録されていない場合は、手順 4 に進んでください。

すでに管理者が登録されている場合は、ここで認証画面が表示されます。手順 3 に進んでください。

3

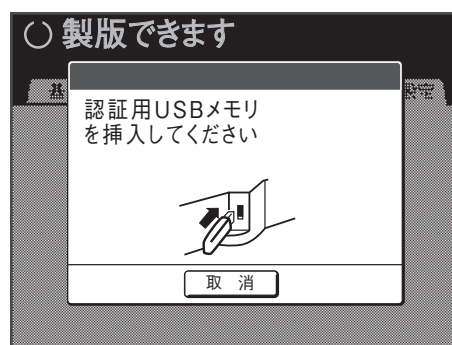
管理者の認証をする

■ 認証方式が「暗証番号」の場合
管理者用の暗証番号を入力します。



■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

管理者認証用の USB メモリを USB スロットに挿入します。



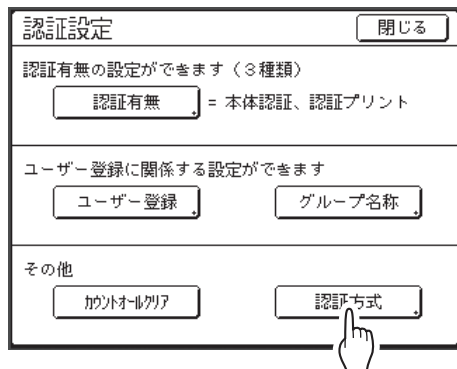
4

< 認証設定ボタン > にタッチする

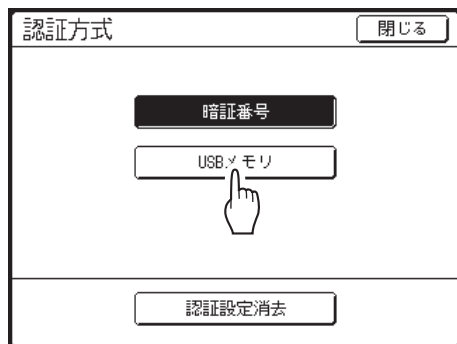


[認証設定] 画面が表示されます。

5 <認証方式ボタン>にタッチする



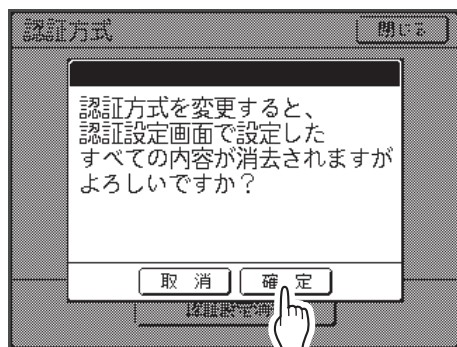
6 認証方式を選択してボタンにタッチする



参考

<認証設定消去ボタン>にタッチすると、すべての認証設定が消去され、工場出荷時の設定になります。

7 <確定ボタン>にタッチする



認証方式が変更され、[認証設定]画面に戻ります。

ひき続き、その他の認証設定を行います。次項目以降を参照してください。

認証有無(認証の範囲)の設定

重要

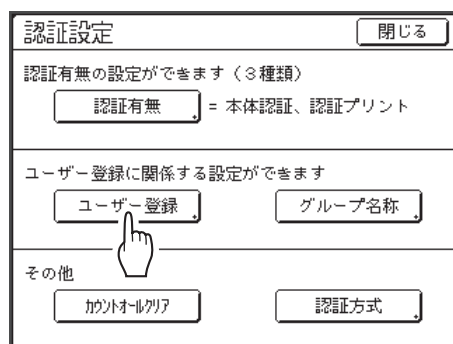
あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。

☛ P.120「認証方式の選択」

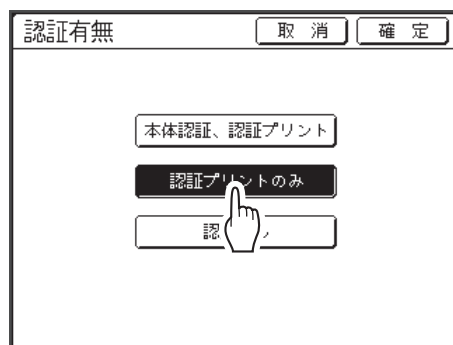
1 [認証設定]画面を表示させる

P.120「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

2 <認証有無ボタン>にタッチする



3 設定したい範囲のボタンにタッチする



各設定の認証の有効範囲については、P.116を参照してください。

4 <確定ボタン>にタッチする

選択した認証の範囲が設定され、[認証設定]画面に戻ります。

ひき続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

認証設定をする【認証設定】

管理者／ユーザーの登録

認証機能を有効にするには、管理者を登録する必要があります。

最大 100 件まで登録できます。(管理者を含む)

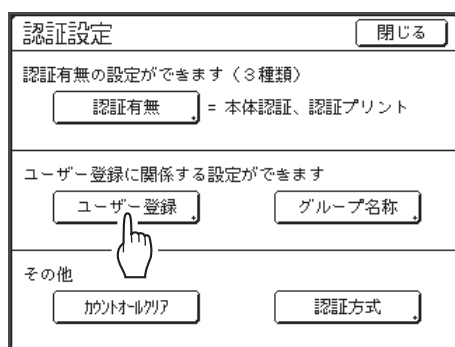
1 【認証設定】画面を表示させる

P.120「認証方式の選択」の手順 1～4 を行います。

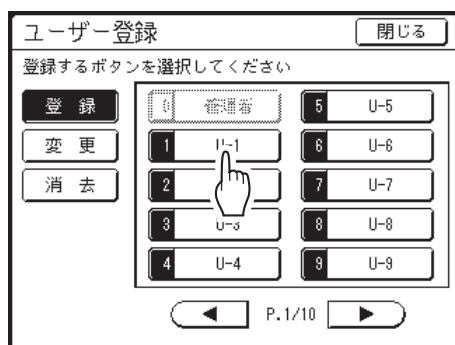


- あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。
- グループ設定をする場合は、先にグループ名称を設定することをおすすめします。(P.127)

2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする



3 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みのボタンはグレー表示されタッチできません。



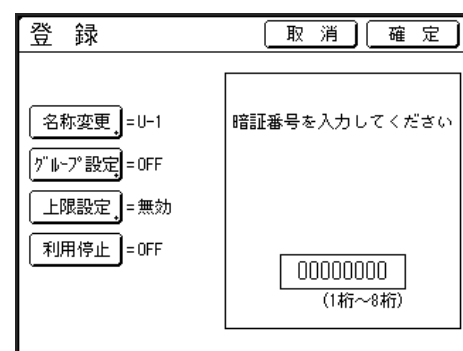
- 必ず最初に管理者を設定してください。
- 管理者を登録していない場合は、<0管理者ボタン>以外はタッチできません。
- <0 管理者ボタン>は、管理者専用ボタンです。名称を変更しても管理者として扱われます。

4

暗証番号を入力するか、USBメモリを挿入する

■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで暗証番号を入力します。

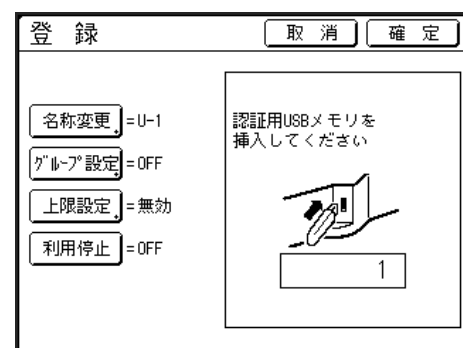


最大 8 桁まで入力できます。

数値をクリアするときは < C > キーを押します。

■ 認証方式が「USBメモリ」の場合

認証用の USB メモリを USB スロットに挿入します。

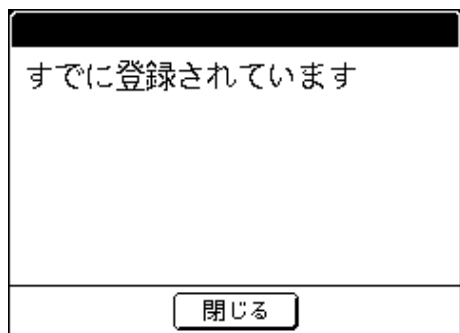


認証用 USB メモリを区別する番号が表示されます。

参考

多数の USB メモリを登録する場合は、ユーザー名を USB メモリに貼っておくなど、後から USB メモリを識別できるようにしておくことをおすすめします。

登録済みの暗証番号を入力したり(認証方式「暗証番号」)、すでに認証用に設定済みの USB メモリが挿入されていると(認証方式「USB メモリ」)、確定にタッチしたときに次のメッセージが表示されます。



<閉じるボタン>にタッチし、未登録の暗証番号を入力するか、認証未設定のUSBメモリを挿入してください。

5 各種の設定をする

必要に応じて以下の設定を行います。

- 名称変更(☞ P.123)
- グループ設定(☞ P.124)
- 上限設定(☞ P.124)
- 利用停止(☞ P.125)

6 <確定ボタン>にタッチする

管理者またはユーザーが登録され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

複数のユーザーを登録するときは、<登録ボタン>にタッチして、手順 3 ～ 6 を繰り返してください。

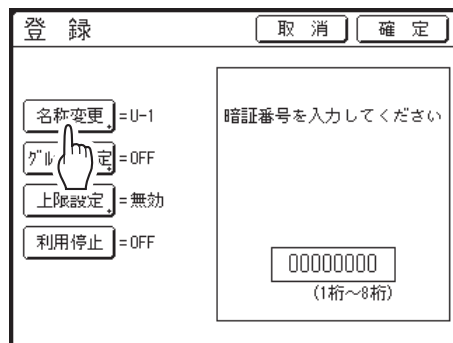
7 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。ひき続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。

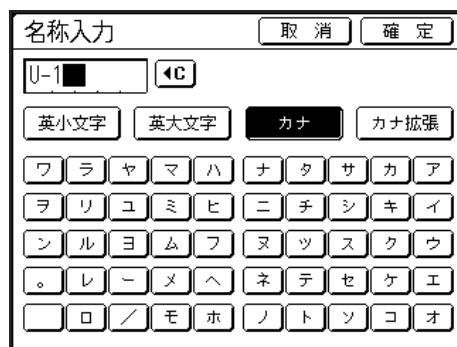
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

ユーザー名を入力する

1 [登録]画面で<名称変更ボタン>にタッチする



2 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.135「名称入力画面について」

参考

名称入力欄の文字は、<◀C ボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

3 <確定ボタン>にタッチする

入力した名称が登録され、[登録]画面に戻ります。

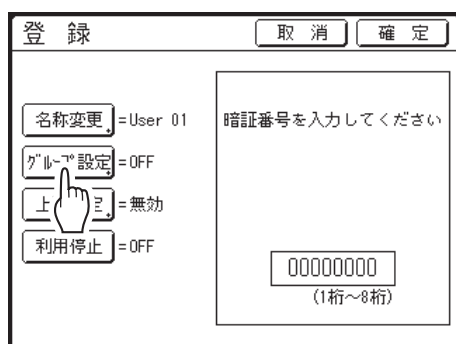
認証設定をする【認証設定】

所属するグループを設定する

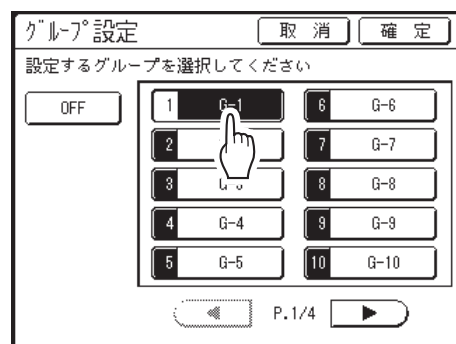
所属グループを設定すると、グループごとに利用枚数を集計できます。

☛ P.156「各ユーザーの利用枚数を確認する【利用枚数集計】」

1 [登録]画面で<グループ設定ボタン>にタッチする



2 設定するグループボタンにタッチする



参考

- グループを設定しない場合は<OFFボタン>にタッチします。
- グループの名称を設定できます。名称入力については P.127「グループの名称入力」を参照してください。

3 <確定ボタン>にタッチする

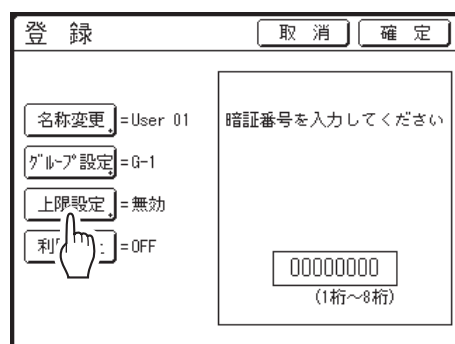
登録画面に戻り、設定したグループが表示されます。

ユーザーの利用枚数の上限を設定する

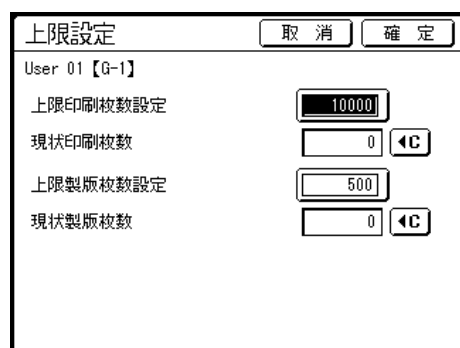
印刷枚数／製版枚数の上限を設定します。最大 99,999,999 枚まで設定できます。

また、現状印刷／製版枚数をクリアすることができます。

1 [登録]画面で<上限設定ボタン>にタッチする



2 入力ボックスにタッチし、テンキーで上限枚数を入力する



参考

- 入力を取り消したいときは、<C>キーを押します。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」には、それぞれ現在までにユーザーが印刷または製版した枚数が表示されます。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」をクリアする場合は、それぞれの<Cボタン>にタッチします。

3 <確定ボタン>にタッチする

利用枚数の設定が変更され、[登録]画面に戻ります。

ユーザーを利用停止にする

[登録]画面で<利用停止ボタン>にタッチして「ON」にする

「利用停止」が有効になり、利用停止されたユーザーは認証できません。

参考

- 利用停止を解除するときは、<利用停止ボタン>にタッチして「OFF」にします。
- 管理者の[登録]画面では、<利用停止ボタン>は設定できません。(グレー表示されます。)

管理者／ユーザー登録の変更

1 [認証設定]画面を表示させる
P.120「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする

3 <変更ボタン>にタッチする

4 変更するユーザーボタンにタッチする

登録済みのボタンが実線で表示されます。未登録のボタンはグレー表示されタッチできません。

認証設定をする【認証設定】

5 各種の設定を変更する

P.122「管理者／ユーザーの登録」の手順4、5を行います。

6 <確定ボタン>にタッチする

登録内容が変更され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

7 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。

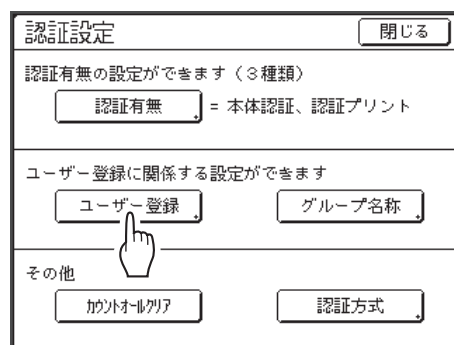
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

ユーザー登録の消去

1 【認証設定】画面を表示させる

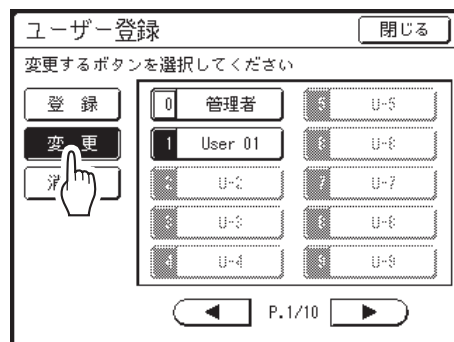
P.120「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

2 <ユーザー登録ボタン>にタッチする

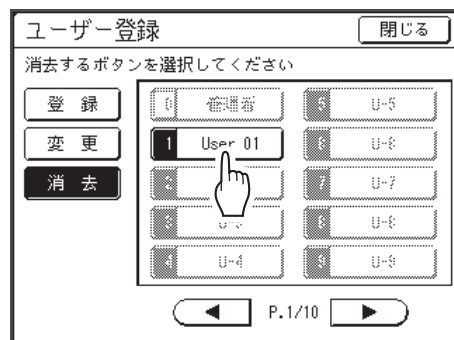


重要 消去確定後は登録を復帰させることはできません。

3 <消去ボタン>にタッチする

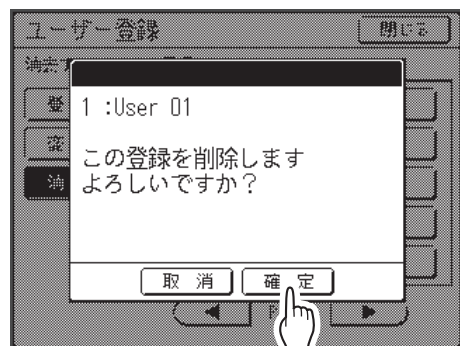


4 消去するユーザーボタンにタッチする



管理者以外の登録済みのボタンが実線が表示されます。未登録のボタン、および管理者ボタンはグレー表示され、タッチできません。

5 <確定ボタン>にタッチする



選択したユーザーの設定が消去され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

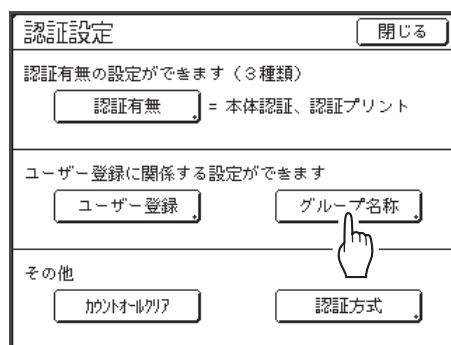
6 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。
認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

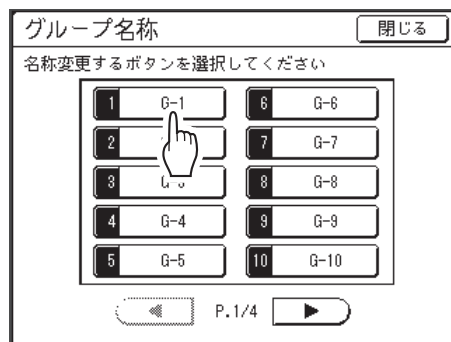
グループの名称入力

1 [認証設定]画面を表示させる
P.120「認証方式の選択」の手順1～4を行います。

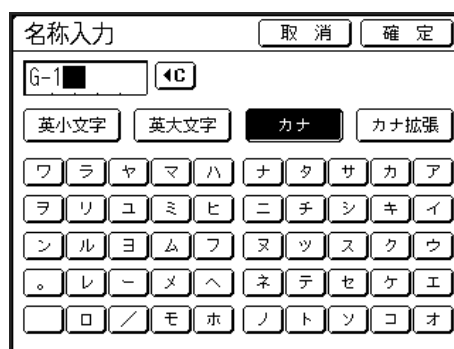
2 <グループ名称ボタン>にタッチする



3 名称を入力するグループボタンにタッチする



4 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.135「名称入力画面について」

認証設定をする【認証設定】

参考

カナは最大で 5 文字まで、英数字は最大で 10 文字まで入力できます。

5 <確定ボタン>にタッチする

[グループ名称]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

6 <閉じるボタン>にタッチする

[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

全ユーザーの利用枚数のクリア

全ユーザーの利用枚数を一度にクリアすることができます。

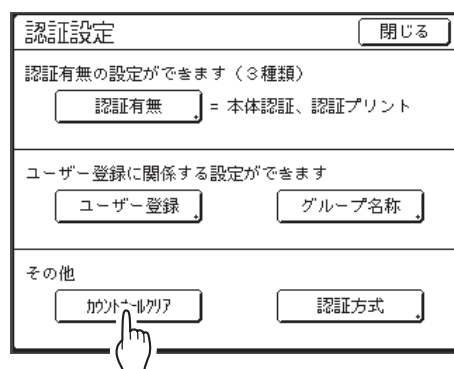
重要

消去確定後は、カウントを復帰させることはできません。

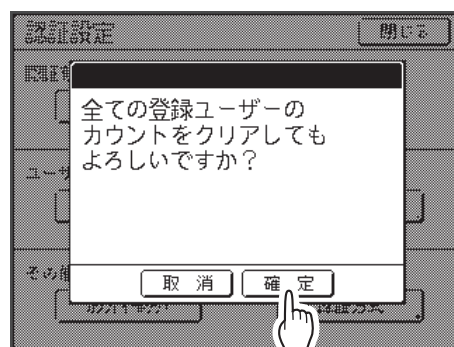
1 【認証設定】画面を表示させる

P.120「認証方式の選択」の手順 1 ～ 4 を行います。

2 <カウントオールクリアボタン>にタッチする



3 <確定ボタン>にタッチする



すべてのユーザー別利用枚数がクリアされ、[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で<閉じるボタン>にタッチして[環境設定]画面に戻ります。

グループ(クラス)分けしてプリントする

【プログラム】

製版

機能一覧
プログラム

本機のいろいろな機能

「プログラム」は、印刷枚数などをあらかじめ設定することで、そのつど、印刷枚数を入力しないでプリントできる機能です。各区切りで印刷がいったん停止します。

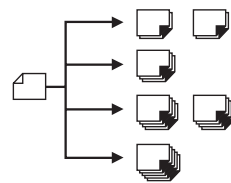
設定したプログラムを登録しておくと呼び出して使用することができます。

学校などで、各学年のクラスの人数を登録しておくとう便利です。

プログラムには、「1 原稿プログラム」と「多原稿プログラム」があります。

重要

「プログラム」は、「オート再製版」とは併用できません。

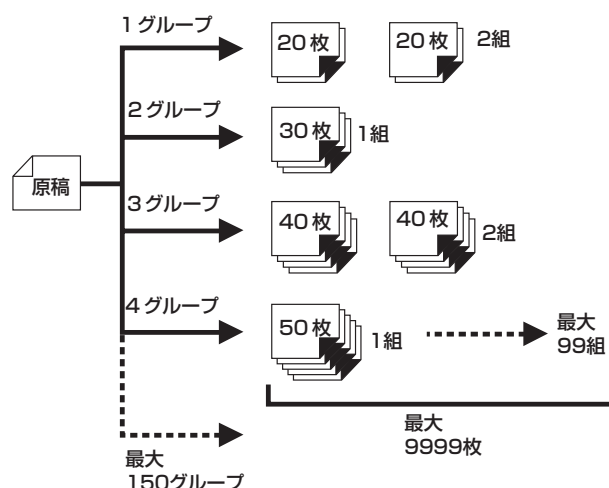


1 原稿プログラム

1 枚の原稿をいくつかのグループに分けてプリントできます。

最大 150 グループまで、1 グループに最大 9999 枚で 99 組まで設定できます。

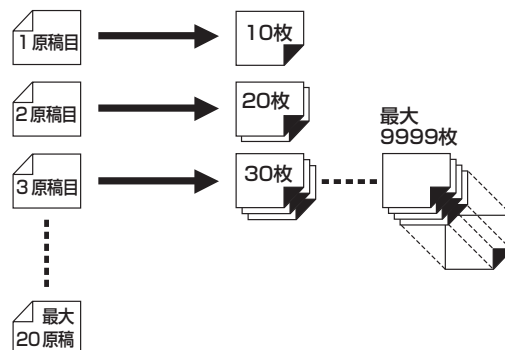
各グループに対して、プリント枚数とその枚数を何組プリントするかを設定できます。



多原稿プログラム

1 原稿の最大プリント枚数は 9999 枚までです。

複数枚の原稿(最大 20 原稿)をそれぞれ異なる枚数でプリントできます。



グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

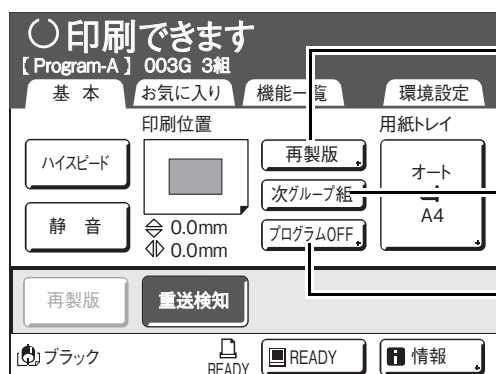
プリント方法

プログラムを使用してプリントする方法は、2 種類あります。

- プログラムを設定してプリント(登録しないでプリントする場合) P.131
- 登録済みのプログラムを呼び出してプリント(あらかじめ登録した設定でプリントする場合) P.135

印刷基本画面で次の指定ができます。

指定するときは、それぞれのボタンにタッチしてください。



[再製版]

.....最後に製版したデータを利用して、再度製版することができます。

☛ P.146「再製版する [再製版] [オート再製版]」

[次原稿]または[次グループ組]

.....実行中の印刷を中止し、次の組・グループ、原稿のプリントに切り替えます。

[プログラム OFF]

.....プログラムを解除します。

参考

- SE938F/638F の場合、「プログラム」と「仕分けモード」を組み合わせると便利です。
☛ P.103「色紙をはさんで印刷物を仕分けする [仕分けモード]」
- オプションの ST ソーターとプログラムを組み合わせると便利です。
ST ソーターを使用すると、設定した組や原稿の印刷終了ごとに自動的にテープが出力され、仕分けが行われます。
組ごとに印刷物を取り除いたり、合紙を入れたりする必要がありません。
ST ソーターを使用するときは、機能一覧画面で「テープ仕分け」を「ON」にしてください。
ST ソーターがない場合は、区切りの停止中に排紙台から印刷物を取り出すか、合紙を入れてください。

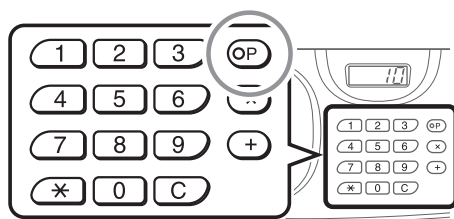
プログラムの設定

[プログラム]画面の表示方法は、2種類あります。

- ディスプレイで機能一覧画面の<プログラムボタン>にタッチする方法
- テンキー部分の<P>キーを押す方法

以下の手順では、テンキー部分の<P>キーを押す方法で説明します。

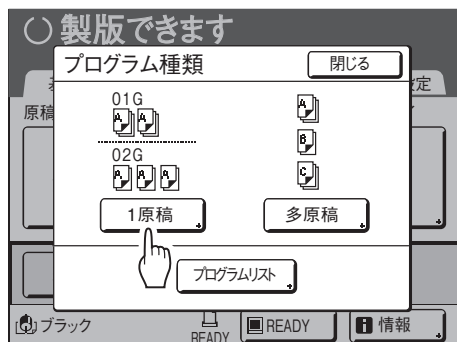
1 <P>キーを押す



参考

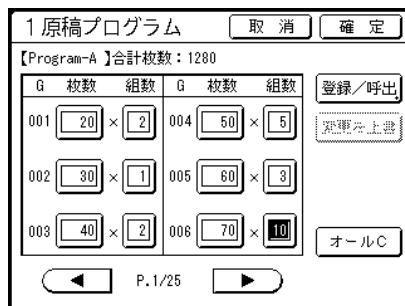
<×>キーを押すと「1 原稿プログラム」、<+>キーを押すと「多原稿プログラム」の入力画面(手順3)が表示されます。

2 <1 原稿ボタン>または<多原稿ボタン>にタッチする



3 テンキーで枚数などを入力する

■ 1 原稿プログラムするとき



- ① テンキーで枚数を入力する
 - ② <×>キーまたは<*>キーを押す
 - ③ テンキーで組数を入力する
 - ④ <+>キーまたは<*>キーを押す
- 複数のグループを設定するときは、①～④の手順を繰り返してください。

参考

- 枚数または組数をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。
- <オールCボタン>にタッチすると、入力したすべての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

重要

ここで設定したプログラムを登録するときは、<登録/呼出ボタン>にタッチしてください。確定後には登録できません。登録する場合は、「プログラムの登録」(P.133)の手順2へ進んでください。

グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

■ 多原稿プログラムのとき

- ① テンキーで枚数を入力する
- ② <+>キーまたは<*>キーを押す
- ③ 上記①、②の手順を繰り返して、各原稿のプリント枚数を入力する

参考

- <+>キー、<*>キーの各キーでも、入力ボックスを上から下へ移動することができます。
- 枚数または組数をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。
- <オールCボタン>にタッチすると、入力したすべての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

重要

ここで設定したプログラムを登録するときは、<登録/呼出ボタン>にタッチしてください。
確定後には登録できません。
登録する場合は、「プログラムの登録」(P.133)の手順2へ進んでください。

4

<確定ボタン>にタッチする

設定したプログラムでプリントできる状態になり、元の画面に戻ります。

参考

枚数または組数を入力後に<確定ボタン>にタッチしなくても、<スタート>キーを押せばプリントを開始することができます。

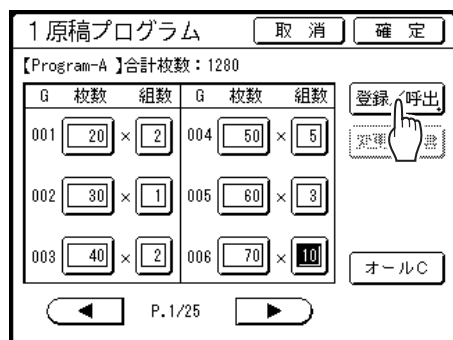
プログラムの登録

よく使うプログラムの設定を登録しておく、呼び出して繰り返しプリントできます。[プログラム] の設定は、1 原稿プログラムと多原稿プログラムの設定は、あわせて 12 件まで登録できます。

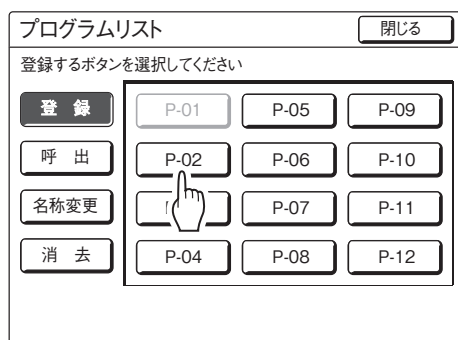
1 プログラムを設定する

「プログラムの設定」(P.131)の手順 1～3を行います。

2 プログラム画面で<登録/呼出ボタン>にタッチする

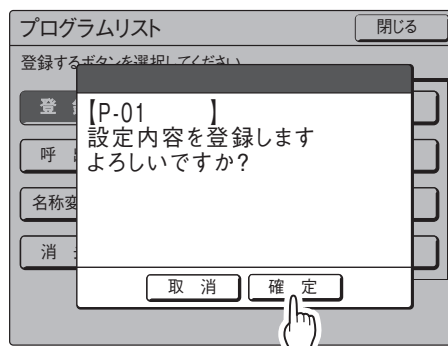


3 未登録のボタンにタッチする



実線で表示されている未登録のボタンにタッチしてください。(グレー表示のボタンは、登録済みです。)

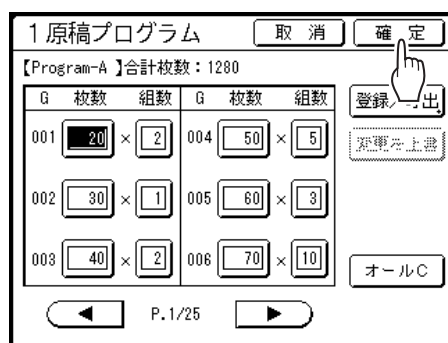
4 <確定ボタン>にタッチする



設定したプログラムが登録され、[プログラムリスト]画面に戻ります。必要があれば、「プログラムの名称入力」(P.134)の手順 3 へ進んでください。

参考

登録後、[プログラムリスト]画面の<閉じるボタン>にタッチするとプログラム画面に戻ります。プログラム画面の<確定ボタン>にタッチすると、登録したプログラムでプリントできます。

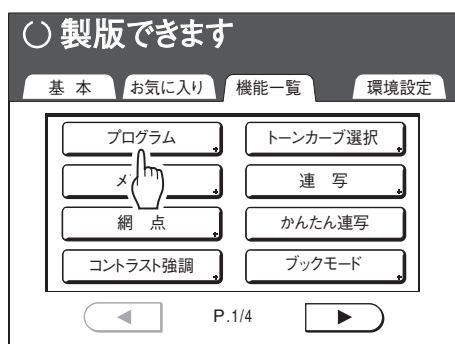


グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

プログラムの名称入力

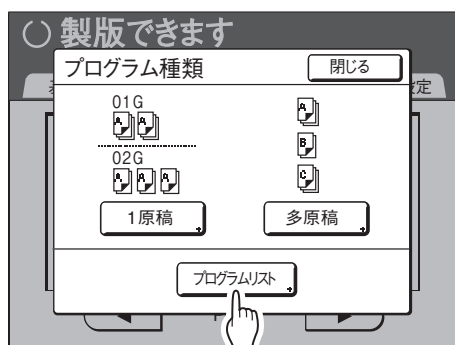
登録したプログラムの名称を、用途や目的に合わせた名称に変更できます。

1 機能一覧画面で<プログラムボタン>にタッチする

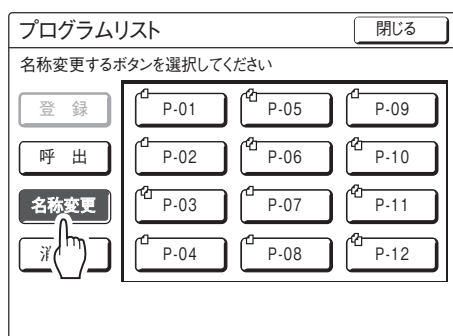


参考 すでに<プログラムボタン>が反転しているときは、タッチするとプログラム画面が表示され、[名称入力]画面に進めません。
<プログラムOFFボタン>にタッチ後<確定ボタン>にタッチして機能一覧画面に戻り、再度<プログラムボタン>にタッチしてください。

2 <プログラムリストボタン>にタッチする

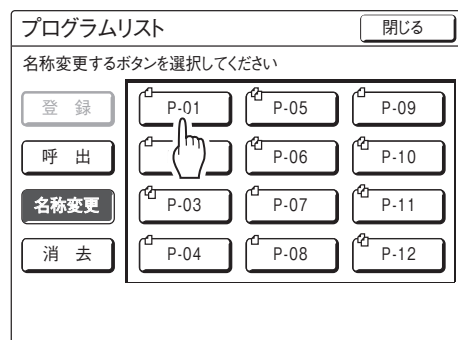


3 <名称変更ボタン>にタッチする

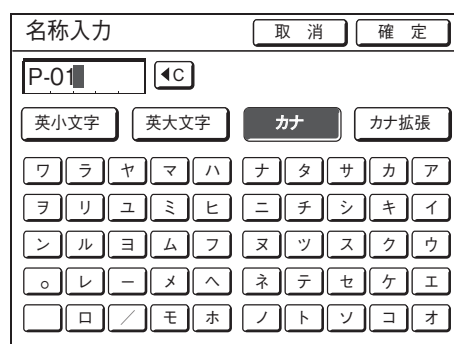


参考 プログラムのボタンの左上に表示される は 1 原稿プログラム、 は多原稿プログラムを示しています。

4 名称を入力したいプログラムにタッチする



5 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.135「名称入力画面について」

参考 名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀C ボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

6 すべての文字を入力後、<確定ボタン>にタッチする

[プログラムリスト]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

名称入力画面について

英小文字



英大文字



カナ



カナ拡張



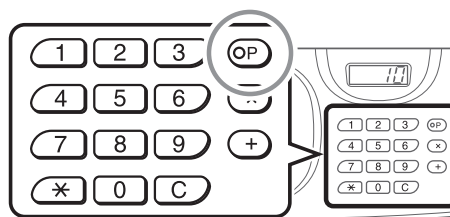
参考

- カナは最大で 5 文字まで、英数字は最大で 10 文字まで入力できます。
- 数字はテンキーでの入力もできます。
- あらかじめ登録してある名称や、入力した文字を消去するときは < C > ボタンにタッチしてください。1 回タッチするたびに、1 文字消去されます。

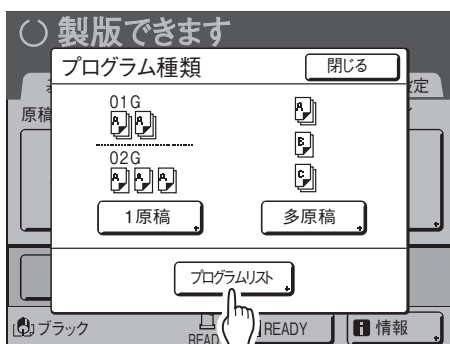
プログラムを呼び出してプリントする

登録済みのプログラムを呼び出して、プリントや設定内容の変更ができます。

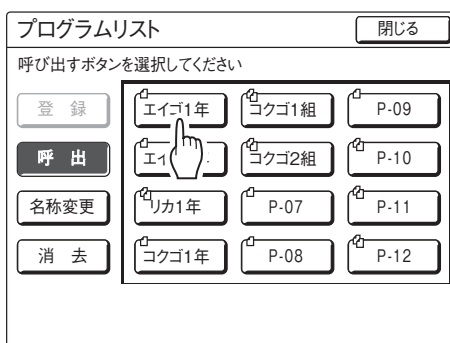
1 < P > キーを押す



2 < プログラムリストボタン > にタッチする



3 呼び出したいプログラムにタッチする



4 < 確定ボタン > にタッチする

呼び出したプログラムでプリントできる状態になり、元の画面に戻ります。

参考

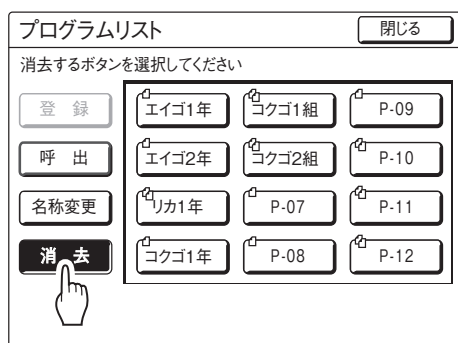
プログラム印刷を中止したい場合は、< P > キーを押して (または [機能一覧] → < プログラムボタン > にタッチして)、表示される画面で < プログラム OFF ボタン > にタッチしてください。< リセット > キーを押してプログラム印刷を中止した場合、そのときの他の設定もリセットされてしまいます。

グループ(クラス)分けしてプリントする【プログラム】

プログラムの消去

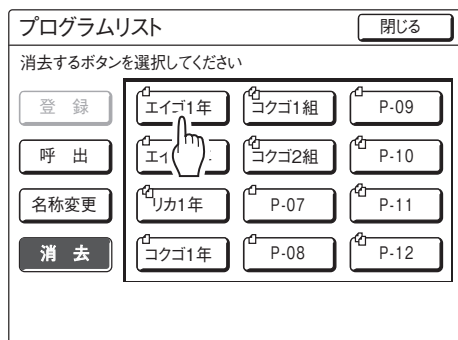
1 [プログラムリスト]画面を表示させる
「プログラムを呼び出してプリントする」
(P.135)の手順 1、2 を行います。

2 <消去ボタン>にタッチする



3 消去するプログラムにタッチする

4 <確定ボタン>にタッチする



選択したプログラムが消去され、[プログラムリスト]画面に戻ります。

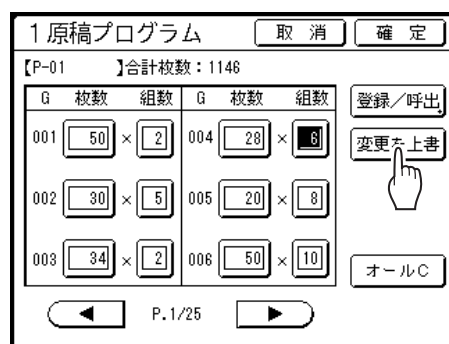
プログラムの設定内容の変更

1 変更したいプログラムを呼び出す
「プログラムを呼び出してプリントする」
(P.135)の手順 1～3 を行います。

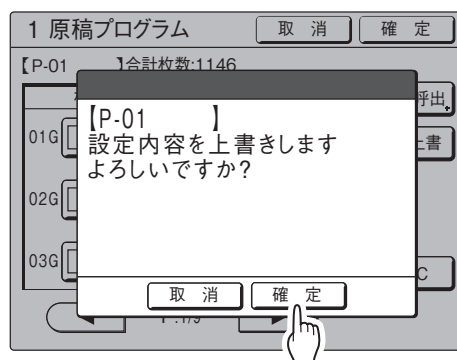
2 プログラムの設定を変更する
表示された画面で、枚数や組数を変更します。

参考 設定については、「プログラムの設定」(P.131)の手順を参照してください。

3 <変更を上書ボタン>にタッチする



4 <確定ボタン>にタッチする



変更したプログラム設定が上書き登録され、プログラム画面に戻ります。

メモリー機能を使う

【メモリー】

その他

機能一覧
メモリー

本機のいろいろな機能

プリント時に行った各種の設定をメモリーに登録できます。

以後、同様の設定でプリントをしたいときには、登録したメモリーを呼び出すだけでプリントができます。最大10件の登録が可能です。

メモリーに登録できる設定は次のとおりです。

■ 製版／印刷時

原稿モード	用紙トレイ※ ¹	レイアウト原稿	印刷濃度	インターバル印刷	エアブロー
網点	用紙サイズ	コントラスト強調	印刷位置	仕分けモード※ ¹	分離ファン
読取濃度	フルサイズ製版	トーンカーブ選択	重送検知	AF オート製版※ ²	プレサクシオンファン※ ³
省インク	ブックモード	とじしろ	特殊給紙調整	テープ仕分け※ ²	サクシオンファン
変倍	連写	印刷枚数	排紙ウィング特殊	オート再製版	
周囲余白	N アップ	印刷速度	連続	AF 読取面指定※ ²	

※¹ SE938F/638F のみ

※² 本機のオプション装着時のみ

※³ SE938F/938 のみ

■ RLP モード(連携機 Prioα(別売)接続時のみ)

原稿モード	ブックモード	電子ソート※	ステーブル※
網点	レイアウト原稿	両面※	パンチ※
読取濃度	コントラスト強調	フェイスアップ※	中綴じ※
変倍	トーンカーブ選択	区分積み※	回転ソート※
周囲余白	印刷枚数	メールボックス※	リバーズ出力※
用紙トレイ	ブックレット※	ソート※	

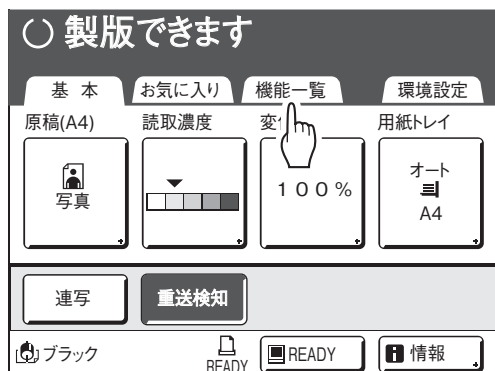
※ オプション装着時のみ

メモリー機能を使う【メモリー】

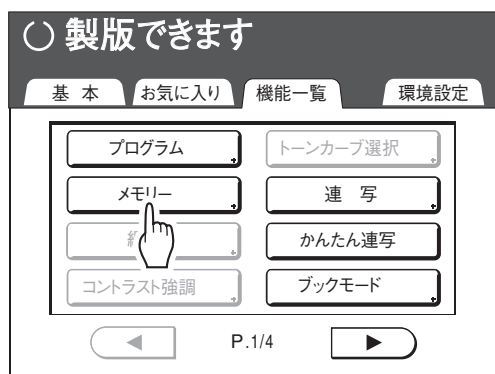
メモリーの登録

1 各種のプリント機能を設定する

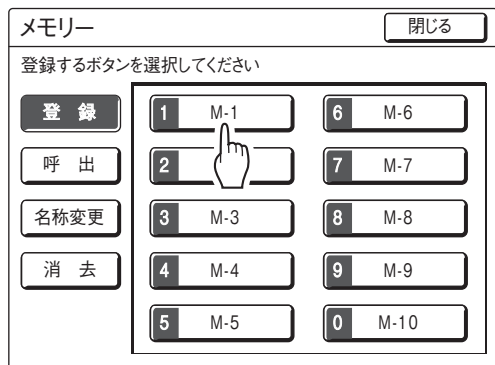
2 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



3 <メモリーボタン>にタッチする



4 未登録のボタンにタッチする



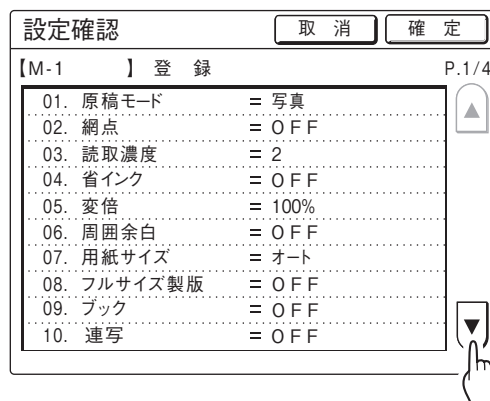
実線が表示されているボタンが未登録です。登録済みのメモリーはグレータッチできません。

参考

<*>キーを使って表示させた場合は<登録ボタン>にタッチしてから、登録するボタンにタッチしてください。

5 設定内容を確認する

<▼ボタン>にタッチして最後の項目まで確認してください。



参考

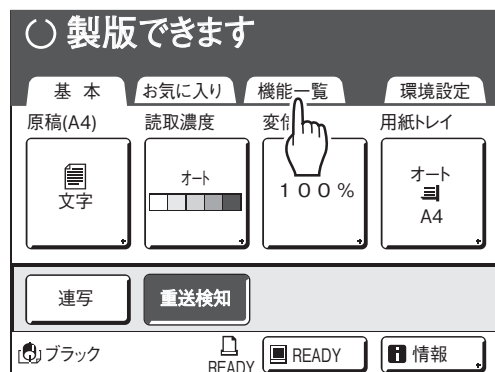
変更したい内容があるときは<取消ボタン>にタッチして、設定をなおしてください。

6 <確定ボタン>にタッチする

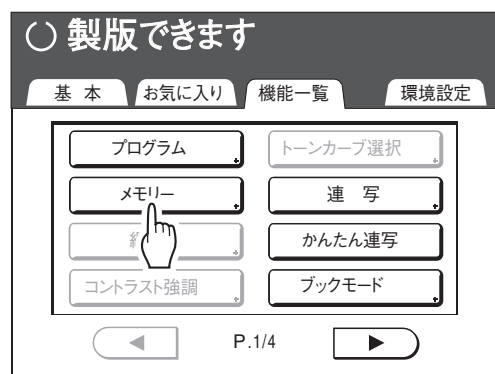
[メモリー]画面に戻り、指定した設定が登録されます。必要があれば、「メモリーの名称入力」(P.139)の手順3に進んでください。

メモリーの名称入力

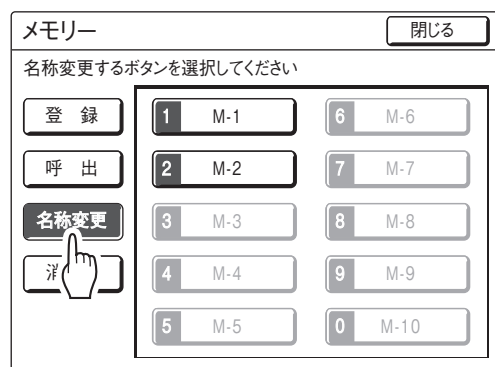
1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



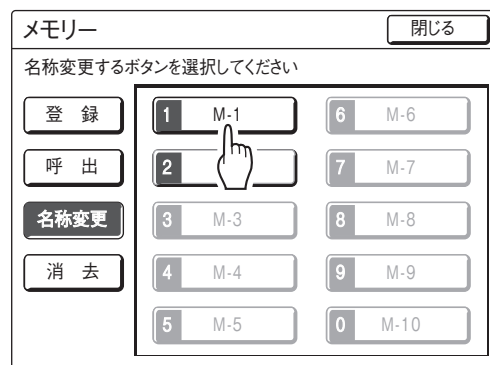
2 <メモリーボタン>にタッチする



3 <名称変更ボタン>にタッチする

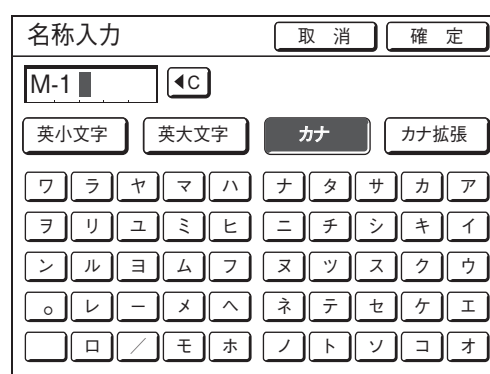


4 名称を入力したいメモリーにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示され、タッチできません。

5 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☞ P.135「名称入力画面について」

参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、<◀C ボタン>にタッチ、または<C>キーを押して消去できます。

メモリー機能を使う【メモリー】

6 すべての文字を入力した後<確定ボタン>にタッチする



入力した名称が登録され、[メモリー]画面に戻ります。

7 <閉じるボタン>にタッチする 機能一覧画面に戻ります。

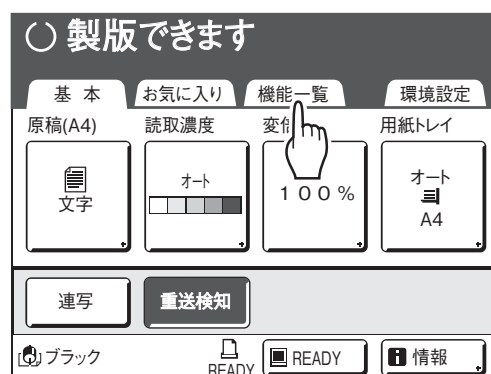
メモリーを呼び出してプリントする

[メモリー]画面の表示方法は、2種類あります。

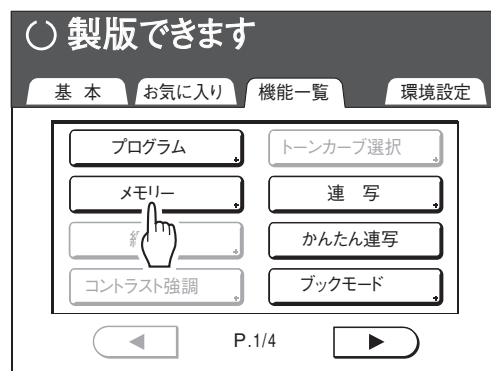
- ディスプレイで機能一覧画面の<メモリーボタン>にタッチする方法
- テンキー部分の<*>キーを押す方法

以下の手順では、ディスプレイにタッチする方法で説明します。

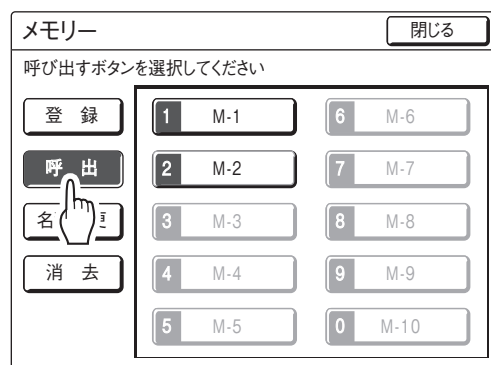
1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <メモリーボタン>にタッチする

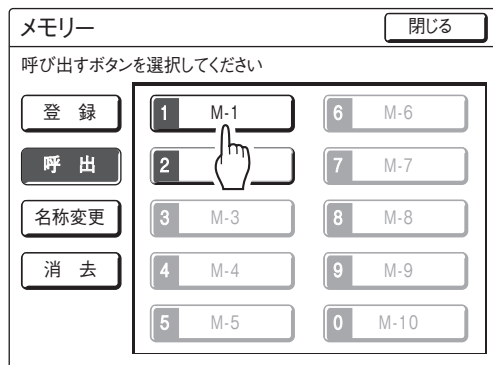


3 <呼出ボタン>にタッチする



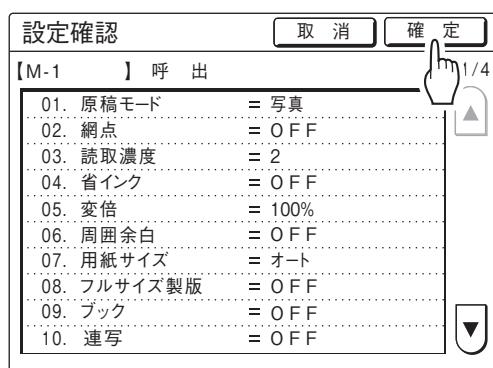
未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

4 呼び出すボタンにタッチする



参考 テンキーの入力で呼び出すこともできます。
M-1 ~ 9..... < 1 > ~ < 9 > キー
M-10 < 0 > キー

5 設定内容を確認して、<確定ボタン>にタッチする

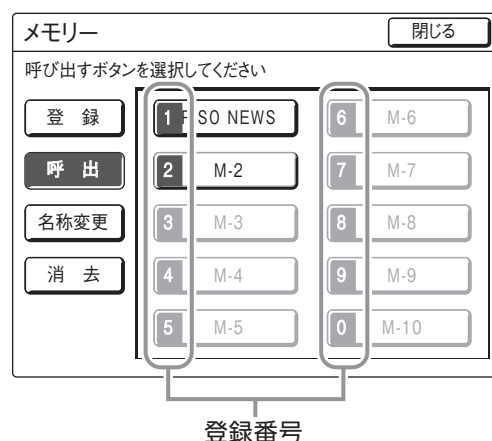


呼び出したメモリーの設定でプリントができる状態になり、機能一覧画面に戻ります。
通常の手順でプリントを行ってください。

参考 呼び出したメモリーを取り消したい場合は、<リセット>キーを押してください。

かんたんな呼び出しかた

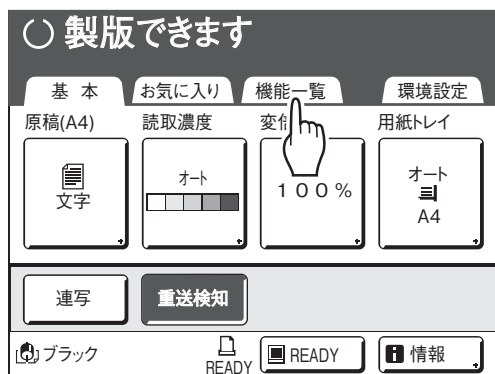
ディスプレイにタッチせずに、キー操作だけでメモリーの呼び出しができます。
たとえば、M-2 を呼び出してプリントしたい場合には、原稿をセットし、< * >、(2) (登録番号)、< スタート > の順にキーを押せば、M-2 が呼び出されてプリントが開始されます。



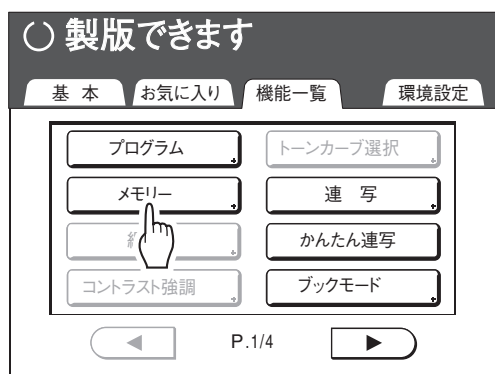
メモリー機能を使う【メモリー】

メモリーの消去

1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



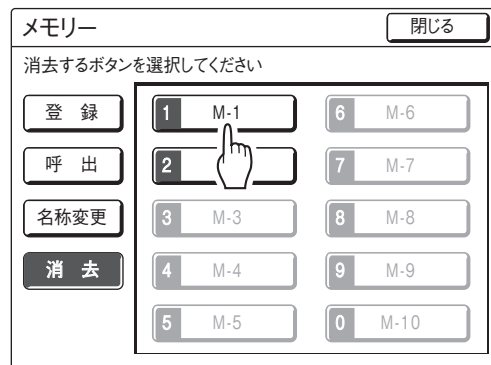
2 <メモリーボタン>にタッチする



3 <消去ボタン>にタッチする

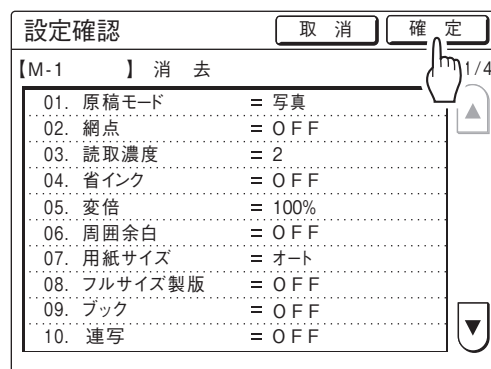


4 消去するボタンにタッチする



- 重要**
- 消去して良い設定内容かどうかを確認してください。
 - 消去確定後は復帰させることはできません。

5 <確定ボタン>にタッチする



[メモリー]が消去されます。

6 <閉じるボタン>にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

機密書類の複製を防止する

【機密】

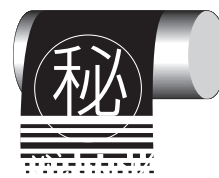
その他

機能一覧
機 密

本機のいろいろな機能

プリント終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。

「機密」を実行すると、ドラム上のマスターは破棄され、試験問題や名簿のような機密書類の不正な印刷を防止できます。



参考

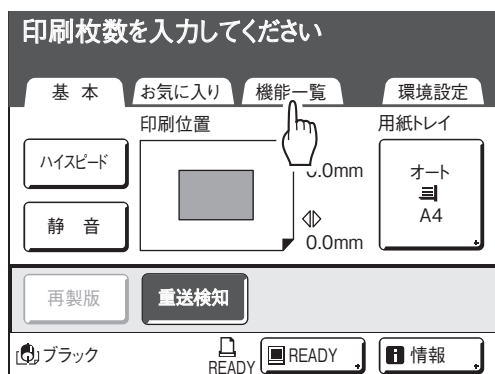
強制的に「機密」を促す設定ができます。

➡ P.179「印刷済みのマスターを安全に管理する【プロテクト】」

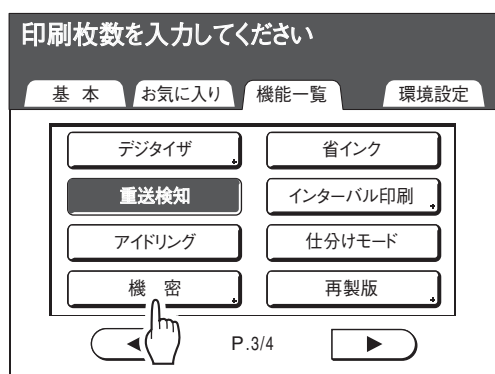
1 印刷の終了を確認する

すべての印刷が終了していることを確認します。

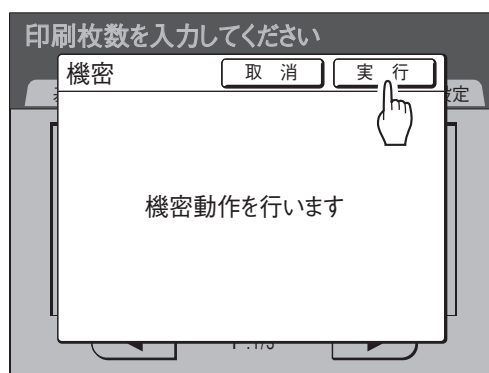
2 印刷基本画面で【機能一覧】にタッチする



3 <機密ボタン>にタッチする



4 <実行ボタン>にタッチする



機密動作しています...

現在のマスターが破棄され、ドラムに新しいマスターが装着されます。

参考

「機密」を行った後に「再製版」はできません。

割り込み印刷を防止する

[占有延長]

印刷

機能一覧
占有延長

パソコンと接続した環境でご使用の場合に便利な機能です。

印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間(占有時間)が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。

その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が開始され、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。

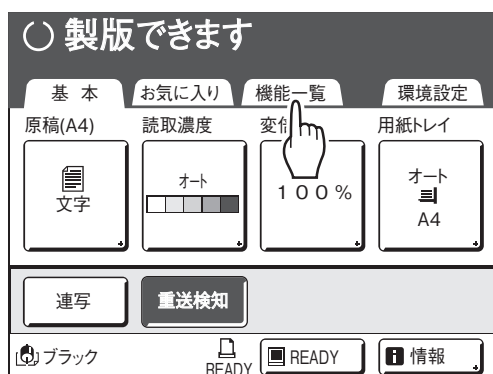
このようなパソコンからの割り込みは、「占有時間」を延長することで防止できます。印刷作業を一時中断するときや、チラシの印刷中などで割り込まれたくない場合などには「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。



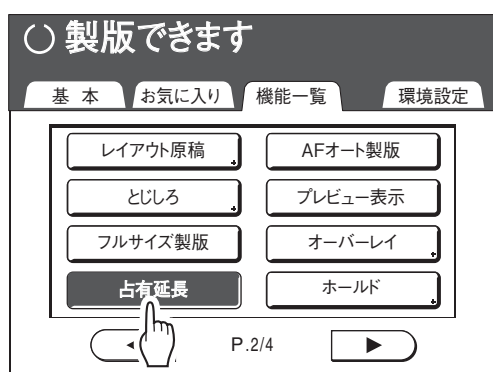
参考

- 「環境設定」で「占有延長」を設定したときに延長される時間を、5分、10分、30分から選ぶことができます。工場出荷時は5分に設定されています。
☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 占有延長時間」
- 次の動作または操作をしている場合は、「占有時間」のカウントが開始されません。
 - 本機が動作しているとき(製版、印刷、機密、アイドリングなど)
 - ソーター等のオプション機器が単独で動作しているとき
 - 操作パネルのキーやボタン等を操作しているとき
 - 設定メニュー画面を開いているとき
- 占有時間延長中には、オートスリープ/オートシャット OFF などは実行されません。
オートスリープ/オートシャット OFF: 「占有延長」終了後からカウントして動作します。
オートシャット OFF 時刻: 次の日のその時刻までシャット OFF しません。
☛ P.164「初期設定を変更する [環境設定] / 省エネモード」

1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <占有延長ボタン>にタッチする



「占有時間」が延長されます。

アイドリングをする

[アイドリング]

製版

機能一覧
アイドリング

本機のいろいろな機能

長時間使用していないときや、ドラムを交換したときに印刷を行うと、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。製版前に「アイドリング」を行うことにより、刷り始めから鮮明に印刷ができ、余分な用紙の使用も減らすことができます。

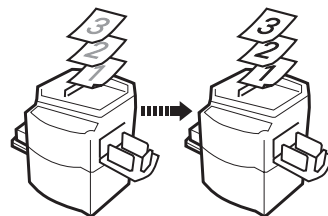
重要

「アイドリング」は製版から行う場合に有効です。印刷しか行わない場合には、「アイドリング」を設定しても実行されません。

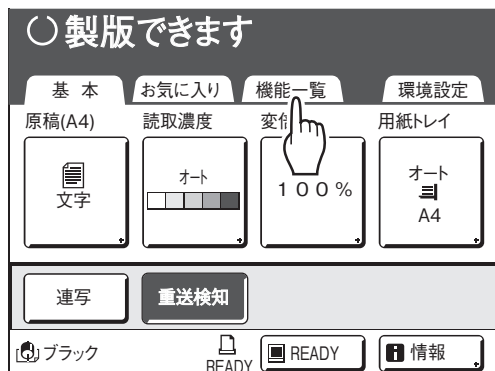
参考

「環境設定」で「オートアイドリング」を設定すると、最後の印刷から未使用の状態で一定以上の時間が経過すると、次の製版の前に自動で「アイドリング」を実行します。

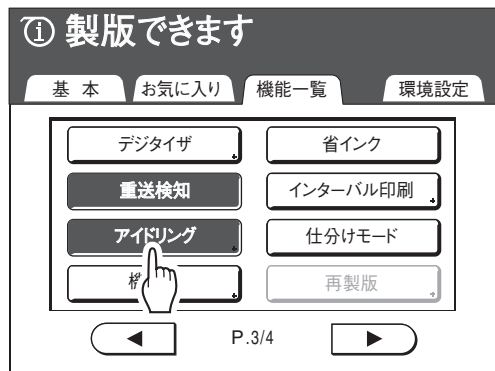
➡ P.165「初期設定を変更する [環境設定] / オートアイドリング」



1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <アイドリングボタン>にタッチする



画面に①が表示されます。

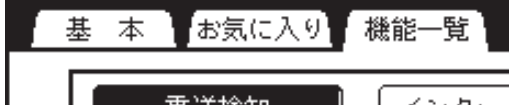
3 <スタート>キーを押す

「アイドリング」を行った後に製版を開始します。

参考

- アイドリングを設定していないのに、画面のメッセージエリアに①が表示されている場合は、[オートアイドリング]で設定されている時間が経過したことを示しています。この状態で製版を行うと、「アイドリング」が実行されます。

① 製版できます



- アイドリング終了後、すぐに製版を開始しますので、あらかじめ原稿をセットしてから<スタート>キーを押してください。

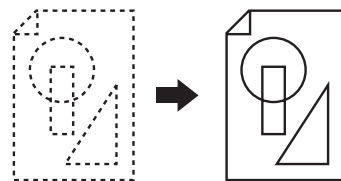
再製版する

[再製版] [オート再製版]

その他

機能一覧
再製版

最後に製版したマスターのデータは、本機に一時的に記憶されています。
「再製版」、「オート再製版」は、そのデータを利用することで、あらためて
原稿をセットすることなく、同じ設定で再度マスターを製版できます。
原稿の向きを、180 度回転させて再製版することもできます。



「オート再製版」は、一定枚数の印刷が終了した時点で、自動的に「再製版」
を実行する機能です。

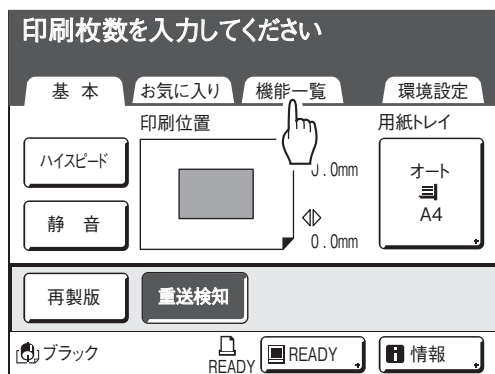
何千、何万枚単位で大量に印刷する場合、印刷完了前にマスターが劣化することがあります。
あらかじめ「オート再製版」を「ON」にして印刷を開始すると、印刷枚数が一定枚数（再製版開始枚数）に到達
した時点で「再製版」して自動的に印刷を続行するため、刷りはじめから終わりまで、一定の品質で印刷でき
ます。

参考

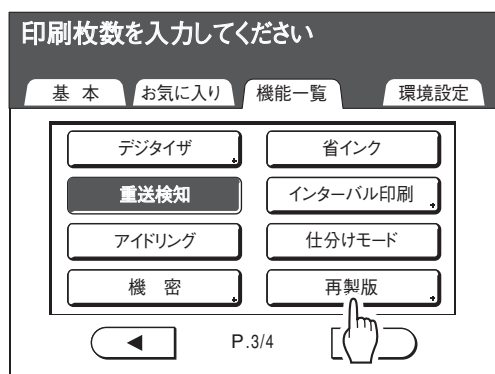
- パソコンから送ったデータも「再製版」ができます。ただし、複数ページのジョブ終了後は、最終ページのみ実行されます。
- 「再製版」は、次の状態では実行できません。
 - 起動直後
 - <リセット>キーを押した後
 - 機密実行後
 - 製版完了前にエラーが発生したとき
 - RLP 出力実行後
 - カードカウンター(オプション)集計製版後
- 印刷位置を調節している時は、ドラムをセンターの位置に戻してから「再製版」を行い、試し刷りを印刷します。その後、ドラムを設定していた印刷位置に戻し、もう 1 枚試し刷りを印刷します。
- 「オート再製版」時の試し刷りの枚数は、環境設定で変更できます。☛ P.165「初期設定を変更する」〔環境設定〕／オート再製版設定
- 印刷位置調整をした場合、再製版後も印刷位置を記憶しています。再度、印刷位置を調整する必要がありません。

再製版を実行する

1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする

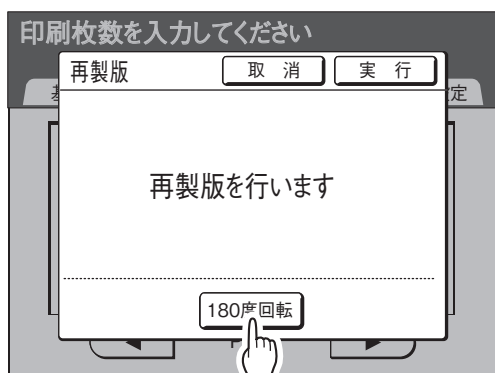


2 <再製版ボタン>にタッチする

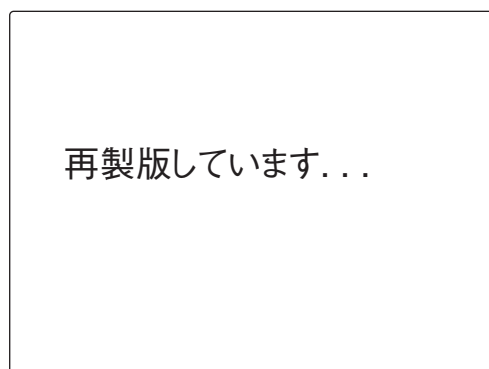
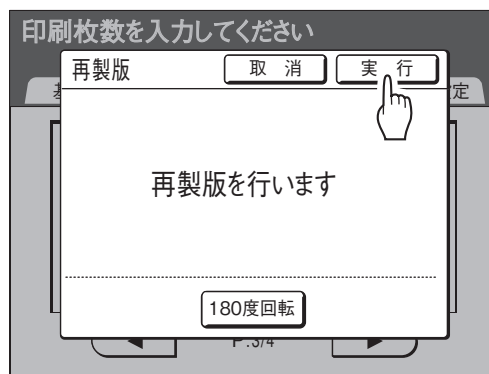


参考

< 180 度回転ボタン > にタッチして選択すると、原稿を 180 度回転して再製版することができます。「180 度回転」を設定すると、「オート再製版」を行う場合も 180 度に回転して再製版を行います。「180 度回転」の解除は、もう一度 < 180 度回転ボタン > にタッチします。



3 <実行ボタン>にタッチする



「再製版」を開始します。

再製版する [再製版] [オート再製版]

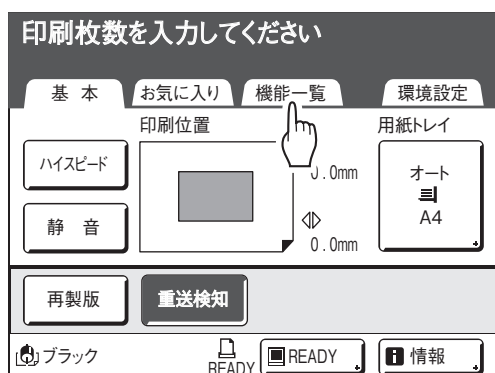
オート再製版を使う

「オート再製版」を使うには、あらかじめ「環境設定」で「オート再製版設定」を有効にしておく必要があります。

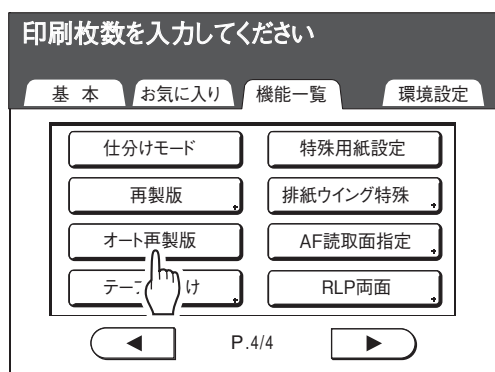
重要

- 「環境設定」で「オート再製版設定」を有効にしないと、「オート再製版」は「ON」にできません。
 ● P.165「初期設定を変更する [環境設定] / オート再製版設定」
- 「オート再製版」は、以下の場合には「OFF」になります。
 - 「プログラム」による印刷を選択したとき
 - <モード>キーやリセットキーを押したとき
 - ダイレクトプリントで次のジョブを処理しようとしたとき

1 印刷基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <オート再製版ボタン>にタッチする



「オート再製版」が「ON」になります。

この状態でプリントを実行すると、指定した枚数の印刷後に「オート再製版」が実行されます。

参考

<オート再製版ボタン>がグレー表示されているときは、「環境設定」の「オート再製版設定」で「有効」を選択してください。

● P.165「初期設定を変更する [環境設定] / オート再製版設定」

最後のページからプリントする

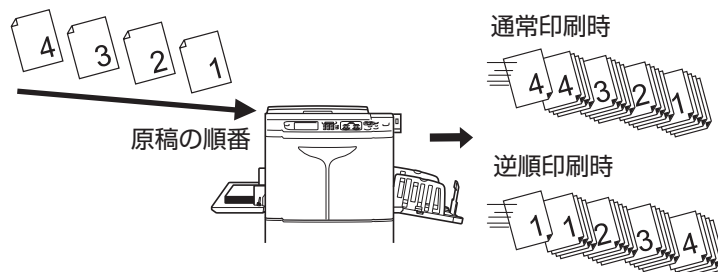
【逆順印刷】

印刷

機能一覧
逆順印刷

本機のいろいろな機能

複数ページある原稿のページ順を逆にし、最後のページからプリントします。



重要

- この機能を使用するには、メモリーカード(オプション)が必要です。
- 原稿の読み取り中に、メモリの空き容量がなくなったときは、読み取りを停止し、メッセージを表示します。原稿の読み取りを中止するか、保存済みのホールドデータの整理(削除)をしてから、もう一度、原稿の読み取りを行ってください。
- 「環境設定」で「CI 切替」を「内部 CI」に設定しないと、「逆順印刷」は使用できません。
☛ P.162「初期設定を変更する [環境設定] / CI 切替」

参考

「逆順印刷」は、次の機能とは併用できません。

- プログラム ([多原稿])
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

最後のページからプリントする【逆順印刷】

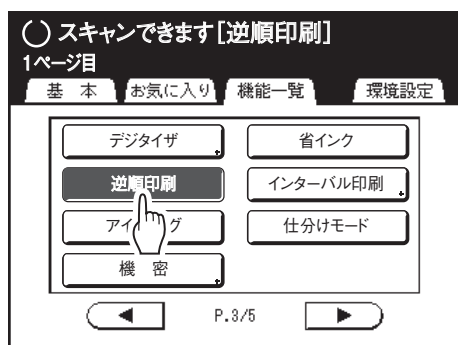
1 原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

● P.34「プリント前の準備」

● P.40「原稿をセットする」

2 機能一覧画面で<逆順印刷ボタン>にタッチする



ボタンが白黒反転表示に変わり、[逆順印刷]が[ON]になります。

3 各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

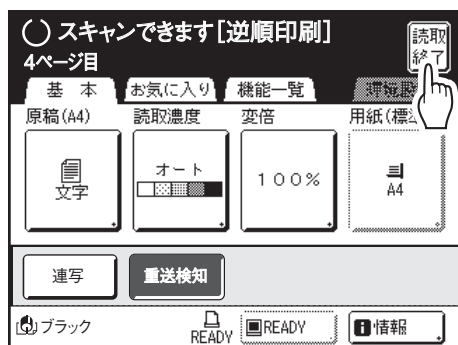
4 <スタート>キーを押す

1枚目の原稿を読み取ります。

自動原稿送り装置(オプション)を使用している場合は、すべての原稿の読み取りが自動で行われるので、手順6に進んでください。

5 原稿が複数ページある場合は、原稿を入れ替えて手順3、4を繰り返す

6 <読取終了ボタン>にタッチする



製版開始確認の画面が表示されます。

7 <はいボタン>にタッチする

保存データ用の製版基本画面が表示されます。各種出力指示の変更ができます。

● P.52「出力指示の変更」

参考

製版をせずに逆順印刷を中止したい場合は、<いいえボタン>にタッチしてください。

1つ前の手順に戻るときは、<戻るボタン>にタッチしてください。

8 <スタート>キーを押す

最後に読み取ったページから製版が開始され、保存データ用の印刷基本画面が表示されます。

9 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

10 <スタート>キーを押す

印刷が開始されます。

以降は、手順8～10を繰り返してください。

試し刷りを確認しながらプリントする

(自動原稿送り装置装着時のみ)

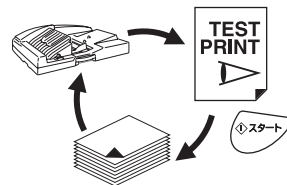
[AF オート製版]

製版

機能一覧
AFオート製版

本機のいろいろな機能

自動原稿送り装置(オプション)にセットした複数の原稿を「連続」でプリントすると、すべてのプリントを自動で行うことができますが、原稿ごとの仕上がりは確認できません。「AF オート製版」を設定すると、製版後の試し刷りをした時点で停止するので、原稿ごとの仕上がりを確認できます。



重要

・「AF オート製版」を「ON」にするときには、「連続」を「OFF」にしてください。

☛ P.65「続けてプリントする [連続]」

・連続ランプの点灯時は、「連続」が「ON」になっています。

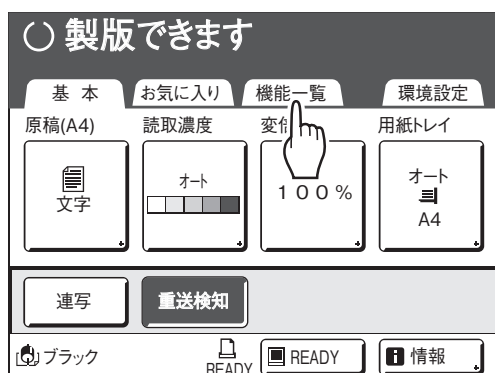
・＜連続＞キーを押すと、ランプが消灯し、連続が「OFF」になります。

参考

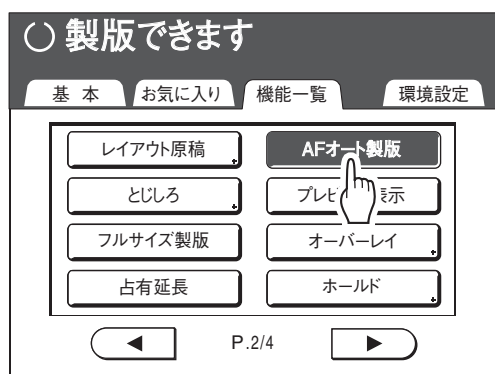
「環境設定」で「AF オート製版」の初期設定を変更できます。

☛ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / AF オート製版基本※」

1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <AF オート製版ボタン>にタッチする



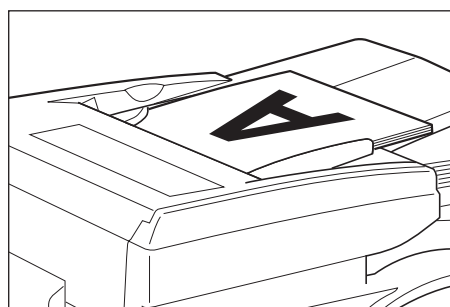
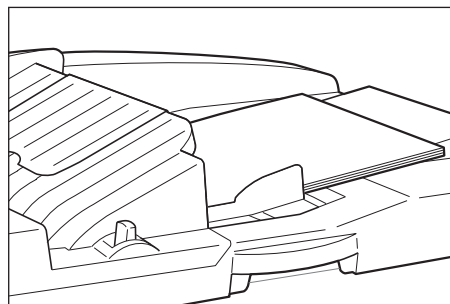
「AF オート製版」が設定されます。

参考

＜AF オート製版ボタン＞が表示されていない(あるいはグレー表示の場合は、操作パネルの＜連続＞キーを OFF にしてください。

3 原稿を自動原稿送り装置にセットする

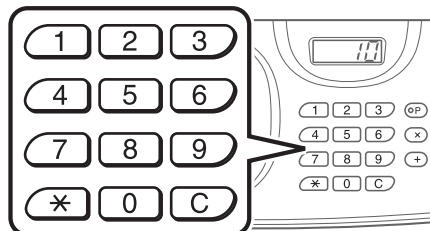
☛ P.40「原稿をセットする」



原稿をセットすると、自動的に製版基本画面に切り替わります。

試し刷りを確認しながらプリントする [AF オート製版]

4 テンキーで印刷枚数を入力する



入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

5 <スタート>キーを押す

製版を開始し、試し刷りを出して停止します。

6 試し刷りを確認する

必要があれば、各種調整を行うことができます。

7 <スタート>キーを押す

指定した枚数の印刷後に、次の原稿を製版して、試し刷りで停止します。

以降手順 6、7 を繰り返してください。

自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する

[AF 読取面指定]

その他

機能一覧
AF読取面指定

本機のいろいろな機能

RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使って原稿を読み取る場合、原稿の読み取り面を「オモテ面」、「ウラ面」、「両面」の3種類から選択できます。

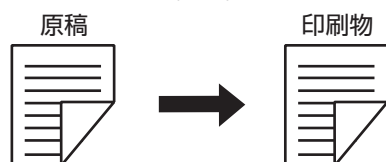
重要 RISO オートフィーダーDX-1 に原稿をセットしたときは、「ブックモード」、「A4 →ハガキ変倍」を併用できません。

参考

- 原稿をセットしたときの上面が「オモテ面」です。セットした原稿は、上から順に読み取られます。
- 「環境設定」で片面原稿の読み取り面の初期設定(オモテ面またはウラ面)を変更できます。
☞ P.161「初期設定を変更する [環境設定] / AF 読取面変更※」

■ オモテ面→片面

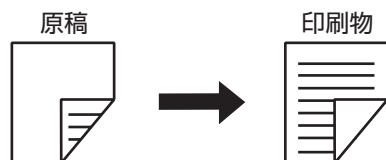
セットした原稿のオモテ面(上面)を読み取って、片面にプリントします。



重要 「自動振分」機能を「有効」にしている場合や、「レイアウト原稿」機能を使う場合は、必ず「オモテ面→片面」に設定してください。

■ ウラ面→片面

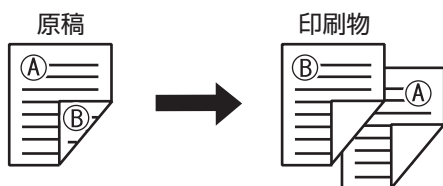
セットした原稿のウラ面(下面)を読み取って、片面にプリントします。



重要 「ソーター」機能が「ON」のときは、自動的に「ウラ面→片面」に設定されます。原稿は下向きにセットしてください。

■ 両面→片面

セットした原稿の両面を読み取って、片面にプリントします。原稿は、オモテ面→ウラ面の順に読み取られます。原稿に合わせて「原稿セット方向」と原稿の「ページめくり方向」を指定してください。



重要 「多原稿プログラム」設定時は、選択できません。(先に「両面→片面」を設定しているときは、「多原稿プログラム」は選択できません。)

参考

両面原稿に白紙が含まれている場合、白紙のページも読み取ってからプリントされます。

自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する【AF 読取面指定】

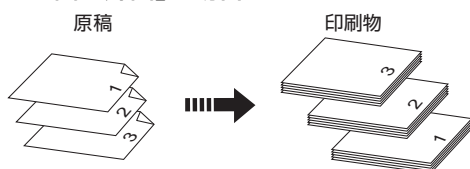
■ 原稿のセット順と印刷用紙の排出順

RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿は、上から順に読み取られ、読み取られたものから印刷されます。

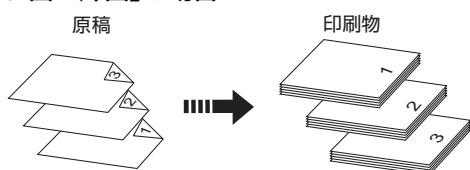
参考 「多原稿プログラム」設定時は、1 番目に読み取る原稿が設定画面上での「原稿 01」になります。

【例】
「ウラ面→片面」の場合、最終原稿（いちばん上の原稿）から読み取るので、最終原稿が画面上の「原稿 01」になります。

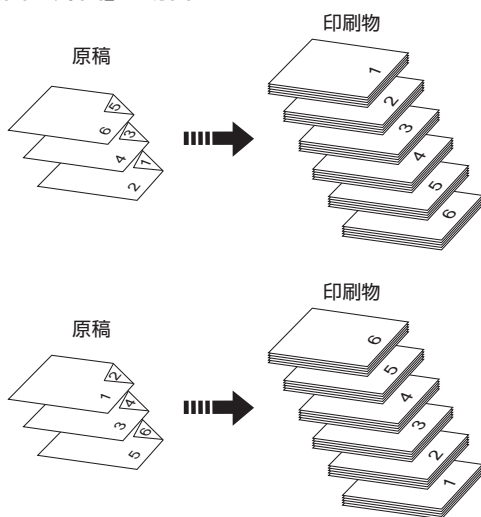
「オモテ面→片面」の場合



「ウラ面→片面」の場合

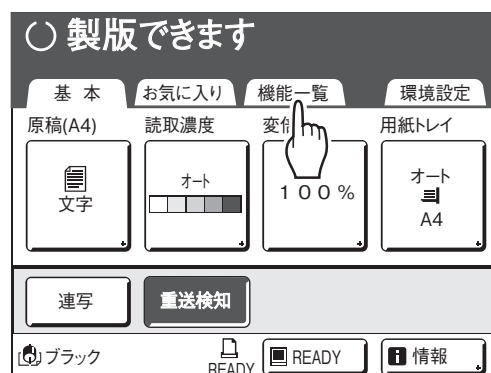


「両面→片面」の場合

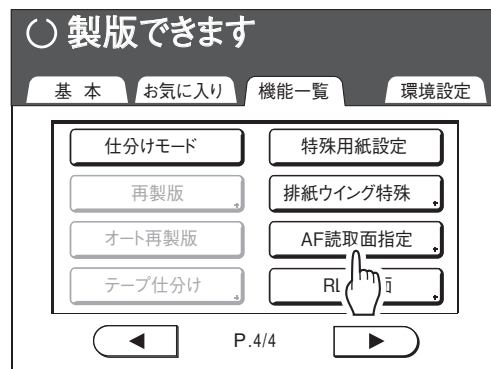


読み取り面の指定

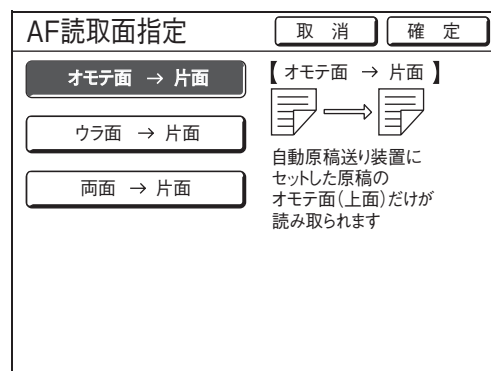
1 各モードの基本画面で【機能一覧】にタッチする



2 < AF 読取面指定ボタン > にタッチする

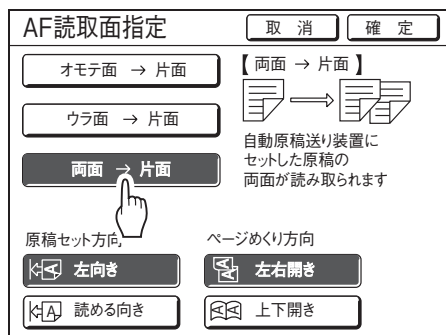


3 原稿の読み取る面を選んでボタンにタッチする



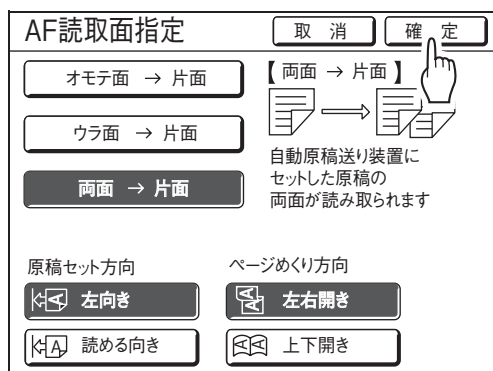
■「両面→片面」を選んだとき

画面に「原稿セット方向」と「ページめくり方向」のボタンが表示されるので、それぞれ選んでタッチします。



各読み取り面についての詳細は、P.153 を参照してください。

4 <確定ボタン>にタッチする



「AF 読取面指定」の設定が反映され、各基本画面に戻ります。

参考

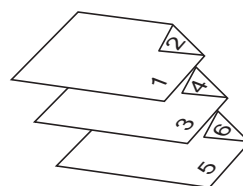
現在の「AF 読取面指定」の設定内容を確認したいときは、もう一度「AF 読取面指定」画面を開いてください。
その時点で選択されている読取面のボタンが反転して表示されます。

両面原稿から用紙の両面に印刷する

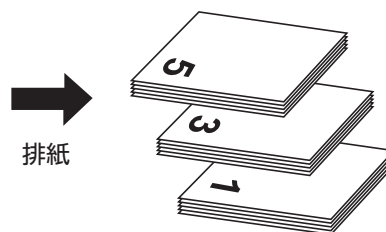
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を使うと、「AF 読取面指定」の読み取り面ボタンを使い分けることで、簡単に両面原稿から用紙の両面にプリントできます。

① 両面原稿をセットする

← 原稿セット方向

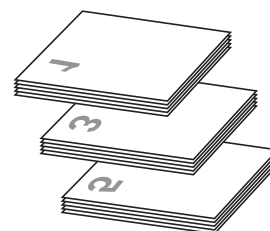


② 「オモテ面→片面」を選択してプリントする



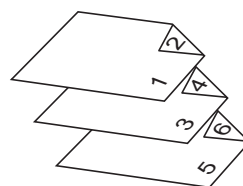
③ 印刷物を裏返して給紙台にセットする そのまま裏返してセットします。 印刷の向きに注意してください。

印刷用紙



④ 手順 1 と全く同じ向きで同じ原稿をセットする

← 原稿セット方向



⑤ 「ウラ面→片面」を選択してプリントする

各ユーザーの利用枚数を確認する

[利用枚数集計]

各ユーザーが使用状況を把握したいときに、印刷枚数などの集計結果をさまざまな方法で出力できます。



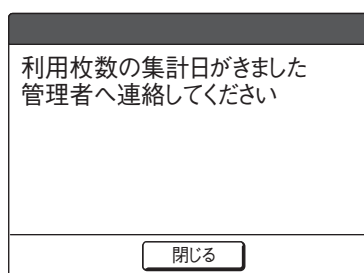
- 「利用枚数集計」は、本機が認証状態にある場合のみ出力できます。
- 使用状況を管理する場合は、「認証設定」で、「認証有無」を「本体認証、認証プリント」に設定してください。
P.118「本体認証、認証プリント」に設定していないと、正しい利用枚数は集計できません。

■ 集計出力

利用枚数の集計結果は、以下の方法で出力できます。

- プリント
利用枚数データを本機からプリントします。
- メール送信
利用枚数データを添付して、送信先として設定されたアドレスにメールを送ります。
あらかじめメール設定されている必要があります。メール設定をするには、オプションの RISO Network Card が必要です。詳細については、「RISO Network Card 取扱説明書」をご覧ください。
- USB メモリへ出力
利用枚数データを USB メモリに出力します。
あらかじめ USB メモリが USB スロットに挿入されている必要があります。

また、管理者に集計結果を報告する日などがある場合に、お知らせ日設定をしておくと、毎月設定した日に集計日お知らせ画面が表示されます。

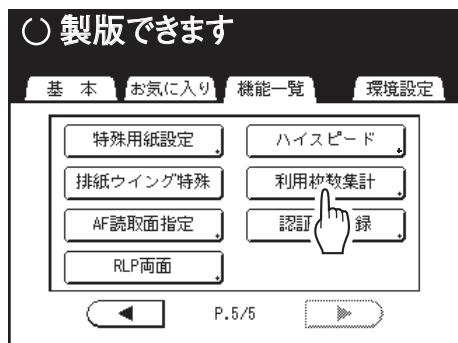


参考

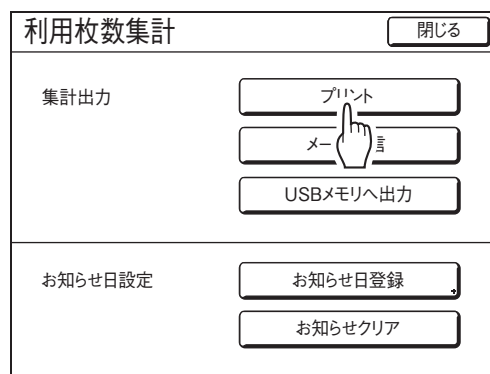
付属の CD-ROM に収録されている「リソースユーティリティソフトウェア」(理想集計アプリケーション)を利用して、USB メモリに出力した利用枚数データをパソコンで管理することができます。詳しくは、「リソースユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

利用枚数を出力する

1 機能一覧画面で<利用枚数集計ボタン>にタッチする



2 集計出力から出力先を選んでボタンにタッチする



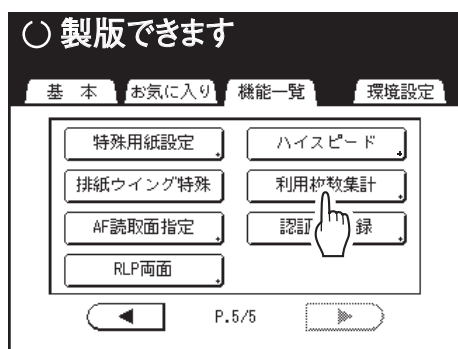
選択した方法で出力され、基本画面に戻ります。

<メール送信ボタン>は、メール設定されていない場合は、選択できません。設定方法については、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

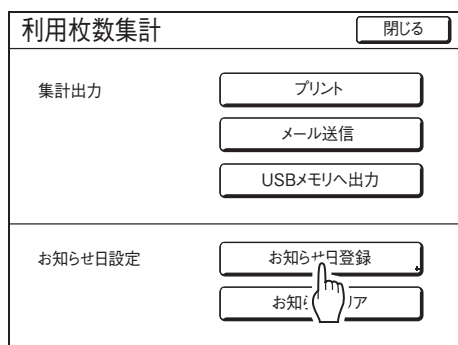
<USB メモリへ出力ボタン>は、USB メモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

お知らせ日を設定する

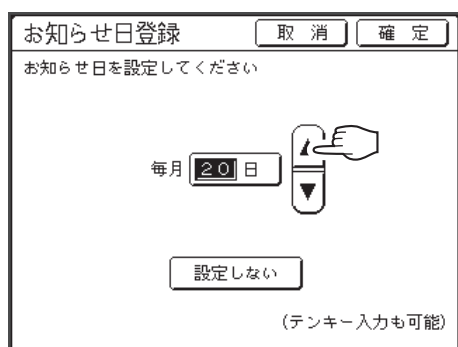
1 機能一覧画面で＜利用枚数集計ボタン＞にタッチする



2 ＜お知らせ日登録ボタン＞にタッチする



3 ＜▲ボタン＞または＜▼ボタン＞にタッチして、お知らせ日を指定する

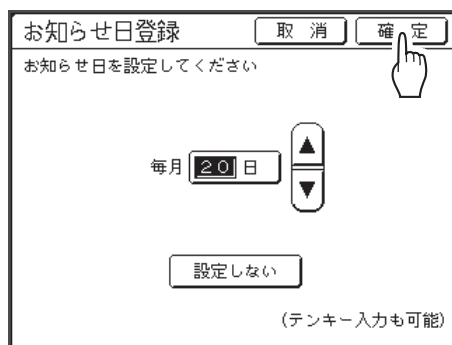


＜XX 日ボタン＞がグレー表示されている場合は、＜設定しないボタン＞にタッチしてください。

参考

- テンキーでも入力できます。
- 設定する日付は 1 ～ 31 の間で選択できます。
- お知らせ日を 29 日～ 31 日のいずれかに設定した場合、日数が少なく、その日がない月(2 月など)は、最終日にお知らせ画面が表示されます。
- お知らせ日を設定しない場合は、＜設定しないボタン＞にタッチします。

4 ＜確定ボタン＞にタッチする



お知らせ日が設定され、[利用枚数集計]画面に戻ります。

5 ＜閉じるボタン＞にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

参考

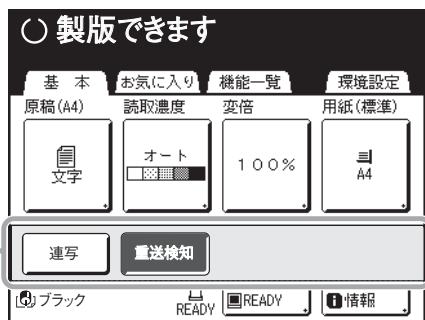
お知らせ日を登録すると、「集計出力」するまで、電源を「ON」にするたびにお知らせ画面が表示されます。当月、集計出力をしない場合は、＜お知らせクリアボタン＞にタッチしてください。翌月のお知らせ日まで表示されません。

ユーザーごとに POP 登録する

[認証 POP 登録]

通常、基本画面の POP エリアに表示される機能は初期設定で登録されていたり、管理者によって変更されたりしますが、認証設定がされている場合は、「認証 POP 登録」でユーザーごとに POP エリアの機能を登録できます。

POP エリアに表示できる機能は、モード(製版／印刷／スキャン／ RLP)ごとに個別に登録可能です。(各モードとも 4 件まで)



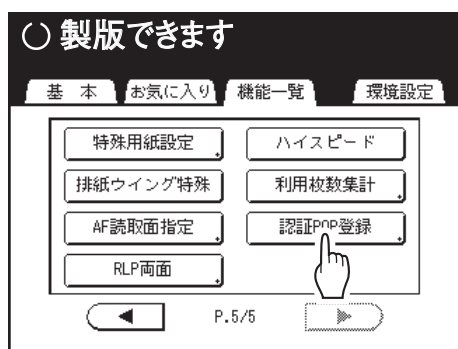
POPエリア

「認証 POP 登録」は、他のユーザーに変更されることなくユーザーごとに保持され、そのユーザーとして認証したときに表示されます。

参考

- 「認証設定」で「本体認証、認証プリント」に設定されている場合に、「認証 POP 登録」を設定することができます。
- 「認証 POP 登録」を設定していないときは、POP エリアには通常 POP 登録されている機能が表示されます。通常の POP 登録については、P.171「POP / お気に入りの設定 [POP] [お気に入り]」を参照してください。

1 機能一覧画面で<認証 POP 登録ボタン>にタッチする

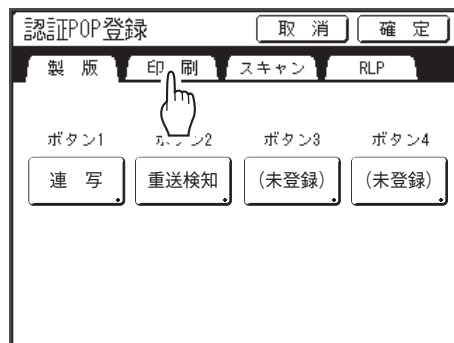


「認証設定」で認証の範囲が「本体認証、認証プリント」以外に設定されている場合はグレー表示され、タッチできません。

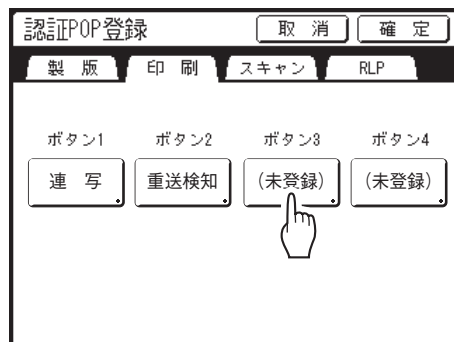
参考

認証の範囲については、管理者にお問い合わせください。

2 登録するモードにタッチする

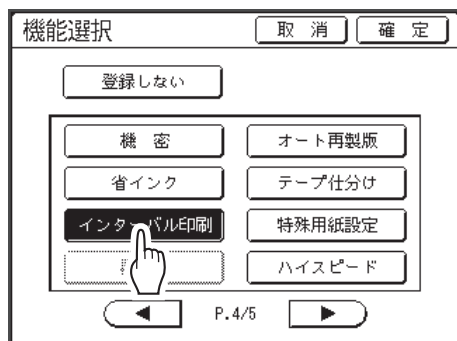


3 登録するボタンにタッチする



登録済みのボタンでも、タッチして他の機能を上書きすることができます。

4 登録する機能名にタッチする



参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときは、<◀ボタン>または<▶ボタン>にタッチして表示を切り替えてください。
- 機能を登録しないときは、<登録しないボタン>にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

5 <確定ボタン>にタッチする

[認証POP登録]画面に戻り、ボタンに選択した機能名が登録されます。

複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順 3 ～ 6 を繰り返します。

6 <確定ボタン>にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

初期設定を変更する

[環境設定]

その他

環境設定

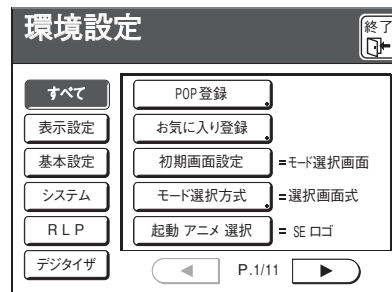
使用状況に合わせて、各種の設定の初期値を変更できます。
変更された内容を設定しなおすこともできます。



重要 使用環境により「環境設定」が設定できない〔環境設定〕が表示されていない場合があります。
詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

参考

初期設定(設定の初期値)とは、電源を「ON」にしたときや、<リセット>キーを押したときに戻る設定値です。



設定可能な項目一覧

《 》は工場出荷時の初期設定です。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<表示設定>	POP 登録 各モードの基本画面に、よく使う機能を登録できます。	☛ P.171「POP / お気に入りの設定 [POP] [お気に入り]」
	お気に入り登録 各モードのお気に入り画面に、よく使う機能を登録できます。	☛ P.171「POP / お気に入りの設定 [POP] [お気に入り]」
	初期画面設定 起動直後に最初に表示される画面を変更できます。	モード選択画面・製版／印刷・(スキャン)・(RLP)
	参考 モード選択画面は、「モード選択方式」で「モード選択画面式」を選択した場合にのみ表示されます。	
	モード選択方式 <モード>キーを押したときに表示される画面を変更できます。 - モード選択画面式 <モード>キーを押すと基本画面やサブ画面からモード選択画面に戻ります。 - ループ式 <モード>キーを押すたびに次のように画面が切り替わります。 通常の場合:「製版基本画面」←→「印刷基本画面」 連携機 PrioA(別売)を接続している場合:「RLP 基本画面」←→「製版／印刷基本画面」 メモリーカード(オプション)または USB メモリを装着している場合:「スキャン基本画面」←→「製版／印刷基本画面」	モード選択画面式・ループ式
	起動アニメ選択 起動したときに表示される画面(アニメ)を変更できます。	《RISO ロゴ》・SE ロゴ・マスコット
	液晶表示調整 画面の背景色と濃さおよび明るさを変更できます。 「エコモード」が「ON」に設定されているときは、バックライトの明るさは「-2」に固定されます。	背景色:《白》・青 濃さ: -5 ~ 《0》 ~ +5 明るさ: -2 ~ 《0》 ~ +2

※オプション装着時のみ設定できます。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<表示設定>	ジョブリスト表示切替 ホールドデータ選択画面／受信ジョブ画面／USB データ選択画面で表示されるファイル名表示のしかたを変更できます。	《先頭表示》・末尾表示
	表示言語 画面に表示される言語を設定します。  重要 設定を変更する場合は、販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。	#01 ～
<基本設定>	原稿モード基本設定 「原稿モード」の初期設定を変更します。	《文字》・写真・文字／写真・えんぴつ
	読取濃度基本設定 「読取濃度」の初期設定を変更します。	• 読取濃度基準 うすめ・《標準》・こいめ • 読取濃度 1・2・3・4・5・《オート》
	変倍基本設定 「変倍」の初期設定を変更します。	《100%》・オート
	印刷速度基本設定 「印刷速度」の初期設定を変更します。 「エコモード」が「ON」に設定されているときは、「3」に固定されます。	1・2・《3》・4・5
	印刷濃度基本設定 「印刷濃度」の初期設定を変更します。 「エコモード」が「ON」に設定されているときは、印刷濃度基準「うすめ」、印刷濃度「1」に固定されます。	• 印刷濃度基準 うすめ・《標準》・こいめ • 印刷濃度 1・2・《3》・4・5・オート
	AF 読取面変更[※] RISO オートフィーダーDX-1(オプション)装備時、片面原稿の場合の「AF 読取面指定」の初期設定を変更します。  P.153「自動原稿送り装置への原稿のセット方法を選択する[AF 読取面指定]」	《オモテ面》・ウラ面
	OP 連続自動設定[※] オプションの自動原稿送り装置、ST ソーター装備時に、「連続」を自動的に「ON」にするかしないかを設定します。	《ON》・OFF
	AF オート製版基本[※] 自動原稿送り装置(オプション)装備時に「AF オート製版」の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	連続基本設定 「連続」の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	重送検知基本設定 重送(用紙が重なって送られること)を検知するかどうかの初期設定を変更します。	《ON》・OFF

※オプション装着時のみ設定できます。

初期設定を変更する【環境設定】

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<基本設定>	テープ仕分け基本設定※ ST ソーター(オプション)装備時に「テープ仕分け」の初期設定を変更します。	ON・《OFF》
	排紙ウイング特殊基本 排紙ウイング位置の基本設定を変更します。 重要 この設定は、あらかじめ特殊用紙の設定をしている場合にのみ表示されます。設定が必要な場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。	ON・《OFF》
	特殊排紙調整基本 「特殊排紙調整」の初期設定を変更します。 ☞ P.104「特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う」[排紙ウイング特殊][特殊用紙設定]	- エアブロー 《ON》・OFF - 分離ファン OFF・1・《2》・3・4 - プレサクシオンファン (SE938F/938 のみ) ON・《OFF》 - サクシオンファン 1・2・《3》・4
	フォルダ基本設定※ メモリーカード(オプション)または USB メモリ装着時に、スキャンモードで読み取ったデータを保存するフォルダと、パソコンから送信されてきたデータを保存するフォルダをそれぞれ指定します。	- スキャン保存先 6 フォルダ - 送信ジョブ保存先 6 フォルダ
<システム>	用紙サイズ登録 不定形の印刷用紙を使用するときに、あらかじめ用紙のサイズを登録します。	☞ P.175「不定形の用紙を登録する」[用紙サイズ登録]
	不定形原稿サイズ固定 不定形サイズの前稿を定形サイズとして読み取るように指定します。	《OFF》・A3・B4・A4・A4 縦・B5・B5 縦
	フォルダ名変更※ メモリーカード(オプション)装着時に、データ保存用のフォルダのフォルダ名を変更します。	6 フォルダ
	CI 切替 「内蔵 CI」と「外部 CI」の設定を切り替えます。 IS300(オプション)装着時は「外部 CI」に設定します。	《内蔵 CI》・外部 CI

※オプション装着時のみ設定できます。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
＜システム＞	本機 IP アドレス設定※ 本機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。 IP アドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。 参考 - 入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、＜＊＞キーを押して移動させてください。 〔本機 IP アドレス設定〕ボタンを押して「RISO Network Card を起動中です」のメッセージが表示された場合は、〔中止〕にタッチした後、RISO Network Card (ネットワークインターフェース) が起動完了するまで 1 分程度待ってから再度操作してください。	DHCP サーバーを使用するとき ＜DHCP を使用するボタン＞ 手入力で IP アドレスを設定するとき ＜手入力するボタン＞ ＜▲ボタン＞＜▼ボタン＞ またはテンキー
	周囲余白縮小率 周囲余白縮小率の初期設定を変更します。	90 ～ 99% (工場出荷時 94%)
	自動 90 度回転 原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置(オプション)にセットした原稿に対し、給紙口(給紙台・トレイ 1・トレイ 2 のいずれか)にセットされている用紙のサイズは適合しているが向きが一致しない場合、画像を 90 度回転して製版するかしないかを設定できます。	《ON》・OFF
	日時設定 本機に内蔵されている時計の設定を行います。 時刻は〔  情報〕画面に表示されます。  P.218〔  情報〕＜  情報ボタン＞について	年／月／日 時：分
	連写待ち時間 「多原稿連写」をするときに、次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。	《15 秒》・30 秒
	占有時間 本機を操作していない状態で、一定の間、パソコンからの原稿データの出力指示を制限する(受信のみ可能)時間を変更します。	OFF・《15 秒》・30 秒・60 秒
	占有延長時間 「占有延長」を設定したときにデータの割り込みを制限できる時間を変更します。	《5 分》・10 分・30 分
	オートクリア設定 一定時間使用しない場合に、設定を自動的に初期設定に戻します。	- オートクリア設定 無効・《有効》 - 動作までの時間 1 ～ 60 分(工場出荷時 5 分)

※オプション装着時のみ設定できます。

初期設定を変更する【環境設定】

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	省エネモード 本機を一定時間使用しないときに、電源を自動的に切ったり、スリープ状態にすることができます。 ●無効 電源スイッチの「ON」／「OFF」に従い、「省エネモード」には切り替えません。 ●オートスリープ 一定の時間が経過すると、パソコンからの原稿データの受信のみを可能にし、その他は電源を切った状態にします。 ●オートシャット OFF 一定の時間が経過すると、電源を自動的に切ります。（データを受信しません。） 参考 「プロテクト」が有効に設定されている場合は、「無効」に設定することはできません。また、「オートスリープ」「オートシャット OFF」の動作までの時間は 1 分に固定され、時間変更できません。	● 省エネモード 無効・《オートスリープ》・オートシャット OFF ● 動作までの時間 1 ～ 99 分（工場出荷時 5 分）
	シャット OFF 時刻 設定した時刻になると、本機の電源を自動的に切ります。 ただし、設定した時刻に本機（外部接続機器を含む）を使用したり、データを受信していたときには、「シャット OFF」されません。	● シャット OFF 時刻 《無効》・有効 ● シャット OFF する時間 時：分
	エコモード 通常のプリント動作時よりも印圧と液晶パネルの輝度を下げ、消費電力を抑えた状態でプリントを行います。 「エコモード」を「ON」に設定しているときは、「印刷速度基本設定」および「印刷濃度基本設定」の初期値は変更できません。 本機がエコモードに設定されているときは、メッセージエリアに「  エコモード」アイコンが表示されます。 参考 以下の機能のいずれかと「エコモード」を併用している場合、「  エコモード」アイコンの表示は省略されます。 ●「省インク」 ●「プログラム印刷」と「逆順印刷」 ●「プログラム印刷」と「N アップ」	ON・《OFF》
	認証設定 認証機能の設定を行います。 ● 認証有無 認証を必要とする範囲を設定します。 ● ユーザー登録 本機の管理者や、認証できるユーザーの設定をします。 ● グループ名称 グループの名称を変更します。 ● カウントオールクリア 各ユーザーの製版／印刷利用枚数をすべてクリアします。 ● 認証方式 認証をするときの方法を設定します。	 P.116「認証設定をする [認証設定]」

※オプション装着時のみ設定できます。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	プロテクト プロテクト機能を設定します。  P.179「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」	《無効》・有効
	オートアイドリング 一定以上の時間、未使用の状態が続いたとき、次の製版時に自動的に「アイドリング」を行うかどうかを設定します。 「オートアイドリング」開始までの時間、および動作回数を設定できます。	• オートアイドリング 無効・《有効》 • 未使用时间 1～《12 時間》 • 動作回数 《1》～3 回
	オート再製版設定 設定した印刷枚数に達すると、自動的に使用中のマスターを破棄して再製版するように設定できます。 再製版後に試し刷りする枚数も設定できます。	• 《無効》・有効 • 再製版開始枚数 1 枚～9999 枚 (工場出荷時 1000 枚) • 再製版試し刷り枚数 0 枚～99 枚 (工場出荷時 3 枚)
	最低印刷枚数 最低印刷枚数を設定します。設定枚数未満の印刷枚数が入力されたときは、製版できません。  重要 設定値を変更できないようにロックをかけることができます。詳細についてはお買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にお問い合わせください。	《無効》・有効 [2～99 枚]
	連続トレイ給紙(SE938F/638F のみ) 給紙台・トレイ 1・トレイ 2 を併用した連続給紙を行うか行わないかを設定します。 各トレイに同じサイズ・紙質・種類・セット方向の用紙がセットされている場合、給紙台→トレイ 2→トレイ 1 の順に、連続給紙されます。(P.220)	ON・《OFF》
	給紙台オート選択(SE938F/638F のみ) 用紙トレイを「オート」に設定した場合に、給紙台を選択の対象とするかしないかを設定します。	《ON》・OFF
	仕分けモード設定(SE938F/638F のみ) 「仕分けモード」の初期設定を変更します。 「仕分けモード」を「有効」にした場合は、仕分け用紙(合紙)をセットするトレイを指定します。	• 仕分けモード設定 《無効》・有効 • 仕分け用紙トレイ 給紙台・トレイ 1・トレイ 2
	排紙フェンス取出位置※ オートフェンス排紙台(オプション)装着時、オートフェンス排紙台から印刷用紙を取り出すために [排紙フェンスオープンボタン] を押したときに広がるフェンスを指定します。	エンド・《サイド》・両方
	サブライ在庫管理 現在の在庫数が確認できるように、購入した本数を入力しておきます。  参考 在庫が「確認在庫数」で入力した本数以下になると、画面に確認メッセージが表示されます。	• 購入した本数 《0》～99 本 • 確認在庫数 《0》～99 本

※オプション装着時のみ設定できます。

初期設定を変更する【環境設定】

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
<システム>	ブザー音 キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。 • ON キー・ボタン操作時やイベントの発生・終了時などブザー音が設定されている場面すべてでブザー音を鳴らします。 • 限定 キー・ボタン操作時、本機の復帰動作中にはブザー音を鳴らしません。 • OFF ブザー音は鳴らしません。	OFF・限定・《ON》
	RLP 情報設定	 P.201「連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]」
< RLP > 連携機 PrioA(別売)接続時のみ表示されます。	RLP 接続設定 本機に連携機を 1 台だけ接続する(他の連携機やパソコンがネットワークにない)場合は、[1 対 1 接続]にします。	《通常接続》・ 1 対 1 接続
	自動振分枚数 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。 参考 • 初期値は 20 枚に設定されています。 • [自動振分枚数]を[有効]に設定しているときは、[最低印刷枚数]は設定できません。	有効 [自動振分枚数] 2 ～ 99 枚／無効 (工場出荷時 20 枚)
	RLP 両面待ち時間 両面印刷をするときに、2 枚目の原稿をセットするための待ち時間を設定します。	《15 秒》・ 30 秒
	受信ジョブ自動振分 パソコンから受信したデータを[自動振分枚数]の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。 参考 [自動振分枚数]が[無効]に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。	《有効》・ 無効
	RLP 情報取得時間 連携機 PrioA(別売)からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。	10 ～ 999 秒 (工場出荷時 15 秒)
	RLP 読取モード 連携機 PrioA(別売)から出力するときに、「速度優先」にするか「画質優先」にするかを選択できます。	《速度優先》・ 画質優先
	<デジタイザ> ソフトデジタイザ(オプション)使用時のみ表示されます。	
	使用色基本設定	 ソフトデジタイザの取扱説明書をご覧ください。
	ツールバー左右基本	
	サブツールバー基本	
	原稿表示方向基本	

※オプション装着時のみ設定できます。

初期設定の変更

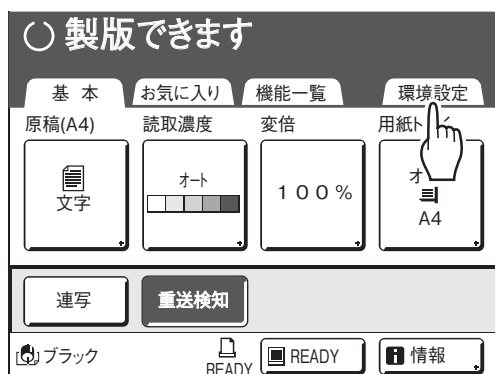
設定の変更は、本機が動作していないときに行うことができます。
プリントの諸設定がされていない状態で行ってください。

参考

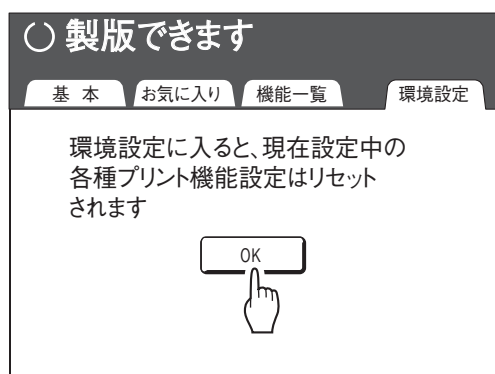
- [環境設定] 画面では、現在の設定が各項目のボタンの右側に表示されています。
- 認証設定で管理者が登録されている場合、[環境設定]画面を表示するためには管理者認証が必要です。

☞ P.122「管理者／ユーザーの登録」

1 各モードの基本画面で[環境設定]にタッチする



2 <OK ボタン>にタッチする

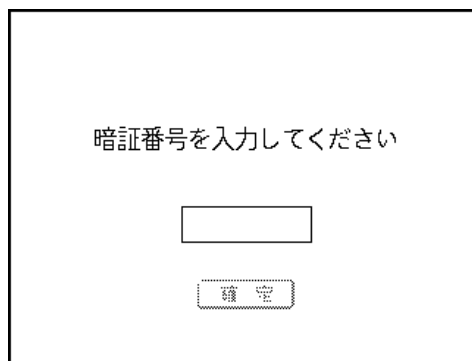


参考

認証設定で管理者が登録されている場合は、認証画面が表示されます。管理者認証を行ってください。既に管理者として認証済みのときは、認証画面は表示されません。
管理者以外のユーザーの認証は許可されません。

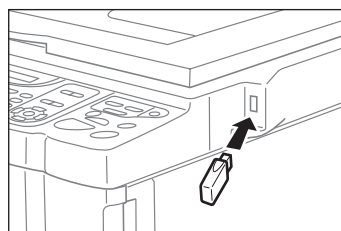
■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで管理者用の暗証番号を入力し、<確定ボタン>にタッチします。



■ 認証方式が「USB メモリ」の場合

USB スロットに、管理者認証用の USB メモリを挿入します。



認証されると、[環境設定]画面が表示されます。

初期設定を変更する【環境設定】

3 設定を変更する機能名のボタンにタッチする



■ 表示セレクトボタンについて

タッチした表示セレクトボタンの種類に応じた機能名のみが表示されるので、設定を変更したい機能名を速やかに検索することができます。

- [すべて]すべての機能
- [表示設定]画面表示に関する機能
- [基本設定]基本的な操作に関する機能
- [システム]システム全体に関する機能
- [RLP]RLP モードに関する機能
(連携機 PrioA(別売)を接続しているときにのみ表示)
- [デジタイザ]ソフトデジタイザに関する機能
(ソフトデジタイザ(オプション)使用時にのみ表示)

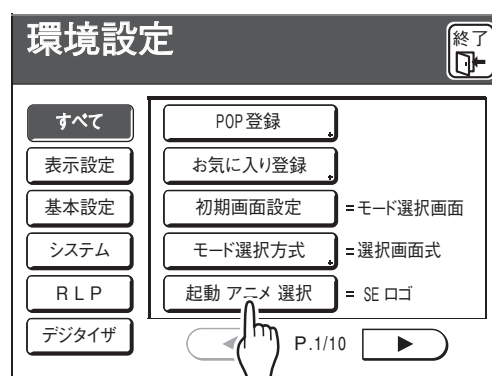
4 設定を変更する

機能によって設定画面が表示されるものとされないものがあり、変更のしかたも異なります。次のタイプを参考にして変更を行ってください。

■ 設定画面なし

(選択肢が二者／三者択一のもの)

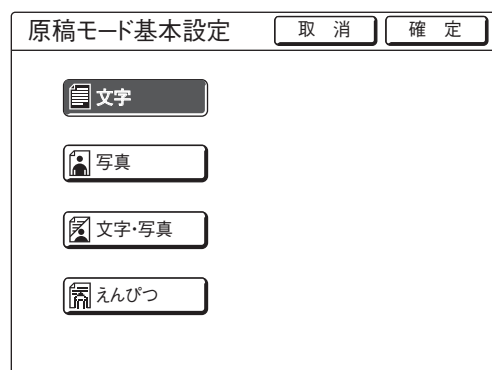
機能名ボタンにタッチするたびに、右隣の設定値が切り替わります。



■ 設定画面あり

ボタン選択タイプ

初期値に設定するボタンに、タッチします。



■ 設定画面あり

目盛り調節・数値増減タイプ

<▲ボタン><▼ボタン>にタッチして、数値を増減させたりします。

数値を変更する設定では、テンキーによる数値の入力も可能です。

日時設定

年 月 日

時 分

(テンキー入力も可能)

■ 設定画面あり

設定部分が複数あるタイプ

設定を変更するボタンにタッチした後、各ボタンやテンキーなどで設定を変更します。

シャットOFF時刻

設定した時刻に電源をOFFにします

無効

有効

時 分

(テンキー入力も可能)

シャットOFF時刻

設定した時刻に電源をOFFにします

無効

有効

時 分

(テンキー入力も可能)

<有効ボタン>にタッチすると、画面右側の設定ができるようになります。

■ 文字入力タイプ

名称を変更するボタンにタッチした後、名称を入力します。

ボタンにタッチすると、[名称入力]画面が表示されます。

フォルダ名変更

1_folder

2_folder

3_folder

4_folder

5_folder

6_folder

名称入力

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア

ヲ リ ユ ミ ヒ ニ チ シ キ イ

ン ル ヨ ム フ ヌ ツ ス ク ウ

。 レ ー メ ヘ ネ テ セ ケ エ

ロ / モ ホ ノ ト ソ コ オ

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☛ P.135「名称入力画面について」

■ データ指定タイプ

ホールドデータを指定する画面が表示されます。指定のしかたについては、P.191「保存データを読み出してプリントする[ホールド][USBメモリ]」をご覧ください。

ホールドデータ選択

1_folder 空き容量: 777KB(90%)

申請用紙.doc	Admin	XX/09/30
FAX送信表.doc	RISO	XX/10/25
月刊サークル	RISO	XX/10/25
五線譜.doc	RISO	XX/10/30

表示設定 認証あり USBメモリ

初期設定を変更する【環境設定】

5 <確定ボタン>にタッチする

設定画面のないタイプの場合は手順6に進んでください。

参考

- <取消ボタン>にタッチすると、変更を中止して[環境設定]画面に戻ります。
- 設定値は機能名の右隣りに表示されます(一部を除く)。

6 <終了ボタン>にタッチする

各基本画面に戻ります。

POP / お気に入りの設定

[POP][お気に入り]

その他

環境設定
POP/お気に入り

本機のいろいろな機能

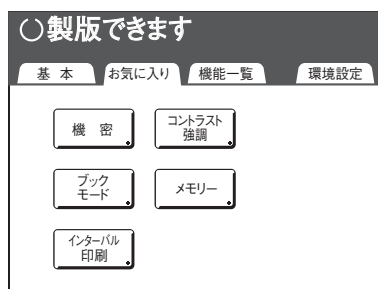
よく使う機能を各モードの基本画面の「POP エリア」または「お気に入り画面」に登録することができます。機能一覧から探す手間を省き、ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出したりすることができます。機能はモード(製版/印刷/スキャン/RLP)ごとに個別に登録可能です。

各モードで登録できる件数

基本画面	製版	印刷	スキャン	RLP
ポップエリア	4	4	4	4
お気に入り	9	9	—	6



POP エリア



お気に入り画面

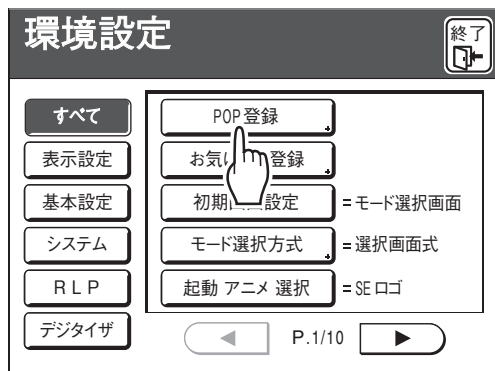
参考

- それぞれのモードには、そのモードで有効な機能を登録すると便利です。
☞ P.2「機能一覧」
- 「POP エリア」「お気に入り画面」には、出荷時にあらかじめ機能が設定されていますが、変更できます。
- 登録できる機能は、機能一覧画面から実行できる機能です。
- 連携機 PrioA(別売)を複数台接続して使用しているときに、RLP モードの「POP エリア」または「お気に入り画面」の登録・変更をする場合は、登録・変更したい連携機を選択した後に、「環境設定」で設定しなおしてください。
- オプションを接続した場合は、POP(お気に入り)の未登録ボタンに自動的に登録されます。
(連携機 PrioA(別売)のオプションの場合は、「環境設定」での登録が必要です。)
- 認証の範囲が「本体認証」のときは、ユーザーごとに POP エリアに表示される機能を設定できます(認証 POP 登録)。設定方法については、P.158「ユーザーごとに POP 登録する [認証 POP 登録]」を参照してください。

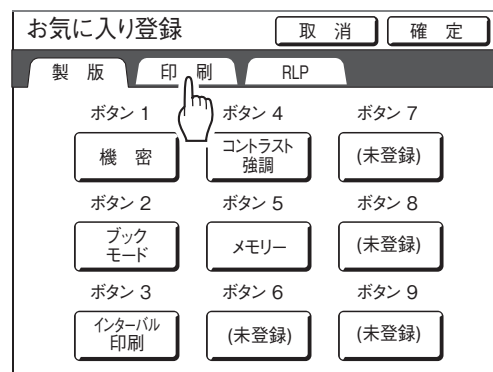
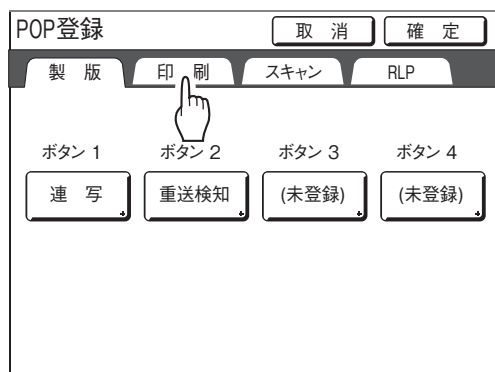
POP / お気に入り入りの設定 [POP][お気に入り]

以下の手順では、ページ左側に「POP 登録」の画面、右側に「お気に入り登録」の画面を記載しています。また、共通の画面は左側にまとめて記載しています。

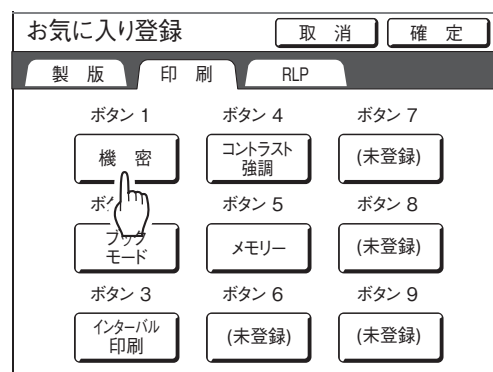
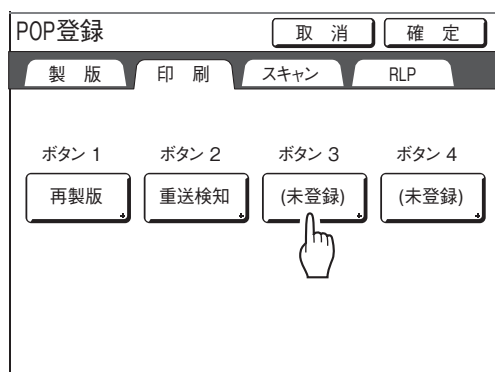
1 [環境設定]画面で＜POP 登録ボタン＞または＜お気に入り登録ボタン＞にタッチする



2 登録するモードにタッチする

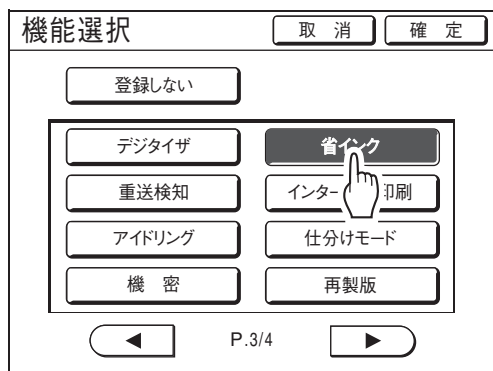


3 登録するボタンにタッチする



登録済みのボタンでも、タッチして、他の機能を上書きすることができます。

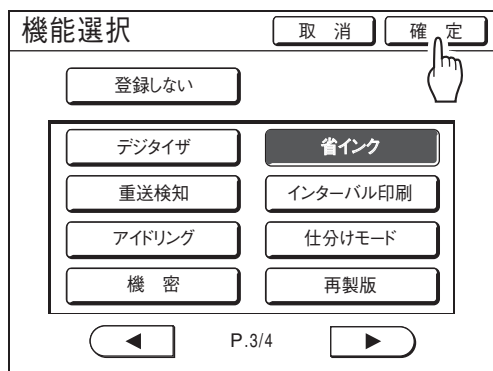
4 登録する機能名にタッチする



参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときには、< ◀ ボタン > または < ▶ ボタン > にタッチして表示を切り替えてください。
- 登録をしない機能を選択してしまったときは、< 登録しないボタン > にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

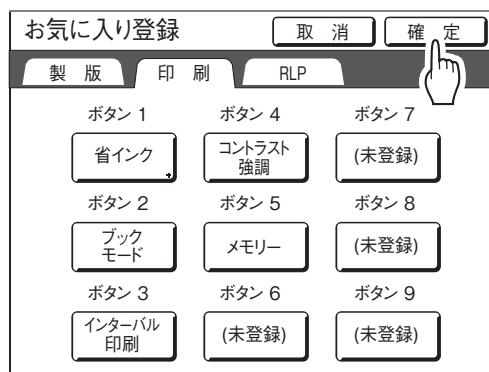
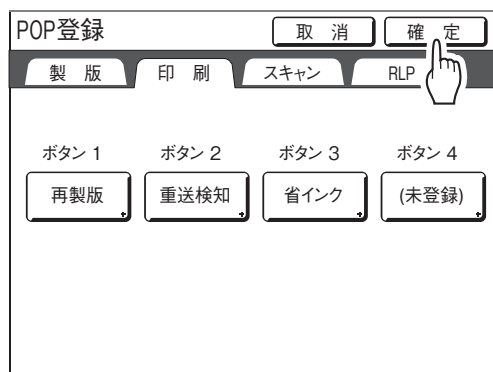
5 < 確定ボタン > にタッチする



[POP 登録] または [お気に入り登録] 画面に戻り、ボタンに選択した機能名が表示されます。

複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順 2 ～ 5 を繰り返します。

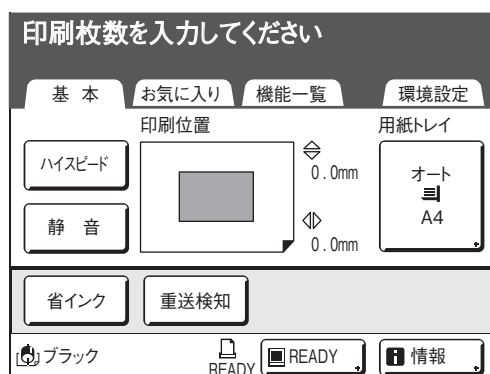
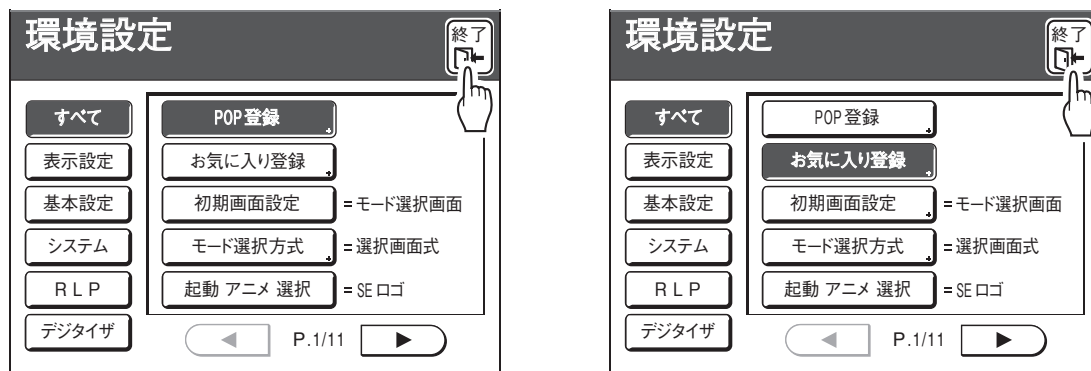
6 < 確定ボタン > にタッチする



POP 登録またはお気に入り登録を終了し、[環境設定] 画面に戻ります。

POP / お気に入り登録の設定 [POP][お気に入り]

7 <終了ボタン>にタッチする



製版または印刷基本画面に戻ります。

不定形用の紙を登録する

[用紙サイズ登録]

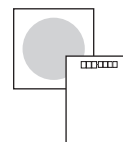
その他

環境設定
用紙サイズ登録

本機のいろいろな機能

A4やB4などの、定形サイズ以外の用紙を使用するときには、あらかじめ用紙サイズを登録してください。一度登録した用紙は、製版基本画面の[用紙]ボタンで選択して、使用することができます。

用紙登録は30件まで登録可能です。また、登録した内容を変更、消去することもできます。



登録できる用紙サイズ

最小 100mm × 148mm ～最大 340mm × 555mm

ただし、長さが 436mm 以上の場合は、長尺モードで印刷されます。

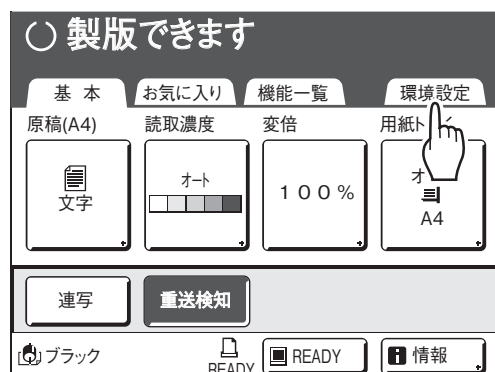
☛ P.177「奉書(長尺の用紙)にプリントするとき」

重要

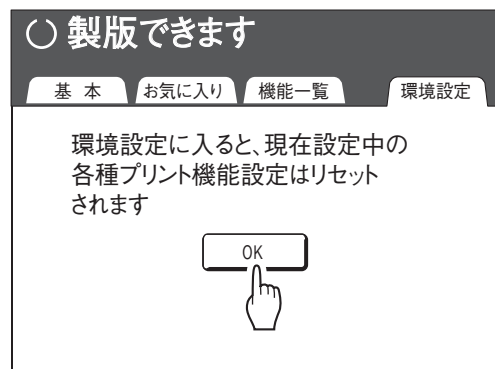
- 不定形用紙は必ず登録してください。登録せずに使用すると、原稿の読み取りが正しく行われないことがあります。
- 不定形サイズの用紙は、給紙台にセットしてください。

用紙サイズの登録と名称変更

1 各モードの基本画面で[環境設定]にタッチする



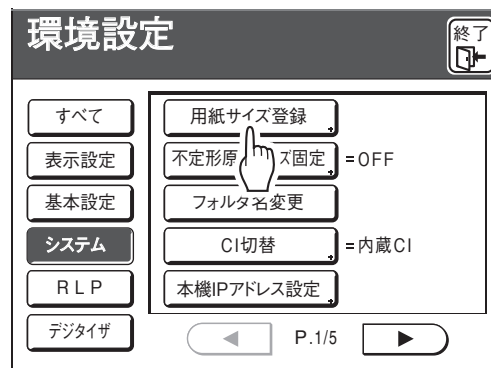
2 <OK ボタン>にタッチする



3 <システムボタン>または<▶ ボタン>にタッチして、画面に<用紙サイズ登録ボタン>を表示させる

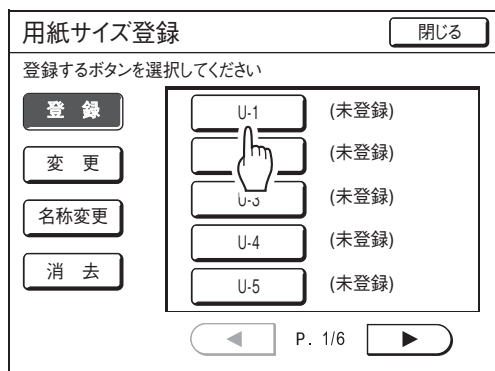


4 <用紙サイズ登録ボタン>にタッチする



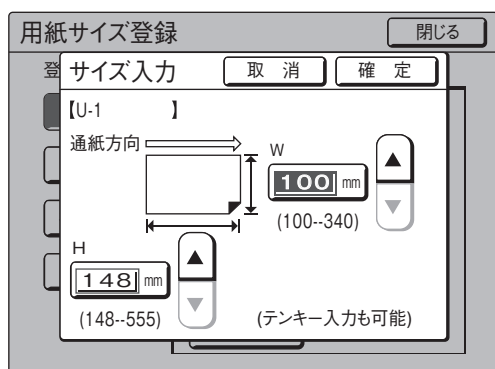
不定形用の紙を登録する【用紙サイズ登録】

5 未登録のボタンにタッチする



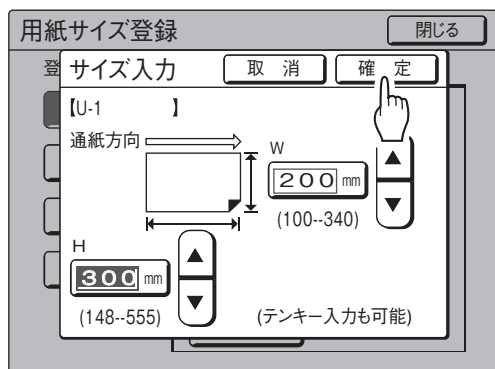
登録済みのボタンはグレー表示されます。

6 用紙サイズを入力する



通紙方向に対して、W(幅)と H(長さ)を設定します。＜▲ボタン＞または＜▼ボタン＞にタッチするか、テンキーで入力してください。

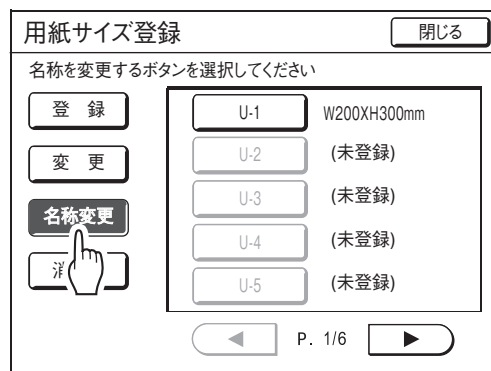
7 ＜確定ボタン＞にタッチする



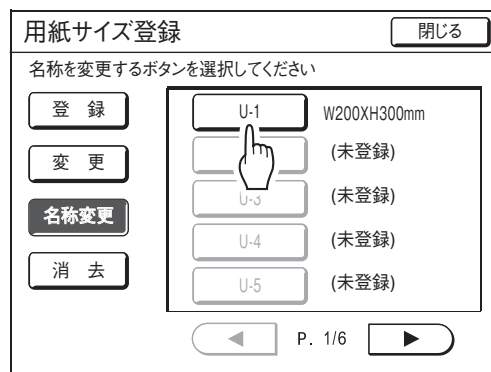
必要があれば、引き続き名称を変更します。

名称を変更しない場合は、＜閉じるボタン＞にタッチしてください。

8 ＜名称変更ボタン＞にタッチする



9 名称を変更するボタンにタッチする



10 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.135「名称入力画面について」

11 名称入力後<確定ボタン>にタッチする

参考

名称を修正するときは、手順8からやりなおしてください。

12 名称を確認して<閉じるボタン>にタッチする

用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

奉書(長尺の用紙)にプリントするときは

本機では、「ユーザー登録用紙」として登録することにより、555mm(給紙方向に対する天地の長さ)までの長さの用紙を使用して、印刷できます。

[用紙サイズ登録]画面で、給紙方向に対する天地の長さを 436mm 以上に設定した場合、その用紙は「長尺用紙」として扱われます。登録した「長尺用紙」を[用紙サイズ登録]画面で選択すると、本機は「長尺モード」に切り替わります。

重要

奉書の種類や紙質により、通紙できない場合や、印刷物の内容(画像の位置)により、部分的に汚れが発生する場合があります。詳しくはお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。

「長尺モード」について

- 本機が「長尺モード」のときは、メッセージエリアの表示が【製版できます [長尺]】または【印刷できます [長尺]】に変わります。
- 「長尺モード」では、給紙方向に対する天地の長さが 436mm ~ 555mm までの長さの用紙に印刷できます。ただし、最大印刷面積および天地印刷位置の調整範囲は、通常時と同様です。
 - ☛ P.16「印刷範囲について」
 - ☛ P.98「印刷位置を調整する [印刷位置調整]」
- 「長尺モード」では、印刷のタイミングや速度が、通常の印刷時とは異なります。あらかじめご了承ください。
- 「長尺モード」時の給紙台、排紙台のセット方法については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

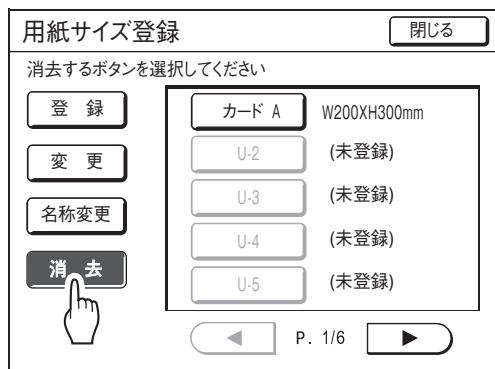
不定形用の紙を登録する【用紙サイズ登録】

登録した用紙サイズの消去

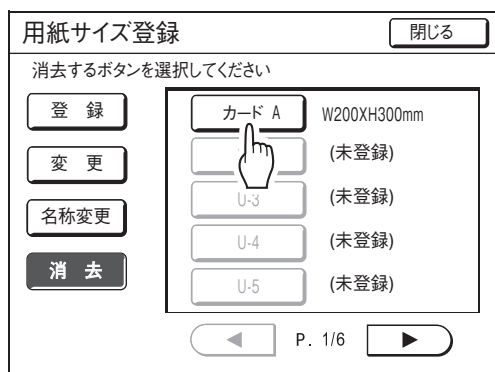
- 1 [環境設定]画面で<用紙サイズ登録ボタン>にタッチする



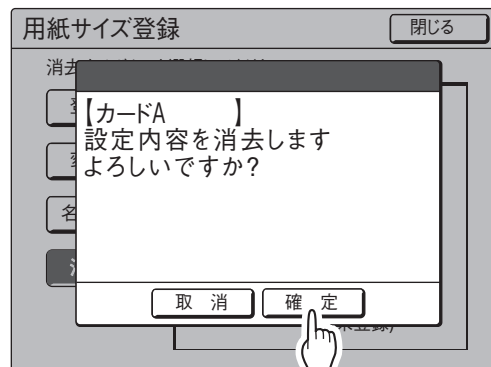
- 2 <消去ボタン>にタッチする



- 3 消去する用紙サイズにタッチする

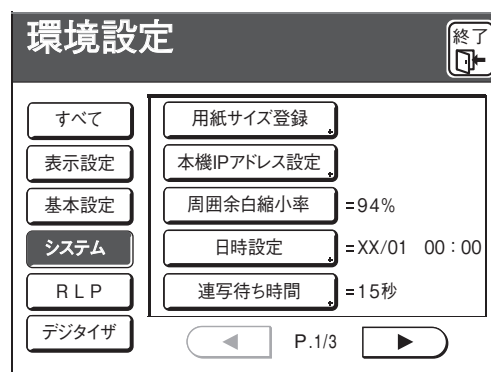
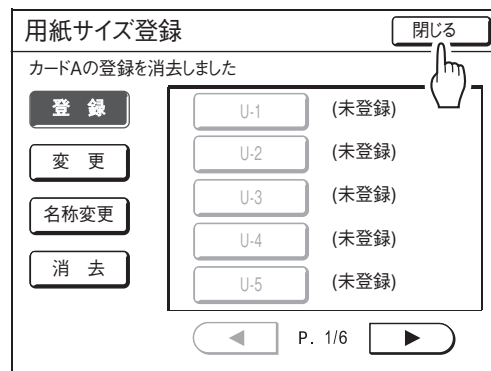


- 4 <確定ボタン>にタッチする



選択した用紙サイズが消去され、[用紙サイズ登録]画面に戻ります。

- 5 <閉じるボタン>にタッチする



用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

印刷済みのマスターを安全に管理する

【プロテクト】

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを破棄することができます。（「機密」機能といいます。）

また、使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。それらのマスターが、悪意を持つ第三者によって排版ボックスから取り出され、流出することを防ぐため、本機ではプロテクト機能を用意しています。

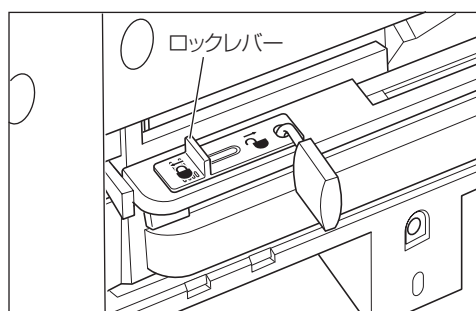
■「プロテクト」設定

「プロテクト」設定を有効にすると

- 印刷終了後、「機密」を実行して、ドラムに巻き付いたままのマスターを破棄するよう促すメッセージが表示されます。
- 印刷待機中に排版ボックスが取り出せないようにロックされます。（ただし、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合は、排版ボックスを取り出すことができます。）

■ 排版ボックスの施錠

排版されたマスターの流出を防ぐため、排版ボックスを管理者以外が取り外せないように、南京錠等でロックすることができます。（南京錠は、市販のものをお買い求めください。錠を差し込む穴の直径は7mmです。）
排版ボックスの施錠は、ロックレバーを取り付けてある場合のみ行うことができます。



プロテクト機能の状態と制限範囲について

プロテクト機能の状態	制限範囲
プロテクト:無効 南京錠:なし	印刷機利用制限なし※ 1
プロテクト:有効 南京錠:なし	機密実行メッセージ表示 排版ボックスのロック※ 2
プロテクト:無効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示なし 管理者以外の排版処理は不可
プロテクト:有効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示 管理者以外の排版処理は不可

※ 1 通常の「機密」機能は任意で実行できます。

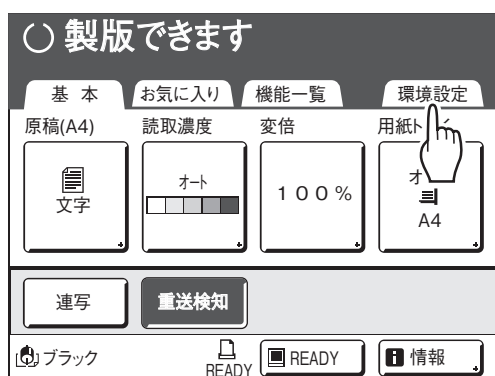
※ 2 一部、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合には、ロックが解除されます。

印刷済みのマスターを安全に管理する【プロテクト】

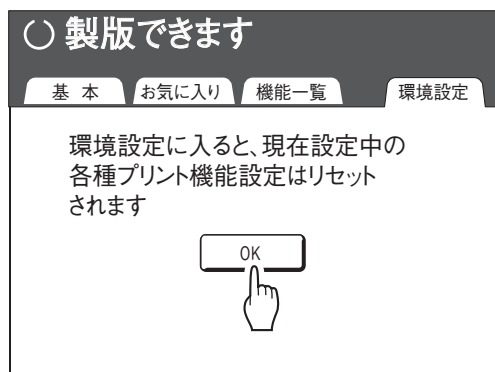
製版・排版されたマスターの流出を防ぐ【プロテクト】

■「プロテクト」設定を有効にする

1 各モードの基本画面で「環境設定」にタッチする

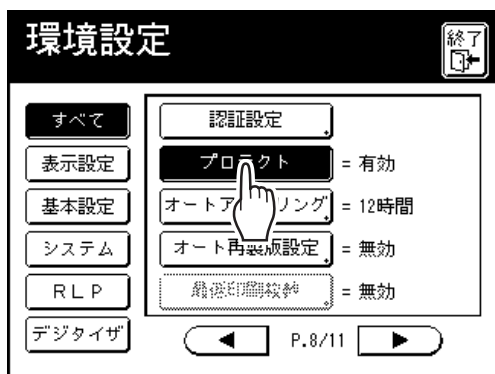


2 <OK ボタン>にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、P.167「初期設定の変更」手順2を参照してください。

3 <プロテクトボタン>にタッチする



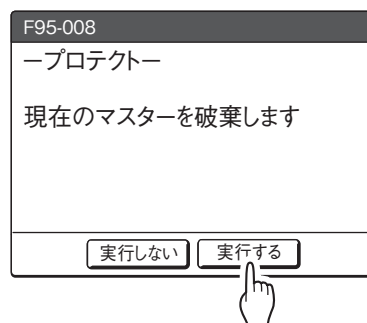
「プロテクト」が「有効」となり、反転表示されます。

参考

- 「プロテクト」を「有効」に設定すると、「省エネモード」(オートスリープまたはオートシャットOFF)が自動的に有効になり、動作までの時間は1分に設定されます。(設定時間の変更はできません)
- 「プロテクト」が「有効」のとき、「再製版」はグレー表示され、選択できません。

■「プロテクト」設定が「有効」のときの動作について

印刷が終了すると以下の画面が表示されます。

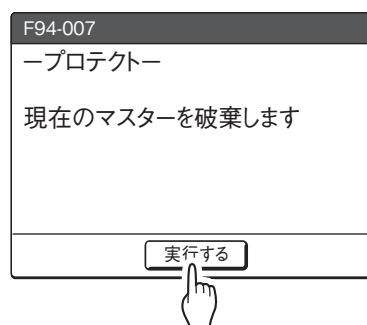


<実行する>または<実行しない>にタッチします。

<実行する> ドラム上のマスターを破棄します。
<実行しない> ... 破棄する必要がない、または刷り増しをする場合などに選択します。

参考

- パソコンからのデータ送信の場合も、上記の画面が表示されます。
- プロテクト有効時に<実行しない>を選択した場合、<リセット>キー、<C>キーを押すたびに「プロテクト」確認画面が表示されます。
- 次の場合に以下の画面が表示されます。
 - 機密されていないドラムをセットしたとき
 - 機密実行の確認画面が表示された状態のままスリープ状態になり、次にスリープ状態が解除されたとき(または電源を「ON」にしたとき)

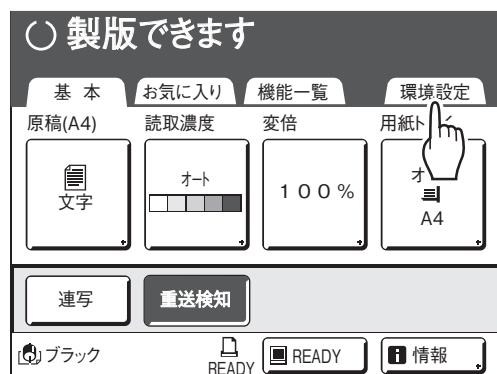


<実行するボタン>にタッチすると、ドラム上のマスターは破棄されます。

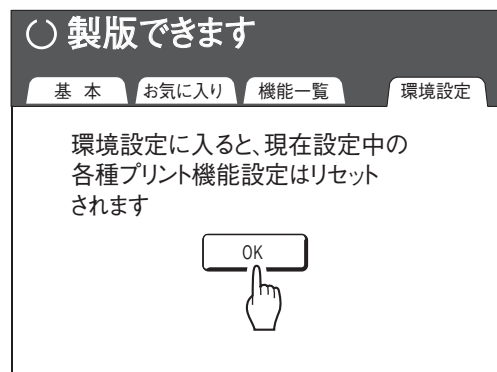
■「プロテクト」設定を解除する

「プロテクト」設定の解除は、必ず管理者が行ってください。

1 各モードの基本画面で[環境設定]にタッチする

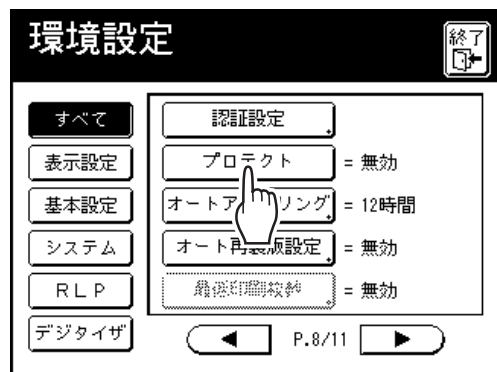


2 <OK ボタン>にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、P.167「初期設定の変更」手順2を参照してください。

3 <プロテクトボタン>にタッチする



「しばらくお待ちください」と表示された後、「プロテクト」設定が解除されます。



原稿データを保存して活用する

(メモリーカード(オプション)および USB メモリ装着時の機能)

- 184 原稿データの保存と活用方法について
- 186 紙原稿を保存データにする (スキャンモード)
- 191 保存データを呼び出してプリントする [ホールド] [USB メモリ]
- 195 保存データを合成する [オーバーレイ]
- 197 保存データをコピー／移動する

原稿データの保存と活用方法について

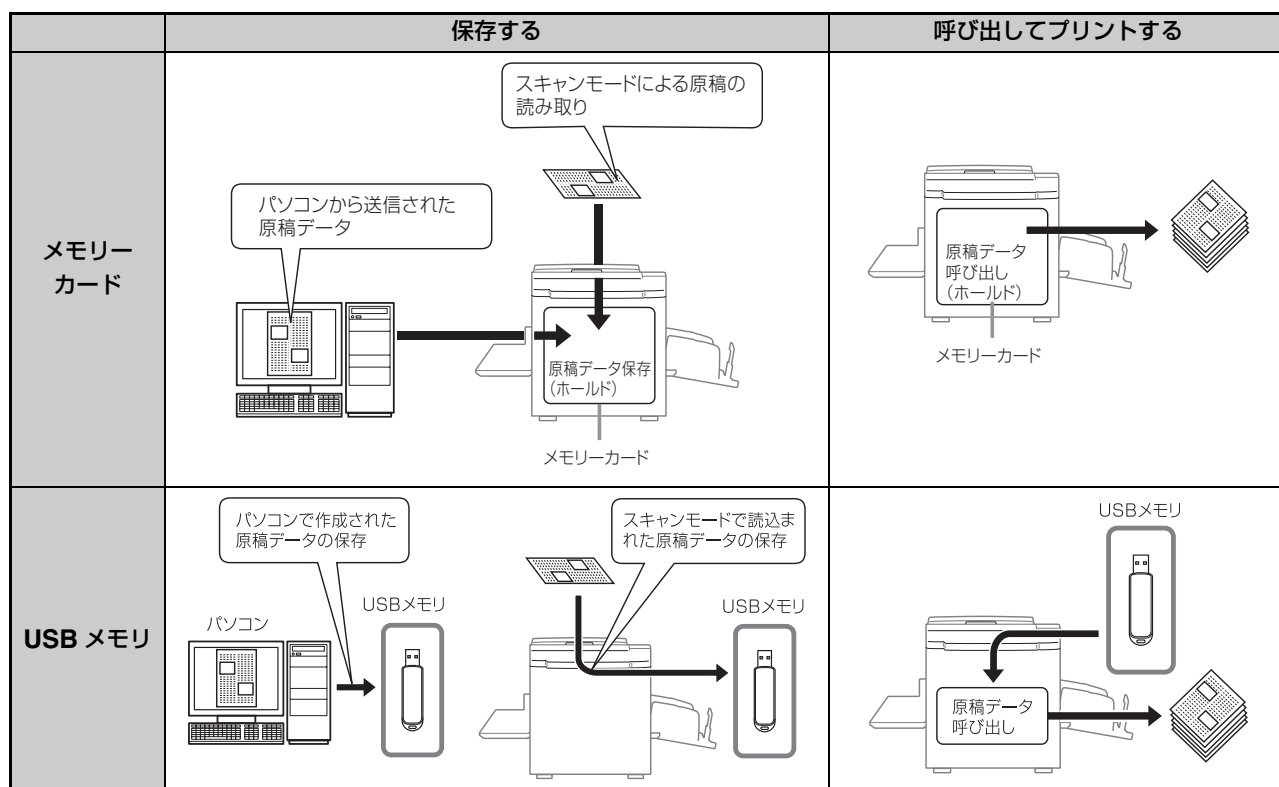
本機には、原稿データを保存する機能があります。この機能を使用するためにはメモリーカード(オプション)または USB メモリが必要です。

保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。

原稿データの保存方法には、印刷機本体内のメモリーカード(オプション)に保存する「ホールド」と、USB メモリに保存する「USB メモリ」があります。どちらも、次のように原稿データを保存できます。

- 紙原稿を印刷機のスキャナーから読み取って保存
- パソコンで作成した原稿データを保存

ここでは、紙原稿の保存方法と、保存してある原稿データのプリント方法を説明します。パソコンで作成したデータの保存方法については、「リソースプリンタドライバ取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。



- 「ホールド」または「USB メモリ」に保存したデータで、以下のことができます。
 - 保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。
 - 複数ページのホールドデータの場合は、奇数ページや偶数ページ、またはページを指定してプリントすることができます。
 - ☛ P.194「[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた」
 - ホールドデータと紙原稿を組み合わせることでプリントすることができます。
 - ☛ P.191「保存データの呼び出しかた」
- 「ホールド」は、本機内のメモリーにある 6 個のフォルダを、本機の使用全員で使うことができます。共有のデータを保存して利用する場合などに便利です。
- 「USB メモリ」は、USB メモリごとに 6 個のフォルダが作られるので、USB メモリを個人あるいは部署などで管理すれば、個別にデータ管理をしたい場合などに便利です。

重要

天災や不測の事態により、本機のホールドデータや USB メモリデータが損傷した場合のデータの保証はいたしかねます。

重要な書類は、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

参考

- メモリーカード(オプション)または USB メモリの空き容量が少なくなったときや、不要になった保存データを削除したいときは、簡単に削除できます。空き容量は、[ホールドデータ選択]画面または[USB データ選択]画面に表示されます。
☞ P.194「[ホールドデータ呼出]画面／[USB データ呼出]画面の使いかた」
- 原稿データを保存するフォルダは、メモリーカードに 6 個、USB メモリの場合は、メモリごとに 6 個用意されています。共有で使用する場合には、フォルダのルール(例えば、部署ごとに分ける、データの種類ごとに分けるなど)を決めておくことをおすすめします。
- メモリーカード(オプション)のフォルダ名は、環境設定で変更できます。
☞ P.162「初期設定を変更する [環境設定]／フォルダ名変更※」
- USB メモリのフォルダ名を変更する場合は、付属の CD-ROM に収録されている「リソースユーティリティソフトウェア」(理想USBメモリマネージャー)を利用してください。(パソコンのエクスプローラ画面などで変更すると、本機で認識されなくなります)
☞ 「リソースユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)
- ホールドデータや USB メモリデータは、並び順を入れ替えることができます。
☞ P.193「データの並び順を変える」

紙原稿を保存データにする

[スキャンモード]

スキャンモードは、紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、「ホールド」データ、または「USB メモリ」データとして保存する機能です。

スキャンモードで保存したデータ(ホールド)は、何度でも呼び出してプリントできます。

同じ印刷物をプリントする場合には、あらためて原稿を読み込ませる手間を省くことができます。

☛ P.191「保存データの呼び出しかた」

また、原稿の紛失や、経年変化による劣化の心配もありません。



RISO コントローラ IS300(オプション)を装着している場合は、本機のホールド機能を使用できません。スキャンモードで読み込んだデータは IS300 に保存されます。



メモ리카ード(オプション)またはUSBメモリの空き容量が少なくなったときは、不要になった保存データを削除してください。空き容量は、[ホールドデータ選択]画面または[USB データ選択]画面に表示されます。

☛ P.194「[ホールドデータ呼出]画面/[USB データ呼出]画面の使いかた」

スキャンモードでは、以下の機能を使うことができます。機能の使いかたについては、それぞれの機能の説明をご覧ください。

- 原稿モード(P.56)
- 読取濃度(P.57)
- 変倍(P.58)
- 網点(P.66)
- コントラスト強調(P.67)
- トーンカーブ選択(P.68)
- かんたん連写、連写(P.70)
- N アップ(P.79)
- プレビュー表示(P.91)
- ブックモード(P.82)
- 認証 POP 登録(P.158)
- AF 読取面指定(P.153)

以下は、スキャンモード固有の機能です。

- サイズ
 - ☛ P.190「用紙サイズを指定する」

紙原稿をスキャンする

1 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

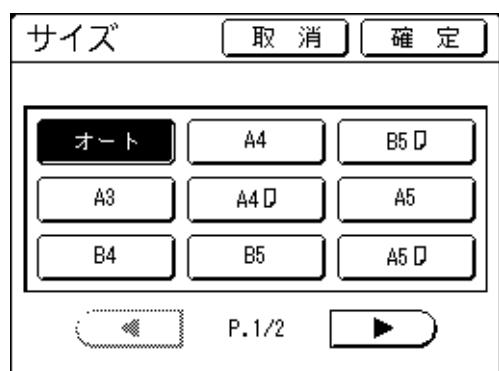
原稿のセットについては、P.40「原稿をセットする」をご覧ください。

2 スキャンモードを選ぶ

モード選択画面で<スキャンボタン>にタッチします。

☛ P.26「画面の移り変わり」

スキャンモード選択後、以下の[サイズ]画面が表示された場合は、保存サイズを選択して、<確定ボタン>にタッチしてください。



3 データ情報を設定する

データ名、保存場所、オーナー名を設定します。

☛ P.188「保存データの情報設定をする」

4 必要な機能を設定する

原稿を読み取る際に必要な機能を設定します。

参考

- 「プレビュー表示」を設定しておくと、スキャンした内容をホールドする前に確認できます。
☛ P.91「製版前に印刷イメージを確認する[プレビュー表示]」
- 設定できる機能については前ページを参照してください。



重要 不定形の原稿を読み取る場合は、「サイズ」の設定をしてください。

☛ P.190「用紙サイズを指定する」

5 <スタート>キーを押す

スキャンが開始されます。

参考

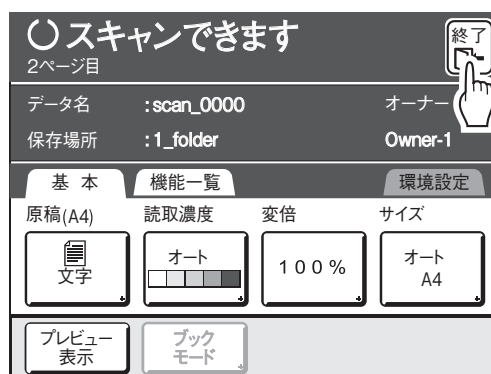
「プレビュー表示」が設定されている場合は、ディスプレイにスキャン画像が表示されます。画像を確認して<閉じるボタン>にタッチしてください。

6 原稿が複数ページある場合は、手順 1、4、5 を繰り返す

自動原稿送り装置(オプション)に原稿をまとめてセットした場合は、すべての原稿を同じ設定でスキャンします。

7 <終了ボタン>にタッチする

1つのデータとして保存する原稿のスキャンが終了したら、<終了ボタン>にタッチしてください。



確認の画面が表示されます。

8 <はいボタン>にタッチする

データが保存されます。

参考

スキャンモードを終了する場合は、<モード>キーを押してください。

紙原稿を保存データにする【スキャンモード】

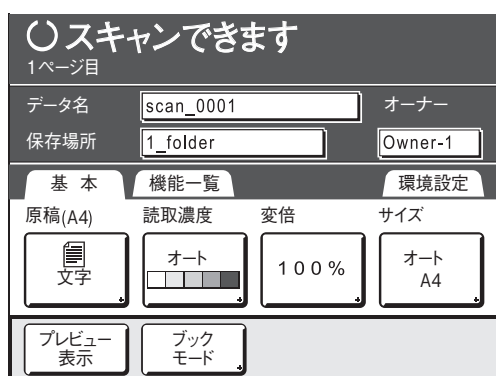
保存データの情報設定をする

スキャン基本画面で、これからスキャンして保存するデータの設定を行います。

1 スキャンモードを選ぶ

モード選択画面で<スキャンボタン>にタッチします。

☞ P.26「画面の移り変わり」

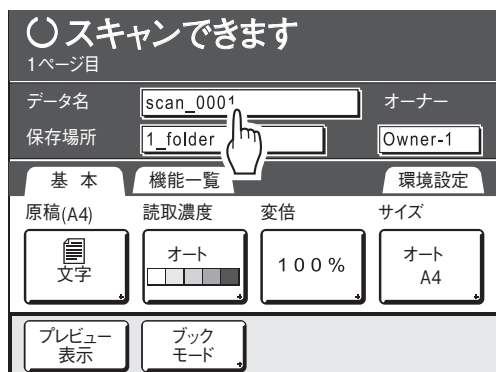


データ名、保存場所、オーナーは、スキャンモードの起動時に自動で割り当てられますが、必要に応じて変更することができます。

参考 [保存場所] フォルダの初期設定は、[環境設定] で変更できます。☞ P.162「初期設定を変更する [環境設定] / フォルダ基本設定※」

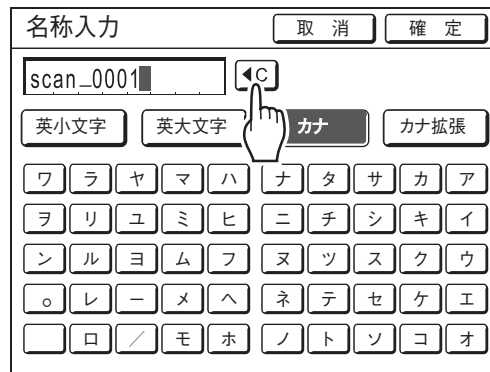
2 データ名を設定する

① データ名を入力ボックスにタッチする



[名称入力] 画面が表示されます。

② <C ボタン>にタッチして、現在の名称を消去する



参考 <C>キーを押しても消去できます。

③ 文字ボタンにタッチして、データ名を1文字ずつ入力する

文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☞ P.135「名称入力画面について」

④ <確定ボタン>にタッチする

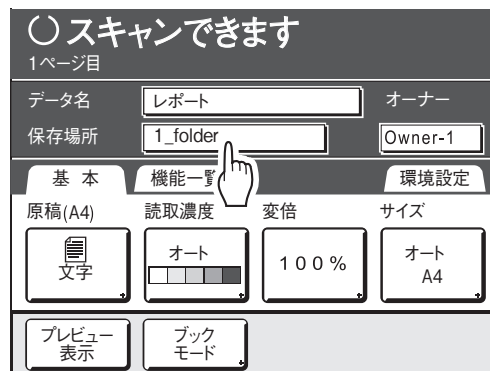
データ名が確定され、スキャン基本画面に戻ります。

3 保存場所を設定する

USBメモリに保存する場合は、あらかじめ本機の USB スロットに USB メモリを挿入しておいてください。

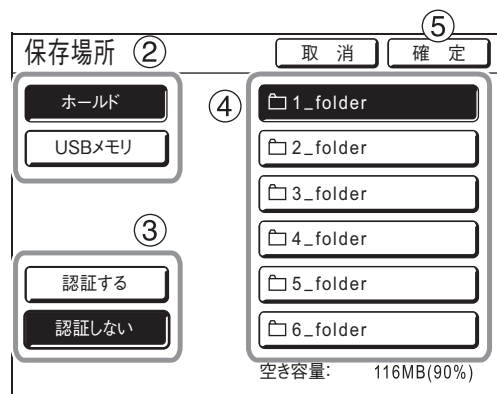
参考 RISO コントローラ IS300(オプション)を装着している場合、保存場所の指定はできません。

① 保存場所の入力ボックスにタッチする



[保存場所] 画面が表示されます。

- ② <ホールドボタン>または< USB メモリボタン>にタッチする



< USB メモリボタン>は USB メモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

- ③ <認証するボタン>または<認証しないボタン>にタッチする

<認証するボタン><認証しないボタン>は、認証有無が「本体認証、認証プリント」に設定されている場合のみ表示されます。

- ④ データを保存するフォルダのボタンにタッチする

- ⑤ <確定ボタン>にタッチする

[保存場所] フォルダが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

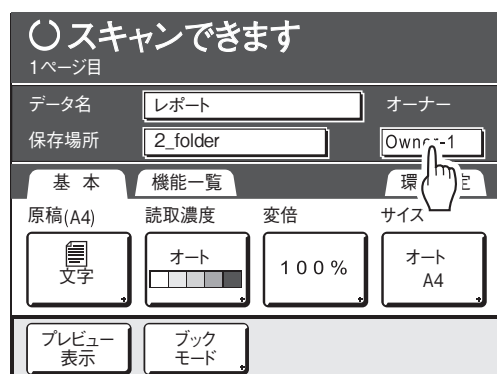
参考

[保存場所] フォルダの名称は、[環境設定] で変更できます。

● P.162「初期設定を変更する [環境設定] / フォルダ名変更※」

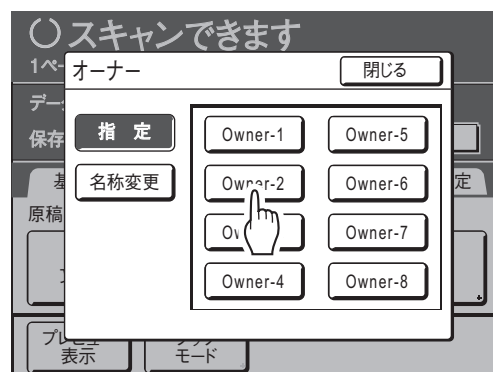
4 オーナーを設定する

- ① オーナーの入力ボックスにタッチする



[オーナー] 画面が表示されます。

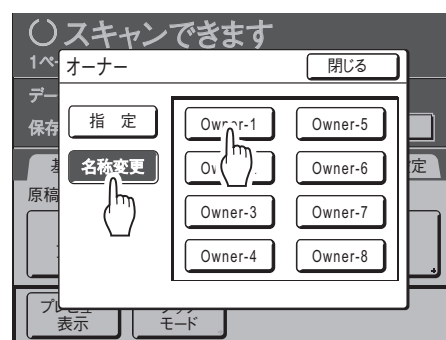
- ② 設定するオーナーのボタンにタッチする



オーナーが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

オーナー名を変更するには

- ① [オーナー] 画面で<名称変更ボタン>にタッチして、変更したいオーナー名にタッチする



[名称入力] 画面が表示されます。

- ② <◀C ボタン>にタッチして、現在の名称を消去する

- ③ オーナー名を入力する

- ④ <確定ボタン>にタッチする



オーナー名が確定され、[オーナー] 画面に戻ります。

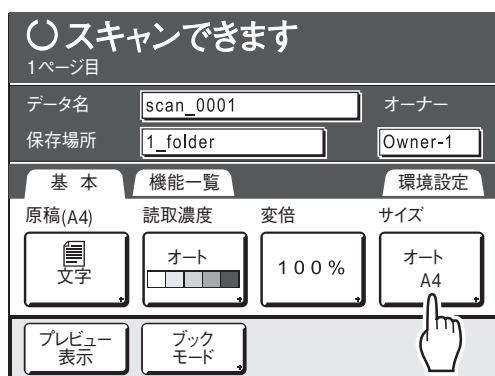
紙原稿を保存データにする【スキャンモード】

用紙サイズを指定する

スキャンする原稿(データ)の用紙サイズを設定します。定形サイズの原稿をセットした場合は、「オート」でサイズが検知されます。

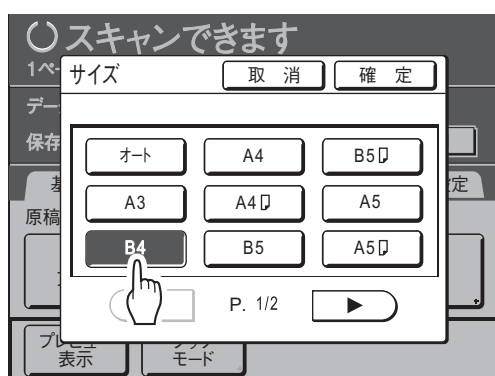
原稿台ガラスにセットする場合、原稿が不定形の場合や、実際の原稿とは異なるサイズで保存する場合は、[サイズ]画面で設定することができます。

1 スキャン基本画面で[サイズ]ボタンにタッチする



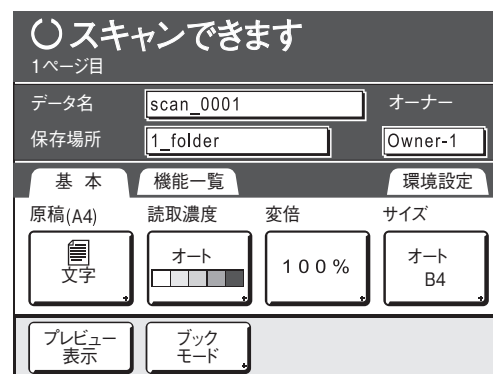
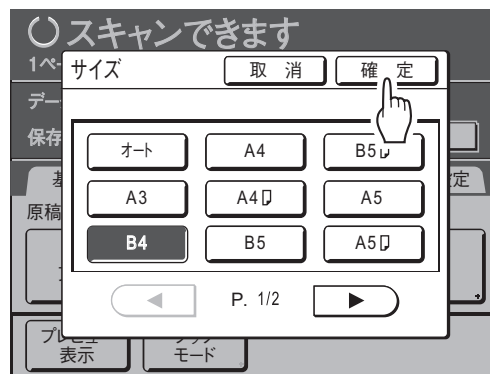
[サイズ]画面が表示されます。

2 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



[オート]を選ぶと、セットされた原稿と同じサイズに自動的に設定されます。

3 <確定ボタン>にタッチする



用紙サイズが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

保存データを呼び出してプリントする [ホールド][USB メモリ]

その他

機能一覧
ホールド

原稿データを保存して活用する

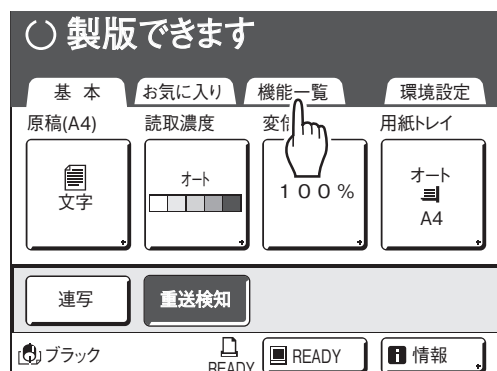
保存データの呼び出し方

USBメモリデータを呼び出す場合は、あらかじめ本機の USB スロットに USB メモリを挿入しておいてください。USB メモリデータのプリント方法の詳細は、P.46「パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント][USB メモリ]」を参照してください。

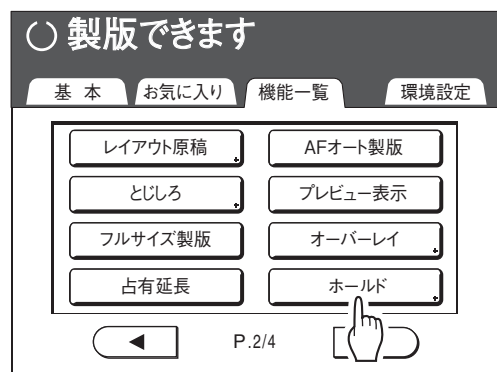
参考

- 管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.45「認証画面での操作について」を参照してください。
- 認証設定で「認証方式」が「暗証番号」に設定されている場合、各モードの基本画面表示中に USB メモリが挿入されると、自動的に[USBデータ選択]画面が表示されます。手順 3 へ進んでください。

1 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



2 <ホールドボタン>にタッチする



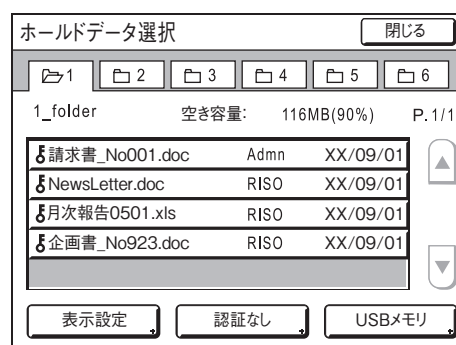
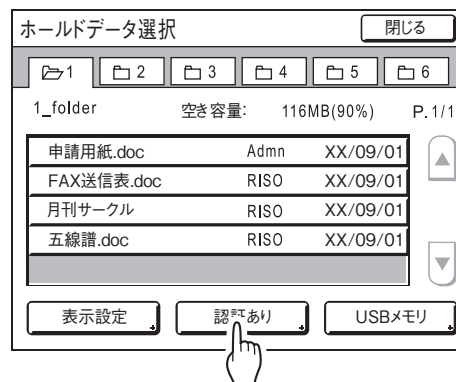
[ホールドデータ選択]画面または[USBデータ選択]画面(認証なし)が表示されます。

3 「認証あり」または「認証なし」を選択する

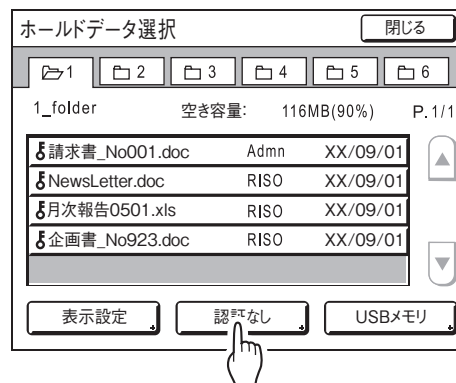
参考

認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、<認証ありボタン>は表示されません。

■ 認証設定されているデータを呼び出す場合
<認証ありボタン>にタッチします。

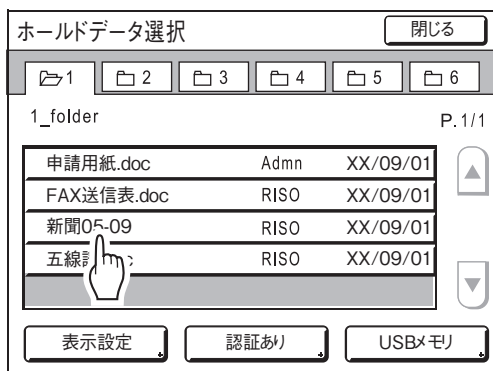


■ 認証設定されていないデータを呼び出す場合
画面に<認証なしボタン>が表示されている場合は、<認証なしボタン>にタッチします。



保存データを読み出してプリントする [ホールド] [USB メモリ]

4 プリントするデータにタッチする



別のフォルダに保存されているデータを選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。

参考

- 保存データが画面に表示しきれない場合は、<▲ボタン>または<▼ボタン>にタッチして表示させてください。
- 認証プリントされているデータの場合には、アイコンが表示されます。

🔒: 認証されているデータ

5 呼び出すデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



[ホールドデータ呼出]画面では、保存データの確認や出力設定を行うことができます。

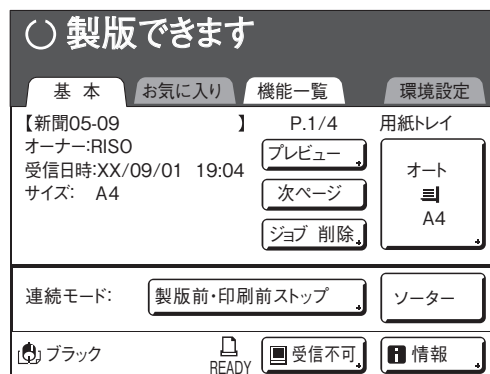
🖱️ 操作については、「[ホールドデータ呼出]画面 / [USB データ呼出]画面の使いかた」(P.194)を参照してください。

参考

サムネイルを拡大して確認したいときは<プレビュー表示>ボタンにタッチします。

6 <呼出ボタン>にタッチする

データが呼び出され、データの製版基本画面が表示されます。



7 <スタート>キーを押す

データが製版されます。

以降は、通常の製版・印刷行程と同様の操作を行ってください。

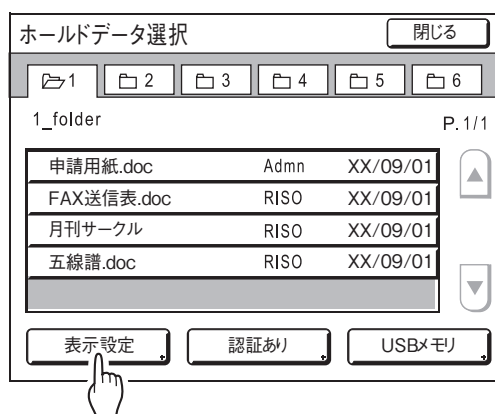
データの並び順を変える

データ(USB メモリデータ)を選択する画面に表示されるデータ(USB メモリデータ)の並び順を変更することができます。

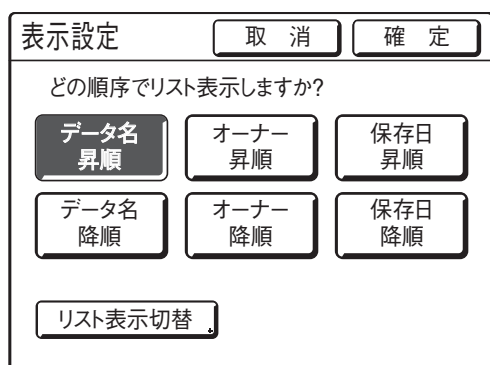
参考 工場出荷時は、「保存日降順」に設定されています。

1 <表示設定ボタン>にタッチする

参考 <表示設定ボタン>は、ホールドデータ(USBメモリデータ)がない、または1個のみの場合にはタッチできません。



2 [表示設定]画面で、変更する並び順のボタンにタッチする



参考 <リスト表示切替ボタン>のON(反転)/OFFにより、[ホールド(USB)データ選択]画面でのデータの表示形式が切り替わります。
OFF: データ名+オーナー名+保存日
ON(反転): データ名

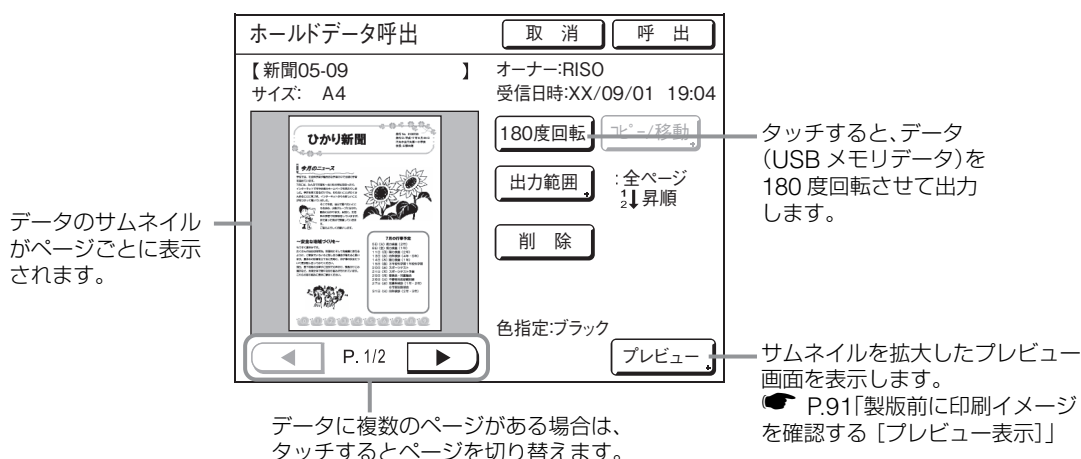
3 <確定ボタン>にタッチする

[ホールド(USB)データ選択]画面に戻ります。

保存データを読み出してプリントする【ホールド】【USB メモリ】

【ホールドデータ呼出】画面／【USB データ呼出】画面の使いかた

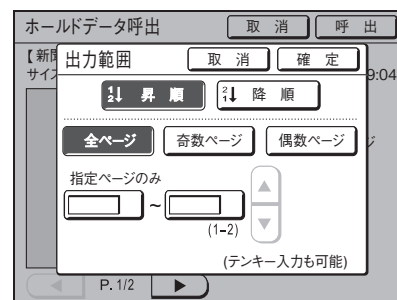
【ホールド(USB)データ呼出】画面の各部の意味は、以下のとおりです。
ここでは「ホールドデータ呼出」画面を例に説明します。



■【出力範囲】

複数のページのあるデータ(USBメモリデータ)の場合、出力するページを指定することができます。

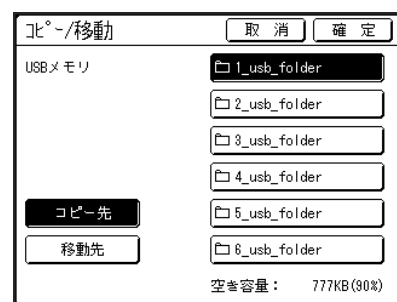
＜出力範囲ボタン＞にタッチすると、【出力範囲】画面が表示されます。各ボタンにタッチすることで、すべてのページ、奇数ページのみ、偶数ページのみを、それぞれ「昇順」または「降順」で出力するように設定できます。ページ範囲を指定する場合は、ページの入力ボックスにタッチし、＜▲ボタン＞＜▼ボタン＞にタッチしてページを指定します。



■【コピー／移動】

本機の保存フォルダと USB メモリとの間で、データをコピー／移動します。【ホールドデータ呼出】画面からは USB メモリに、【USB データ呼出】画面からは本機の保存フォルダにコピー／移動できます。

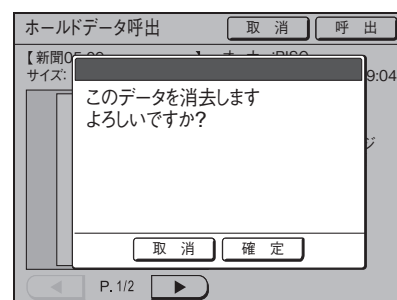
設定方法の詳細については、P.197「保存データをコピー／移動する」を参照してください。



■【削除】

＜削除ボタン＞にタッチすると、確認画面が表示されます。

＜確定ボタン＞にタッチすると、このデータが削除されます。



保存データを合成する

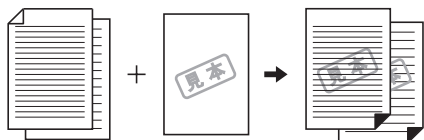
【オーバーレイ】

その他

機能一覧
オーバーレイ

原稿データを保存して活用する

紙原稿と保存しているデータを合成することができます。
たとえば、複数の原稿に、「見本」などの共通のスタンプを印刷する場合などに使用します。



重要

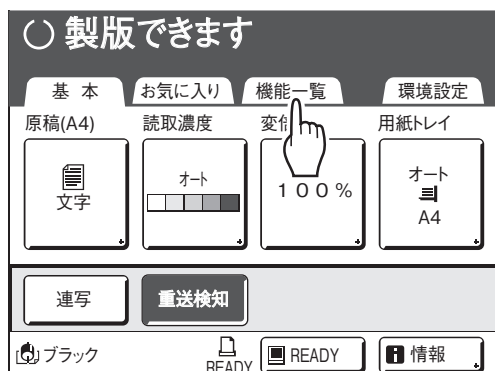
- 「オーバーレイ」は、「省インク」、「レイアウト原稿」、「とじしろ」、「ホールド」、「USB メモリ」、「逆順印刷」、「パソコンからのダイレクトプリント」とは併用できません。
- この機能を使用するためにはメモリーカード(オプション)またはUSBメモリが必要です。

1 原稿と印刷用紙をセットする

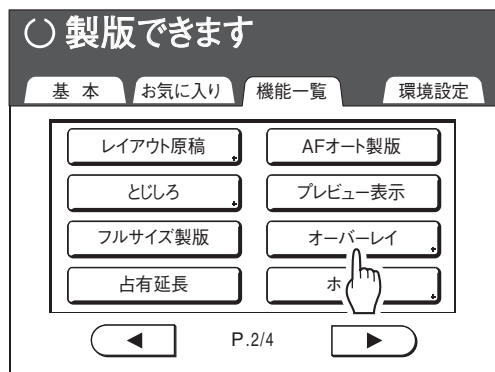
原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

- ☛ P.34「プリント前の準備」
- ☛ P.40「原稿をセットする」

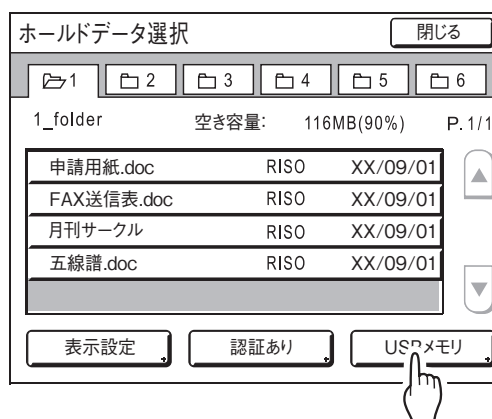
2 製版基本画面で[機能一覧]にタッチする



3 <オーバーレイボタン>にタッチする



[ホールドデータ選択]画面が表示されます。
USB メモリに保存されているデータを合成したいときは、USB スロットにUSBメモリを挿入し、<USBメモリボタン>にタッチします。

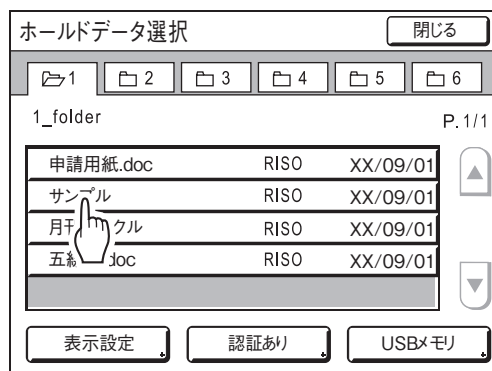


[USBデータ選択]画面が表示されます。

重要

USBメモリは、プリントが終わるまで取り外さないでください。

4 合成する保存データを選ぶ

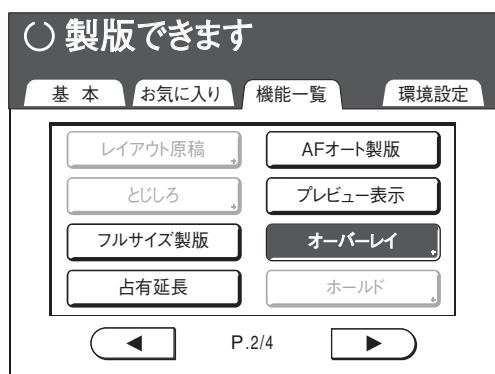
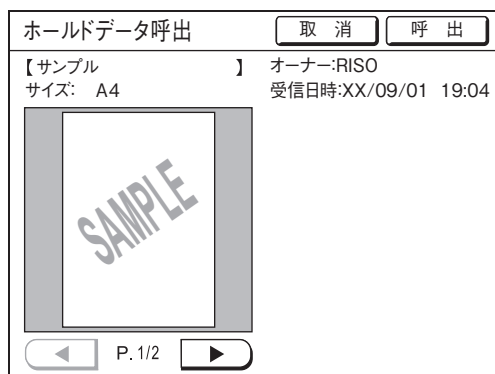


データの選択方法については、P.191「保存データの呼び出し方」の手順4,5を参照してください。

保存データを合成する【オーバーレイ】

5 保存データを確認して、＜呼出ボタン＞にタッチする

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



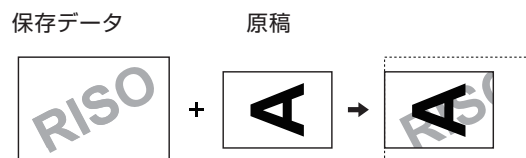
「オーバーレイ」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

6 プリント操作をする

以降の操作については、「紙原稿をプリントする」の手順5(P.42)以降を参照してください。

保存データの合成のされかた

保存データはホールドされているサイズで合成されます。原稿サイズや用紙サイズに合わせて拡大／縮小することはできません。



保存データは、原稿のトップ(天方向)のセンター合わせで合成されます。合成位置を調整することはできません。

保存データをコピー／移動する

本機の保存フォルダと USB メモリとの間でデータをコピー／移動することができます。
本機の保存フォルダまたは USB メモリのデータ空き容量が少ないときや、バックアップをとるときなどに便利です。

参考

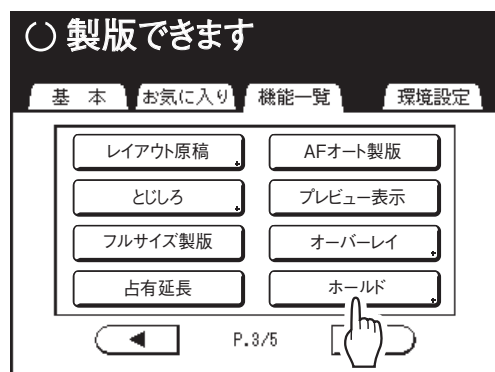
- 本機の保存フォルダ内または USB メモリ内でのデータコピー／移動はできません。
- 付属の CD-ROM に収録されている「リソースティリティソフトウェア」(理想 USB メモリマネージャー)を利用して、USB メモリに保存されている原稿データをパソコンで整理・管理することができます。詳しくは、「リソースティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。
- 認証データは、データの認証設定が保持されたままコピー／移動されます。

ここでは、本機の保存フォルダから USB メモリにデータをコピー／移動する場合の手順を例に説明します。

1 データ保存用 USB メモリが挿入されていることを確認する

USB メモリが挿入されていない場合は、USB メモリを USB スロットに挿入してください。

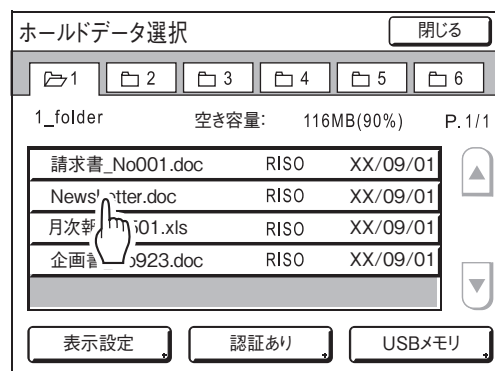
2 機能一覧画面で<ホールドボタン>にタッチする



参考

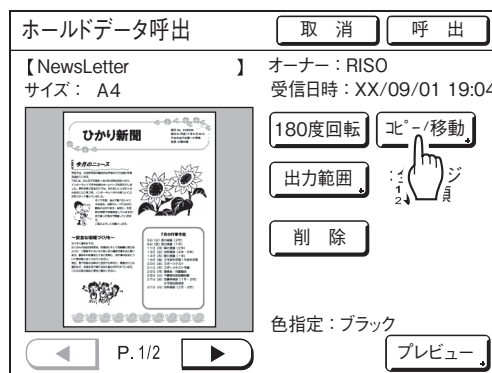
USB メモリから本機の保存フォルダにデータをコピー／移動するときは、< USB メモリボタン > にタッチします。

3 コピー／移動するデータにタッチする

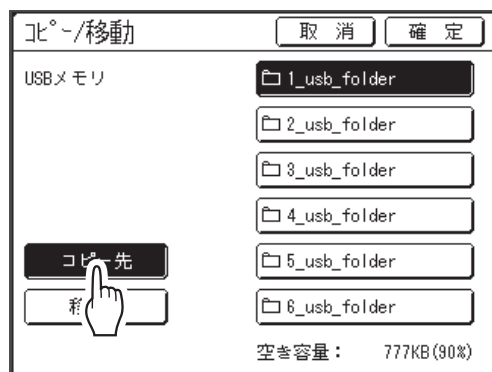


データの選択方法については、P.191「保存データの呼び出し方」の手順 3、4 を参照してください。

4 <コピー/移動ボタン>にタッチする



5 <コピー先ボタン>または<移動先ボタン>にタッチする



6 コピー先／移動先フォルダのボタンにタッチする

7 <確定ボタン>にタッチする

データがコピー／移動され、コピー先／移動先のフォルダが表示されます。

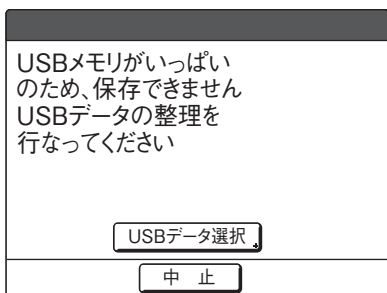


データ処理している間は、USB メモリを取り出さないでください。データの消失や USB メモリの故障の原因になります。

保存データをコピー／移動する

参考

USBメモリから本機の保存フォルダにコピー／移動するときに、データ容量が不足している場合には、以下のメッセージが表示されます。USBメモリ一覧にタッチしてUSBメモリのデータを整理するか、中止にタッチしてコピー／移動を中止してください。



連携機 Prioa (別売) を接続して使う

- 200 連携機を使用したプリント機能について
- 201 連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]
- 205 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]
- 207 連携機のオプション機能を使う
- 211 両面印刷のしかた [両面]

連携機を使用したプリント機能について

本機を連携機 Prio (別売) と接続して、より経済的なプリントが行えます。
連携機を使ったプリントには、[自動振分] と [RLP モード] の 2 つがあります。



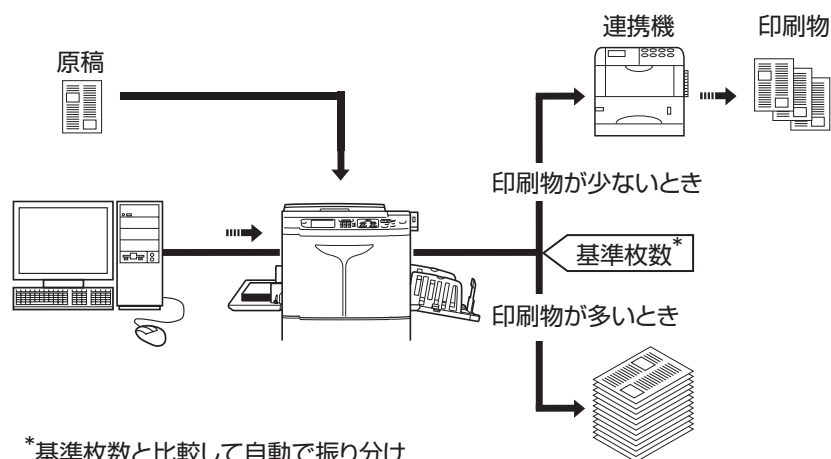
連携機として接続できるプリンタは「Prio」です。接続には、RISO Network Card が必要です。

自動振分

紙原稿やパソコンから送信したデータをプリントする場合、あらかじめ基準枚数(自動振分枚数)を設定しておく
と、印刷部数が基準枚数以上の部数のときは本機を、基準枚数未満のときは連携機を自動で選択し、プリントしま
す。

メモリーカード(オプション)や USB メモリに保存した原稿データを読み出してプリントする場合も、枚数により
自動的に振り分けてプリントができます。

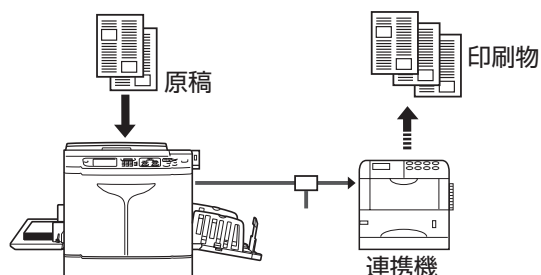
☛ P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 自動振分枚数」、P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 受信ジョ
ブ自動振分」、P.184「原稿データの保存と活用方法について / 原稿データの保存と活用方法について」



紙原稿の場合、製版の前に印刷枚数の入力が必要です。枚数が「0」で<スタート>キーを押すと、無条件で本機からプリ
ントします。

RLP モード

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。



連携機を使うための準備

[RLP 情報設定]

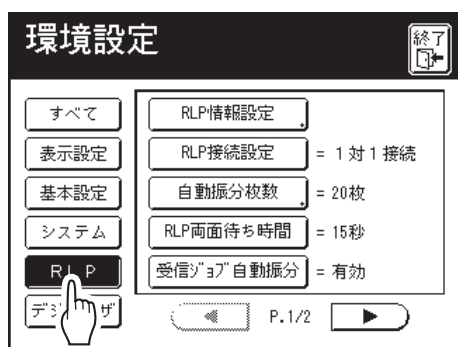
本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機の本機に登録する必要があります。ここでは、本機の[環境設定]の中での[RLP 情報設定]についてのみ説明しています。その他のRLPに関するその他の[環境設定]については、P.166 を参照してください。

重要

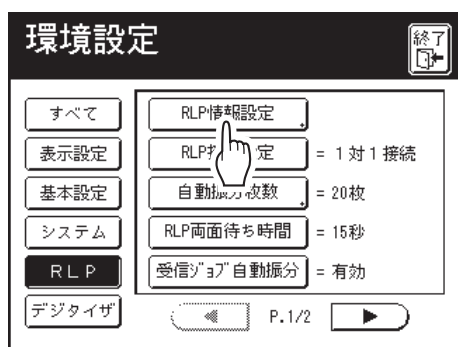
- 本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。
- 情報の登録は、接続してある連携機 1 台ずつにそれぞれ行ってください。
- 本機に連携機を 1 台だけ接続する場合は、[RLP 接続設定]を[1 対 1 接続]にしてください。
- 連携機の情報に登録されていない場合、連携機からの出力や取り付けたオプションの機能は使用できません。

連携機情報を設定する

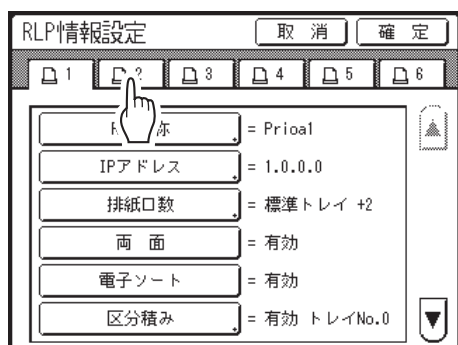
1 [環境設定]画面で< RLP ボタン>にタッチする



2 < RLP 情報設定ボタン>にタッチする

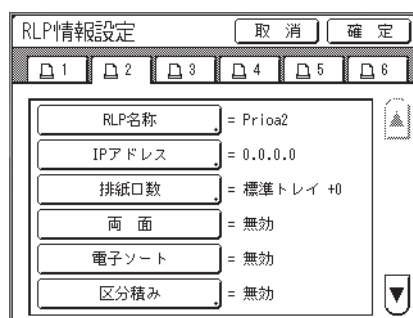


3 情報を登録する連携機のタブにタッチする



参考 連携機の情報 6 台分まで登録できます。

4 登録する情報のボタンにタッチする



参考 表示された画面内に目的の項目がないときは、< ▲ボタン>または< ▼ボタン>にタッチして表示を切り替えてください。

5 設定を変更する

P.202「設定項目一覧」を参考にして各項目を変更してください。

参考 設定画面がある場合は、設定の変更後、< 確定ボタン>にタッチします。変更内容が確定され、[RLP 情報設定]画面に戻ります。設定を中止するときは、< 取消ボタン>にタッチして、[RLP 情報設定]画面に戻ります。

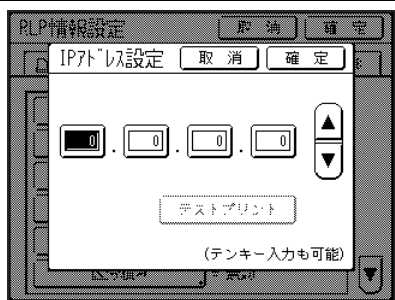
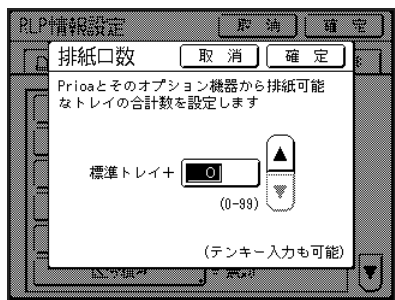
6 < 終了ボタン>にタッチする

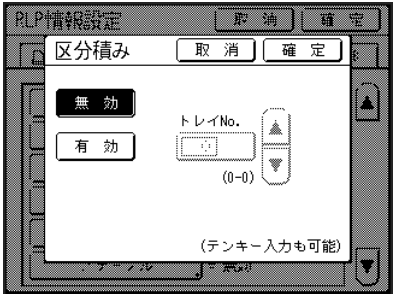
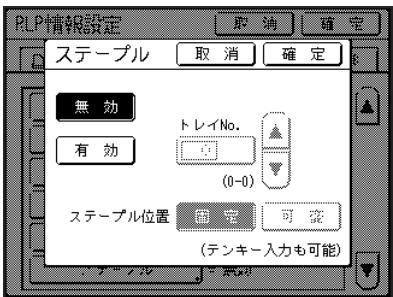
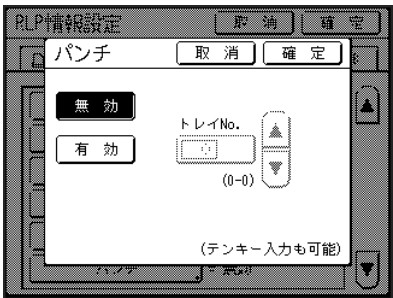
環境設定を終了し、基本画面に戻ります。

連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]

設定項目一覧

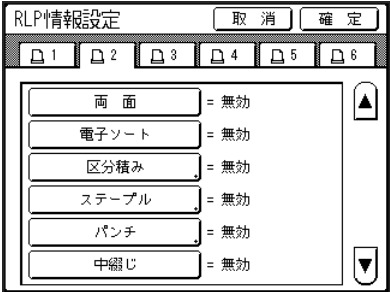
《 》は工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	入力方法
RLP 名称 連携機の名称を設定します。 参考 登録した名称は RLP モード画面で表示されます。		 文字ボタンにタッチして、1 文字ずつ入力します。その後、＜確定ボタン＞にタッチして、RLP 名称を登録します。操作の詳細は、P.135「名称入力画面について」を参照してください。
IP アドレス設定 連携機をネットワークに接続するための IP アドレスを設定します。 参考 ＜テストプリントボタン＞にタッチすると、連携機へのデータ送信テストが実行されます。テストに成功したときは、連携機からテストの結果のレポートが出力されます。 ＜テストプリントボタン＞は、[環境設定]の[本機 IP アドレス設定]が未設定のときは選択できません。		 ＜▲ボタン＞＜▼ボタン＞、またはテンキーを押して入力します。 - 入力位置を移動するときは、直接、入力位置のボタンにタッチするか、＜*＞キーを押して移動させてください。
排紙口数 標準トレイ以外で、排紙可能なトレイの数を設定します。 重要 - 他のオプションで設定されている「トレイ No.」より小さい値を設定したときは、他のオプションは[無効]になります。 - 実際のトレイの数が設定したトレイの数と異なる場合は、標準排紙口から出力されます。	0 ~ 99	 - 連携機の標準トレイから出力するときは、[0]を入力します。 ＜▲ボタン＞＜▼ボタン＞、またはテンキーを押して入力します。

設定項目	設定内容	入力方法
区分積み [区分積み]機能がある場合に[有効]に設定します。また、[区分積み]機能が使えるトレイ No. ※を設定します。	《無効》: 区分積み機能なし (使用しない) 有効: 区分積み機能使用するトレイ No.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、<▲ボタン><▼ボタン>またはテンキーを押して入力します。
ステープル [ステープル]機能がある場合に[有効]に設定します。また、[ステープル]機能が使えるトレイ No. ※とステープル位置の固定・可変を設定します。	《無効》: ステープル機能なし (使用しない) 有効: ステープル機能あり使用するトレイ No. / 固定・可変	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、<▲ボタン><▼ボタン>、またはテンキーを押して入力します。
パンチ [パンチ]機能がある場合に[有効]に設定します。また[パンチ]機能が使えるトレイ No. ※を設定します。	《無効》: パンチ機能なし (使用しない) 有効: パンチ機能あり使用するトレイ No.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、<▲ボタン><▼ボタン>、またはテンキーを押して入力します。
フェイスアップ [フェイスアップ]機能がある場合に[有効]に設定します。また[フェイスアップ]機能が使えるトレイ No. ※を設定します。	《無効》: フェイスアップ機能なし (使用しない) 有効: フェイスアップ機能あり使用するトレイ No.	各ボタンにタッチして設定します。 [トレイ No.]は、<▲ボタン><▼ボタン>、またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、[フェイスアップ]も同じです。

※トレイ No. はお使いの Prioα の機種により異なります。

連携機を使うための準備 [RLP 情報設定]

設定項目	設定内容	入力方法
両面 [両面]機能がある場合に[有効]に設定します。	有効・《無効》	 各ボタンにタッチするたびに、有効・無効が切り替わります。 入力方法は、[両面] [電子ソート] [中綴じ] [回転ソート] [AF 時自動フェイスアップ] [メールボックス] [ソート] とも同じです。
電子ソート [電子ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
中綴じ [中綴じ]機能がある場合に[有効]に設定します。		
回転ソート [回転ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
AF 時自動フェイスアップ [AF 時自動フェイスアップ]機能がある場合に[有効]に設定します。		
リバース出力 [リバース出力]機能がある場合に[有効]に設定します。		
AF 時自動リバース出力 [AF 時自動出力]機能があり、[リバース出力]が[有効]の場合に、[有効]に設定します。		
メールボックス [メールボックス]機能がある場合に[有効]に設定します。		
ソート [ソート]機能がある場合に[有効]に設定します。		
ブックレット [ブックレット]機能がある場合に[有効]に設定します。		

紙原稿を読み取り連携機から出力する

[RLP モード]

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントするモードを「RLP モード」と呼びます。
RLP モードでは、プリント枚数にかかわらず、連携機からプリントされます。

1 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

原稿のセットについては、P.36「原稿をセットする」をご覧ください。

2 RLP モードに切り替える

本機の<モード>キーを押して、RLP モードに切り替えます。

モード選択画面から RLP 基本画面を表示する時は、<RLP 出力ボタン>にタッチしてください。

☞ P.26「画面の移り変わり」



RLP 基本画面が表示されます。

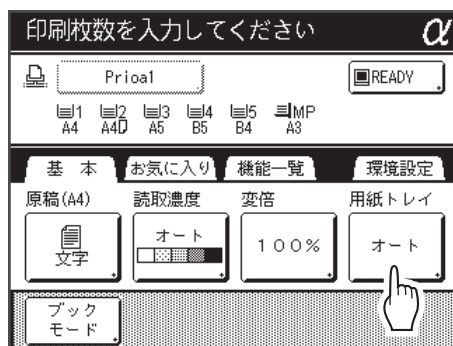
参考

本機のディスプレイに[ネットワークカード起動中です / Prioα の情報を取得中ですしばらくお待ちください]と表示されたときは、ネットワーク経由で連携機の情報を確認している状態です。メッセージが消えるまでお待ちください。

3 用紙を指定する

連携機に用紙トレイが複数あるときは、<用紙トレイ>ボタンを押して、トレイ(用紙サイズ)を指定してください。

① RLP 基本画面の<用紙トレイボタン>にタッチする



② 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



③ <確定ボタン>にタッチする

4 必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ

紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLP モード]

参考

- 連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを装着しているときは、オプション機能を使用することができます。
☛ P.207「連携機のオプション機能を使う」
- 印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。
- 本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。連携機からの出力を優先させるには、[占有延長]を設定しておくことをお勧めします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。
☛ P.144「割り込み印刷を防止する [占有延長]」

5 印刷枚数を入力する

テンキーを使って入力します。入力枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

入力をまちがえたときは、<C>キーを押すと消去できます。

6 <スタート>キーを押す

原稿の読み取りが始まります。

読み取られた原稿データは連携機に送信され、入力した枚数が連携機から出力されます。

参考

現在の設定をメモリーに登録しておく、メモリーを呼び出すことで、次回以降も同じ設定でプリントできます。

☛ P.137「メモリー機能を使う [メモリー]」

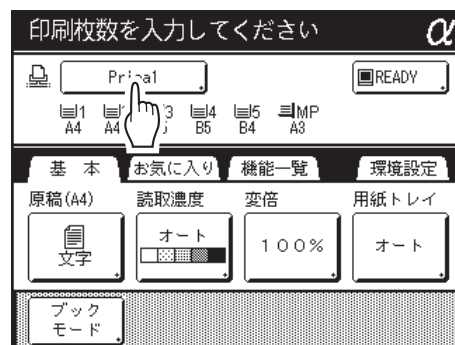
7 印刷が終了したら、<リセット>キーを押す

設定が初期値に戻ります。

複数の連携機をネットワーク接続しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用しているときは、出力先として使用する連携機を必要に応じて切り替えることができます。

① RLP 基本画面で、[RLP 名称]のボタンにタッチする



② 出力する連携機のボタンにタッチする



参考

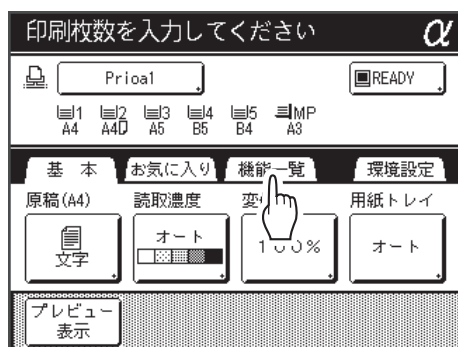
- 連携機にエラーが発生している場合、その連携機は選択できません。
- RLP モード中に、選択している連携機でエラーが発生したときは、[RLP 切替]画面が表示されます。出力可能な連携機を選択しなおしてください。
連携機の追加導入については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に相談してください。

連携機のオプション機能を使う

ソーターや両面印刷ユニットなど、オプションを取り付けたときに使用できる機能の設定について説明します。

参考 各機能の詳細については、「Prioα 取扱説明書」をご覧ください。

1 RLP 基本画面で[機能一覧]タブにタッチする



2 設定する項目のボタンにタッチする



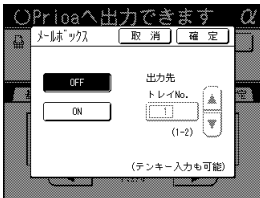
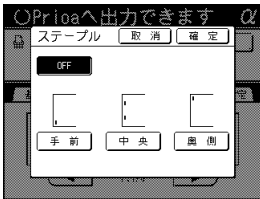
3 設定する

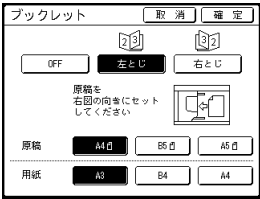
P.208「設定可能な項目一覧」を参考にして、各項目を設定してください。

連携機のオプション機能を使う

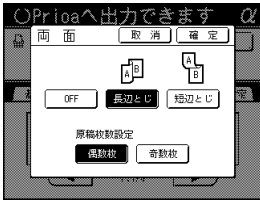
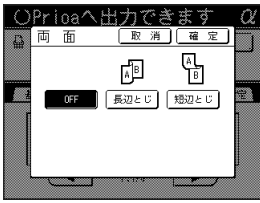
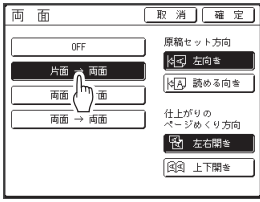
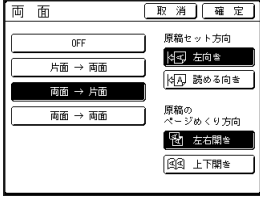
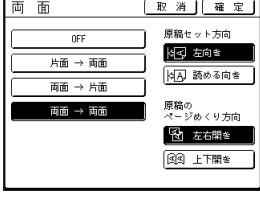
設定可能な項目一覧

《 》は工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
メールボックス 出力先の排紙トレイを選択します。	トレイ No.1 ~ n ([環境設定] の [排紙口数] で設定したトレイの合計数)	 <▲ボタン><▼ボタン>または テンキーを押して入力します。	[排紙口数]: トレイ合計数を 1 以上に設定 参考 [ソート] 機能を [有効] に設定した場合は、[排紙口数] 機能は設定できません。
区分積み 複数ページの印刷物を 1 部ずつ交互にずらして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[区分積み]: [有効] を設定したときのみ表示
ステープル 印刷物をとじる位置を設定します。	[環境設定] の [ステープル位置] により異なります。 [固定] に設定時: ON・《OFF》 [可変] に設定時: 《OFF》・手前・中央・奥側	 各ボタンにタッチして設定します。	[ステープル]: [有効] を設定したときのみ表示 参考 [ソート] 機能または [区分積み] 機能を [有効] に設定した場合は、[ステープル] 機能は設定できません。
パンチ 印刷物にパンチ穴を開ける機能を設定します。	ON・OFF	—	[パンチ]: [有効] を設定したときのみ表示 参考 [ソート] 機能または [区分積み] 機能を [有効] に設定した場合は、[パンチ] 機能は設定できません。
中綴じ 2 つ折りで、中央を閉じた状態で印刷物を排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[中綴じ]: [有効] を設定したときのみ表示
フェイスアップ 印刷面を上向きにして排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[フェイスアップ]: [有効] を設定したときのみ表示
リバース出力 自動原稿送り装置 (オプション) を使って読み取った原稿を、逆順にして出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	[リバース出力]: [有効] に設定したときのみ表示

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
ソート 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま各トレイに仕分けして出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	[ソート]: [有効]に設定したときのみ表示 参考 [区分積み]機能または[メールボックス]機能または[ステーブル]機能を[有効]に設定した場合は、[ソート]機能は設定できません。
電子ソート 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま単一のトレイに出力する機能を設定します。	ON・OFF	—	[電子ソート]: [有効]に設定したときのみ表示
回転ソート 複数ページの印刷物を、一部ずつ縦横交互に排紙する機能を設定します。	ON・OFF	—	[回転ソート]: [有効]に設定したときのみ表示
ブックレット 複数ページの原稿を製本する機能を設定します。	OFF・左とじ・右とじ 左とじ・右とじ設定時、原稿サイズと用紙サイズを設定します。 原稿: A4□、B5□、A5□ 用紙: A3、B4、A4	 各ボタンにタッチして設定します。	「ブックレット」: 「有効」を設定したときのみ表示

連携機のオプション機能を使う

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
両面印刷 用紙の両面に印刷する機能です。 本機に自動原稿送り装置 AF-VI (オプション) または RISO オートフィーダー DX-1 (オプション) を付けている場合と、付けていない場合で画面と入力方法が異なります。	自動原稿送り装置 AF-VI を付けたとき OFF・《長辺とじ》・短辺とじ 原稿枚数の奇数枚・《偶数枚》 自動原稿送り装置を付けていないとき 《OFF》・長辺とじ・短辺とじ	自動原稿送り装置 AF-VI を付けたとき:  各ボタンにタッチして設定します。	—
参考 両面印刷機能を使った印刷方法は、P.211「両面印刷のしかた [両面]」を参照してください。	RISO オートフィーダー DX-1 を付けたとき 《OFF》・片面→両面・両面→片面・両面→両面 原稿セット方向: 《左向き》・読める向き 仕上がりのページめくり方向: 《左右開き》・上下開き 原稿のページめくり方向: 《左右開き》・上下開き	自動原稿送り装置 AF-VI を付けていないとき:  各ボタンにタッチして設定します。	
		RISO オートフィーダー DX-1 を付けたとき:    各ボタンにタッチして設定します。	



オプションの各機能は、連携機の機種やオプション構成などにより同時に設定できない場合があります。

両面印刷のしかた

【両面】

連携機

機能一覧
両面

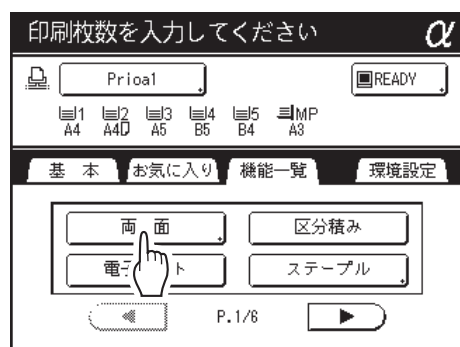
連携機 Prio1 (別売) を接続して使う

両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷をすることができます。

参考

製版または印刷の機能一覧画面でも「RLP 両面」が行えます。
これらの画面で設定を行うと、設定した内容を反映して、連携機から出力されます。

1 機能一覧画面で＜両面ボタン＞にタッチする



2 両面とじ方向を設定する

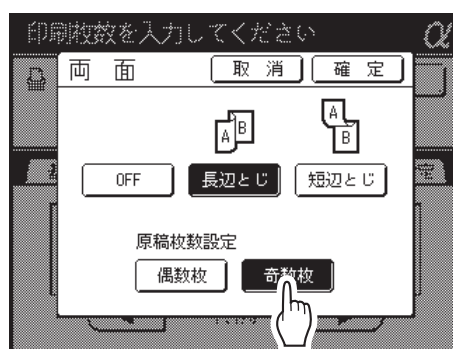
以下の表を参考に、とじ方向を設定してください。原稿のセット方向と、とじ方向の組み合わせにより、印刷物の仕上がりが異なります。

原稿のセット方向と「両面とじ方向」の関係

原稿 セット とじ方向	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
長辺とじ		
短辺とじ		

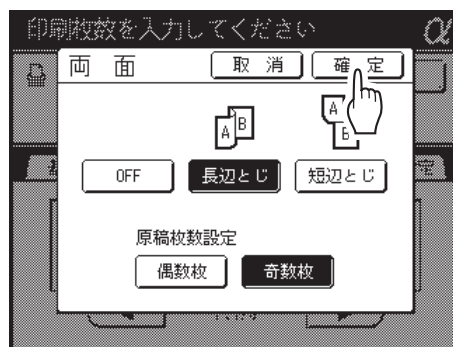
3 原稿枚数を設定する

自動原稿送り装置 AF-VI (オプション) を使用して原稿の読み取りを行うときは、原稿枚数が偶数枚か奇数枚かを設定します。



重要 自動原稿送り装置 AF-VI を使用しないときはこの手順は不要です。手順 4 へ進んでください。

4 ＜確定ボタン＞にタッチする



参考

両面印刷を行わないときは、＜ OFF ボタン＞にタッチした後に＜確定ボタン＞にタッチしてください。

5 原稿をセットする

参考

- 原稿セットの詳細については、P.38「紙原稿をプリントする」を参照してください。
- 自動原稿送り装置 AF-VI に奇数枚数の原稿をセットし、両面印刷を行うと、最初に読み取られた原稿の裏面は何も印刷されません。
- 原稿が1枚のときは、原稿台ガラスにセットしてください。

両面印刷のしかた【両面】

6 プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

7 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、<C>キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

8 <スタート>キーを押す

原稿台ガラスにセットしたときと自動原稿送り装置にセットしたときとは、以降の操作手順が異なります。

以下の手順に従って操作を行ってください。

重要

原稿台ガラスと自動原稿送り装置 AF-VI を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2 枚目の原稿をセットし、<スタート>キーを押す。



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順 5 ～ 8 を繰り返します。

重要

1 枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP 両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

参考

- 2 枚目の原稿をセットしないで<スタート>キーを押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2 枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
 - 原稿モード
 - 読取濃度
 - 変倍
 - 網点・コントラスト強調
 - トーンカーブ選択

■ 自動原稿送り装置にセットしたとき

セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

RISO オートフィーダーDX-1 を装備している場合

本機に RISO オートフィーダーDX-1(オプション)を装着しているときに、両面原稿の読み取りができます。

■ 原稿のセット方向・ページめくり方向と出てくる印刷物の状態の関係

原稿セット方向 本機の前に立って原稿をセットするときの、原稿の向きを示します。

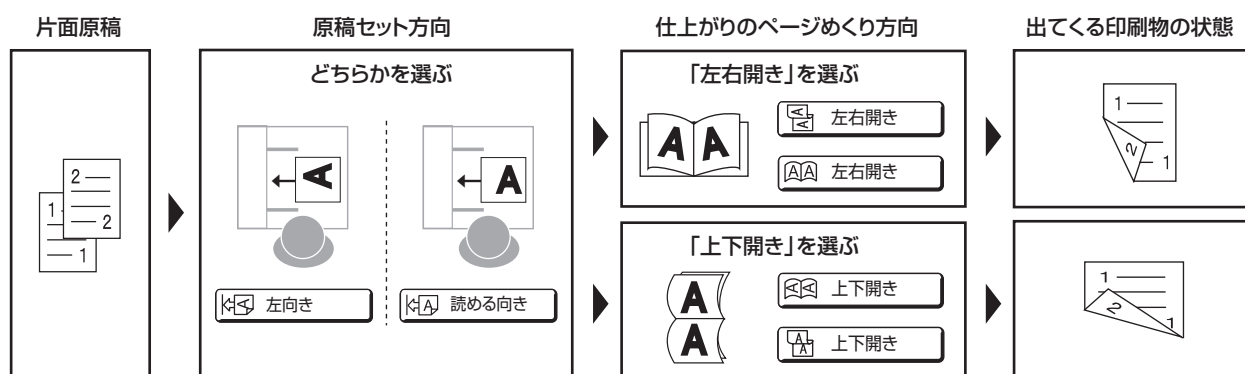
ページめくり方向 原稿(または仕上がり時)の綴じ方向を示します。

画面上のボタンアイコンは、原稿セット方向を基準にしたときの図になっています。

片面→ 両面 (連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

片面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。

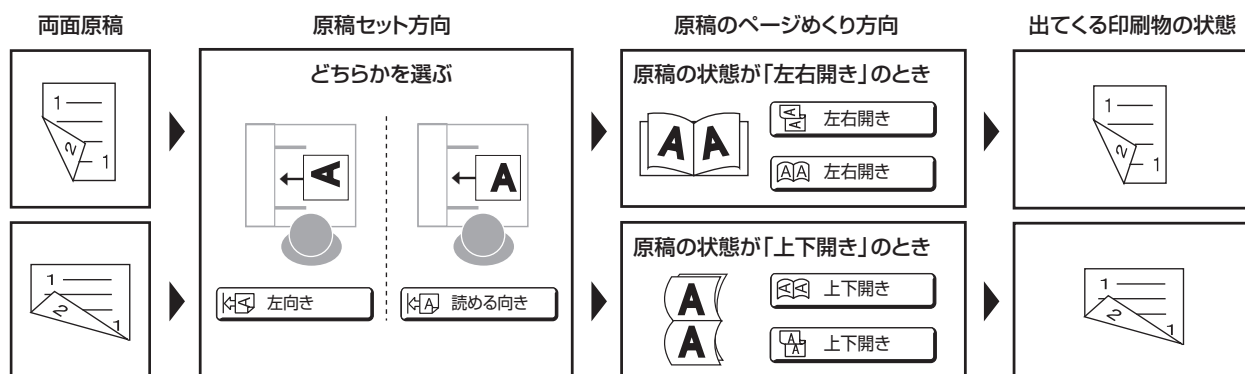
原稿は、オモテ面を上向きにセットしてください。



両面→ 両面(連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着時)

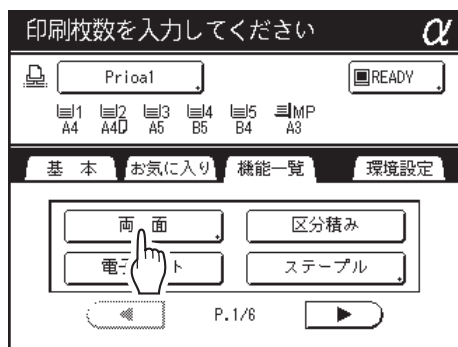
両面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。

RISO オートフィーダーDX-1 にセットした原稿の上面(オモテ面)→ 下面(ウラ面)の順に読み取られます。

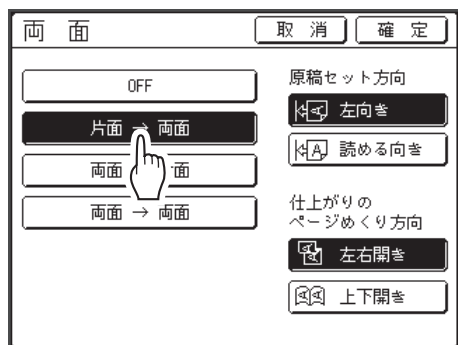


両面印刷のしかた【両面】

1 機能一覧画面で＜両面ボタン＞にタッチする



2 片面／両面の種類を選択する

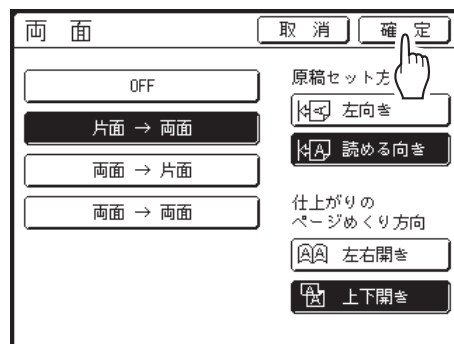


参考

- 原稿台ガラスにセットするときは、[片面→両面]にタッチしてください。
- 連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着していないときは、[片面→両面]、[両面→両面]はグレー表示されタッチできません。

3 「原稿のセット方向」「ページめくり方向」を設定する

4 ＜確定ボタン＞にタッチする



参考

両面印刷を行わないときは、＜OFF ボタン＞にタッチした後に＜確定ボタン＞にタッチしてください。

5 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

原稿セットの詳細については、P.42「紙原稿をプリントする」を参照してください。

6 プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

7 テンキーで印刷枚数を入力する

入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力を間違えたときは、＜C＞キーを押して消去した後に入力しなおしてください。

8 ＜スタート＞キーを押す

原稿台ガラスにセットしたときとRISOオートフィーダーDX-1 にセットしたときとでは、以降の操作手順が異なります。

重要

原稿台ガラスと RISO オートフィーダー-DX-1 を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2 枚目の原稿をセットし、<スタート>キーを押す



表裏両面のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。
複数の両面印刷物を作成する場合は、手順 5 ～ 8 を繰り返します。

重要

1 枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP 両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

参考

- 2 枚目の原稿をセットしないで<スタート>キーを押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2 枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
 - 原稿モード
 - 読取濃度
 - 変倍
 - 網点
 - コントラスト強調
 - トーンカーブ選択

■ RISO オートフィーダー-DX-1 にセットしたとき

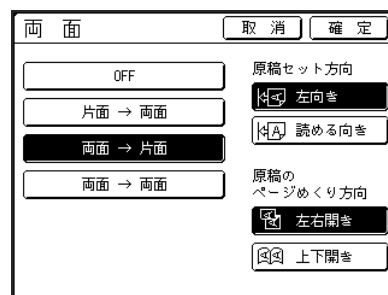
セットした一番上の原稿のオモテ面から読み取りが始まります。

原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

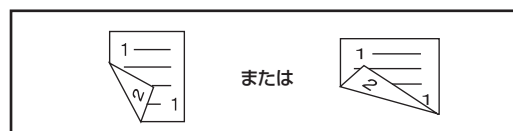
両面原稿を片面に印刷する場合

RISO オートフィーダー-DX-1 (オプション) を装着している場合、両面原稿を読み取って片面に印刷することができます。

[両面] 画面で [両面 → 片面] を設定し、印刷を行ってください。

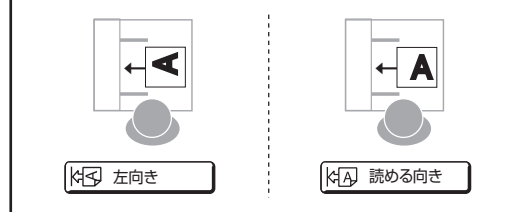


両面原稿



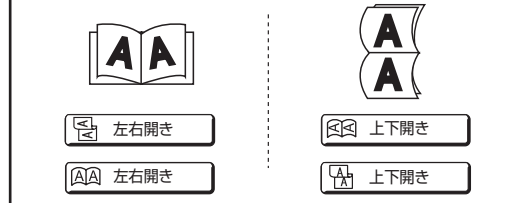
原稿セット方向

どちらかを選ぶ

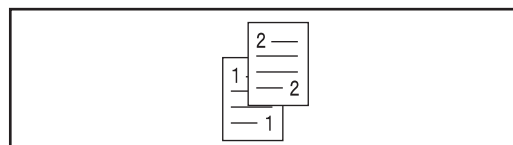


原稿のページめくり方向

原稿の状態を選ぶ



出てくる印刷物の状態



消耗品を交換する

- 218 消耗品の残量を確認する
- 219 用紙の補充のしかた（SE938F/638F のみ）
- 221 マスター交換のしかた
- 224 インクボトル交換のしかた
- 226 排版ボックスのマスターの処理
- 228 ドラムのセット
- 231 使用済み消耗品の回収・廃棄について

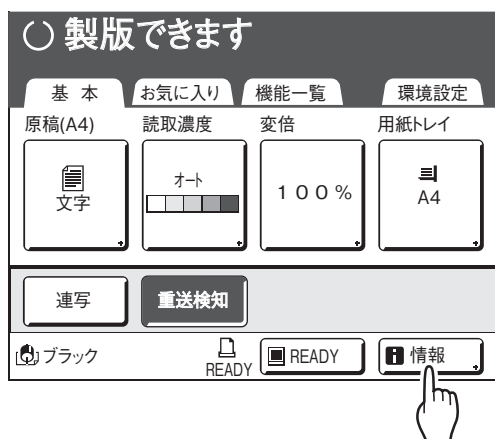
消耗品の残量を確認する

インクやマスター、用紙、排版ボックスの空き容量の確認ができます。

参考

- 残量検知が正しくできない場合には、残量が表示されないことがあります。
- 残量は目安であり正確な数値ではありません。
実際にインクやマスターの残量、排版ボックスの空き容量がなくなった場合は、それらを知らせるメッセージが表示され、本機は停止します。

1 基本画面で<情報ボタン>にタッチする

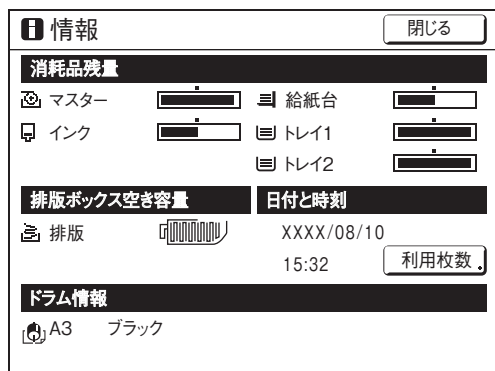


[利用枚数]画面について

本機が認証状態にある場合、<利用枚数ボタン>にタッチして[利用枚数]画面を表示することができます。
[利用枚数]画面では、現在認証しているユーザーの上限印刷／製版枚数、現状印刷／製版枚数を確認できます。上限印刷／製版枚数は、管理者によって設定されています。詳しくは、管理者へお問い合わせください。

利用枚数		閉じる
U-1(G-1)		
上限印刷枚数	10,000	
現状印刷枚数	6,511	
上限製版枚数	10,000	
現状製版枚数	250	

2 消耗品の残量を確認する



各消耗品の残量が少なくなったら、早めに消耗品の在庫をご確認ください。

- マスター (P.221)
- インク (P.224)
- 排版 (使用済みマスターの処理) (P.226)

表示の内容

表示	内容
	黒色の部分が残量を示しています。 例) : 残量約 10%
(不明) 「---」、表示なし	消耗品の情報が取得できない、セットされていないなどを示します。

情報

<情報ボタン>について

<情報ボタン>の アイコンは、消耗品から得たマッチング情報の状態を表しています。
本機が読み取った消耗品の情報により、 アイコンは次のように表示されます。

- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得できたとき (表示)
- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得できなかったとき (グレー表示)

アイコンがグレー表示のときは、マスター・インクの残量は表示されません。

マスターやインクの残量が少なくなると、ボタンの右側に (マスター) または (インク) が点滅して、交換時期が近いことをお知らせします。

参考

消耗品からマッチング情報を適切に取得できなかったときには、適切な設定値を入力する必要があります。
P.260「消耗品情報入力画面が表示されたら」

用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)

用紙トレイに用紙をセットする場合は、トレイ 1・トレイ 2 とも、以下の手順で用紙をセットします。

■ 用紙トレイにセットできる用紙

サイズ: B5 ~ A3 (182mm × 257mm ~ 297mm × 420mm) (ユーザー登録サイズを含む)

重さ(厚さ): 52g/m² ~ 105g/m² (45kg 連量: 四六判 ~ 90kg 連量: 四六判)

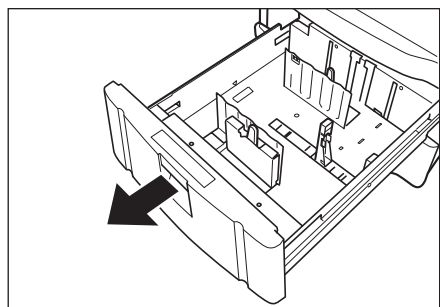
重要

以下の場合、印刷用紙を給紙台にセットしてください。(用紙トレイにはセットしないでください。)

- 奉書(長尺の用紙)や特殊用紙(厚紙など)にプリントする
- プリント済みの用紙の裏面にプリントする(両面印刷時)
- 多色プリント時(重ね刷り)

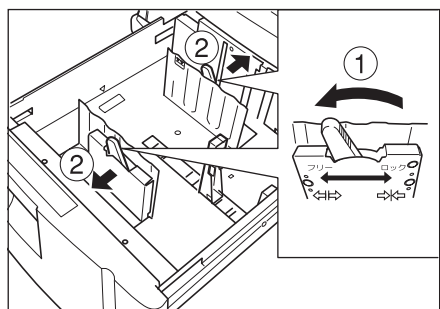
1 用紙トレイを引き出す

用紙をセットするトレイを手前に引き出します。



2 フェンスロックを解除してフェンスを広げる

- ① 両側のフェンスロックレバーをフリーの位置に倒す
- ② フェンスをいっぱいまで広げる

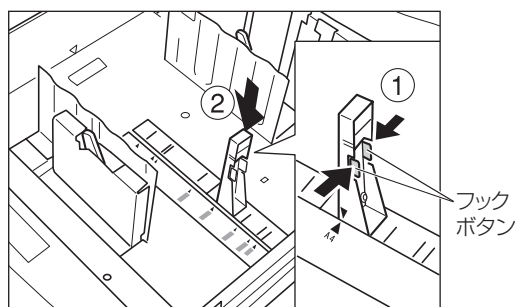


3 ストッパーをセットする

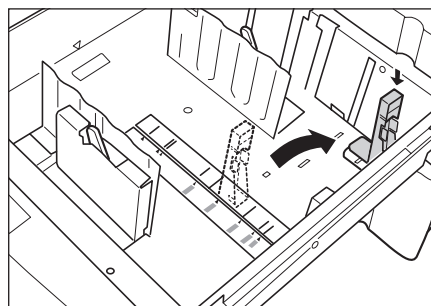
セットする用紙のサイズ・セット方向に合わせて、ストッパーの位置を変更します。

- ① ストッパーのフックボタンを押したまま真上に持ち上げて、ストッパーを取り外す
- ② フックボタンを押したまま、ストッパーの▼と用紙サイズの目盛りを合わせてまっすぐに差し込む

フックボタンから手をはなすと、ストッパーが固定されます。



A3 の用紙をセットする場合は、ストッパーを取り外します。取り外したストッパーはトレイ内のホルダーに差し込んでください。

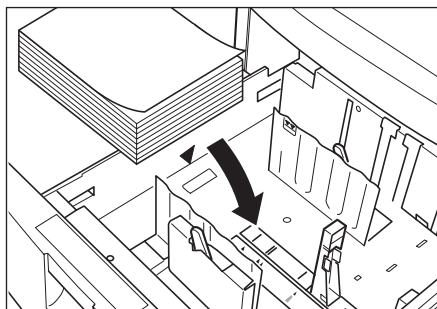


用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)

4 用紙をセットする

センターマーク(▼)と用紙のセンター位置を合わせて、用紙を置きます。

表裏の差がある用紙は、表面を下にしてセットしてください。

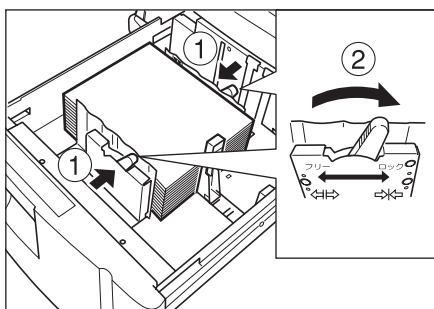


参考

最大積載量のマーク(▼▼)を超えて用紙をセットすると、正しく給紙されない場合があります。一度にセットできる用紙は約 1000 枚までです。(64 g/m²)

5 フェンスをロックする

- ① 用紙の幅(長さ)に合わせてフェンスをスライドさせる
- ② ロックレバーを「ロック」の位置に倒して、フェンスを固定する



重要

- フェンスは、必ず用紙にぴったり当たるようにセットしてください。フェンスの位置が合っていないと、正しく給紙されない場合があります。
- 不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしたりすると、紙づまりや故障の原因となります。

☞ P.17「印刷用紙に関する注意」

連続トレイ給紙について

「連続トレイ給紙」機能を使うと、給紙台やトレイの用紙がなくなっても、自動的に他の給紙口に切り替えて、連続して給紙することができます。大量にプリントを行う場合に便利です。「連続トレイ給紙」でプリントを行うには、「環境設定」の「連続トレイ給紙」と「給紙台オート選択」を「ON」に設定します。

☞ P.160「初期設定を変更する [環境設定]」

■ 用紙のセットと給紙順序

給紙台とトレイには、サイズ・種類・紙質が同一の用紙を、セット方向(縦・横)をそろえてセットします。

上記のようにセットすると、給紙台→トレイ2→トレイ1の順で連続給紙されます。

■ 連続トレイ給紙中の用紙補給

「連続トレイ給紙」でプリント中に用紙を補給する場合は、以下の要領で行います。

- 給紙台の用紙がなくなると、自動的にトレイ2からの給紙に切り替わります。トレイからの給紙中に、給紙台に用紙を補給できます。
- トレイ2の用紙がなくなると、トレイ1からの給紙に切り替わります。トレイ1の用紙がなくなると、給紙台からの給紙に切り替わります。給紙台からの給紙中に、トレイの用紙を補給できます。

重要

トレイ1またはトレイ2から給紙されている間は、もう一方のトレイへの用紙の補給はできません。

マスター交換のしかた

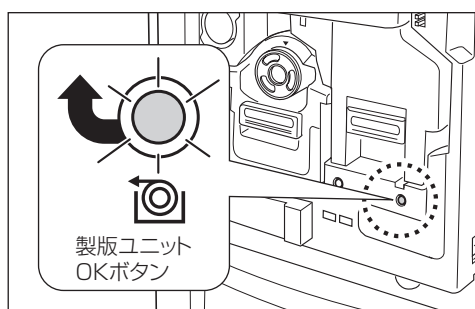
マスターがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。新しいマスターと交換してください。

重要

- 当社推奨のマスターをご使用ください。
P.274「消耗品について」
- マスター交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。

1 前カバーを開ける

2 製版ユニットOKボタンの点灯を確認する

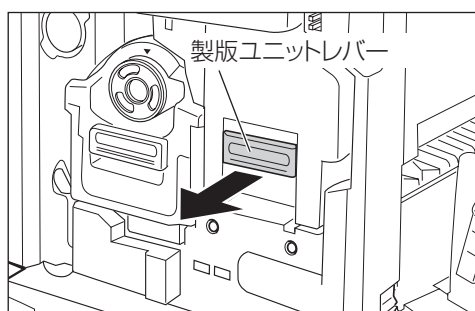


ランプが消えているときは、製版ユニット OK ボタンを押して点灯させます。

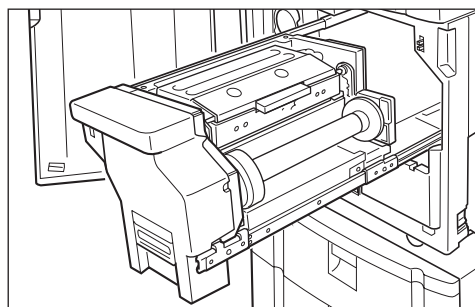
重要

- ドラムを引き出しているときは、製版ユニットを引き出せません。ドラムを戻してから、製版ユニット OK ボタンを押してください。
P.228「ドラムのセット」

3 製版ユニットを引き出す



製版ユニットレバーを握って手前に引きます。

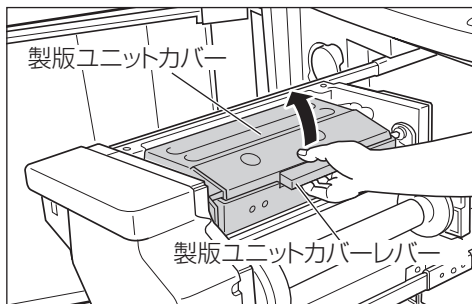


製版ユニットが止まるまでゆっくりと引き出してください。

マスター交換のしかた

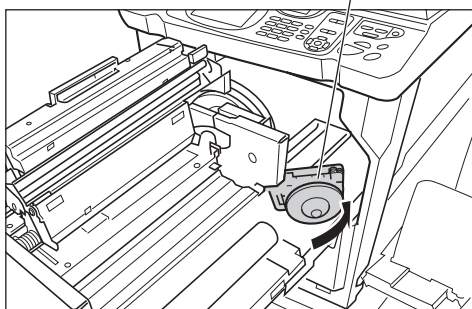
4 製版ユニットカバーを開ける

製版ユニットカバーレバーを握りながら、製版ユニットカバーを上を開けます。

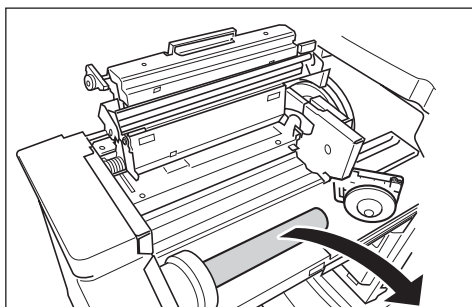


5 マスターロールストッパーを開ける

マスターロールストッパー



6 使用済みのマスター芯を外す



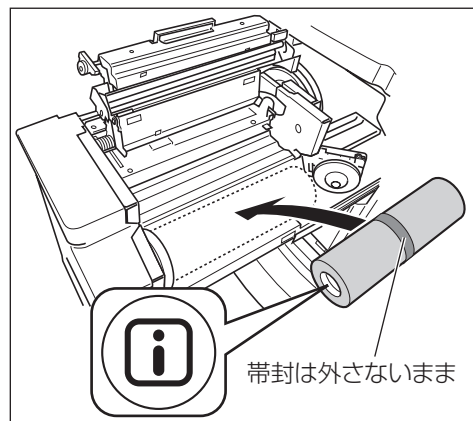
重要

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。

☛ P.231「使用済み消耗品の回収・廃棄について」

7 新しいマスターをセットする

新しいマスターのシュリンク包装(透明フィルム)を取り除き、**i** マークがある方を左側にしてセットします。



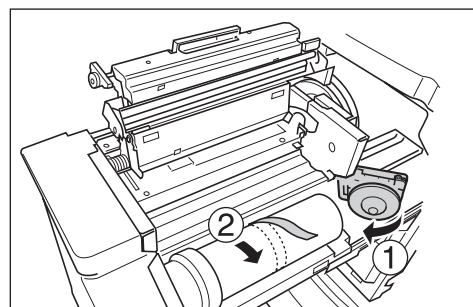
重要

• シュリンク包装を取るときは、**i** 部分に傷を付けないように注意してください。**i** 部分が折れ曲がったりミシン目が切れてしまうと、そのマスターは使用できなくなります。

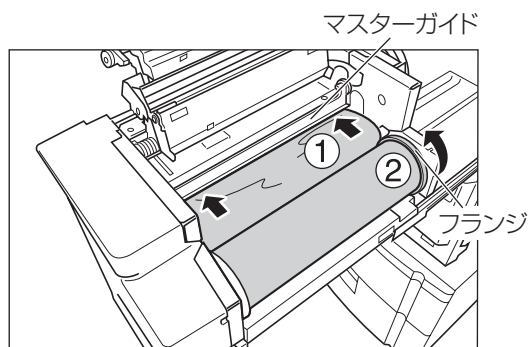
• 帯封は、まだ外さないでください。

8 マスターロールストッパーを閉める

マスターロールストッパーを閉めた後、帯封を外します。



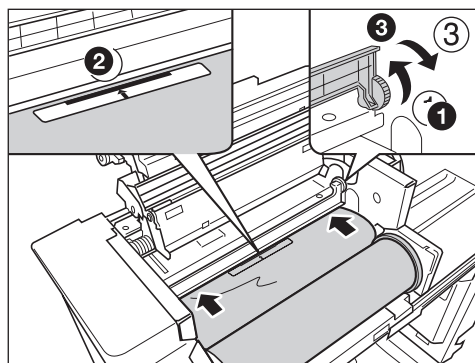
- 9 マスターの先端をガイドの下に差し込む**
 マスターガイドの下に、マスターの先端を奥にあたるまで差し込み (①)、右のフランジを奥側に回してたるみを巻き戻します (②)。



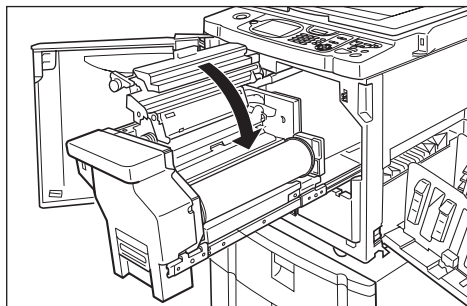
マスターが差し込めないとき

次の手順でマスターを差し込んでください。

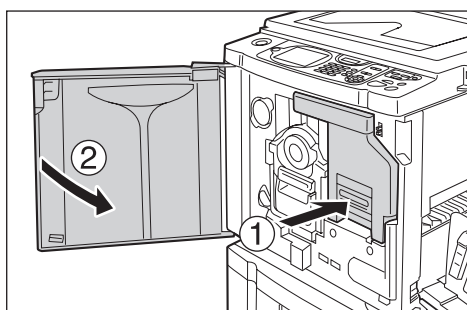
- ① マスターガイドを上げる
 マスターガイド端のダイヤル部分を奥側に回して、マスターガイドを上げます。
- ② マスターを矢印の先のライン部分まで引き出す
- ③ マスターガイドを戻す



- 10 各部をもとに戻す**



製版ユニットカバーを閉めます。



製版ユニットを戻し、前カバーを閉めます。

インクボトル交換のしかた

インクがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。新しいインクボトルと交換してください。

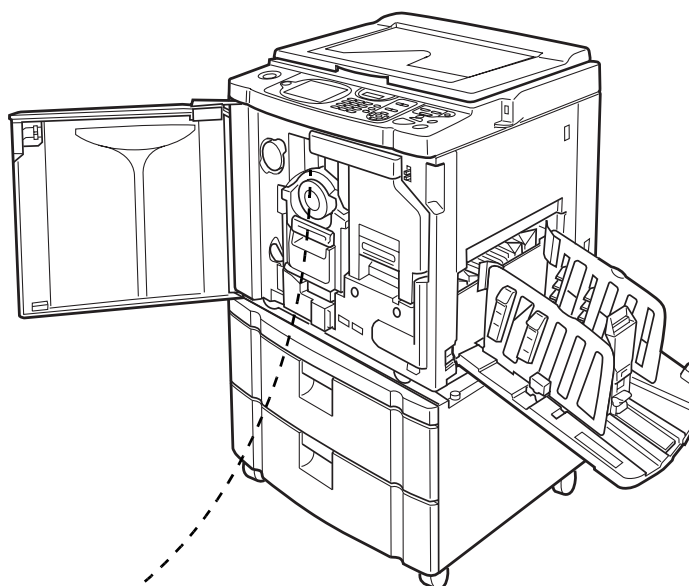
△注意 ドラム周辺にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

重要

- 当社推奨のインク※をご使用ください。
☞ P.274「消耗品について」
- インク交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 必ず同じ色のインクボトルと交換してください。インクの色を換えるときは、ドラムごと交換してください。
☞ P.228「ドラムのセット」

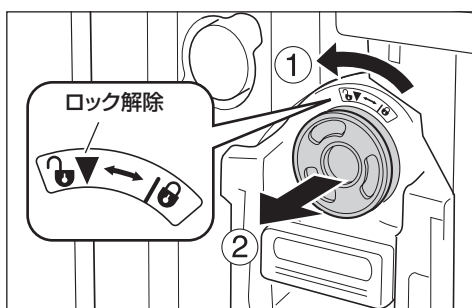
※当インクは、(財)日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク認定基準の、インクに関する全ての認定の基準に準拠しています。

1 前カバーを開ける



2 使用済みのインクボトルを引き抜く

インクボトルを左方向(🔒)に回してから、手前に引き抜きます。

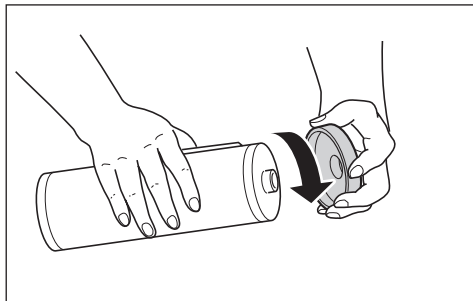


重要

使用済みのインクボトルの回収または廃棄については、以下のページをご参照ください。
☞ P.231「使用済み消耗品の回収・廃棄について」

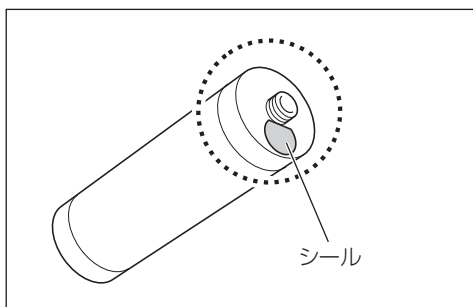
3 新しいインクボトルのキャップを外す

インクボトルのキャップを回して外します。



重要

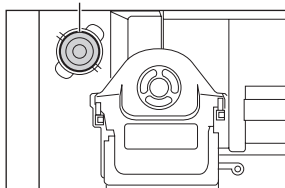
インクボトル口の周辺に触れたり、衝撃を与えないようにしてください。
また、インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。



参考

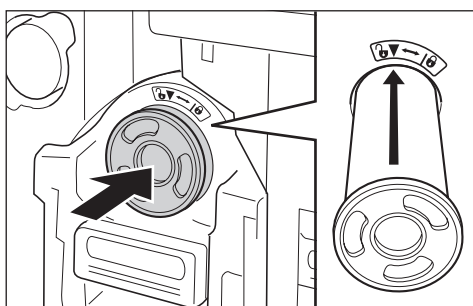
インクボトルから外したキャップは、ドラムの上に留めておくことができます。

インクキャップ留め



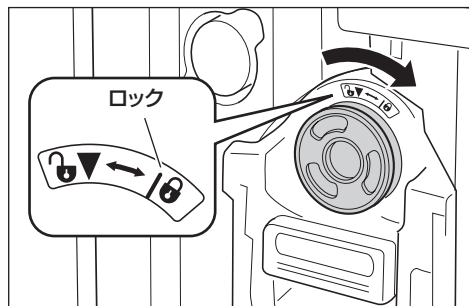
4 新しいインクボトルをセットする

インクボトルの矢印部分をドラムユニットの▼に合わせて、奥にあたるまで差し込みます。

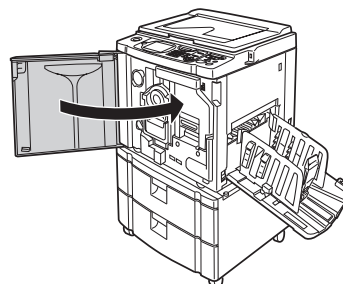


5 インクボトルをロックする

インクボトルを右方向(🔒)に回して、ロックします。



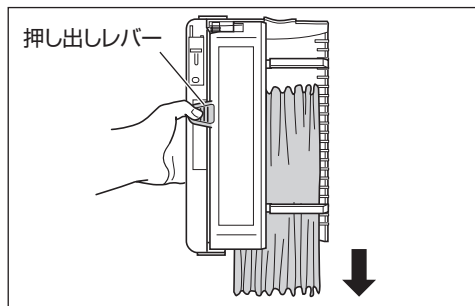
6 前カバーを閉める



######

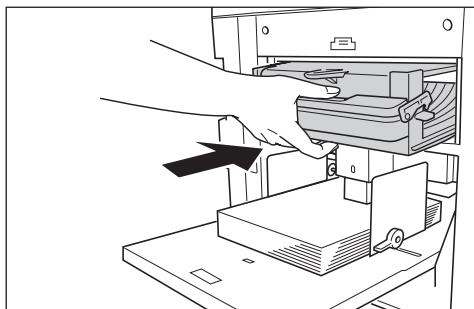
2 使用済みマスターを捨てる

排版ボックスを手前に傾け、押し出しレバーを握って、中の使用済みマスターを捨てます。



3 排版ボックスをセットする

排版ボックスを奥にあたるまで差し込みます。



重要

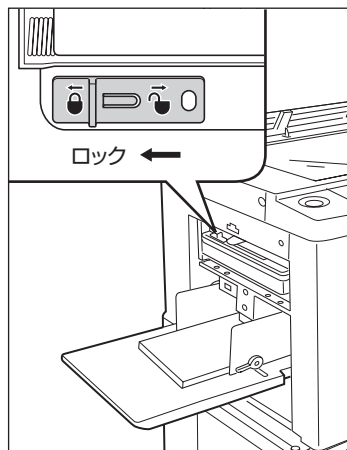
使用済みのマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

☛ P.231「使用済み消耗品の回収・廃棄について」

参考

必要に応じて、排版ボックスロックレバーを左にスライドしてロックし、南京錠で施錠してください。

☛ P.179「印刷済みのマスターを安全に管理する [プロテクト]」



ドラムのセット

他の色で印刷するためにドラムを交換するときや、つまった紙を取り除くときは、ドラムを本体から外します。カラードラムは、オプションの本機専用カラードラムをご使用ください。

⚠注意 ドラムは垂直に立てて置かないでください。床などを汚すことがあります。



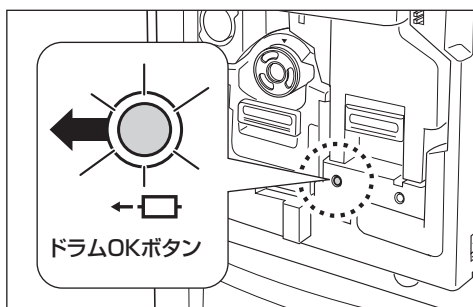
- ドラムは本機専用ドラムを使用してください。
- ドラムの引き出しやセットは、必ず本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 交換したドラムは、必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。

ドラムの取り出しかた

1 前カバーを開ける

2 ドラム OK ボタンの点灯を確認する

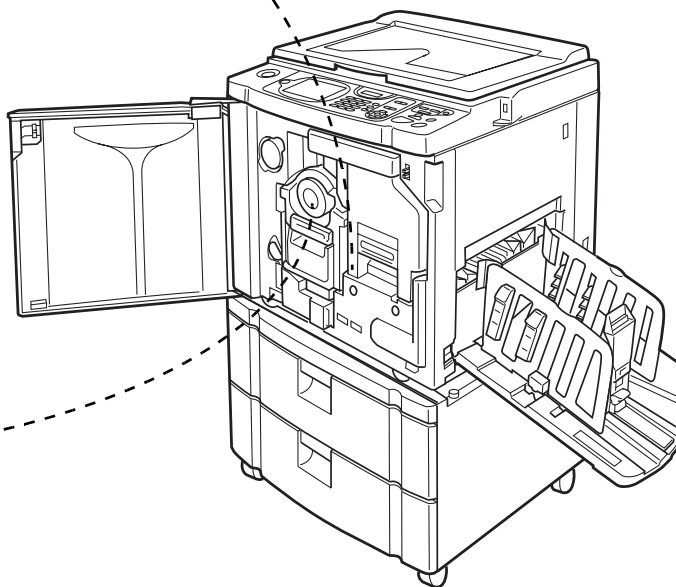
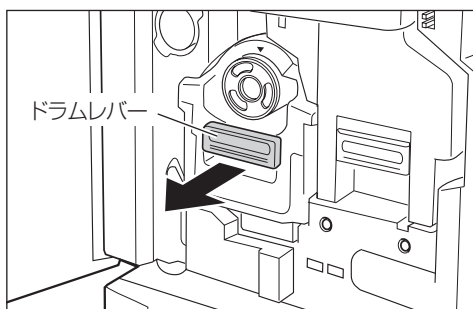
ランプが消えているときは、ドラム OK ボタンを押して点灯させます。



製版ユニットを引き出しているときはドラムを引き出せません。製版ユニットを戻してから、ドラム OK ボタンを押してください。
 ● P.221「マスター交換のしかた」

3 ドラムを引き出す

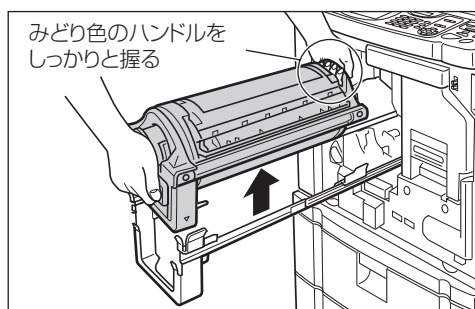
ドラムレバーを握りながら、ドラムが止まるまでゆっくりと引き出してください。



4 ドラムを外す

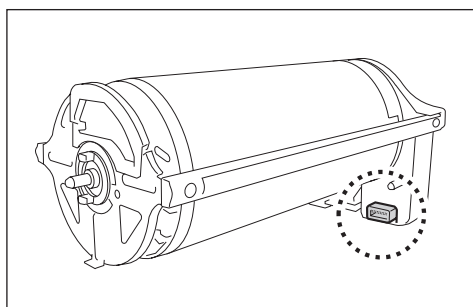
ドラムを両手で真上に持ち上げレールから外します。

ドラムの交換、紙詰まりの処理などを行います。



重要

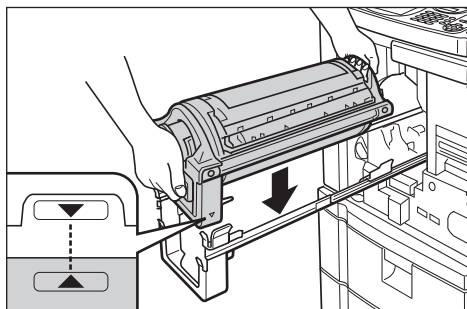
ドラムのコネクタには触れないでください。静電気などによりドラム故障の原因になることがあります。



ドラムのセットのしかた

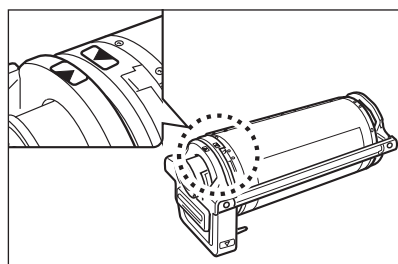
1 ドラムをレールにセットする

ドラムの▼マークとレールの▲マークを合わせて、ドラムをレールに水平にセットします。



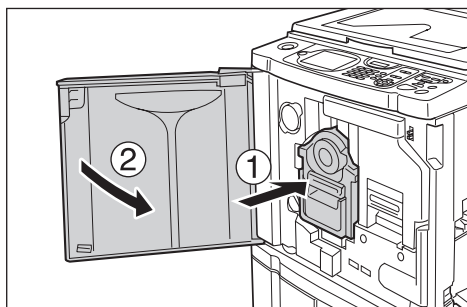
参考

手動でドラムを回転させたときは、作業後、必ず▶マークと◀マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。



2 ドラムを本体に戻す

ドラムを奥に止まるまで押し込み、前カバーを閉めます。



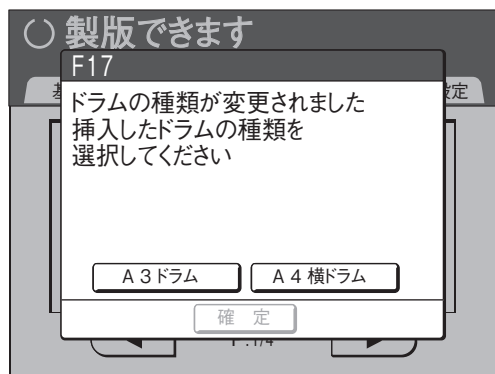
重要

ドラムレバーを握った状態で押し込まないでください。

ドラムのセット

ドラムの種類を変更したとき

ドラムの種類を変更すると、「ドラム種類の確認」画面が表示され、メッセージが表示されます。次の手順でドラム種類を確定してください。



① セットしたドラムの種類にタッチする

② <確定ボタン>にタッチする

ドラムの種類が確定し、プリントが可能になります。

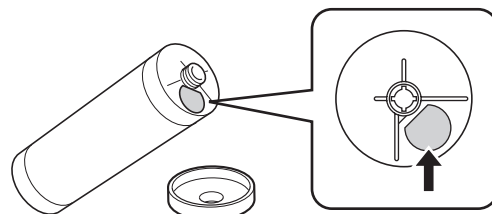


- ドラムの種類が確定するまで、プリントはできません。
- オプションの専用カラードラム以外のカラードラムをセットすると、【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】と表示されます。
- 指示に従って、オプションの専用カラードラムをセットしてください。

使用済み消耗品の回収・廃棄について

■ インクボトル

使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。廃棄する場合は、各自治体の規制に従ってください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。インクボトル口の金属を含むシールを、矢印部分からはがして分別してください。インクボトルの口は、インクで汚れていることがありますので、手や衣服などを汚さないように注意してください。



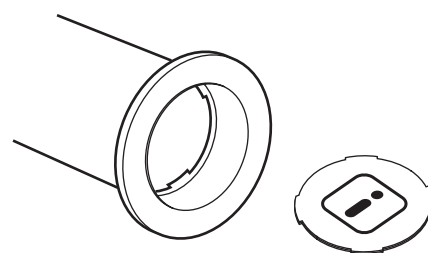
部品名	材質
インクボトル・キャップ	プラスチック(ポリプロピレン・ポリエチレン)
シール	金属を含むプラスチック
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

■ マスター芯

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

i が型押しされている部分の裏面に金属を含むシールが付いています。

ミシン目から切り取り、分別してください。



部品名	材質
芯	紙
マスター	プラスチック・和紙
i を切り取った部分	金属を含むプラスチック・紙

■ 排版されたマスター

使用済みの排版されたマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

部品名	材質(成分)
マスター	プラスチック・和紙
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

参考

成分は炭素と水素の化合物ですので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。



消耗品を交換する

お手入れについて

- 234 クリーナーについて
- 235 お手入れのしかた

クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。
クリーナーを使用するときは、各クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

⚠注意

- お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
- クリーナーを使用後は必ず手を洗ってください。

■ 理想ステージクリーナー

エチルアルコールを含ませた不織布シートです。
原稿台ガラスなどの汚れをきれいに落とせます(1箱20袋入)。



■ 理想サーマルヘッドクリーナー

ペンタイプの使いやすいクリーナーです。サーマルヘッドの発熱部にペン先をあて、なでるように拭き取るだけで汚れをきれいに落とせます。トルエン、キシレン類の溶剤は使用しておりません。



■ リソグラフクリーナー

本体外装部の清掃に最適です。塗装面に直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。清掃後は汚れの付着を防止する効果もあります。



お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスキャナーガラス、ホワイト板などに、ほこりやゴミ、インク、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあります。

次の方法で、定期的にお手入れすることをおすすめします。



注意

記載されている以外の作業(調整や修理など)は行わないでください。

調整や修理は必ずお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

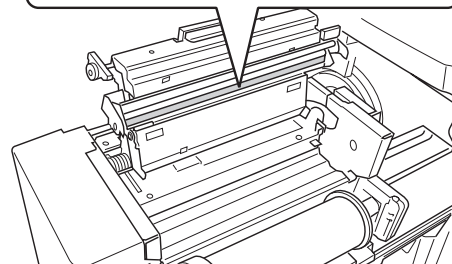
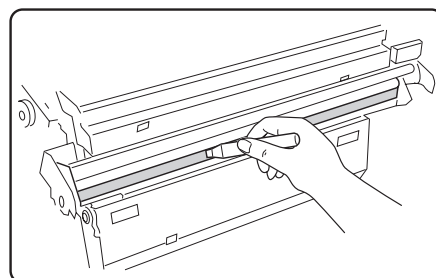
■ サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドはマスター交換時(1 ロールごと)にクリーニングしてください。

製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、理想サーマルヘッドクリーナーで数回軽くこすります。

重要

- サーマルヘッドは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。
- サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、必ず身体に帯電している静電気を除去してください。



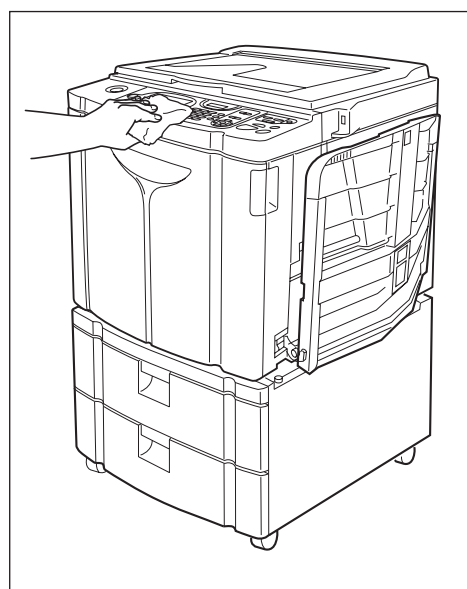
■ 外装部

本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らかい布で軽く拭いてください。

また、汚れ落としにはリソグラフィクリーナーを使用してください。

重要

- 本体の外装にはプラスチックを使用しているのでアルコールや溶剤系の洗剤のご使用は絶対におやめください。
- ディスプレイ部の汚れは、通常、乾いた布で軽く拭き取ります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭き取ってください。ディスプレイに直接クリーナーを吹きかけたり塗布したりしないでください。故障の原因になります。



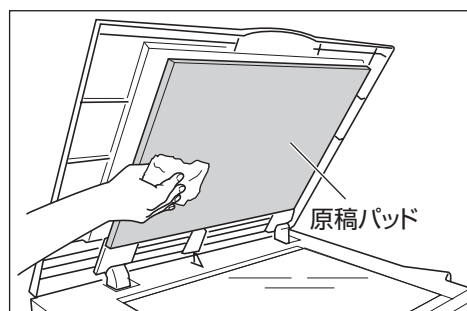
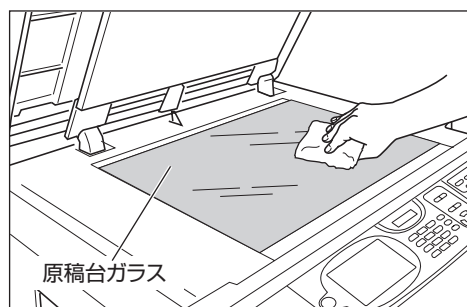
お手入れのしかた

■ 原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、柔らかい布やティッシュペーパーで数回軽く拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。

重要

原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。

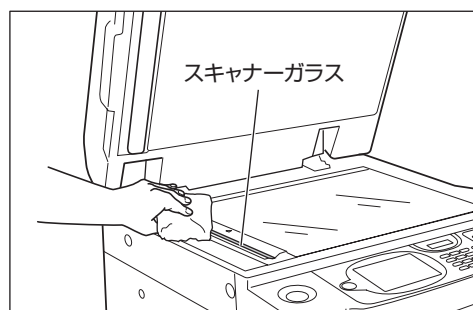


■ 自動原稿送り装置(オプション)のスキヤナーガラスとホワイト板

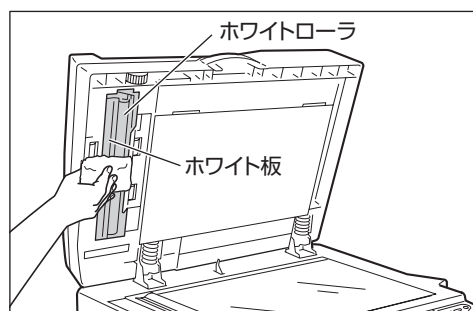
スキヤナーガラスとホワイト板を、柔らかい布やティッシュペーパーで軽くこすり汚れを落とします。

重要

スキヤナーガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。



- 自動原稿送り装置 AF-VI の場合
ホワイトローラを回転させながら拭いてください。

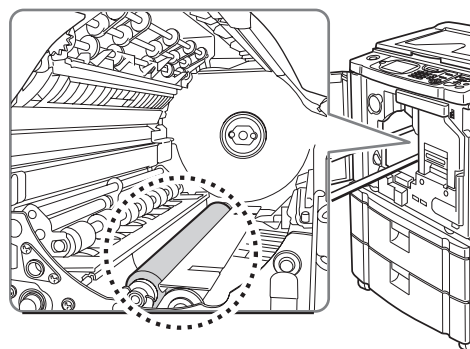


- RISO オートフィーダーDX-1 の場合
ホワイト板は回転しません。



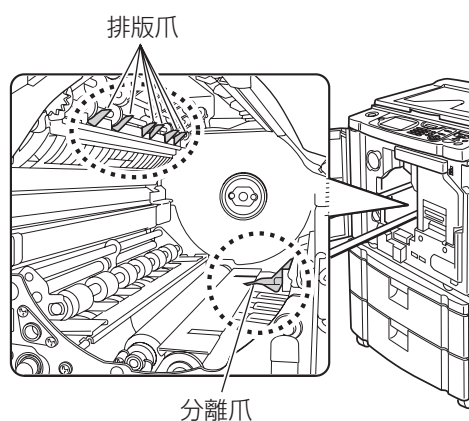
■ プレスローラー

ドラムユニットに用紙を圧着させるプレスローラーが汚れていると、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。
柔らかい布やティッシュペーパーで軽く拭いてください。



⚠注意

- プレスローラーの清掃時には必ず本機の電源を切ってください。
- 本体内部に手を入れるときは分離爪や排版爪に触れないように注意してください。分離爪や排版爪の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。
- ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。





こんなときには

- 240 メッセージが表示されたときは
- 264 「故障？」と思ったとき

メッセージが表示されたときは

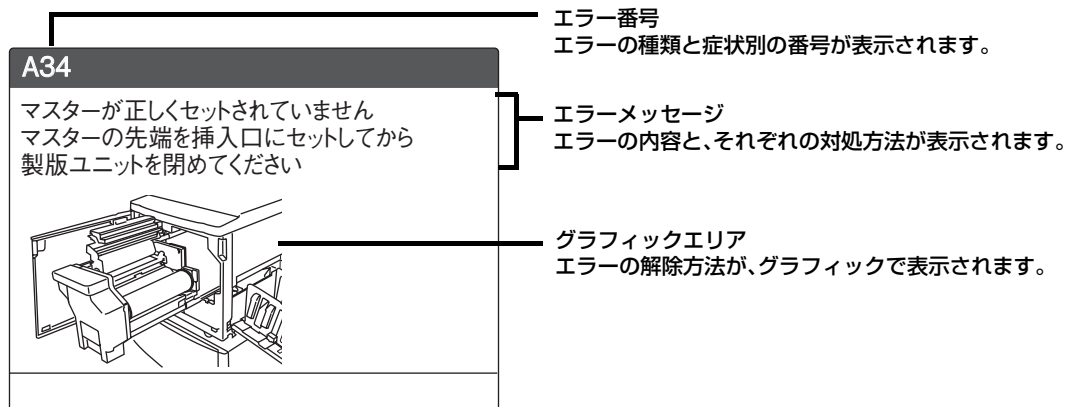
ディスプレイにメッセージが表示され本機の動作が停止したときは、次の表から原因を確認し、対処してください。

⚠注意

用紙を取り除く際など本体内部に手を入れる場合は、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

エラーメッセージの見かた

エラーの種類に応じて、メッセージとエラーグラフィックで対処方法が表示されます。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
T00 - 000	サービスエラー	サービスマンによる点検・修理が必要なエラーです。 サービスエラーが発生したときには、エラー番号を販売会社(または保守・サービス会社)に連絡してください。	☞ P.241
A00 - 000	ジャムエラー	マスターなどがつまったときに表示されます。	☞ P.241
B00 - 000	オプションエラー	接続しているオプション側でエラーが発生したときに表示されます。	☞ P.242
C00 - 000	消耗品エラー	インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。	☞ P.243
D00 - 000	セット確認エラー	各部のセットが正しくされていないときに表示されます。	☞ P.244
J00 - 000	通紙ジャムエラー	原稿および用紙がつまったときに表示されます。	☞ P.246

■ T00-000: サービスエラー(50 音順)

表 示	原 因	対 処
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	本機内部の電池が切れました。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☛ 「アフターサービスについて」 エラーメッセージを消すには、<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押してください。
【トラブルが発生しました 電源を入れ直してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】	トラブルが発生しました。	電源を入れなおしてください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【トラブルが発生しました リセットキーを押してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】		<リセット>キーを押してください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

■ A00-000: ジャムエラー(50 音順)

表 示	原 因	対 処
【紙がつまりました 点滅している場所を確認し、用紙を取り除いてから、確認ボタンを押してください】	点滅している箇所です紙がつまっています。	① つまっている紙を取り除いてください。 ② <リセット>キーまたは<確認ボタン>を押してください。
【給紙台の安全スイッチが働きました 給紙台の用紙を再セットしてください】	給紙台の安全スイッチが働きました。	給紙台の下や用紙の上に障害物がないか確認してください。障害物があれば、取り除いてください。
【製版ユニットでトラブルが発生しました マスターをいったん取り出して製版ユニットカバーを閉めてください】	マスターを切るカッターが正常に動作しませんでした。	① 製版ユニットを引き出し、マスターを取り出してください。 ☛ P.221「マスター交換のしかた」 ② 製版ユニットカバーを閉めると、リセットされます。再度マスターをセットしてください。
【着版できませんでした ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	マスターがドラムに正しく巻き付けられませんでした。	① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.228「ドラムのセット」 ② ドラムをセットしなおしてください。 ③ <スタート>キーを押してください。
【ドラムにマスターが残っています ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	ドラム上に不要なマスターが残っています。	① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.228「ドラムのセット」 ② ドラムをセットしなおしてください。
【排版できませんでした ドラムを引き出して、マスターを取り除いてください】	マスターが排版されていません。	① ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.228「ドラムのセット」 ② ドラムをセットしなおしてください。 ③ <スタート>キーを押してください。
【排版部にマスターがつまりました 排版ボックスを取り出し、つまったマスターを取り除いてください】	排版ユニット部にマスターがつまっています。	排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください。 ☛ P.226「排版ボックスのマスターの処理」 それでもディスプレイのエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

メッセージが表示されたときは

表 示	原 因	対 処
【マスターが正しくセットされていません マスターの先端を挿入口にセットしてから、 製版ユニットを閉めてください】	マスターがセットされて いないか、正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを巻き戻して セットしなおしてください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」 重要 巻き戻したマスターがしわになっていたり 切れているときは、先端をまっすぐに切り 取ってからセットしてください。
【マスターがつまりました 製版ユニットを引き出してマスターを巻き 戻し、もう一度セットしてください】	マスターが正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを正しくセット してください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」

■ B00-000: オプションエラー(50 音順)

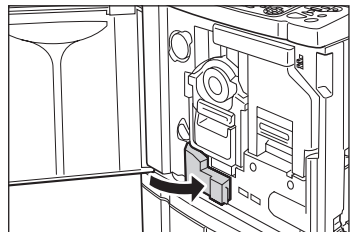
表 示	原 因	対 処
【Prioa が認識できません Prioa が接続されていないか、 電源が入っていない可能性があります 確認してください】	連携機 Prioa(別売)の電 源が入っていないか、ケーブルが正しく接 続されていないか、断線 している可能性があります。	連携機 Prioa(別売)の電源を確認してください。 ケーブルが正しく接続されているか確認してくだ さい。接続に異常がない場合は、ケーブルに異常がない か確認してください。
【Prioa でエラーが発生しています】	連携機 Prioa(別売)で サービスエラーが発生し ています。	連携機 Prioa(別売)側を確認し、エラーを解除して ください。
【Prioa のトナーがありません】	連携機 Prioa(別売)のト ナーがありません。	連携機 Prioa(別売)のトナーを交換してください。
【ST ソーターのテープがつまりました つまっているテープを取り除いてください】	ST ソーター(オプショ ン)にテープがつまりま した。	ST ソーターを確認し、つまっているテープを取り除 いてください。
【ST ソーターのテープがなくなりました 新しいテープをセットしてください】	ST ソーター(オプショ ン)のテープがなくな りました。	ST ソーターに新しいテープをセットしてください。
【ST ソーターの電源が入っていません 電源を入れてください】	ST ソーター(オプショ ン)の電源が入っていま せん。	ST ソーターの電源を入れてください。
【カードカウンターのカードをセットしてく ださい】	カードカウンター(オプ ション)にカードがセッ トされていません。	カードカウンターにカードをセットしてください。
【ジャム解除カバーを閉じてください】	ジャム解除カバーが開い ているか、または正しく セットされていません。	前カバーを開け、ジャム解除カバーをしっかりと閉 じた後、前カバーを閉じてください。 
【トラブルが発生しました電源を入れ直して ください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連 絡してください】	トラブルが発生しまし た。	電源を入れなおしてください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会 社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

表 示	原 因	対 処
【トレイ 1 をセットしてください】	トレイ 1 が開いているか、または正しくセットされていません。	トレイ 1 を確認し、正しく閉じなおしてください。
【トレイ 2 をセットしてください】	トレイ 2 が開いているか、または正しくセットされていません。	トレイ 2 を確認し、正しく閉じなおしてください。
【搬送部ドアを閉めてください】	用紙トレイの搬送部ドアが開いているか、または正しくセットされていません。	搬送部ドアを確認し、しっかりと閉じてください。
【本機 IP アドレスが設定されていません 管理者に連絡してください】	本機の IP アドレスの設定が完了していません。	システム管理者に連絡し、本機の IP アドレスを設定してください。 ☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 本機 IP アドレス設定※」
【認識できませんでした】	• USB スロットに、USB メモリ以外のものがセットされています。 • USB スロットに、故障している USB メモリがセットされています。 • USB スロットに、本機に対応していない USB メモリがセットされています。	本機に対応している正常な USB メモリをセットしてください。 ☛ P.15「USB メモリについて」
【認識できませんでした (HUB)】	USB スロットに USB ハブがセットされています。	本機に対応している正常な USB メモリをセットしてください。 ☛ P.15「USB メモリについて」

■ C00-000: 消耗品エラー(50 音順)

表 示	原 因	対 処
【インクがなくなりました 新しいインクに交換してください】	インクがなくなっています。	新しいインクボトルに交換し、正しくセットしてください。 ☛ P.224「インクボトル交換のしかた」 重要 交換後も表示が消えないときは、インクボトルが正しくセットされているか確認してください。
【仕分け用紙をセットしてください】	仕分け用紙がなくなりました。	仕分け用紙トレイに指定されているトレイに用紙をセットしてください。 ☛ P.34「給紙台と用紙のセット (給紙台を使用する場合)」, P.219「用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)」
【トレイ 1 に用紙をセットしてください】	トレイ 1 の用紙がなくなりました。	トレイ 1 に用紙をセットしてください。 ☛ P.219「用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)」
【トレイ 2 に用紙をセットしてください】	トレイ 2 の用紙がなくなりました。	トレイ 2 に用紙をセットしてください。 ☛ P.219「用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)」
【排版ボックスがいっぱいになりました 排版ボックスのマスターを捨ててください】	排版ボックスがいっぱいになりました。	排版ボックス内のマスターを捨ててください。 ☛ P.226「排版ボックスのマスターの処理」

メッセージが表示されたときは

表 示	原 因	対 処
【マスターがなくなりました 新しいマスターに交換してください】	マスターがなくなっています。	新しいマスターをセットしてください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」
【用紙をセットしてください】	給紙台の用紙がなくなっています。	給紙台に用紙をセットしてください。 ☞ P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」

■ D00-000: セット確認エラー(50 音順)

表 示	原 因	対 処
【AF 給紙カバーを閉めてください】	RISO オートフィーダー DX-1(オプション)の AF 給紙カバーが開いているか、または正しくセットされていません。	AF 給紙カバーを確認し、しっかりと閉じてください。
【インクボトルが違います 正しいボトルをセットしてください】	違う種類、色のインクボトルがセットされています。	正しいインクボトルをセットしてください。 ☞ P.224「インクボトル交換のしかた」 重要 インクボトルは当社推奨のものをご使用ください。他のインクをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
	インクボトル口面のシールがはがれているか、汚れています。	インクボトル口面のシールには印刷に必要な情報が入っています。情報が読み取れないと、本機は稼動しません。シールが貼ってあり、かつ汚れていないインクボトルをセットしてください。
	SE938F/938 の場合、上記の原因以外に次の原因が考えられます。 SE938F/938 以外の機種でお使いの黒ドラムがセットされています。	本機で使用している黒ドラムをセットしてください。
【インクボトルをセットしてください】	インクボトルがセットされていないか、または正しくセットされていません。	インクボトルを正しくセットしてください。 ☞ P.224「インクボトル交換のしかた」
【製版ユニットカバーを閉めてください】	製版ユニットカバーが開いているか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを引き出して確認し、製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。
【製版ユニットが引き出せます】	製版ユニットが引き出せる状態になっています。	製版ユニットを引き出してください。
【製版ユニットをセットしてください】	製版ユニットがセットされていないか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを正しくセットしてください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」
【ドラムが正しくセットされていません ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯してからドラムをいったん引き出してくだ さい】	ドラムが奥までセットされていない状態でロックされています。	ドラム OK ボタンを押し、ボタンが点灯してからドラムを引き出して、セットしなおしてください。

表 示	原 因	対 処
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】	違うドラムがセットされています。	正しいドラムをセットしてください。 ☞ P.228「ドラムのセット」 重要 ドラムは本機専用のものをご使用ください。他のドラムをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
【ドラムが引き出せます】	ドラムが引き出せる状態になっています。	ドラムを引き出してください。
【ドラムをセットしてください】	ドラムがセットされていないか、または正しくセットされていません。	ドラムを正しくセットしてください。 ☞ P.228「ドラムのセット」
【排版ボックスをセットしてください】	排版ボックスがセットされていないか、または正しくセットされていません。	排版ボックスを正しくセットしてください。 ☞ P.226「排版ボックスのマスターの処理」
【本体リアカバーが外れています サービス実施会社に連絡してください】	本体リアカバーが外れています。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【前カバーを閉めてください】	本機前カバーが開いているか、または正しくセットされていません。	前カバー下のマグネットを確認して、しっかりと閉じてください。
【マスターが違います 正しいマスターをセットしてください】	違う種類のマスターがセットされています。	正しいマスターをセットしてください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」 重要 マスターは当社推奨のものをご使用ください。他のマスターをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
	マスター芯の $\square$ マーク部がないか、切れたり傾いた状態になっています。	マスター芯の $\square$ マーク部には、プリントに必要な情報が入っています。 情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 $\square$ マーク部があり、かつ切れたり傾いた状態になっていないマスターをセットしてください。
【マスターをセットしてください】	マスターがセットされていません。	マスターをセットしてください。 ☞ P.221「マスター交換のしかた」

メッセージが表示されたときは

■ J00-000: 通紙ジャムエラー

本体内部や自動原稿送り装置(オプション)、ソーター(オプション)に、原稿および用紙が詰まったときに表示されます。通紙ジャムの発生箇所を、グラフィック上の点滅表示(①～⑧)でお知らせします。エラーが発生したときには、以下の該当する欄(①～⑧)を参照し、それぞれに対処してください。

参考

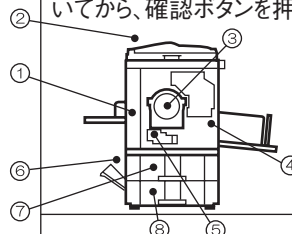
通紙ジャムを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してください。また、自動原稿送り装置に原稿をセットするときは、適切な原稿を使用してください。

☞ P.17「印刷用紙に関する注意」

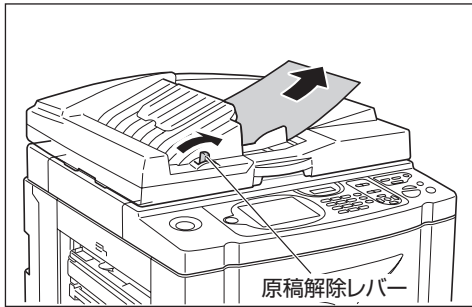
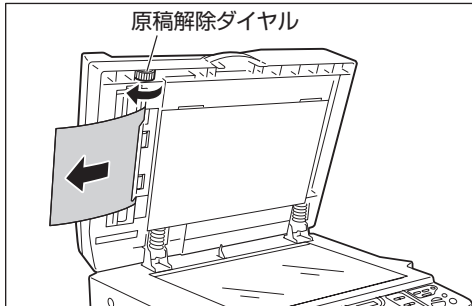
☞ P.18「原稿に関する注意」

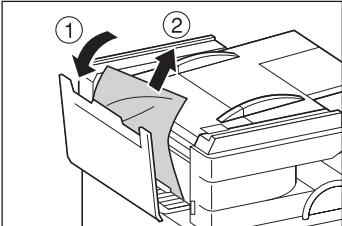
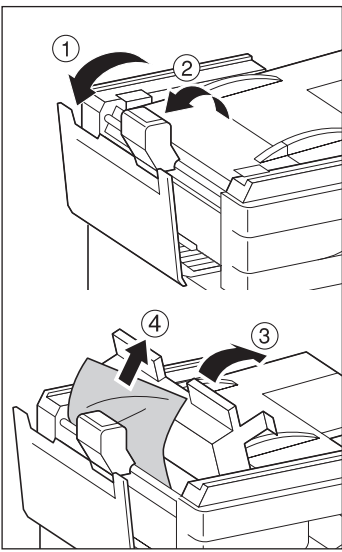
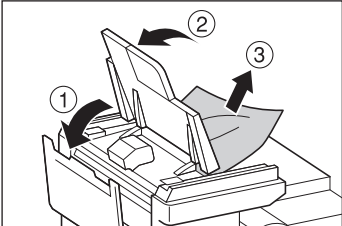
J08

紙が詰まりました
点滅している場所を確認し、用紙を取り除いてから、確認ボタンを押してください

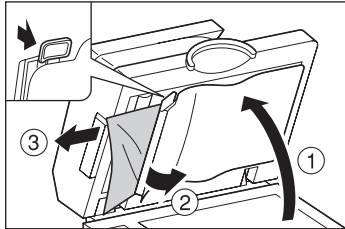
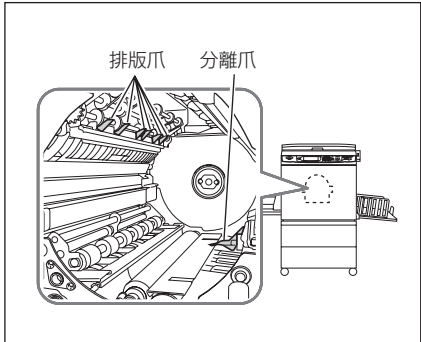


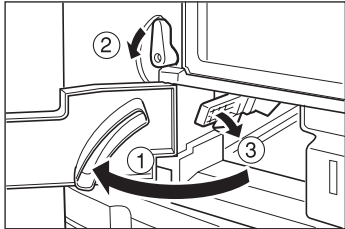
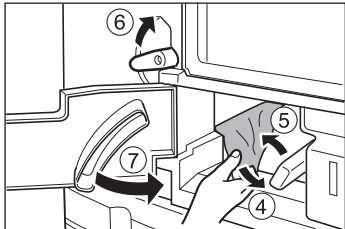
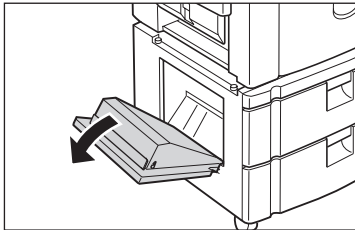
確認

点滅箇所／表示	原因	対処
①	給紙側に用紙が詰まりました。	① 給紙側を確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。 ② 用紙をセットしなおしてください。 ③ 表示が消えないときは、<リセット>キーを押してください。 特殊な用紙の場合は、給紙圧調節レバーを紙質に合わせて調節してください。 ☞ P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」
②	自動原稿送り装置(オプション)に原稿が詰まりました。	自動原稿送り装置 AF-VI の場合 ■ 原稿の挿入口方向に取り出すとき 原稿解除レバーを倒しながら原稿を引き出してください。  ■ 原稿の排出方向に取り出すとき 原稿台カバーを上げ、自動原稿送り装置の下にある原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 

点滅箇所／表示	原因	対処
②	自動原稿送り装置(オプション)に原稿が詰まりました。	RISO オートフィーダーDX-1 の場合 重要 ユニット内部のローラーには触らないよう注意してください。原稿の汚れや紙詰まりの原因となります。 ■ 原稿給紙部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開いて(①)、詰まった原稿を引き出して(②)ください。  ■ 原稿搬送部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開いて(①)、給紙ローラー部を図のように立ち上げます(②)。内部のカバーを開いて(③)、詰まった原稿を引き出して(④)ください。  ■ 両面搬送部に詰まった原稿を取り除くとき AF 給紙カバーを開き(①)、原稿トレイを図のように立ち上げます(②)。詰まった原稿を引き出して(③)ください。 

メッセージが表示されたときは

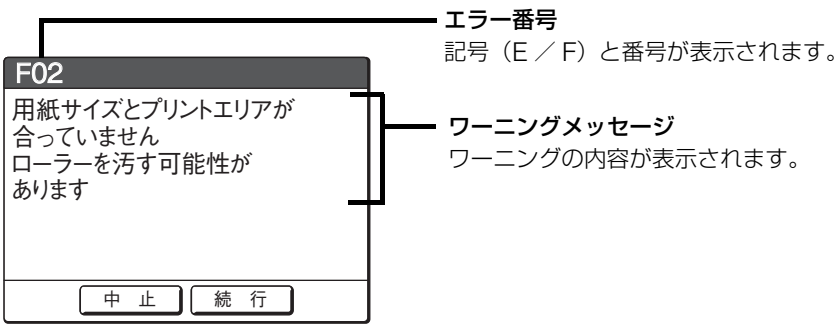
点滅箇所／表示	原因	対処
②	自動原稿送り装置(オプション)に原稿が詰まりました。	原稿排出部に詰まった原稿を取り除くとき 原稿台カバーを上げ(①)、解除レバーを手前に倒しながら(②)、詰まった原稿を引き出してください(③)。 
③	ドラム周辺に用紙が詰まりました。	① ドラムを引き出してください。 ☞ P.228「ドラムのセット」 ② 詰まっている用紙を取り除いてください。 △注意 分離爪や排版爪の先端は鋭利になっています。本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。けがの原因となることがあります。 
④	正常に排紙できませんでした。	排紙側に詰まっている用紙がないか確認し、詰まっている場合は取り除いてください。 特殊な用紙の場合は、排紙フェンスの紙揃えプレートを調節してください。 ☞ P.36「排紙台のセット」

点滅箇所／表示	原因	対処
⑤	用紙トレイの給紙搬送部に用紙が詰まりました。	① 前カバーを開け、ジャム解除カバーを開けます。 ② 搬送ロックレバーを解除します。 ③ 搬送カバーを開けます。  ④ 詰まった用紙を取り除きます。 ⑤ 搬送カバーを元に戻します。 ⑥ 搬送ロックレバーをロックします。 ⑦ ジャム解除カバーを閉じ、前カバーを閉じます。 
⑥	用紙トレイの給紙搬送部に用紙が詰まりました。	搬送部ドアを開け、詰まっている用紙を取り除いてください。 
⑦	トレイ 1 に用紙が詰まりました。	トレイ 1 を引き出して、詰まっている用紙を取り除いてください。
⑧	トレイ 2 に用紙が詰まりました。	トレイ 2 を引き出して、詰まっている用紙を取り除いてください。

メッセージが表示されたときは

ワーニングメッセージの見かた

各種のワーニングメッセージが、ディスプレイに表示されます。
 内容によって、続行が可能なものと、対処するまで続行が不可能なものがあります。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
E00 - 000	サービスコール	サービスマンによる電池交換や定期点検が必要なときに表示されます。	🖱️ P.250
F00 - 000	ワーニングメッセージ	操作パネルでの設定と、本機あるいは連携機 Prioα(別売)の状態が適合せず、プリントできないときに表示されます。	🖱️ P.251

■ E00-000: サービスコール(50 音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【定期点検の時期がきました サービス実施会社に連絡してください】	(原因) メンテナンスの時期がきたことをお知らせしています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。 🖱️「アフターサービスについて」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	(原因) 本機内部の電池が切れかかっています。 (対処) お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 🖱️「アフターサービスについて」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

■ F00-000: ワーニングメッセージ(50 音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【「A4 →ハガキ」変倍と AF は併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) 「A4 →ハガキ」変倍設定時に、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。	原稿を自動原稿送り装置から取り出すと、ワーニングメッセージは消去されます。 ● プリントを続行するとき 自動原稿送り装置から原稿を取り出し、原稿台ガラスにセットする ● プリントを中止するとき ＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【Prioa の情報を取得中です しばらくお待ちください】	(原因) 本機のシステムが、連携機 Prioa (別売)の情報を取得している状態です。この間は、RLP モードでのプリントはできません。 (対処) 連携機 Prioa (別売)の情報取得が終了してから、プリントを開始してください。または、本機からプリントしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチすると、ワーニングメッセージを消去して、元の画面に戻ります。 ● 本機でプリントするとき ＜製版＞キーまたは＜印刷＞キーを押す ● 連携機 Prioa (別売)から出力するとき システム情報の取得が終了するまでお待ちください。(数分かかる場合があります。)
【ネットワークカードを起動中です しばらくお待ちください】	(原因) RISO Network Card が起動しています。 (対処) しばらくお待ちください。または、本機からプリントしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)
【USB メモリがいっぱいのため、保存できません USB データの整理を行ってください】	(原因) USB メモリの空き容量がありません。 (対処) USB データを確認し、必要ないジョブなどは削除してください。	＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。) ● USB データを確認するとき ＜USB データ選択ボタン＞にタッチする。
【印刷枚数が 0 枚のときは 本機で製版します】	(原因) 連携機 Prioa (別売)接続時の「自動振り分け枚数」を「有効」に設定しているときに、印刷枚数 0 枚でプリントしようとした。 (対処) 印刷枚数を入力してください。 ☛ P.166「初期設定を変更する [環境設定] / 自動振分枚数」	● 本機でプリントするとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)
【回転ソートに必要な用紙が セットされていません 同じサイズの用紙を 別々のトレイに 縦向きと横向きにセットして ください】	(原因) 「回転ソート」を行うために適切なサイズの用紙が、用紙トレイにセットされていませんでした。 (対処) 適切なサイズの用紙を、連携機 Prioa (別売)の別々のトレイに「縦置き」と「横置き」にセットしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)

メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【給紙台(トレイ 1 /トレイ 2)に用紙をセットしてください】	(原因) 表示されている給紙口の用紙がなくなりました。 (対処) 給紙口に用紙をセットしてください。 ☛ P.34「給紙台と用紙のセット (給紙台を使用する場合)」、P.219「用紙の補充のしかた (SE938F/638F のみ)」	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【給紙圧調節レバーが「厚紙」に設定されています 給紙台の用紙に適しているかを確認してください】	(原因) 「環境設定」の「特殊給紙設定」が<オート>に設定されていて、かつ、給紙圧調節レバーが「厚紙」の位置にあります。 (対処) お使いの用紙を確認し、必要に応じて給紙圧調整レバーの位置を動かしてください。 ☛ P.34「給紙台と用紙のセット (給紙台を使用する場合)」手順 4	• プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーを押しても中止できます。)
【原稿が不定形と認識されたためオートトレイ選択できません スタートキーを押してください】	(原因 1) RLP モードで、不定形の原稿をセットしているときに、「オート」で印刷用紙を選択しようとしています。 (対処) 連携機用の用紙トレイを選択してください。 (原因 2) 定形サイズ原稿の場合は、セット位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正しい位置にセットしなおしてください。	• 用紙トレイを選択するとき <用紙選択ボタン>にタッチし、用紙トレイを選択する • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<リセット>キーを押しても中止できます。)
【原稿サイズ検知の範囲外です オート変倍できません 変倍設定を行ってください】	(原因) 原稿サイズが検出できないため、オート変倍が実行できません。 (対処) 変倍率を指定してください。	• 変倍設定するとき <変倍設定ボタン>にタッチする • プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【原稿台カバーを閉じてください 原稿の位置がずれると 正確な編集結果を得られません】	(原因) ソフトデジタイザで、編集集中に原稿カバーが開けられました。 (対処) 原稿台カバーを静かに閉じてください。	<閉じるボタン>にタッチする (原稿台カバーを閉じても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【原稿データと印刷用紙のサイズが合っていない 印刷用紙のサイズを確認してください】	(原因) パソコンから送信された原稿データと印刷用紙のサイズが合っていない。 (対処) 印刷用紙のサイズを確認し、必要に応じてサイズを変更してください。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする （＜スタート＞キーを押してもプリントできます。） ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）
【原稿を検知できません 原稿を再セットしてください】	(原因) 原稿を検知できませんでした。または、原稿がセットされていません。 (対処) 原稿をセットしなおしてください。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする （＜スタート＞キーを押してもプリントできます。） ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）
【原稿と印刷用紙のサイズが合っていない 以下の用紙に載せ替えてください】	(原因) パソコンから送信された原稿データと印刷用紙のサイズが合っていない。 (対処) メッセージに表示されている用紙サイズにセットし直してください。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする （＜スタート＞キーを押してもプリントできます。） ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）
【現在セットされている用紙では 連写できません 適切な定型用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、連写機能が使えません。 (対処) 給紙台に定型用紙をセットしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）
【現在セットされている用紙では N アップできません 適切な定型用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、N アップ機能が使えません。 (対処) 給紙台に定型用紙をセットしてください。 ● P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」	＜閉じるボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）
【現在セットされている用紙では 設定できません 適切な定型用紙をセットしてください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙がセットされているため、とじしろ機能が使えません。 (対処) 給紙台に定型用紙をセットしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする （＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。）

メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【現在の原稿と印刷用紙では変倍の範囲外になります オート変倍できません】	(原因) セットした原稿と印刷用紙のサイズでは、オート変倍を実行できません。 (対処) 変倍率を指定してください。	● 変倍設定するとき ＜変倍設定ボタン＞にタッチする ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【現在の変倍率では 製版可能サイズに入りきらない 可能性があります 確認してください】	(原因) 指定した変倍率では印刷用紙のプリントエリアからはみ出しています。 (対処) 変倍率を変更するか、適切なサイズの印刷用紙をセットしてください。	● 変倍率を変更するとき ＜変倍設定ボタン＞にタッチし、変倍率を指定する ● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【検知されている原稿サイズが連写の適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿サイズでは「連写」機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください。 ☛ P.70「1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]」	● 原稿サイズを指定するとき ＜原稿サイズ指定ボタン＞にタッチし、原稿サイズを指定する ● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【ご使用のインクの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします インク色:】	(原因) ご購入されたインクやマスターの在庫数が、「在庫確認数」以下になりました。 ☛ P.165「初期設定を変更する [環境設定] / サプライ在庫管理」	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)
【ご使用のマスターの 在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします】	(対処) 必要に応じてインクやマスターを発注してください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)
【最低印刷枚数が設定されています nn 枚以上入力してください】	(原因) 「最低印刷枚数」で設定されている印刷枚数未満の枚数でプリントしようとしています。 (対処) 印刷枚数を変更する、または「環境設定」の「最低印刷枚数」設定を変更してください。 ☛ P.165「初期設定を変更する [環境設定] / 最低印刷枚数」	＜閉じるボタン＞にタッチして、印刷枚数をメッセージで表示している枚数以上に指定しなおす

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【データ数がいっぱいのため、保存できません 選択したフォルダの整理を行ってください】	(原因) 選択中のフォルダは、データ数がいっぱいです。 (対処) フォルダ内を確認し、必要ないデータなどは削除してください。 または別のフォルダを選択してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。) ● ホールドデータを確認するとき <ホールド一覧ボタン> にタッチする。
【指定されている変倍率から用紙サイズを特定できません 用紙トレイを選択してください】	(原因) 検知した原稿サイズに対する変倍率の設定から、適合する連携機 Prioa(別売)の用紙トレイを特定できません。 (対処) 連携機 Prioa(別売)の用紙トレイを選択してください。	● 手差しトレイを使ってプリントするとき <手差しボタン>にタッチする(A3 サイズで出力されます。) ● 用紙を選択してプリントするとき <用紙選択ボタン>にタッチする ● プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【上限に達しました これ以上利用できません】	(原因) 管理者が設定した上限印刷／製版枚数に達しました。 (対処) 管理者に連絡してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)
【仕分け用紙が 印刷用紙より小さいので プリントできません 仕分け用紙をセットしなおしてください】	(原因) 印刷用紙の用紙サイズより小さいサイズの仕分け用紙がセットされています。 (対処) 仕分け用紙トレイに、適切なサイズの用紙をセットしてください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【スキャンできません 外部 CI が接続されていないか 接続処理中です 確認してください】	(原因) 外部コントローラとの接続不良、または接続処理中のため、スキャンモードが使用できません。 (対処) 外部コントローラが正しく接続されているか確認してください。	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【製版可能なサイズより大きな原稿がセットされています 確認してください】	(原因) 製版可能範囲より大きなサイズの原稿がセットされているため、範囲外の部分が製版されない可能性があります。 (対処) 変倍率を変更してください。	● 変倍率を変更するとき <変倍設定ボタン>にタッチし、変倍率を指定する ● プリントを続行するとき <続行ボタン>にタッチする (<スタート>キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)

メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【選択したドラムの種類は無効です ドラムを交換するか、 ドラムの種類を選択しなおして ください】	(原因) ドラム交換後の「ドラム種類の確認」画面で、挿入したドラムと異なる種類を選択しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種類を選択してください。または、ドラムを交換してください。 ☛ P.228「ドラムのセット」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入したドラムと同じ種類を選択して<確定ボタン>にタッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、希望する種類のドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッセージは解除されます。
【適切なサイズ of 用紙が セットされていません 用紙をセットするか 用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】	(原因) 検知した原稿サイズに適合するサイズの用紙が用紙トレイにセットされていないため、オートトレイ選択できません。 (対処) 適切なサイズの用紙をセットするか、用紙トレイを選択してください。	● 用紙トレイを選択するとき 使用する[用紙トレイ]のボタンにタッチする ● プリントを中止するとき <中止ボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても中止できます。)
【ドラムにマスターがついて いません 製版を行ってください】	(原因) ドラムにマスターが付いていない状態で印刷しようとしています。 (対処) 原稿をセットして、製版を行ってください。	<閉じるボタン>にタッチする 重要 ドラムにマスターがついていない状態で放置するとドラムが乾いて故障の原因となります。必ず、製版または「機密」を行ってマスターを巻きつけてください。
【ドラムの種類が変更されました 挿入したドラムの種類を 選択してください】	(原因) ドラム交換時に、前回と異なる種類のドラムを挿入しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種類を選択してください。または、前回と同じ種類のドラムと交換してください。 ☛ P.228「ドラムのセット」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入したドラムと同じ種類を選択して<確定ボタン>にタッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、前回と同じ種類のドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッセージは解除されます。
【中綴じできるサイズの用紙が セットされていません】	(原因) RLP モードで、「中綴じ」を「ON」に設定して<スタート>キーを押したときに、連携機 Prioa(別売)の用紙トレイに適切なサイズの用紙がセットされていませんでした。 (対処) 連携機 Prioa(別売)のトレイに、以下のいずれかの用紙をセットしてください: A3、B4、A4	<閉じるボタン>にタッチする (<ストップ>キーまたは<リセット>キーを押しても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【排紙台に載っている用紙が印刷用紙よりも大きいため排紙フェンスが動作できません 排紙台から用紙を取り除いてください】	(原因) オートフェンス排紙台(オプション)に残っている印刷用紙が、印刷しようとする用紙サイズより大きいため、排紙フェンスが正しく動作しません。 (対処) オートフェンス排紙台を確認し、印刷用紙を取り除いてください。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【排紙台を確認してください】	(原因) オートフェンス排紙台のフェンスが正しくセットされていません。 (対処) オートフェンス排紙台を確認してください。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても中止できます。)
【パソコンからのジョブを処理しています ジョブ処理中は この機能は使用できません】	(原因) パソコンから指示された原稿データの受信中です。ジョブの処理中は、選択中の機能は使用できません。 (対処) ジョブの受信・出力が終了してから、機能を選択しなおしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜モード＞キーを押しても解除できます。)
【パソコンからのジョブを処理しています ジョブ処理中は スキャンモードは使用できません】	(原因) パソコンから指示された原稿データの受信中です。ジョブの処理中は、スキャンの機能は使用できません。 (対処) ジョブの受信・出力が終了してから、機能を選択しなおしてください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜モード＞キーを押しても解除できます。)
【ブックモードと AF は併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) ブックモード設定時に、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。 ☛ P.82「雑誌や本をプリントする [ブックモード]」	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを押しても解除できます。)

メッセージが表示されたときは

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【不定形原稿では オートサイズ選択できません 保存データサイズを選択して 再スタートしてください】	(原因 1) スキャンモードで不定形の原稿を セットしているときに、「オート」で 読み取りサイズを選択しようとし ています。 (対処) サイズを選択してください。 (原因 2) 定形サイズの前稿の場合は、セット 位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正 しい位置にセットしなおしてくだ さい。	● 保存サイズを指定するとき ＜保存サイズボタン＞にタッチする ● スキャンを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【不定形原稿と認識されたため オートトレイ選択できません 用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】	(原因 1) 不定形の原稿をセットしている ときに、「オート」で印刷用紙を選択 しようとしています。 (対処) 用紙トレイを選択してください。 (原因 2) 定形サイズの前稿の場合は、セッ ト位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正 しい位置にセットしなおしてくだ さい。	● 用紙トレイを選択するとき 使用する[用紙トレイ]のボタンにタッチす る ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【 - プロテクト - 現在のマスターを破棄します】	(原因) 「プロテクト」設定が有効になっ ています。 (対処) 必要に応じて機密を実行してくだ さい。 ● P.179「印刷済みのマスターを 安全に管理する[プロテクト]」	● 機密を実行するとき ＜実行するボタン＞にタッチする。 (＜スタート＞キーを押しても機密を実行で きます。) ● 機密を実行しないとき ＜実行しないボタン＞にタッチする。 (＜ストップ＞キーを押しても中止できま す。)
【ホールドメモリがいっぱい のため、保存できません ホールドデータの整理を行 なってください】	(原因) ホールドメモリの空き容量があり ません。 (対処) ホールドデータを確認し、必要な ジョブなどは削除してくださ い。	＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを 押しても解除できます。) ● ホールドメモリを確認するとき ＜ホールド一覧ボタン＞にタッチする。

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【本機の温度が低いため 「ハイスピード」は 使用できません】	(原因) 使用環境の温度が低い場合には「ハ イスピード」は使用できません。 (対処) 印刷機本体内部の温度が 15℃以 上になるまで、通常の印刷速度で ご使用ください。 「続行」にタッチすると、通常のス ピードで印刷を開始します。 「中止」にタッチすると、印刷基本 画面に戻ります。	● プリントを続行するとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーを押してもプリントでき ます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【用紙が重送された可能性があります 印刷物を確認してください】	印刷物を確認してください。	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを 押しても解除できます。) ● 重送検知を解除するとき ＜重送検知 OFF ボタン＞にタッチする。
【用紙サイズとプリントエリアが合っ ていません ローラーを汚す可能性があります】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で 印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセット してください。	● 本機でプリントするとき ＜続行ボタン＞にタッチする (＜スタート＞キーまたは＜試し刷り＞キー を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【用紙サイズとプリントエリアが合っ ていません ローラーを汚す可能性があります (続行は試し刷りキー)】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で 印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセット してください。	● 本機でプリントするとき ＜試し刷り＞キーを押す ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【用紙トレイを選択してください】	(原因) 「N アップ」で、適合する用紙トレ イが選択されていません。 (対処) 適切な用紙トレイを選択してくだ さい。	● 用紙トレイを選択するとき 使用する[用紙トレイ]のボタンにタッチす る ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】	(原因) 「かんたん連写」で、適合する用紙 サイズがセットされていません。 (対処) 適切なサイズ of 用紙をセットする か、用紙トレイを選択してくださ い。	● 用紙トレイを選択するとき 使用する[用紙トレイ]のボタンにタッチす る ● プリントを中止するとき ＜中止ボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キー を押しても中止できます。)
【利用枚数の集計日がきました 管理者へ連絡してください】	(原因) 利用枚数の集計日になりました。 (対処) 管理者に連絡してください。 ● P.156「各ユーザーの利用枚数 を確認する [利用枚数集計]」	＜閉じるボタン＞にタッチする (＜ストップ＞キーまたは＜リセット＞キーを 押しても解除できます。)

メッセージが表示されたときは

消耗品情報入力画面が表示されたら

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報(マッチング情報)を得ています。マッチング情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されますので、適切な設定値を入力してください。

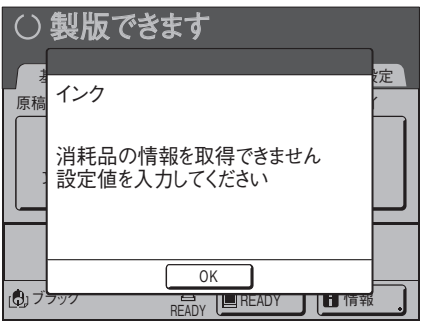
このとき、**情報** の **i** アイコンはグレー表示になります。

P.218「**情報** < **情報** ボタン>について」

参考

- 入力した設定値が不適切でも通常動作には問題ありませんが、プリントの仕上がりが悪くなることがあります。
- 次のような操作を行った場合、[消耗品情報入力ウィザード]画面で設定した情報が消失するため、再度、消耗品情報の入力が必要となります。
 - 電源スイッチを「OFF」にして、再度「ON」したとき
 - スリープ状態になった後、<ウェイクアップ>キーを押したとき

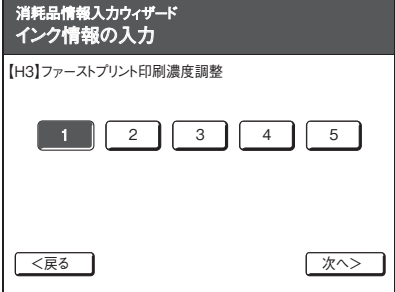
■ インク情報入力画面が表示された場合



インクのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。

< OK ボタン>にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

画面表示	設定内容	設定値
	【H1】インク色設定 現在使用しているドラムと同じ色を選択します。	1:黒 2:カラー
	【H2】印刷濃度微調整 インクに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。	1(薄い)～ 5(濃い)

画面表示	設定内容	設定値
	【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 インクに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。 「【H2】印刷濃度微調整」とは、独立して調整できます。	1 (薄い) ～ 5 (濃い)

消耗品情報入力ウィザード
 インク情報の入力

以下の入力内容でよろしいですか？
 設定値を確認して、スタートキーを押してください

項目	設定値
【H1】インク色設定	1
【H2】印刷濃度微調整	1
【H3】ファーストプリント印刷濃度調整	1

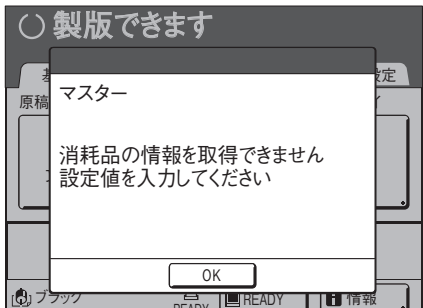
<戻る

設定が終了すると、確認画面が表示されます。
 設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。
 基本画面に戻ります。

参考 マスター情報入力画面が表示された場合は、引き続き適切な設定値を入力してください。
 ● P.262「**■** マスター情報入力画面が表示された場合」

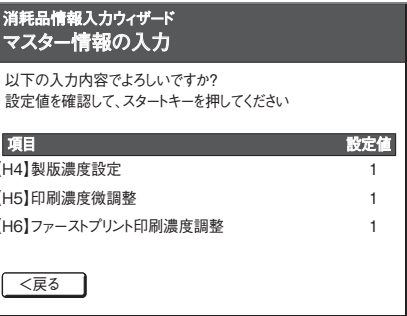
メッセージが表示されたときは

■ マスター情報入力画面が表示された場合



マスターのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。
 < OK ボタン>にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

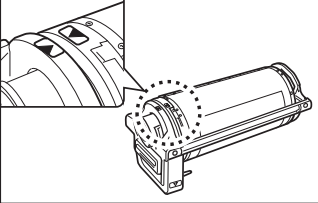
画面表示	設定内容	設定値
	【H4】製版濃度設定 マスター製版時における基準濃度の設定を行います。	1(薄い)～ 10(濃い)
	【H5】印刷濃度微調整 マスターに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。	1(薄い)～ 5(濃い)
	【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 マスターに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。 「【H5】印刷濃度微調整」とは、独立して調整できます。	1(薄い)～ 5(濃い)



設定が終了すると、確認画面が表示されます。
 設定値を確認し、<スタート>キーを押してください。
 基本画面に戻ります。

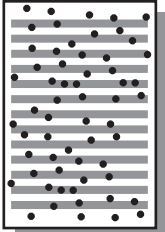
「故障？」と思ったとき

「故障かな？」と思ったときには、サービスマンに連絡をする前に、次の表から原因を確認し対処してください。

状況	原因	対処
電源を入れても起動しない	スリープ状態(節電モード)を電源「OFF」と誤解して、電源スイッチを押していませんか？	もう一度、電源スイッチを押してください。 電源スイッチを押す前に、操作パネルの<ウェイクアップ>キーを確認してください。 <ウェイクアップ>キーが点灯しているときはスリープ状態です。<ウェイクアップ>キーを押すとスリープが解除され、操作が可能な状態になります。
	電気は通じていますか？	- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。 - 商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
前カバーが閉まっているのに、エラーメッセージが消えない	前カバーは完全に閉まっていますか？	前カバー下のマグネットが付くように、完全に閉めてください。
給紙台が閉まらない	給紙フェンスは左右いっばいに広がっていますか？	電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてください。その後、給紙フェンスロックレバーを  にして、給紙フェンスを左右いっばいに広げてから給紙台を閉じてください。 ● P.34「給紙台と用紙のセット(給紙台を使用する場合)」
	給紙台が最下部まで下がりきる前に電源を「OFF」にしていますか？	
ドラムが入らない	正しい停止位置にドラムを回転させていますか？	手動でドラムを回転させたときは、作業後必ず  マークと  マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。 
	ドラムをレールに正しくセットしていますか？	ドラムを正しくセットしてください。 ● P.229「ドラムのセットのしかた」
消耗品(インク、マスター)をセットするのにエラーメッセージが消えない	消耗品(インク、マスター)を正しくセットしていますか？	インクボトルを差し込んで、右方向()に回し、ロックしてください。 または、セットしなおしてください。 ● P.224「インクボトル交換のしかた」 マスター芯の  マークがある方を左にしてセットしてください。 ● P.221「マスター交換のしかた」
	消耗品情報のないインクボトルをセットしていませんか？	インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。はがしてしまった場合は、新しいインクボトルをセットしてください。 ● P.224「インクボトル交換のしかた」
	消耗品情報のないマスターをセットしていませんか？	マスター芯の  マークは切り取らないでください。切り取ってしまった場合は、新しいマスターをセットしてください。 ● P.221「マスター交換のしかた」

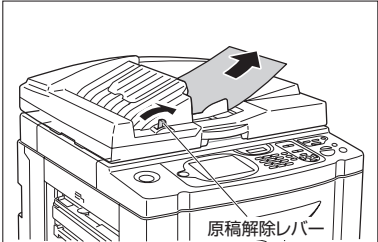
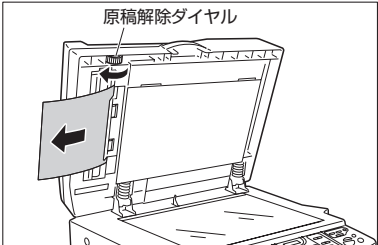
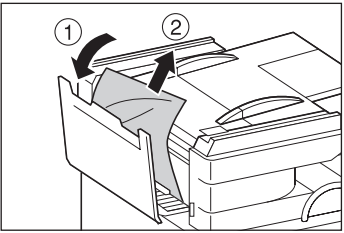
「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
排版ボックスが取り出せない	「プロテクト」設定が「ON」になっていませんか？	「プロテクト」設定が「ON」の場合、通常の状態では排版ボックスを取り出すことができません。 ☛ P.180「製版・排版されたマスターの流出を防ぐ【プロテクト】」
	排版ボックスのロックレバーは解除されていますか？	排版ボックスロックレバーを右にスライドして、ロックを解除してください。 排版ボックスが施錠されている場合は、管理者に連絡して南京錠を開錠してください。 ☛ P.226「排版ボックスのマスターの処理」
出てきた用紙が真っ白で何も印刷されていない	原稿面の表裏を逆にしてセットしていませんか？	原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置への原稿セット面を確認してください。 ☛ P.40「原稿をセットする」
	マスターの表裏を逆にしてセットしていませんか？	マスターの表裏を確認してセットしてください。 ☛ P.221「マスター交換のしかた」
プリントの一部が欠けてしまう 	原稿台ガラスや自動原稿送り装置（オプション）のスキヤナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキヤナーガラスを柔らかい布やティッシュペーパーなどで拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ☛ P.235「お手入れのしかた」
	マスターに何か付いていませんか？	ドラムを引き出して、マスターに何か付いているときは取り除いてください。 マスターとドラムの間に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、製版しなおしてください。
	製版時に、給紙台にセットされている用紙サイズと原稿サイズが合っていますか？ 製版時に、給紙台の給紙フェンスが用紙にぴったりと合っていますか？	給紙台に原稿サイズと同じサイズの用紙をセットしてから製版を行ってください。 製版サイズは給紙台に載せている用紙のサイズ（給紙フェンスの幅と用紙の長さ）で決定しています。製版時、原稿サイズよりも小さいサイズの用紙を給紙台にセットしていると、原稿全体を製版することができません。
プリントされた用紙に白い縦線が入る 	製版ユニット部のサーマルヘッドや自動原稿送り装置（オプション）のスキヤナーガラスに、ちりや修正液などが付いていませんか？	サーマルヘッドやスキヤナーガラスを柔らかい布などで軽く拭いてください。 サーマルヘッドを拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想サーマルヘッドクリーナーの使用をおすすめします。 ☛ P.235「お手入れのしかた」

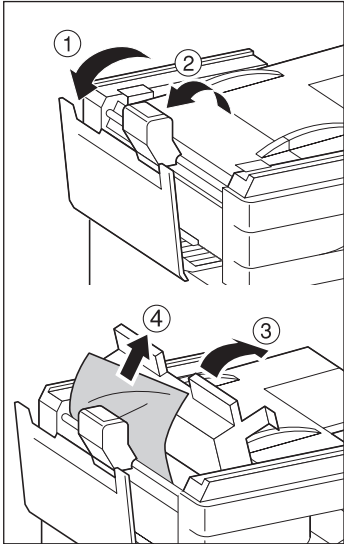
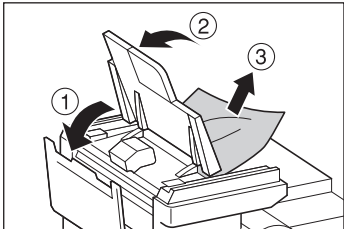
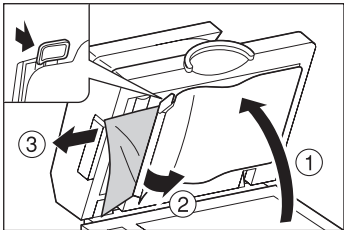
状況	原因	対処
プリントされた用紙に地汚れが出る 	新聞など、地色のある原稿を使用していないですか？	「読取濃度」を薄くして製版しなおしてください。  P.57「原稿の読取濃度を選択する「読取濃度」」
プリントされた用紙に汚れが印刷される	原稿台ガラスや自動原稿送り装置（オプション）のスキナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキナーガラスを柔らかい布やティッシュペーパーなどで拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。  P.235「お手入れのしかた」
プリントされた用紙の縁（フチ）がインクで汚れる	製版時、原稿よりも大きなサイズの用紙を給紙台にセットしていませんか？	原稿と同じサイズの用紙を給紙台にセットして製版しなおしてください。原稿よりも大きなサイズを読み取って製版するときに、原稿台カバーがしっかり閉じていないと原稿の縁が影として製版されます。 または、下記で紹介しているセロハンテープを貼る方法で対処してください。
	「フルサイズ製版」していませんか？	
	はがきなど厚い用紙を印刷しているとき、用紙の角がマスターにあたってマスターを傷付けていませんか？	製版しなおしてください。 またはドラムを引き出して、マスターが傷付いている部分にセロハンテープを貼って対処してください。 なお、マスターにセロハンテープを貼ると、排版時にマスターが正常に排版されないことがあります。ご了承ください。
用紙の裏がインクで汚れる 	プレスローラーがインクで汚れていませんか？	ドラムを取り外して、プレスローラーを柔らかい布やティッシュペーパーなどで拭いてください。  P.235「お手入れのしかた」 また、印刷位置が用紙からはみ出ると、ゴムローラーを汚す原因となります。「印刷位置調整」で印刷位置が用紙におさまるようにしてください。
	給紙フェンスは用紙の幅に合っていますか？	給紙フェンスを用紙の幅に合わせてください。給紙フェンスが用紙幅に合っていないと、用紙サイズより余分に製版してしまうことがあります。  P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」
	インクの乾きが悪い用紙を使っていますか？	インクが乾く前に次の用紙が排紙されて、裏移りしています。 用紙を変えるか、「省インク」「インターバル印刷」をお試しください。  P.69「インクを節約する「省インク」」  P.102「裏移りを少なくする「インターバル印刷」」

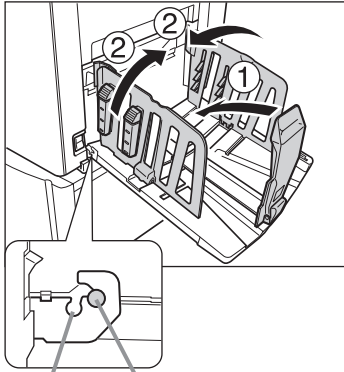
「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
プリントが薄い 文字がかすれる 	本機を使用しない状態が長時間続いた後に、プリントしていませんか？	本機を長時間使用しないと、ドラム表面のインクが乾きます。 この状態でプリントすると、印刷物が薄くなったり、かすれることがあります。 ＜試し刷り＞キーを押して、何枚か印刷してから使用してください。 「アイドリング」機能をご利用になると便利です。 ● P.145「アイドリングをする [アイドリング]
	原稿自体が薄くありませんか？	「読取濃度」を濃くして製版しなおしてください。 ● P.57「原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]」 えんぴつ書き原稿のときは、「原稿モード」で「えんぴつ」を設定してください。 ● P.56「原稿に適したモードを選択する [原稿モード]」
	本機の使用環境またはインクの保管場所の温度が低温（15℃未満）ではありませんか？	常温の場所にしばらく置いてから使用してください。 ● P.14「使用環境について」
	「省インク」を設定していませんか？	「省インク」を設定すると、印刷の仕上がりが通常よりも薄くなります。 ● P.69「インクを節約する [省インク]」
左右の印刷位置がずれている	左右位置調整がセンターになっていますか？	給紙台を下げてから位置を調整し、試し刷りで確認してください。 ● P.98「印刷位置を調整する [印刷位置調整]」
	給紙フェンスをきちんとセットしていますか？	給紙フェンスは必ず用紙にぴったりと合わせ、ロックレバーを回して固定してください。 ● P.34「プリント前の準備」
用紙がドラムに巻き付いてしまう	原稿上部または印刷物上部の余白は十分に取っていますか？	原稿上部（印刷物の排紙方向先端）には 5mm 以上の余白が必要です。印刷の天地位置を下げて印刷してください。印刷位置が下げられないときは、原稿の余白を取って製版しなおしてください。 ● P.58「原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]」
	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ● P.17「印刷用紙に関する注意」
	原稿上部に大きな塗りつぶし面がありますか？	原稿上部に大きい塗りつぶし面があると、排紙されにくくなります。原稿のセット方向を逆にして、製版しなおしてください。
用紙が丸まって排紙される	排紙方向が横目（紙の繊維の流れ）になる印刷用紙をセットしていませんか？	印刷用紙は、排紙方向が縦目（紙の繊維の流れ）になる印刷用紙をセットしてください。

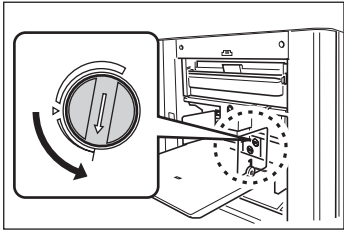
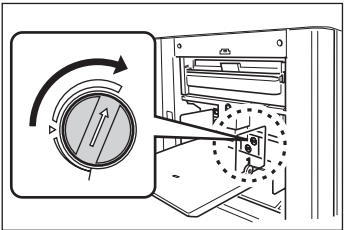
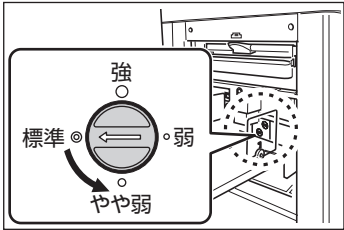
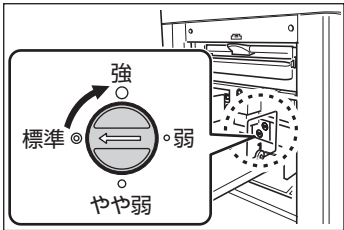
状況	原因	対処
連写されずに片面が何も印刷されない 	ブザーが鳴って[次の原稿をセットし、スタートキーを押してください]と表示されている間に原稿をセットしましたか？	「連写」でプリントすると、連写待ち時間にブザーが鳴ります。その間に原稿をセットしてください。 原稿台ガラスに原稿をセットしていて、ブザーが鳴らずに2枚目の原稿が読み込まれてしまうときは、「環境設定」で「連写待ち時間」の設定を変更してください。 ☛ P.163「初期設定を変更する [環境設定] / 連写待ち時間」
	原稿読み込み中に<ストップ>キーを押しませんでしたか？	原稿読み込み中に<ストップ>キーを押すと、作業を中止します。すべての原稿が読み込まれるまで、<ストップ>キーを押さないでください。
自動原稿送り装置 AF-VI(オプション)に用紙がつまる	自動原稿送り装置 AF-VI 内部に用紙が引き込まれていませんか？	原稿解除レバーを倒すか、原稿解除ダイヤルを回して、引き込まれている用紙を取り除いてください。  原稿解除レバー  原稿解除ダイヤル
RISO オートフィーダーDX-1(オプション)に用紙がつまる	RISO オートフィーダー内部に用紙が引き込まれていませんか？	以下の手順で、引き込まれている用紙を取り除いてください。 重要 ユニット内部のローラーには触らないよう注意してください。原稿の汚れや紙詰まりの原因となります。 原稿給紙部 AF 給紙カバーを開いて①、詰まった原稿引き出してください②。 

「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
RISO オートフィーダー-DX-1(オプション)に用紙がつまる (前ページより続く)	RISO オートフィーダー内部に用紙が引き込まれていませんか？ (前ページより続く)	原稿搬送部 AF 給紙カバーを開いて①、給紙ローラー部を図のように立ち上げます②。 内部のカバーを開いて③、詰まった原稿を引き出してください④。  原稿反転部 AF 給紙カバーを開き①、原稿トレイを図のように立ち上げます②。 詰まった原稿を引き出してください③。  原稿排出部 原稿台カバーを上げ①、解除レバーを手前に倒しながら②、詰まった原稿を引き出してください③。 

状況	原因	対処
排紙台に用紙がきれいに揃わない	排紙フェンス、ストッパーの位置は適切ですか？	排紙フェンスとストッパーは用紙サイズに合わせてください。厚い用紙のときは少し広めにセットしてください。 また、給紙台で左右位置調整をしているときは、排紙フェンスも同じ方向にずらしてセットしてください。 ☛ P.36「排紙台のセット」
	紙揃えプレートを適切にセットしていますか？	紙揃えプレートを適切にセットしてください。 ☛ P.36「排紙台のセット」
	給紙圧調節レバーは、印刷用紙に合わせて調整していますか？	標準紙をご使用の場合に、給紙圧調節レバーが「厚紙」になっているとききれいに排紙できません。 給紙圧レバーを「標準」にセットしてください。 ☛ P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」
排紙台のストッパーを越えて、用紙が飛び出してしまう		以下の手順で、排紙台の角度を水平にして、ご使用ください。 1 排紙フェンス・ストッパーをたたむ 2 排紙台の左右を両手で持ち上げて、排紙台の軸を排紙台軸受けの B の位置に移動させる 通常は、A の位置でご使用ください。  B 用紙が飛び出すとき A 通常位置
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☛ P.17「印刷用紙に関する注意」
	給紙圧調節レバーの位置は適切ですか？	厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧調節レバーを「厚紙」にセットしてください。 ☛ P.34「給紙台と用紙のセット（給紙台を使用する場合）」

「故障？」と思ったとき

状況	原因	対処
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	サバキ板角度は適切ですか？	状況に応じてサバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。 ■ 用紙が空送するとき ダイヤルを左に回してください。  ■ 用紙が重送するとき ダイヤルを右に回してください。  重要 調節を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。
	紙さばき圧の調整は適切ですか？	■ 紙粉が出やすい用紙、空送する、ハガキの裏面がめくれる場合 ダイヤルを左に回してください。  ■ 用紙が重送する場合 ダイヤルを右に回してください。  重要 調整を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。

状況	原因	対処
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	機能一覧の「特殊用紙設定」―「特殊給紙調整」は正しく設定されていますか？	「特殊用紙設定」―「特殊給紙調整」を調整してください。調整方法につきましては、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。
プリントされたカードの裏がめくれたり、先端にしわができる	サバキ板角度は適切ですか？	サバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。
紙がつまっていないのにエラーメッセージが表示される	舞い上がった紙が、ドラム 2 回転目で出てきていませんか？	印刷物を確認し、上部に余白が 5mm 以上ないときは印刷位置を少し下げてください。
	日光が本機に直接あたっていませんか？	日光が本機に直接あたると、センサーが誤検知することがあります。 カーテンなどで光を遮るか、日光が直接あたらない場所に本機を移動してください。
パソコンから原稿データを送信したとき、原稿データが複数ページであるにもかかわらず、1 ページごとに製版を繰り返す	プリンタドライバの設定で「部単位で印刷」を選択していませんか？	現在のデータのジョブを削除し、「部単位での印刷」のチェックをはずしてから、原稿データを送信しなおしてください。 ● P.47「パソコンから指示をしてプリントする(ダイレクトプリント)」の手順 5 ● P.52「出力指示の変更」
パソコンから原稿データを送信したが本機がデータを受信しない	ディスプレイに[環境設定]画面が表示されていませんか？	<終了ボタン>にタッチして[環境設定]画面から基本画面に切り替えてください。
<スタート>キーが点灯している	受信データが出力待ちの状態ではありませんか？	<スタート>キーを押して印刷してください。



付録

- 274 消耗品について
- 275 オプションについて
- 276 仕様
- 278 索引

消耗品について

本機で利用できる消耗品は次のとおりです。

■ マスター、インクについて

マスター、インクは、下記の推奨品をご使用ください。

種 類	SE938F/938	SE638F/638	SE628
マスター	RISO マスターE タイプ HG RISO マスターE タイプ HD (1 ロール 220 版相当)	RISO マスターE タイプ AS RISO マスターE タイプ AE (1 ロール 220 版相当)	RISO マスターE タイプ BS RISO マスターE タイプ BE (1 ロール 250 版相当)
インク	RISO インク E タイプ HG(黒) RISO インク E タイプ HG(各色)※ RISO インク E タイプ(各色)※	RISO インク E タイプ(黒) RISO インク E タイプ(各色)※	

※ 色の種類については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

マスター、インクは、製造年月日より 18 カ月(常温保存)以内を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後は出来るだけ早めに、ご使用頂くことをおすすめいたします。

それぞれの製造年月日は、マスター芯内側、インクボトル表面に記載してあります。

■ 印刷用紙について

印刷用紙は、機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」、「理想環境用紙」の使用をおすすめします。

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 詳細については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。
お求めの際はご購入の販売会社(または保守・サービス会社)へお問い合わせください。

■ 自動原稿送り装置 AF-VI

最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができます。

■ RISO オートフィーダー DX-1

最大約 50 枚までの原稿を自動的に送ることができ、両面原稿の読み取りも可能です。

■ ソフトデジタイザキットⅡ

タッチパネル上で原稿の編集加工ができます。

■ カラードラム

ドラムを交換するだけで簡単に多色刷りができます。(専用ケース付き)

■ RISO オートフェンス排紙台

使用する用紙のサイズおよび変倍率に合わせて、自動で排紙フェンス・ストッパーが調整されます。

■ 排紙台 (W)

最大 340mm × 555mm の印刷用紙に対応する排紙台です。

■ カードカウンター IV

一定期間ごとやカードごとにプリント枚数の集計やマスター使用枚数などがワンタッチで確認でき、コスト管理に便利です。また、部門ごとのプリント枚数やマスター使用枚数の記録を取ることができます。

■ ST ソーター IV

プログラム機能との併用で、自動的にグループごとにテープを差し込み、印刷物の仕分けが簡単に行えます。

■ メモリーカード DM128CF/DM512CF

「ホールド」機能を使用するためのメモリーカードです。

■ RISO Network Card

本機をネットワークに接続するためのオプションです。

各パソコンから印刷機の状態を確認できるモニタリングソフトウェア(RISO-MONITOR)が付いています。

■ RISO コントローラ IS300

本機をネットワーク対応のポストスクリプト 3 プリンタとして使用するための専用コントローラです。

■ 厚紙給紙アタッチメント

ハガキなどを給紙するためのユニットです。

■ 封筒給紙アタッチメント

封筒を給紙するためのユニットです。

■ コインベンダーCV-1

硬貨投入式のセルフサービス用課金システムです。

■ カードベンダーCR-1

プリペイドカード挿入式のセルフサービス用課金システムです。

■ RISO Printer Driver for Macintosh

本機を Macintosh でお使いいただけるプリンタドライバです。

仕様

SE938F/938/638F/638/628

製版方式	高速デジタル製版
製版時間	約 20 秒(A4 縦等倍時)
印刷方式	全自動孔版印刷
原稿の種類	ブック(10kg 以下)／シート
原稿紙質	自動原稿送り装置 AF-VI 使用時:50g/m ² ～128g/m ² (43～110kg 連量:四六判)紙 RISO オートフィーダーDX-1 使用時: 片面搬送時:40g/m ² ～128g/m ² (35～110kg 連量:四六判)紙 両面搬送時:52g/m ² ～105g/m ² (45～90kg 連量:四六判)紙
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時:最小 50mm × 90mm ～最大 310mm × 432mm 自動原稿送り装置 AF-VI 使用時:最小 100mm × 148mm ～最大 310mm × 432mm RISO オートフィーダーDX-1 使用時:最小 105mm × 128mm ～最大 297mm × 432mm
用紙紙質	給紙台:46g/m ² ～210g/m ² (40～180kg 連量:四六判)紙 用紙トレイ※ ¹ :52g/m ² ～105g/m ² (45～90kg 連量:四六判)紙
用紙サイズ	給紙台:最小 100mm × 148mm ～最大 320mm × 432mm※ ² 用紙トレイ※ ¹ :最小 182mm × 257mm ～最大 297mm × 420mm
印刷面積	SE938F/938/638F/638: 最大 291mm × 413mm SE628: 最大 251mm × 357mm
給紙台積載枚数	1,000 枚※ ³ (積載高さ 110mm 以下)
用紙トレイ積載枚数※ ¹	各 1,000 枚※ ³
排紙台積載枚数	1,000 枚※ ³ (積載高さ 110mm 以下)
排紙揃え方式	ドミノ排紙方式
印刷速度	操作パネル:5 段階(60、80、100、120、130 枚 / 分) タッチパネル:ハイスピード(180 枚 / 分または 185 枚 / 分)
印刷位置調整	天地(上下)± 15mm 左右:± 10mm
原稿モード	文字／写真(標準／顔写真／集合写真)／文字写真／えんぴつ
印刷倍率	ズーム(50%～200%)、独立変倍、等倍、拡大 4 段階(163%、141%、122%、116%)、縮小 4 段階(87%、82%、71%、61%)、周囲余白率縮小(90%～99%)、A4 →ハガキ、B5 →ハガキ
操作	対話式大型液晶パネル
各種機能	●アイドリング ●メモリ ●逆順印刷 ●コントラスト強調 ●排紙ウイング特殊 ●排紙ウイング調整 ●AF 読取面指定※⁴ ●インターバル印刷 ●自動 90 度回転 ●ダイレクトプリント ●利用枚数集計 ●POP / お気に入り登録 ●原稿読取濃度調節(マニュアル／オート) ●AF オート製版(オプションの自動原稿送り装置を装着時のみ) ●省エネモード(オートスリープ、オートシャット OFF) ●印刷速度調節 ●省インク ●試し刷り ●印刷濃度調節 ●レイアウト原稿 ●網点(4 種類) ●仕分けモード※¹ ●RLP 出力※⁵ ●プロテクト ●ホールド※⁶ ●USB メモリ※⁶ ●静音 ●N アップ ●重送検知 ●印刷位置調整 ●用紙サイズ検知 ●プレビュー表示 ●環境設定 ●フルサイズ製版 ●用紙サイズ ●スキャンモード※⁶ ●用紙サイズ登録 ●機密 ●とじしろ ●認証設定 ●トーンカーブ選択 ●再製版／オート再製版 ●180 度回転 ●自動振り分け機能※⁵ ●特殊用紙設定 ●オーバーレイ※⁶ ●認証 POP 登録 ●プログラム印刷(2 種類) ●RISO i Quality System ●連写(かんたん / 1 原稿 / 多原稿 / チケット) ●エコモード ●連続 ●占有延長 ●残量検知
カラーチェンジ	ドラム交換方式
インク供給	全自動(1,000ml / 本)
マスター給・排版	全自動(SE938F/938/638F/638:220 版 / ロール相当、SE628:250 版 / ロール相当)
マスター排版方式	水平排版方式

電源	定格電圧 100V、定格周波数 50-60Hz、定格電流 5.0A		
消費電力	最大 400W(待機時約 52W、スリープ時約 3W)		
本体サイズ	SE938F/638F: 使用時: 1,415(幅) × 705(奥行) × 1,090(高さ)mm 収納時: 780(幅) × 705(奥行) × 1,090(高さ)mm SE938/638/628: 使用時: 1,415(幅) × 705 ^{※9} (奥行) × 1,060 ^{※7} (高さ)mm 収納時: 780(幅) × 705 ^{※9} (奥行) × 1,060 ^{※7} (高さ)mm		
機械専有寸法	SE938F/638F: 1,655(幅) × 1,310(奥行) × 1,535 ^{※7} (高さ)mm SE938/638/628: 1,655(幅) × 1,310(奥行) × 1,505 ^{※7} (高さ)mm		
質量 ^{※8}	SE938F/638F: 約 184kg SE938/638/628: 約 115kg		
安全性	IEC60950-1 準拠 屋内 汚染度 2 ^{※10} 標高 2000m 以下		
付属品	- 保証書 1 部 - 個人情報取扱シート - 取扱説明書一式 - 使用許諾契約書 1 部 [RISO Printer Driver]ソフトウェア CD-ROM 一式 - 電源コード 1 本 - 理想ステージクリーナー		
専用架台 (SE938/638/628 のみ)	RISO 架台 N タイプ 660(幅) × 695 ^{※11} (奥行) × 400(高さ)mm 約 18kg RISO 架台 D タイプ 645(幅) × 675 ^{※11} (奥行) × 400(高さ)mm 約 19kg RISO ドラム収納架台 S 645(幅) × 675 ^{※11} (奥行) × 400(高さ)mm 約 36kg		
オプション	- 自動原稿送り装置 AF-VI - ソフトデジタイザキット II - カードカウンターIV - ST ソーターIV - 封筒給紙アタッチメント - 厚紙給紙アタッチメント - カードベンダーCR-1 - RISO オートフィーダーDX-1 - RISO オートフェンス排紙台 - メモリーカード DM128CF/DM512CF - RISO Network Card - RISO コントローラ IS300 - コインベンダーCV-1 - RISO Printer Driver for Macintosh - 排紙台(W) - カラードラム		

※ 1 SE938F/638F のみ

※ 2 長尺モード使用時は、天地 555mm まで使用できます。

※ 3 理想用紙薄口(64g/m²)使用時

※ 4 RISO オートフィーダーDX-1 使用時

※ 5 連携機 PrioA(別売)接続時のみ

※ 6 メモリーカード(オプション)または USB メモリ搭載時

※ 7 専用架台含む

※ 8 質量には、インク、マスターおよび架台は含みません。

※ 9 本体サイズ(奥行)には、専用架台の補助足は含みません。

※ 10 空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと。「2」は一般的な室内環境。

※ 11 補助足含む

おことわり

- 機械の改良、変更等により、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

本書で使用されている名称や用語をアルファベット順／50音順で記載しています。

Symbols

- +キー 24, 131
- ×キー 24, 131
- *キー 24, 131, 140

Numerics

- 180度回転 90
- 1原稿プログラム 129, 131

A

- AFオート製版 151
- AF読取面指定 153

C

- Cキー 24, 43, 60, 123

I

- i情報 28, 218

N

- Nアップ 79

P

- POP 28, 171

R

- RISO Printer Driver 15
- RISOオートフィーダー DX-1
 - 各部の名称 22
 - セットのしかた 41, 153
 - 両面→両面にプリント 213
- RLP基本画面 27
- RLPモード 32, 200, 205

S

- STソーター 130, 275

U

- USBメモリ 191

あ

- アースの接続 11
- アイドリング 145
- 網点 66
- 安全上のご注意 11

い

- インク 12, 224, 231
- インクキャップ留め 21, 225
- インク情報入力 260
- インクボトル 21, 224, 231
- 印刷位置調整 25, 98
- 印刷キー 25
- 印刷基本画面 27
- 印刷工程 31

- 印刷速度 25, 94
- 印刷速度調節キー 25, 94
- 印刷速度ランプ 25, 94
- 印刷に関する注意 19
- 印刷濃度 25
- 印刷濃度調節キー 25, 97
- 印刷濃度ランプ 25, 97
- 印刷前ストップ 46, 48, 54
- 印刷用紙
 - 注意 17
 - 補充 35, 219
- インターバル印刷 102

う

- ウェイクアップキー 25, 42
- 裏移り 102

え

- エコモード 164
- エラーメッセージ 240

お

- オートアイドリング 44, 145, 165
- オート再製版 146, 148
- オートシャットOFF 164
- オートスリープ 164
- オートフェンス排紙台
 - 各部の名称 23
 - セット 38
 - 調整 106
 - 閉じかた 39
 - 排紙フェンス 23, 38
 - 用紙の取り出し 44
- オーナー名の変更 189
- オーバーレイ 195
- お気に入り画面 27, 171
- 押し出しレバー 227
- お手入れ
 - 外装部 235
 - 原稿台ガラス 236
 - 原稿パッド 236
 - サーマルヘッド 235
 - 自動原稿送り装置
 - スキャナーガラス 236
 - ホワイト板 236
 - プレスローラー 237
- オプション 275
- オプションエラー 240, 242
- オプションエリア 29
- 温度範囲 14

か

- カードカウンター 275
- カウンター 21
- 拡大（変倍）

固定変倍	58, 59
ズーム変倍	58, 60
独立変倍	58, 60
各部の名称とはたらき	20
紙原稿	
基本画面	27
プリント	42
紙揃えプレートノブ	21, 23, 37, 39
カラードラム	228, 275
環境設定	160
環境設定画面	27
かんたん連写	70, 74

き

機能一覧	2
機能一覧画面	27
基本画面	27
基本機能エリア	28
機密	143, 179
逆順印刷	149
給紙圧調節レバー	20, 35
給紙台	
上下ボタン	20, 35
セットのしかた	34
閉じかた	35
給紙フェンス	20, 34

く

クリーナー	234
グループ	124
名称入力	127

け

警告	11
原稿解除ダイヤル	246
原稿解除レバー	22, 246
原稿セットフェンス	22, 41
原稿台カバー	20
原稿台ガラス	20, 40, 236
原稿の余白	18
原稿排出トレイ	22
原稿パッド	20, 236
原稿モード	56
原稿読取濃度	57

こ

故障	263
固定変倍	58, 59
コントラスト強調	67
こんなときには	239

さ

サービスエラー	240, 241
サーマルヘッド	21, 235
再製版	29, 146, 147

し

湿度範囲	14
自動原稿送り装置	10, 18, 22, 40, 153
自動原稿送り装置 AF-VI	
AF オート製版	151
各部の名称	22
セットのしかた	41
自動振分	44, 166, 200
次ページ	29, 52
写真（原稿モード）	56
シャット OFF 時刻	164
ジャムエラー	240, 241, 246
周囲余白	
固定変倍	58, 59
周囲余白縮小率	163
ズーム変倍	58, 60
独立変倍	58, 60
重送検知	101
出力指示の変更	52
仕様	276
省インク	69
省エネモード設定	164
消去	
1 原稿／多原稿プログラム	136
特殊用紙設定	112
メモリー	142
ユーザー登録	126
用紙サイズ登録	178
利用枚数	128
情報ボタン	218
消耗品	274
消耗品エラー	240, 243
消耗品の回収・廃棄	231
消耗品の残量確認	218
初期画面	26
初期設定	
設定可能な項目一覧	160
変更	167
ジョブ	29
ジョブ削除	52
ジョブ情報表示	29
ジョブ操作ボタンエリア	29
仕分けモード	103

す

ズーム変倍	58, 60
スキャン基本画面	27
スキャンモード	186
スタートキー	25
ステージクリーナー	234
ステータスエリア	28
ストッパー	21, 23, 36, 38
ストップキー	25

せ

静音	96
製版キー	25, 27
製版基本画面	27
製版工程	30
製版時に設定する機能	55
製版前ストップ	46, 48, 54
製版ユニット	21, 221
製版ユニット OK ボタン	21, 221
製版ユニットカバー	21, 222
製版ユニットカバーレバー	222
製版ユニットレバー	21, 221
設置上の注意	13
設置場所	11
設定確認画面	260, 262
セット確認エラー	240, 244
センターマーク	220
占有延長	144
占有延長時間	163
専有面積	13
専用消耗品	274

そ

操作パターン表示	10
操作パネル	
左側部分	24
右側部分	25
速度（印刷速度）	94

た

ダイレクトプリント	47
ダイレクトプリントの停止タイミング	54
多原稿プログラム	129, 132
タブエリア	28, 29
試し刷り	31, 100, 151
試し刷りキー	25, 100

ち

注意	11
長尺モード	177
長尺用紙	177

つ

通紙ジャムエラー	240, 246
----------------	----------

て

停止タイミング	46, 54
ディスプレイ	
位置	20, 24
画面の移り変わり	26
ボタン	28
モード選択画面	26
テープ仕分け	162
テンキー	24, 43

電源スイッチ	21, 34
電池交換	241, 250

と

登録	
1 原稿／多原稿	
プログラム	133
管理者／ユーザー	122
特殊用紙設定	108
メモリー	138
用紙サイズ登録	175
トーンカーブ選択	68
特殊給紙調整	104, 105
特殊排紙調整	104, 108
特殊用紙設定	
消去	112
登録	108
変更	111
名称入力	108
呼び出し	110
独立変倍	58, 60
とじしろ	87
ドラム	
位置	21
OK ボタン	21, 228
カラーチェンジ	228
交換	228
コネクタ	229
セット	229
取り出し	228
ドラムレバー	21, 228
取り扱い	12

に

日時設定	163
認証 POP 登録	158
認証設定	116

の

濃度（印刷濃度）	97
----------------	----

は

排紙ウイング	21, 104
排紙ウイング特殊	104, 105
排紙台	
位置	21
セット	36
閉じかた	37
排紙フェンス	21, 23, 36, 38
排紙フェンスオープンボタン	23, 44
排紙フェンス調整	104, 106
ハイスピード	95
排版ボックス	
位置	20
使用済みのマスター処理	226

排版ボックスレバー	226
パソコンデータ	
基本画面	29
プリント	46

ふ

ブックモード	82
不定形の用紙	175
フランチ	223
プリント	
紙原稿のプリント	42
流れ	30
パソコンデータのプリント	46
メモリーによるプリント	140
フルサイズ製版	89
プレスローラー	237
プレビュー	29, 52
プレビュー表示	91
付録	273
プログラム	
1 原稿プログラム	129, 131
消去	136
設定	131
設定内容の変更	136
多原稿プログラム	129, 132
登録	133
名称入力	134
呼び出し	135
プログラムキー	24, 131
プログレスバー	25
プロテクト	165, 180
分割	84
文中の表記について	10
分離爪	237, 248

へ

変更（内容／名称）	
1 原稿／多原稿	
プログラム	134
管理者／ユーザー登録	125
初期設定	167
特殊用紙設定	108, 111
用紙サイズ登録	175
変倍	
固定変倍	58, 59
周囲余白	58, 59
ズーム変倍	58, 60
独立変倍	58, 60
変倍率	
固定変倍	59

ほ

奉書	177
ホールド	184, 191

ま

枚数カウンター	24, 100
前カバー	21
マスター	
交換	221
再製版	146, 147
使用済みのマスター処理	226
専用消耗品	274
マスターガイド	21, 223
マスター情報入力	262
マスター芯	222, 231
マスターロールストッパー	21, 222

め

名称入力画面	135
名称変更	
1 原稿／多原稿	
プログラム	134
特殊用紙設定	108
メモリー	139
用紙サイズ登録	175
メッセージ	
エラーメッセージ	240
ワーニングメッセージ	250
メッセージエリア	28
メモリー	
消去	142
登録	138
名称入力	139
呼び出し	140

も

モードキー	24
モード選択画面	26
文字（原稿モード）	56
文字・写真（原稿モード）	56

よ

用紙サイズ	63, 175
用紙サイズ登録	
消去	178
登録	175
内容／名称変更	175
用紙トレイ	20, 62, 219
用紙のセット	34, 219
呼び出し	
1 原稿／多原稿	
プログラム	135
特殊用紙設定	110
メモリー	140
読取濃度	57

り

リセットキー	25
理想サーマルヘッドクリーナー	234

リソースユーティリティソフトウェア	15
リソグラフィクリーナー	234
利用枚数集計	156
両面原稿	155, 211

れ

レイアウト原稿	85
連写	70
1 原稿連写	70, 71, 75
印刷用紙のセット方向	71
原稿のセット方向	71
多原稿連写	70, 71, 75
チケット連写	72, 77, 70
変倍率	73
連続	65, 151
連続キー	25, 65
連続モード	29
連続ランプ	151

わ

ワーニングメッセージ	250
------------------	-----

アフターサービスについて

無償修理

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。
保証期間中の修理の場合は必ず保証書をご提示ください。
保証期間は商品購入日より1年以内もしくはトータルカウンター表示が100万枚までのいずれか早期に達した方とし、その期間中において、本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理いたします。

有償修理

保証期間をすぎた場合は有償となります。
また、次の場合は保証期間内であっても有償となりますのでご了承ください。

- 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 当社認定のテクニカルリソグラフマン以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけずに起因する故障
- ドラムの色変更に要する作業
- 有償部品の交換
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

有償部品

ブラテンロール、サバキ板、ピックアップロール、スクレーパー、
排版ベルト、プレスロール、OA/パット、排紙除電ブラシ、
ドラムブロックシート、ドラムシールテープ、除電バー、TPH除電ブラシ

推奨消耗品

SE938/SE938F：RISO マスターE タイプHG、RISO マスターE タイプHD、
RISO インクE タイプHG(黒)、RISO インクE タイプHG
(各色)、RISO インクE タイプ(各色)
SE638/SE638F：RISO マスターE タイプAS、RISO マスターE タイプAE、
RISO インクE タイプ(黒)、RISO インクE タイプ(各色)
SE628：RISO マスターE タイプBS、RISO マスターE タイプBE、
RISO インクE タイプ(黒)、RISO インクE タイプ(各色)

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。
その際は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間と インク・マスターの提供期間

本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、本製品の製造終了後、最低7年間保有しています。インク・マスターは、本製品の製造終了後、最低7年間提供しています。

修理ご依頼に際しての注意事項

- 本機では、当社の定める研修を受講し、テクニカルリソグラフマンと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずテクニカルリソグラフマン認定証の提示を求め、該当するテクニカルリソグラフマンであることをご確認ください。
また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置（操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意）をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。

使用済み製品について

本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用（リユース）や再利用（リサイクル）をおこなうシステムがあります。また、このシステムで活用できない部分は環境への負荷が少ない方法で処理するシステムがあります。

アフターサービスについてのご不明な点、またはサービスサポートメニューや製品についての詳細は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。また、お問い合わせはお客様相談室（☎次ページ）でも受け付けております。



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎ 0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製 プリントドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎ 0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)



〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>